



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2004.7

vol. 1

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2740地区 ガバナー月信

2004～05年度 ガバナー 栗林 英雄





ロータリーを 祝おう

100年の歩み

2004～2005年度
国際ロータリーのテーマ

Contents

● R I 会長メッセージ 2004-05年度国際ロータリー・テーマ	1
● 2004-05年度 会長賞	4
● ガバナーあいさつ	7
● ガバナー運営方針	9
● 新ガバナーへのメッセージ	10
● 直前ガバナーへのメッセージ	11
● ガバナー補佐 新年度の抱負	12
● ガバナー公式訪問日程表	17
● 主要行事予定表	18
● 報告のしおり	20
● 送金のしおり	21
● クラブ会長・幹事名簿	22
● 文庫通信	23
● 地区予算	24
● 地区組織図	26

表紙の絵

「樹間に見る眼鏡橋」

月信担当を命ぜられた時、先ず頭に浮かんだことは水彩画によって、諫早の四季折々の姿を紹介してみようという発想でした。

諫早の眼鏡橋、観光用のスポットとは反対側から見た構図である。楠の大木が幾本も生い繁り、暗い木影を落した静かなたたずまいである。幾多の水禍に耐えた石橋は、今は静寂の中に憩う。

絵の提供 諫早北RC 緒方 聖会員



ロータリーを祝おう

2004-2005年度

国際ロータリー会長 グレンE. エステス・シニア

親愛なる同僚ロータリアンの皆さま：

100年に及ぶロータリーの親睦と奉仕には、祝うに足る十分な理由があり、100周年にあたる私たちの2004-05年度に、私は、全ロータリアンに向かって一緒に**ロータリーを祝おう**とお願いしたいのです。私たちは、世界の子供たちや今後生まれてくるすべての子供たちへの贈り物として、ポリオのない世界を実現するという大きな成功を祝うことになります。世界166カ国で120万人の会員が奉仕するという一世紀にわたる成長と拡大を祝い、そして、私たちを奉仕へと駆り立てて献身しようと絶えず奮い立たせる、ロータリアンの心温まる親睦を祝うのです。

私は、ロータリアンの皆さまに、過去の成功の自己満足ではなく、現在の困難への新たな危機感を持って、**ロータリーを祝おう**と呼びかけております。何十年にもわたる奉仕によって、私たちは、自然災害と新たな恐ろしい病や残忍な紛争に取り巻かれた世界において、人類が必要とすることの重大さを知らされました。私たちは何百万もの読み書きのできない人々や技能を備えていない人々が、容赦ない貧困の悪循環に掛かって抜け出せないでいることを知っています。私たちは、医師や病院があまりにも少なすぎる場所に、苦しむ人々が存在するのを目にしてきました。また、食料や水などの基本的な必需品に手が届かない人々が、あまりに多くいることを認識しています。**ロータリーを祝う**最善の方途の一つは、私たちの100年の経験の重みを十分に生かして、それらの莫大な人道的需要に取り組むことです。まず第一に、超我的奉仕を据えることで、**ロータリーを祝おう**では

ありませんか。

国際親善奨学生、ローターアクター、インターアクター、青少年交換学生、GSEチーム・メンバー、その他私たちの人道的活動によって生活が改善された何千もの人々など、私は、皆さまがこの祝賀の心を、ロータリー家族全体とロータリーによって感動を与えられたすべての人々と分かち合われるよう望みます。また、私たちが奉仕する地域社会に、私たちと共に祝ってもらうよう呼びかけましょう。100周年社会奉仕プロジェクトは、ロータリー100周年を地元で広報し、世界中の何千もの地域社会で、100周年を末永く記憶に残るものとするまたとない機会です。

ロータリー100周年にまつわる前向きな広報は、間違いなく会員候補者の間でロータリーに対する認識と関心を高め、2004-05年度を会員を増強するに最適なものとするでしょう。また、私たちは、ここ数年来の退会防止活動を継続するのに、クラブ・プロジェクトに現在の会員を積極的に巻き込み、「ロータリー家族」委員会を維持し続け、クラブ内に気配りと思いやりのある環境を推進しなければなりません。私たちは、ロータリーの最初の100年の奉仕にとって、安定した成長を続ける会員組織がいかに重要であるか、目にしてきました。活動的で献身的なロータリアンの退会を防止し、その数を増やして、私たちの将来を安定したものにするため、あらゆる努力をしましょう。

100年は重要な礎石であり、そこに到達した団体はほとんどありません。このことは、ロータリーが正しい行いをしていること、ロー



タリー奉仕に対する需要がいまだ大きいことを示しています。私たちの成功には、数多くの「秘密」があります。それは、週例会に由来する親睦と共通の大義、それに世界中に向けて扉と心を開く国際性であり、私たちの誰もが、自分ひとりで言うよりはるかに多くの事柄を達成させてくれる構造です。しかしながら、最大の強みは、ロータリアンが新しい挑戦事項に取り組むにあたって抱き、最後に問題が解決されるまで持続する熱意なのです。私たちは、ポリオ撲滅において、また、私たちが奉仕する各地域社会において、他の何千もの方法でそれを実践しています。

シカゴの鉾山技師の事務所で1905年に始まったロータリーですが、初期の頃には、将来の見通しはほとんど立っていませんでした。凍てついた2月の夜、そこに集った4人の男性のうち誰一人として、100年後に31,000ものクラブが会合を開くとはもちろんのこと、その会合が定期的に行われることになるとは、予想だにしていなかった。ポール・ハリス、シルベスター・シール、ガスターバス・ローア、ハイラム・ショーレーは、明らかに、自分たちが最初の奉仕クラブを形成し、20世紀を通して他のこれほど多くの人々の心と魂を掴むことになる運動に着手しているとは、思いもしていませんでした。初期の創立者たちのように、ロータリアンは、自分たちの行動がどれほど建設的な影響を与えるのか、いつもわきまえているわけではありません。しかし、100年にわたる奉仕は、私たちが世界で善行をなす計り知れない可能性を明確に示してきました。

今日、国際ロータリーは、世界で最も影響力と行動力を有する非政府団体の1つとして、奉仕の第二世紀に入る用意が整っています。私たちのポリオ・プラス・プログラム、平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センター、国際人道的活動、そして世界中で数え切れないほどの卓越したクラブと地区のプロジェクトは、より良いより平和な世界を達成するためのロータリーの貢献を示しています。ロータリーの可

能性に対する認識を高め、新しい挑戦事項に取り組み、それらが達成されるまでやりぬく心構えをして、奉仕の第二世紀に入ろうではありませんか。私たちのクラブで、職業で、地域社会で、そして私たちの世界で、新たに奉仕に献身しあって、**ロータリーを祝おう**ではありませんか。

あなたのクラブで、ロータリーを祝おう。

私たちのクラブは、ロータリーの心臓です。ここは、私たちがまずロータリーの親睦を楽しみ、やがてロータリーの理想に献身するようになる場です。多くのクラブに100周年年度に称えるべき豊かな歴史があり、最も新しいクラブにさえ、ロータリーを祝う理由があります。クラブ会員に思いやりと気配りの精神を奨励して、ロータリーを祝おうではありませんか。会員の退会防止活動を支援するロータリー家族委員会を継続し、熱意にあふれた新会員を入会させて、前途に横たわる挑戦事項を克服するための新たなエネルギーをクラブに吹き込みましょう。

あなたの職場で、ロータリーを祝おう。

ロータリーが創設されたのは、私たちの時代とさほど変わらないような、ビジネスの世界における腐敗と醜聞の時期でした。この団体の創立以来、道徳的水準はロータリアンの代名詞になっていますが、100周年は、事業および専門職務における立派な行いに関する私たちの誓いを新たにする理想的な機会です。職場における良心、そして社員、顧客、専門職務に携わる同僚に対する清廉の手本として振舞い、ロータリーを祝おうではありませんか。

あなたの地域社会で、ロータリーを祝おう。

ロータリーの優れた達成事項の多くは、各クラブが識字率の向上、貧困および飢餓の緩和、若い人々の指導と彼らを取り巻く環境の美化といった広範囲のプロジェクト—世界31,000以上の地域社会において実施されている活動



のごく一部をあげましたが一に取り組む草の根レベルでのものです。2004-05年度には、あなたのクラブの100周年記念社会奉仕プロジェクト、その他の特別式典を通して、100周年の祝賀に地域社会を参加させてください。クラブの奉仕の歴史を地域社会に広報し、将来の野心的な計画に着手して、ロータリーを祝いましょう。

グラムに参加し、100周年記念の研究グループ交換やロータリー・ボランティアを支援し、青少年交換学生を派遣しもしくは受入れて、ロータリーを祝いましょう。シカゴで開かれる国際ロータリー年次大会に出席し、世界の沢山の国々から集うロータリアンに加わって、ロータリーとその100周年を祝う計画を立てましょう。

私たちの世界で、ロータリーを祝おう。

ロータリーの国際性のおかげで、ロータリアンは国境を越え、地球を半周して、奉仕のパートナーを形成し、文化交流を実施することができます。2004-05年度に双子クラブ・プロ

グレン E. エステス・シニア
2004-05年度、国際ロータリー会長

2004-2005年 RI 会長 グレン E. エステス・シニア氏 略歴

米国アラバマ州シェイズバレー RC
2003-04年度 国際ロータリー会長エレクト
1993-96年度 ロータリー財団管理委員
1991-92年度 国際ロータリー副会長
1990-92年度 国際ロータリー理事
1979-80年度 第6860地区ガバナー

グレン E. エステス Sr. 氏はグレン・エステス・アソシエイツ社を引退された最高経営責任者です。米国ミシシッピ州のパイク郡に生まれ、物理学および化学を専攻され、ルイジアナ州ニューオーリンズのチュレイン大学から学位を取得されました。エステス氏は、5人兄弟の1人で、全員がロータリアンです。一時期、兄弟のうち4人がそれぞれのクラブの会長を務めました。

エステス氏は、1960年以來のロータリアンで、最初、米国フロリダ州ジャックソンビルのクラブ #41、その後、ニュージャージー州ウェインのクラブ会員でした。同氏は、1997年国際大会委員会のアドバイザー、また1987-88年度にはポリオ・プラス国別コーディネーターを務められました。同氏は、管理委員会委員の任期を通じ、財団財務委員会委員長および財団プログラム委員会副委員長を歴任されました。1999年には、国際協議会委員長および議長を務められました。

エステス氏は、ロータリー財団の大口寄付者、ポール・ハリス・フェロー、およびベネファクターです。同氏はまた、ロータリー財団功労表彰状およびロータリー財団特別功労賞を受賞されておられます。

グレンおよびメアリー・エステスご夫妻には、3人のお子さんと8人のお孫さんがおられます。ご家族の16人が、ポール・ハリス・フェローです。



2004-05年度 会長賞

2004-2005年度

国際ロータリー会長 グレンE. エステス・シニア

親愛なる同僚ロータリアンの皆さま：

私たちの100周年にあたる2004-05年度に、私は全ロータリアンに向かって一緒にロータリーを祝おうとお願いしております。会長賞は、私たちのクラブの数多くの業績を表彰する一つの手段です。本年度の賞は、2004-05年度のテーマである「ロータリーを祝おう」を奨励して私が輪郭を描いた諸活動に基づいたものです。また、私は、ロータリー財団への支援と、質の高い会員の退会防止および増強のための継続的な活動への支援を強調したいと思います。全会員が積極的に、実地にクラブ活動に参加することで、会員の退会防止を助長し、より充実した、より効果的なクラブを築くことになります。あなたのクラブの各会員に、委員会で奉仕する、クラブのプログラムを開発する、奉仕プロジェクトの一つに加わるなど、何か一つ2004-05年度の活動に参加してもらうようお願いしてください。

私は、あなたとあなたのクラブに、クラブ、職業、地域社会、ならびに私たちの世界に関わるプロジェクトと活動を実施して、ロータリーを祝おうと要請いたします。あなたのクラブで実施される活動が、確実に地域社会にとって価値のあるものとなるよう、行動の方向性を決定する前に、需要の検査を行い、クラブの資源を検討してください。挑戦事項ならびに身近にある機会を受け入れ、立ち向ってください。奉仕の第二世紀に入るにあたり、ロータリーの最初の100年の十分な重みとその計り知れない可能性を世界中に示してください。私たちは、この100周年の年に奉仕するという、唯一の、真に「生涯ただ一度の」機会を得ているのです。

さあ、一緒に、ロータリーを祝おうではありませんか。

ロータリークラブの表彰

2004-05年度会長賞を受賞するには、クラブは、四大奉仕の各部門の活動から成る釣り合いのとれたプログラムを実施します。以下の表に示されるように、あなたのクラブの会員数に基づいて、クラブが実施すべき活動の数を決定します。

クラブの大きさ 達成事項の数 (2004年7月1日付け)

会員数50名以下	2
51-150名	3
151-200名	4
201以上	5

2004年7月1日から2005年4月1日の間に、本要項に記載された奉仕の機会の一覧から活動を選択し、達成してください。会長賞申込書(900B-04JA)にもれなく記入し、あなたのクラブの業績を証明するために、地区ガバナー宛に送付します。ガバナーは、申込書を2005年4月15日までにRI世界本部に届くよう提出しなければなりません。

地区ガバナーの表彰

賞の受賞資格を得るには、地区内で50パーセント、もしくはそれ以上のクラブが賞を受賞し、また、あなたは、ロータリアンとその家族を支援し、地区のプロジェクトと活動を援助する地区ロータリー家族委員会を設置しなければなりません。



奉仕の機会

あなたのクラブで、ロータリーを祝おう。

- ◎ 2005年4月1日までに、会員2名以上の純増か、もしくは3パーセントの純会員増加を達成するための会員勧誘計画を立てます。
- ◎ 自然減を年間3パーセント未満に抑えるための、会員退会防止計画を立てます。
- ◎ 会員の多様性を奨励し、バランスの取れた会員組織を推進します。あなたのクラブに現在存在しない人口統計学上のグループから新会員を募ります。
- ◎ 新ロータリー・クラブを1つ提唱します。
- ◎ ロータリアンとその家族を支援するクラブのプロジェクトと活動を援助するための、ロータリー家族委員会をクラブに設立します。
- ◎ 会員に、パートナーや子供を、クラブ例会や行事に少なくとも5回は伴うよう勧めます。
- ◎ 非ロータリアン家族会員（配偶者、成人した子供、両親、未亡人、妻を亡くした男性など）を歓迎し、奉仕および親睦活動を通してロータリー家族に加えます。
- ◎ 家族月間（12月）の間、ロータリアンの家族ならびにクラブの成功に対する彼らの貢献の重要性を認証します。
- ◎ 100周年の活動を推進する100周年委員会とクラブの歴史家を任命し、また一度例会で発表できるようクラブ史を作成し、更新します。
- ◎ あなたのクラブに入会するよう、少なくとも1名のロータリー財団学友を勧誘します。
- ◎ クラブ会員を4大奉仕部門賞で表彰します。
- ◎ クラブ奉仕やロータリー家族を支援する、新しいプロジェクトを開発します。

あなたの職場で、ロータリーを祝おう。

- ◎ あなたのクラブの各会員に、国際ロータリーおよびクラブの活動に関する情報を職場や提携する専門職業団体と共有するよう要請します。
- ◎ 新会員の職場で、1回または複数回、クラブ例会を開催します。
- ◎ 職場での倫理と4つのテストの適用に関する

フォーラムを開くか、またはすべての新クラブ会員にロータリアンの職業宣言（200—JA）の写しを配布します。

- ◎ あなたのクラブの各会員に、若い人の良き指導者となるよう要請します。
- ◎ ロータリアンが若い人々を職場に連れて行き、職業の機会について紹介するための日を後援します。
- ◎ 障害をもつ人々のための職業開発プロジェクトを後援するか、または参加します。
- ◎ 職場に復帰する人々のための技能維持プロジェクトを後援するか、もしくは参加します。
- ◎ 職業奉仕月間（10月）中に特別職業奉仕活動を組織するか、またはクラブ会員を1名ロータリー・ボランティアとして登録します。
- ◎ 地域社会のメンバーを1名、職業上の優れた業績に対するロータリー100周年記念奉仕賞の候補者として地区ガバナーに推薦します。
- ◎ 識字率と計算能力を向上するためのプロジェクトを職場で開発します。
- ◎ 職業または専門技能を向上させるためのキャンペーンを職場で開発します。
- ◎ 職業奉仕を支援する新しいプロジェクトを開発し、着手します。

あなたの地域社会でロータリーを祝おう。

- ◎ ロータリーの100周年祝賀活動に、積極的に参加します。
- ◎ 100周年社会奉仕活動を実施します。
- ◎ 世界ポリオ撲滅推進計画におけるロータリーの役割を広報してもらうために、地元報道機関に連絡を取ります。
- ◎ 地域社会の需要の査定を行い、本年度、新しい奉仕活動を1つ設けます。
- ◎ かなりの人数のクラブ会員とそのパートナーが、確実に新しい奉仕プロジェクトに参加するようにします。
- ◎ 地域社会で実施中の水プロジェクト（例えば、水資源、水保全、安全な飲み水など）に参加します。
- ◎ 平和な都市づくりや紛争解決を推進するために立案されたプロジェクトを後援するか、



もしくは参加します。

- ◎ 少女と女性の教育に重点を置いたプロジェクト、もしくは識字・計算能力向上プロジェクトを提唱、または参加します。
- ◎ 保健に関する懸念事項に対処する、保健問題に対する認識を高めるためのキャンペーンやプロジェクトを後援するか、もしくは参加します。
- ◎ 児童虐待、浮浪児や家庭内暴力の問題に対処するプロジェクトを後援するか、もしくは参加します。
- ◎ インターアクト・クラブ、ローターアクト・クラブ、またはロータリー地域社会共同隊を後援します。
- ◎ ロータリー青少年指導力養成プログラム (RYLA) 関連の行事を実施します。

私たちの世界で、ロータリーを祝おう。

- ◎ 最低1つのポリオ・プラスやポリオ・プラス・パートナー・プロジェクトに参加します。
- ◎ 「毎年、すべてのロータリアンが」の目標である、1人当たり米貨100ドルもしくはそれ以上の年次プログラム基金への寄付を達成します。
- ◎ 新しい遺贈の誓約を少なくとも2つ確保して、恒久基金推進計画を支援します。
- ◎ 100周年双子クラブ・プログラムに参加します。
- ◎ 100周年記念研究グループ交換 (GSE) チームを後援します。
- ◎ あなたのクラブから100周年ロータリー・ボランティアを派遣して、ロータリー財団の個人向け補助金プログラムに参加します。
- ◎ 青少年交換学生を派遣または受入れたり、ロータリー友情交換を実施します。
- ◎ 少なくとも1つのロータリー財団教育プログラム補助金を得るために、地区レベルで競う資格のある候補者 (国際親善奨学生、ロータリー世界平和奨学生、研究グループ交換チーム・メンバーもしくはリーダー、大学教員のための補助金参加者) を見定めます。
- ◎ 世界社会奉仕プロジェクト交換一覧表に登録済みのプロジェクトを支援するか、もし

くはプロジェクトを登録します。

- ◎ 他国での水資源、保健、または識字率向上プロジェクトのために、財団マッチング・グラントを申請します。
- ◎ クラブ会長ならびに次期クラブ会長を、2005年シカゴ国際大会に登録します。
- ◎ 国際奉仕を支援する新しいプロジェクトを開発し、着手します。

2004-05年度ローターアクト会長賞

また、ローターアクト・クラブも、ロータリーおよびローターアクトを祝う価値ある奉仕活動を実施したことを表彰されます。

賞の受賞資格を得るには、ローターアクト・クラブは、4大奉仕部門のいずれかで少なくとも合計4つの活動を完了しなければなりません。ただし、4つの活動のうち1つは社会奉仕、またもう1つは国際奉仕に属するものでなければなりません。提唱ロータリー・クラブの会長とRI地区ガバナーは、ローターアクト会長賞申込書に署名し、RI世界本部に2005年4月15日までに提出しなければなりません。



ガバナー就任の挨拶

国際ロータリー第2740地区

ガバナー 栗林英雄（諫早北ロータリークラブ）

国際ロータリー第2740地区ロータリアンの皆様、いよいよ2004～'05年度がスタート致しました。今期ガバナーを務めることになりました栗林英雄です。これから1年間、よろしくお付き合いくださいますようお願い申し上げます。

地区役員の皆様、各クラブの会長さん、各クラブの役員の方々とは、事前に行われました各種研修会ですでお会いしておりますが、一般会員の皆様とはガバナー公式訪問の機会が最も身近に接せられるときです。今からその日を楽しみにしております。

さて、これまで行われた各種研修会で幾度かお話し致しましたように、グレン・E. エステス今年度R I会長から提示されたテーマは「ロータリーを祝おう」です。

ロータリーが創立された1905年から数えて、今年はちょうど百周年を迎える意義ある年に当たります。全世界のロータリアンはこぞってこの百周年を祝おうというのです。過去100年間のロータリーの歩みを振り返り、ロータリーの先人たちが成しとげた数々の業績を讃えるとき、自分もまたその大きな奉仕の輪の中に存在していることを知り、誇りと感動を覚えます。一人のロータリアンとしてこの期にあり、この喜びを共有できますことを幸せに感じない方はいないことと思います。R I会長のこの意思に賛同し、共にロータリーの輝かしい歴史とこれからロータリーが辿る未来の大いなる発展にも心を込めて祝おうではありませんか。

更にR I会長より提案された強化すべき事項として、次の3点があります。財団支援、退会防止、ポリオ撲滅であります。ロータリーが手を貸さねばならない事業は余りにも多く、一クラブでも可能なものから、地区単位で取

り組まねばならないもの、更に国際的な大きなテーマについてはR Iが主導せねば果たせないものまで多岐に亘っています。どれを取りましても先立つ資金が必要な訳でありまして、財団への支援を是非ともお願いいたしたいと思います。その一つの手法として1年間1人のロータリアンで100ドルの拠出額という目標が示されました。

今ロータリーで危惧すべき現象が表れております。それは世界的な傾向としてロータリアンの減少です。各年度のR I会長がこれまでも強調されてきた増強と拡大が次第に限界に達し、新会員の獲得がなかなか望めない状況にあるのです。会員の動向は経済界の好不況と連動している点がありまして、個人の力では如何とも仕難いところがあります。そこで現在会員であるいわばロータリーの大きな財産である会員が退会しないよう、各クラブで知恵をしぼって、退会防止に取り組んで頂きたい。

わが第2740地区ではこの地区の数字を一つの目標に、2,700名を切らぬよう100名の増員（各クラブ1人～2人）を達成して欲しいと思っております。

次に、これは私個人の思想信条に基づくものでありますが、次代を背負う青少年の教育に特に関心を持っていましてスポーツを通して健全な身体と苦しい練習に耐え抜く強い精神力の持主の養成に力を貸しています（栗林スポーツ賞）。従いまして、ロータリーの奉仕の中でも新世代委員会を今年度は復活させたのです。各グループにおける青少年奉仕活動にも力を注いで欲しいと願っております。

アナハイムにおける国際協議会については月信にて報告済みであります。一週間にわたり様々な研修を受けた中で、特に印象深かつ



たのは、ビチャイ・ラタクル元R I会長の基調講演で、その内容は職業奉仕に関するものでした。社会奉仕や国際社会奉仕のごとく具体的に目に見えて脚光を浴びるような奉仕のスタイルにロータリーが変容する中で、実は置き去りにされて来たのが職業奉仕だった様な気が致します。

ロータリーの創立当初、実はロータリークラブ内では会員同士の商取引でお互いに利潤(儲け)を分け合うような互惠主義が主流を占めていました。公然と行われていて相互扶助の団体という姿でありまして、このころまでは地域社会への貢献、奉仕という概念が導入されてはいなかったのです。それがあつた時、クラブ入会を勧誘された一人の人物(ドナルド・カーター)がこの互惠主義を強く非難し、入会を拒否するという事件が生じました。これを機にロータリーに大きな変革が起きました。ロータリー史上、重要な変換点でした。1913年のシカゴクラブの会員名簿には副会長ドナルド・カーターの名前があります。以後ロータリーは単に会員相互の協力にとどまらず、奉仕の理想を掲げる集団となり、100年も続き、120万人の会員拡大発展の基礎が出来たのでした。企業活動は利潤追求で、その

ための様々な方策を講じますが、現代の企業の中には職業倫理を忘れ、己の利益を最優先し、不正をはたらき、消費者を欺いています。ラタクル元会長は米国のエンロンの不正経理を例に挙げられましたが、わが国でも有名な乳製品会社に端を発した様々な不正が発覚した事件、商品のラベルの偽装工作……今日でもなおくすぶり続ける企業の異常な実態を見ると、われわれ企業人、専門職業人は自分の事のように恥ずかしく自責の念にかられるものです。

「利己と利他の調和をはかる」と言われるように、その利潤は適正でなければならず、その行為の根底に、地域社会に利潤の一部を還元するという奉仕の心が組み込まれていることが必要であろうと考えます。

様々な異業種・専門職業人の集まりであるロータリークラブの中で、ロータリーの綱領第2に掲げられる「事業及び専門職業の道徳的水準を高める」という高い精神を再認識しようではありませんか。そして百周年を迎え、新たな100年に向けての第一歩を踏み出すときロータリーの原点を見つめなおし、さあ出発いたしましょう。

2004-2005年度 RI第2740地区ガバナー 栗林 英雄氏 略歴

生年月日	1934年2月9日	
現住所	諫早市原口町689-6	
学歴	早稲田大学商学部卒	
職歴	九州ガス(株)	代表取締役社長
	九州ガス設備(株)	取締役会長
	栗鷹物産(株)	取締役会長
	(株)ランドトラスト	代表取締役
	(株)サンフリース	名誉会長
団体歴	2001年～2002年	長崎県教育委員長
	1997年～	諫早商工会議所会頭
主なロータリー歴		
	1971年	諫早北ロータリークラブ入会
	1971年	クラブ幹事
	1980年	クラブ会長
	1983年	第2740地区 第五分区代理
	1984年	第2740地区 職業奉仕委員長
	1988年	ポール・ハリス・フェロー(6回)
	1992年	米山功労者(8回)
	1999年	ベネファクター



栗林ガバナーの地区運営方針

2004～2005年度 R I 会長グレン・エステス氏は、百周年を迎えるロータリーを記念して「ロータリーを祝おう」というテーマを示されました。過去一世紀に亘るロータリーの成功と成長を祝い、さらに我々の奉仕への献身の心と、ロータリアン同士の心温まる親睦を祝おうというものであります。それと同時に、現存する多くの困難に対して、新たな危機感を持って挑戦しようという意味を持つものであると考えます。現在の世界のさまざまな愁うべき状況を我々はよく認識しています。我々の百周年の経験の重みを生かしてそのようなものにチャレンジして超我的奉仕を据えていくという意味でのロータリーを考えなければなりません。我々のクラブで、職場で、地域社会で、世界で「ロータリーを祝おう」というエステス会長の真の意を体してこの年を進めたいと願います。

そこで、百周年にふさわしい第2740地区の目標を次のように定めました。

1. 100人増強（退会防止）

地区における会員数2,800名の回復を目指します。（1クラブあたり1名～2名増員）

2. ① 1人あたり100ドル Every year, Every Rotarian, \$100+

一人100ドルという目標額は一日あたり約33円にあたります。

② 米山記念奨学会年間寄付目標 3,500万円

③ ベネファクター増加目標 58名

- ◎ 百周年を迎える年に100%ポリオ根絶をめざしています
- ◎ 10億人の安全な水を得られない人々のために
- ◎ 20億人の読み書きのできない人々のために

3. 100周年記念 G S E プログラムを成功させよう

ミシガン州（米国）とオンタリオ州（カナダ）にまたがる R I 6290地区のロータリアンと同地区からの若い職業人を当2740地区に受け入れて、約1カ月の研究交換プログラムを実施します。事業及び専門職経験の浅い25～40歳までの若い人達に文化と職業の交流の機会を与えるプログラムです。

4. 家族を大切に

ロータリー家族としての若者の育成に重きをおきたいと考え、新世代委員会を新設しました。

5. 原点回帰

職業奉仕という領域にこそ、ロータリー奉仕の本質があります。私は270地区から274地区に分離した初代職業奉仕委員長でした。職業奉仕こそ、ロータリーの生命であり、ロータリーが他の奉仕団体と一線を画する根拠だという思いを強くもっております。私は、只今の世界は、いつの時代にも増して、ロータリーの職業奉仕を必要としているのではないかと思うのです。ロータリーこそは、最大最高の異業種交流の場です。そこの中から親睦の輪をひろげ、奉仕できる喜びを共有しましょう。4人の語らいから始まったこのロータリークラブに思いをはせ、この出発点にたちもどるという意味で「原点回帰」の年とし、ロータリアンであることの喜びを「祝おう」ではありませんか。



新ガバナーへのメッセージ

R I 第2740地区

2003-04年度 ガバナー 安部 直 樹

一昨年10月中旬、私がガバナーエレクトを引き受けて、早いもので20カ月が過ぎました。過ぎてしまえばあっという間の出来事でした。10月中旬に次年度のガバナーが決まるということは、日本では勿論、世界でももっとも遅いガバナーエレクトでありました。

第2740地区の随分多くの方々がガバナー就任の依頼をされましたが、諸々の都合でお断りになったということでした。しかし、私がガバナーエレクトを引き受けた時にはもう2004-2005年度のガバナーは決まっていたのです。その人こそ栗林英雄ガバナーであります。

最初に栗林英雄ガバナーとお会いしたとき、お顔は精悍で色が黒く、迫力のある方だなあという印象を持ちました。九州ガスの社長でもあり、久々に実業界の代表者のガバナー就任です。歴代ガバナーとして医師の方々が数年、そして私が教育界ということで、経営者やビジネスマンが多いロータリー会員の皆さんにとって待望久しい経営者の心がわかるガバナーの出現なのであります。その後、度々お話をしていく中で栗林ガバナーの人間的魅力に触れることができました。泰然自若とした中に繊細な優しさを秘められている、まさに仕事もロータリーもある面で「天網恢恢疎にして漏らさず」緻密さを備えながら、他面大人（だいじん）の風格、ロータリーを世界的大局から捉えることのできる人であります。大変お忙しい身であるにもかかわらず、本年度は全てのクラブを一クラブずつ公式訪問されるという、その方が一人ひとりの会員の顔がわかりますと明快に言っただけでなく、挨拶では肩を張るわけでもなく、ゆとりとりラックスの中にごく自然体でお話をされます。もうすっかりガバナーとしての余裕が感じられ、私の一年前の緊張感に恥じるばかりであ

ります。

私がガバナーとして任期を終え、それなりの充実感を得ることができますのは、栗林ガバナーという最適な人物にバトンを渡すことができたからであります。ロータリーは一面でトップダウンです。ガバナーは地区の顔であり、象徴であり、R I 会長の伝達者でもあります。他面、58クラブの会長から支えられる立場にもあり、各クラブ各会員の活力と意欲を鼓舞する役割を持たねばなりません。「私はおおざっぱだから、地区幹事やガバナー、補佐や地区委員長に担がれているにすぎません。」と言いながら、一方では地区協議会やPETSを栗林ガバナーの理念で運営されている、この幅広い哲学が栗林ガバナーの人柄でもあるのでしょう。一年間、栗林ガバナーに率いられる第2740地区がどのように躍進し充実していくか楽しみであります。

杉原地区幹事をはじめ副幹事、更にガバナー補佐の皆さん、地区委員長、委員の皆さん、どうぞ栗林ガバナーを支えて下さい。各クラブの会長、幹事の皆さん、素晴らしいガバナーです。どうぞ信頼しガバナーの理念を共有して行って下さい。

栗林ガバナーには一年という長丁場、健康にくれぐれもご留意なされ、職責を全うされますことを心より祈っております。



直前ガバナーへのメッセージ

R I 第2740地区

2004-05年度 ガバナー 栗林 英雄

この度は小生に対し懇切丁寧なるお励ましのメッセージを戴き大変感動致しております。

パストガバナーの席のすわり心地はいかがでいらっしゃいますか？一昨年の秋、急遽ガバナーエレクトをお引き受けになり、ガバナー就任まで本当に大変であったろうと思い、心よりねぎらいの気持ちを表します。短期間にも拘らず、エレクトとしての大きな行事を次々に立派に成功されました事に深甚なる敬意を表します。

私は安部ガバナーのお話を聞く度に、奥の深い哲学に基づいたお話をされるのに接し己と比較し只々、恥じ入るばかりであります。

逸見ガバナーの分区代理をし、地区委員長を二期務めさせて頂きこれでロータリーの仕事は卒業。後は職業に基づく奉仕の心を失わずロータリアンとしてクラブ会員或いは他クラブのロータリアンと楽しく過ごす予定でございました。が、数年前より第8グループよりガバナー選出の話が湧き上がり、それでも他人事としてのんびり致しておりましたが、突然の如く吾が身にそれが振りかかって参りました。勿論、驚きもし、また、その器でもない事は十分に自覚しておりましたのでお断りし続けておりましたが、ご承知のように諸般の事情からとうとう引き受けざるを得なくなりエレクトとしての勉強をはじめました。

東京で数回、延べ10日間のガバナーエレクト及びガバナーとしての講習を受けましたが、正直申しましてその責務の重さを感じてあまり積極的な気持ちにはなれませんでした。ところが、アナハイムへ行き各国の方々と話をし、また途上国のスライドを見せて貰う内に日本人として、ロータリアンとして、やらねばならぬ事を沢山学びましたし、また己自身にもその意欲が湧いてまいりました。アナハイムでは、余りにも恵まれすぎたわが国日本、そして他に対する思いやりの気持ちの薄い民族である事を思い知らされました。これからの私のガバナーとしての責務は、私のモットーである「汝の隣人を愛せよ」と、R Iのテーマ

である「ロータリーを祝おう」のターゲットに向って第2740地区の58クラブの会員の皆様と共に邁進することであろうかと考えます。

安部ガバナーからご覧になる私は粗野でデリケートな面が足りないかも知れません。

R Iの諸規定は最低限守りながら私は私の個性を生かし、ロータリーを楽しんでいきたいと思っております。そして私も安部ガバナーに見習い、周囲を暖かにする雰囲気醸し出せるよう務めていきますので、これからも色々ご指導いただきますようお願い申し上げます。安部ガバナーと同じく私も各クラブに知人友人がおりますので、今から公式訪問を楽しみにしております。これまで、ガバナーエレクトとしてまがりなりにもやってこられたのは、杉原地区幹事を始めスタッフの努力の賜であり私はその点恵まれており、またその事に心から感謝しております。私も皆様のご推挙を頂き第2740地区のガバナーとして選ばれた以上は各クラブの皆様の少しでもお役に立つ事が出来れば幸せだなと思っております。安部ガバナーの時と違って、もうすでに唐津より本城ガバナーノミニーが選出され私は大層心強く嬉しく思っております。遅まきながらもようやくガバナーとしての責任と自覚も生まれてきました。後はつつがなく大任をはたせればと思っております。どうぞ新パストガバナーの安部氏には、後輩を指導していかねばならないというお気持ちをもってご支援くださいますようお願い致します。

話は異なりますが、先日大阪での国際大会に於いて緒方貞子女史の講演を聞かせて頂き大変感銘を受けました。私共は彼女の足元にも及びませんが、彼女の奉仕の心に学びつつ日々を過ごして行かねばならぬという思いが致しました。

ガバナーとして大変ご苦労されましたこの一年間お疲れ様でございました。どうぞお体には充分お気を付けられお過ごし頂きます事を祈念致します。



第1グループ
ガバナー補佐

山 本 光 雄
(牛津RC)

2004-2005年度第1グループガバナー補佐を先輩がお受けになりましたが、病氣療養のためご辞退され、栗林英雄ガバナー、第1グループ前ガバナー補佐・川原田元八様に変えて迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。私が地区協議会に代理出席した事もあり、また、クラブ内の事情もありましてガバナー補佐をお受けせざる得なくなりました。ロータリーの学識についてはまことに浅学、非力な私ですが、お引受けしました以上第1グループの各会長、幹事様のご協力を頂き精一杯努める所存であります。

さて、ロータリーは奉仕と親睦、出席だと思えます。今日の経済状況の影響もあり出席低下が気になります。ロータリーは出席に始まって出席に終わる。そして奉仕につながると申します。出席の低下はクラブ活動が停滞するように思えます。ロータリーの原点に戻すため親睦と例会が楽しくする策を講じて出席を高めたいものです。

R I テーマ「ロータリーを祝おう」グレン E. エステス R I 会長の強調事項、100周年の三大目標と栗林英雄ガバナー第2740地区の100周年目標に沿うべく各クラブの事情を踏まえ特色を生かした自主性のある豊かな奉仕活動をなされ100周年を祝いましょう。私はガバナーと各クラブとの連絡調整役にあたりますので、会員の皆様のご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

略 歴

生年月日 1933年7月17日
職 業 有限会社 天山環境開発工業
ロータリー歴 1981年5月4日 入会
1991～1992年度 会長
1987～1988年度 幹事



第2グループ
ガバナー補佐

吉 田 一 男
(佐賀南RC)

国際ロータリー第2740地区での次年度のガバナー補佐打ち合わせ会は、早い時期から、ガバナー補佐の任務についての研修や次年度の地区運営の基本方針が示され、又、地区チーム研修セミナー・P E T S の研修セミナーでは2004～2005年のR I 会長グレン・エステス氏の、年度のテーマと強調事項、そして第2740地区栗林ガバナーからは三大努力目標が提示されました。

さて、R I 会長グレン・エステス氏の2004～2005年度のテーマはCELEBRATE ROTARY (ロータリーを祝おう)であります。

すべてのロータリークラブには、地域社会に貢献してきた豊かな歴史があり、ロータリー100周年を祝う理由がありますと述べられて、四大奉仕部門の豊かな歴史を称えて有意義な100周年を迎えましょうと提唱されております。

そして第2740地区の栗林ガバナーも、この100周年にふさわしい活気のある、生き生きとした2740地区にとの強い願いが込められておりまして、2004～2005年度の目標は、会員増強・財団支援・ポリオプラスにおける前進という三つの視点が示されました。

又、各クラブの年度の会長・委員長になられた方々の、心新たにクラブ運営については意欲を奮い立たせておられることと思えます。

このような輝かしい年度のガバナー補佐の役がロータリー歴も短く知識も浅い私には、とても不安であります。地区ガバナー補佐としての役割を確かめながら、担当グループの中でのガバナー補佐としての業務遂行には、各クラブ会長、幹事、地区委員の皆様と密接な連携を保ちながら各クラブの目的、目標についての理解を深めて微力ながら協力していきたいと思っております。

各クラブの皆様とのコミュニケーションを密にして、この一年を勤めて行きたいと思っておりますので、ご理解とご協力とご指導の程をよろしくお願い申し上げます。

略 歴

生年月日 1930年3月11日
職 業 (有)佐賀教育心理センター
家族構成 4名
ロータリー歴 1991年7月2日 入会
1999～2000年度 会長



第3グループ
ガバナー補佐

高原 武彦
(有田 R C)

今度第3グループガバナー補佐のお役目を頂戴いたし戸惑いを感じながら、研修会に出席して参りました。研修会会場になっておりましたホテルグランドパレスから見える本明川の流は大変懐かしく感じられました。私事で申し訳ありませんが、小学校5年生から少年時代を青春時代を諫早の山や川と諫早の自然に親しんでいた時代がありました。学校の帰りによく泳いでいた山下淵の風景や水害で変わり果てた本明川の悲しい思い出等有明海に灌ぐ本明川の流の姿を見るとき、過ぎ去った時代があったことを感じました。

ロータリーとの関わりが、今までのあまり振り返ることがなかった諫早時代の出来事を川の流れと共に思い出させていただいたことに感謝しております。

諫早から初めてのガバナー、栗林ガバナーの年度に補佐役を仰せつかったのは何か良い巡り合わせだろうと期待しております。

日ごろより不勉強でしたので、この機会に七クラブでの会員の皆様や会長、幹事さんの出会いと話し合いを通して、又、栗林ガバナー並びに地区委員の方々のお知恵を拝借しながら勉強させていただき、第3グループの活性化と発展に微力ながら貢献したいと考えております。

今年はロータリー百周年の記念の年度です。皆様と共に百周年を祝ってロータリーを楽しみ、その責務を果たすことが出来ますように願っています。

御指導と御協力をお願い申し上げます。

略 歴

生年月日 1935年7月29日
職 業 医療法人 高原医院 理事長
家族構成 妻 峰子
ロータリー歴 1983年9月 入会
1992～1993年度 会長
地区委員会歴 1996～1997 R財団地区委員
1997～1999 R財団奨学・学友地区委員
1999～2000 R財団地区委員



第4グループ
ガバナー補佐

田代 孝男
(唐津西 R C)

2004～2005年度 第4グループのガバナー補佐として委嘱を受け、役の重さを感じながら種々の勉強会に出席しております。

会員として長く席をおいていると色々な役を受けることになるのですが、これも修業の一環と受け止め、栗林ガバナーをはじめとして諸先輩のご指導と関係各位のご協力を頂きながら、地区の事業と当該クラブの活動運営に微力を尽くしたいと思っております。

さて、本年度のR Iテーマは「ロータリーを祝おう」となっています。創立百周年の歴史の中身をどのように理解して今日のロータリーを意識するのか？色々な捉え方があると思いますが数多くの奉仕活動の成果が、個人から、職場から、地域から、世界へと広がっていった その歴史を祝い、これからのロータリー活動のステップとなって一層の発展を期する年度となるよう示されたものと考えます。

一方 百周年の歴史に「日露戦争」の終結の年でもあることを忘れてはならないと思うのです。当時の社会背景は当然違いながらも、その不況の中にあってシカゴではロータリーの芽が萌え、日本では明治の政変から近代日本への幕開けの節目となり、現代の経済大国へ変身してきました。今日の情勢を鑑みるに、国情は今こそロータリーの心を必要としているのではないのでしょうか。現実に戻ればいろいろ矛盾も感じながらも職業奉仕をベースとして、ロータリーの精神を共有できる仲間を増やす努力が求められています。魅力あるロータリー活動ができるよう各クラブの方々と協力して実効あるクラブ運営の一助になるよう努めたいと思いますので、一年間宜しくお願いします。

略 歴

生年月日 1935年9月25日
職 業 (有)唐津ブロック工業 代表取締役
家族構成 妻、二男二女
ロータリー歴 1978年1月24日 入会
1993～1994年度 会長
地区委員会歴 ロータリー財団委員

第5グループ
ガバナー補佐佐 藤 一 男
(北松浦 R C)

ロータリー入会25年無欠席を目指しているうちに、今年は喜寿となり、来年はロータリー創立100周年です。昨秋第5グループのガバナー補佐に指名され、この大事な節目にやるしかないとお引き受けした次第です。今、その責を果たすことが出来るかどうかと危惧していますが皆様方の御協力をよろしくお願い致します。

私が入会したのは1980年、昭和55年と語呂の良い年でした。私は中小企業の建設業者でロータリーとは縁なき衆生と思っていただけに、入会以来異業種との交流が出来、数多い友人に恵まれたことに感謝しています。そして私を北松浦 R C に推薦してくれた医師の故志方昌隆先生のごことは忘れることが出来ません。先生は物静かに「ロータリーは楽しいですよ」と言われ何時の会でも誰よりも早く例会場に姿を見せ率先して皆出席を示してくれました。

ロータリーの原点を今一度探してみたいと思います。

先輩が教えてくれた出席と親睦は表裏一体であることが判りました。そして真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなの為になるかどうかの四つのテストを今一度吟味して行きたいと思います。

2004-2005年度 R I 会長グレン・エステス氏は、100周年を迎えるロータリーを記念してテーマを示されました。あなたのクラブで、あなたの職場で、あなたの地域社会で、私たちの世界で「ロータリーを祝おう」と。又、栗林英雄ガバナーは「原点回帰」の年でありたいと述べております。100周年の節目です。皆さんの手に手、輪に輪になってロータリーを祝おうではありませんか。どうか今年一年よろしくご指導の程お願いいたします。

略 歴

生年月日 1927年 3 月21日
職 業 三国建設株式会社 代表取締役会長
ロータリー歴 1980年 1 月 入会
1991～1992年度 会長

第6グループ
ガバナー補佐相 良 紘一郎
(佐世保南 R C)

意外でありました。本年度第6グループのガバナー補佐を仰せつかりました。私にとって大変役に勝った大役でありますし、務まるだろうかと、ロータリー20年余りのときの流れに唯々流されて来た自分を反省しているところです。

昨年末にガバナー補佐の委嘱状を戴いてから、地区チーム研修セミナー・P E T S・地区協議会と、厳しいことに時は容赦なく過ぎていきます。私は、及ばずながら精一杯、頑張っていく覚悟をしておるところです。

本年度は、I M は然ることながら、G S E の受け入れ、R Y L A (第5・第6グループへの依頼)等々山積致しております。第5・第6グループお互いに連携し協力しあって参りたいと思います。クラブ会長を始め会員の皆様の参画とご協力をお願い致します。

R I 会長のグレン E. エステス Sr. 会長は『ロータリーを祝おう』100年のあゆみをテーマに掲げられました。私たち会員は、これまでに成長し大きくなったロータリーを祝い、記念すべき100年の時に立って、次の時代へのより良きものをのこしていければと思います。栗林ガバナーのご指導を頂きながらグループの皆様との対話を深め友情の輪を広げ、栗林ガバナーと皆様との橋渡しの役として情報の提供を親睦に心がけ努めて参りたいと思います。

グループの皆様の限りないご指導とご鞭撻を切にお願い申し上げます。

略 歴

生年月日 1941年 1 月15日
職 業 西部産業株式会社 代表取締役
家族構成 妻・靖子 長女・直子
長男・圭一郎
ロータリー歴 1982年11月 入会
2000年～01年度 会長
地区委員会歴 1994年～95年 地区副幹事
1997年～98年 地区副幹事



第7グループ
ガバナー補佐

木 下 一 功
(大村RC)

100周年という記念すべき年に、第7グループのガバナー補佐の指名を受けましたことを大変誇りに思いますと共に、責任の重大さを痛感しております。

大村ロータリークラブに29歳で入会して以来36年、会長を辞してから20年、ロータリアンとしての張り詰めた気持ちも薄らぎ、だんだんとマンネリ化していく頃の私に突然ガバナー補佐の指名があり、強烈な緊張感が駆け巡りました。

社会的地位も、能力も乏しい私がガバナー補佐という大役を本当にお受けしていいのだろうか、思い悩みましたが、「奉仕哲学」に魅せられて人生の半分以上はロータリークラブに在籍してお世話になり、今の自分があることを考えると、その恩に報いることが天命であると思い引き受けることにしました。

ガバナー補佐としての役割と責任を果たすために、私が担当するクラブの運営管理に関して、栗林ガバナーを支援することであろうと思います。そのために、クラブ及び地区の指導者と協力し合い、連絡を取り合って意思の疎通をはかり、グループの向上発展のためにこれまでのロータリーの経験を生かして努力したいと思います。

そして「奉仕の理想」をどう実践していくかについて、切磋琢磨してロータリーの100周年を祝う楽しい1年間でありたいと願っています。

ロータリアンの皆様のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

略 歴

生年月日 1938年7月7日
職 業 長崎自動車検査場ドライブステーション
同社代表社員
家族構成 妻 典子
ロータリー歴 1967年5月 入会
1971～72年度 幹事
1979～80年度 幹事
1984～85年度 会長
地区委員会歴 1990～92年 第274地区情報・広報委員
1992～93年 第274地区情報・広報委員長
1994～95年 第2740地区副幹事
2000～01年 第2740地区米山記念奨学委員
ポール・ハリスフェロー 米山功労者



第8グループ
ガバナー補佐

早 田 和 彦
(諫早西RC)

ロータリー100周年という輝かしい年度に、ガバナー補佐という大役をいただき、その職務の重責と同時に喜びも感じております。

Celebrate Rotary というRIの標語のもと、この一年間決して後悔がないように、思いのこすことがないように、「充実して活動を」と自分にカツ！を入れております。

とはいえ、浅学な私ですので、第8グループ全会員さんのご協力をいただかなければ、職務の全うはできません。ここに皆様の御協力、御指導をよろしくお願いいたします。

活気あふれんばかりの栗林ガバナーの方針に基づき、皆さんの良きパイプ役に徹していくつもりです。

よろしくお願いいたします。

略 歴

生年月日 1940年12月30日
職 業 不動産業
家族構成 妻、長女
ロータリー歴 1990年5月 入会
1999～2000年度 会長
地区委員会歴 2000年～2003年
国際青少年交換委員会

第9グループ
ガバナー補佐砂 田 義 博
(長崎琴海RC)

今年はロータリー創立100周年にあたりま
す。グレン・E・エステスRI会長は100周
年に当たる2004～2005年度に私たちロータ
リアンに向かって、一緒に「ロータリーを祝
おう」とお願いしています。そして「あなたの
クラブで・あなたの職場で・あなたの地域
社会で・私たちの世界で…ロータリーを祝
おう」と呼びかけています。さらに100周年の三
大目標として「会員増強」「財団支援」「ポ
リオプラスにおける前進」を掲げています。

第2740地区の百周年目標として栗林ガバナー
は、「100人増強(退会防止)・各クラブ1名～
2名増強」「百周年記念GSEプログラムを
成功させよう」「100ドル/1人の財団支援」
「クラブまたはグループ単位の百周年記念
事業」「家族を大切に」の五大目標を掲げら
れました。

以上のごとくRI会長、栗林ガバナーのか
かげられた目標達成のため精一杯の努力をす
る所存で御座います。それにしても大変な年
度にガバナー補佐の大役をお引きうけしたも
のだと改めて責任の重大さを痛感しています。
ロータリーは出席して皆さんと仲良くするこ
とがロータリーなのだと思います。私が
補佐を拝命してからは手続要覧を始めロータ
リーの友やガバナー月信を丁寧に読んでい
るのです。そんな自分を振り返りながら、ク
ラブ創立時の会長を引き受けたあの時を思い
出していました。あの時以来の身の引き締ま
るような緊張を感じている自分に気が付きまし
た。

ガバナー補佐の役割に、【補佐はリエ
ゾン(連絡役)として、地区ガバナーの目、耳、
口、及び両手となって地区指導者を助力する
責任がある。又、担当区域内のクラブを助力
する責任がある】と記載されています。自分
でできる大役ができるだろうかと思ひ悩んで
いたとき、私がロータリーに入った当初、何
をするべきか迷っているのを見て先輩ロータ
リアンが云った「ロータリーは人それぞれの
人間性を高める生き方をするとこころだから頑
張れよ」と云われたのを思い出しました。ガ
バナー補佐を務めることも自分自身の人生の
修行と心得て、一旦お引き受けしたからには、
グループの各クラブ会長さんをはじめ会員の
皆さんのご協力を賜りながら、お役を全うし
なければならぬと心に念じているところ
で御座います。

昨年のロータリーの友8月号、一昨年のロー
タリーの友9月号にロータリーの基本と題し
て、全く同じ内容で数ページにわたり記載さ
れていました。私たちロータリアンに何をと
いかけているのか私なりに考えてみました。
おそらく、100周年を目前にして、もう一度
ロータリーの原点に帰せよと言うことでは
ないかと考え、これから一年間のガバナー
補佐のお役目をロータリーの基本に徹した私
の一年間にするべく努力してみたいと思ひ
ますので、会員の皆さんのご支援を宜しく
お願い申し上げます。

略 歴

生年月日 1930年3月17日
職 業 九州農産物流通研究所 代表
家族構成 私・孫の宇宙(タカミチ)の二人です。
ロータリー歴 1992年3月12日 入会 チャーターメンバー
1991～1992年度 創立時 会長
1992～1993年度 会長

第10グループ
ガバナー補佐佐々木 達 也
(長崎出島RC)

「ノーと言うなよ、ロータリアン」、所属す
る長崎出島ロータリークラブ設立時、特別代
表であった、福井順パストガバナーからお話
いただいたお言葉の中で、最も印象的な言葉
の一つでありました。ロータリークラブにつ
いて、なにも知らなかった私にとりましては、
ある意味、一言でロータリーのすべてを言い
表した言葉のように感じられたのです。その
後、まだまだ短い時間ではありますが、その
言葉を常に意識しながらロータリー活動を続
けてまいりました。また、クラブ会長時も再
三この言葉を引き合いに出し、会員の皆様が
クラブ人事を断れないような「脅しの一言」
として使わせていただきました。しかしなが
ら、昨年の秋、私に「ガバナー補佐」のお話
をいただきました時は、恐縮ながら、大恩あ
る福井パストガバナーのお言葉が、どこかに
吹き飛んでしまい、「ノー」と三度ご辞退申
し上げたのですが、お許しただけず、この
たび拝命させていただくこととなりました。
「ガバナー補佐」とは、栗林ガバナーとクラ
ブを結ぶ架け橋のような役割であると認識し
ております。そのような大役がはたしてロー
タリー経験も浅い私のような若輩に勤まるの
か、最も心配しているのは私自身であります。
「ガバナー補佐研修会」「地区リーダー研修会」
「地区協議会」と勉強会に参加するたびに、
栗林ガバナーはもとより、本年度ガバナー事
務所の皆様、地区委員長の皆様、そして、光
栄にもご一緒させていただく9名のガバナー
補佐の皆様等々、すべての先輩ロータリアン
の真摯なお姿に触れさせていただく度に、
「案ずる暇があったら勉強しろ!!」と自分に
言い聞かせております。浅学非才のロータ
リアンではありますが、各クラブのお役に立
てるように努力いたします。お力添えを心より
お願い申し上げます。

略 歴

生年月日 1956年3月16日
職 業 株式会社 東美
ロータリー歴 1998年9月4日 入会 チャーターメンバー
2000～2001年度 会長



R I 2740地区 2004-2005年度 ガバナー公式訪問・クラブ協議会日程表

	ク ラ ブ 名	クラブ協議会	公 式 訪 問
第1グループ	佐 賀	9月2日(木)	9月9日(木) 夜
	小 城	9月8日(木)	9月15日(木) 夜
	牛 津	7月23日(金)	7月30日(金) 夜
	多 久	7月29日(木)	8月5日(木)
	佐 賀 大 和	8月3日(火)	8月24日(火) 夜
第2グループ	佐 賀 西	7月5日(月)	7月26日(月) 夜
	佐 賀 北	7月21日(木)	7月28日(木) 夜
	佐 賀 南	9月14日(火)	9月21日(火) 夜
	神 埼	7月27日(火)	8月3日(火) 夜
	佐 賀 空 港	7月7日(水)	7月28日(水)
第3グループ	有 田	8月3日(火)	8月17日(火) 夜
	武 雄	7月12日(月)	7月26日(月)
	鹿 島	9月21日(火)	9月28日(火)
	嬉 野	7月23日(金)	7月30日(金)
	大 町	8月5日(木)	8月12日(木)
	白 石	8月18日(水)	8月25日(水)
	太 良	7月29日(木)	8月5日(木) 夜
第4グループ	唐 津	9月14日(火)	9月21日(火)
	伊 万 里	7月14日(水)	7月21日(水)
	唐 津 東	7月15日(木)	7月22日(木)
	唐 津 西	8月18日(水)	8月25日(水) 夜
	伊 万 里 西	8月19日(木)	8月26日(木)
	唐 津 中 央	9月10日(金)	9月17日(金) 夜
第5グループ	佐 世 保	8月25日(水)	9月1日(水)
	平 戸	8月26日(木)	9月2日(木)
	佐 世 保 西	7月27日(火)	8月3日(火)
	北 松 浦	8月17日(火)	8月24日(火)
	松 浦	9月10日(金)	9月17日(金)
	生 月	8月18日(水)	9月2日(木) 夜

	ク ラ ブ 名	クラブ協議会	公 式 訪 問
第6グループ	佐 世 保 南	8月6日(金)	8月20日(金)
	佐 世 保 東	9月2日(木)	9月16日(木)
	佐 世 保 北	8月2日(月)	8月9日(月) 夜
	佐 世 保 中 央	9月9日(木)	9月30日(木)
	佐 世 保 東 南	9月1日(水)	9月8日(水)
	ハウステンボス 佐 世 保	9月7日(火)	9月14日(火)
第7グループ	大 村	8月24日(火)	8月31日(火) 夜
	島 原	7月13日(火)	7月20日(火)
	雲 仙	7月31日(土)	8月7日(土)
	大 村 北	9月1日(水)	9月8日(水) 夜
	島 原 南	7月14日(水)	7月20日(火) 夜
	大 村 東	8月23日(月)	8月30日(月) 夜
第8グループ	諫 早	8月20日(金)	8月27日(金)
	諫 早 北	9月16日(木)	9月30日(木) 夜
	諫 早 西	8月4日(水)	8月18日(水)
	諫 早 多 良 見	8月24日(火)	8月31日(火)
	諫 早 南	8月2日(月)	8月9日(月)
第9グループ	長 崎	7月22日(木)	7月29日(木)
	福 江	7月16日(金)	7月23日(金)
	長 崎 北 東	9月15日(水)	9月22日(水)
	福 江 中 央	7月13日(火)	7月23日(金) 夜
	長 崎 西	8月3日(火)	8月10日(火)
	長 崎 琴 海	8月5日(木)	8月19日(木)
第10グループ	長 崎 北	8月16日(月)	8月23日(月)
	長 崎 南	7月28日(水)	8月4日(水)
	長 崎 東	7月30日(金)	8月6日(金)
	東 長 崎	7月27日(火)	9月7日(火)
	長 崎 中 央	8月2日(月)	8月30日(月)
	長 崎 出 島	8月27日(金)	9月3日(金)



R I 2740地区 2004－2005年度 地区主要行事予定表

年月	強調月間	ガバナー事務所	地区委員会
2004 7	識 字 率 向 上 月 間	17日 第1回ガバナー補佐会議 24日 第1回諮問委員会	10日 G S E 委員会 11日 米山記念奨学委員会セミナー 12日 I A 前期指導者 講習会 18日 国際青少年交換委員会派遣学生選考会 25日 R財団奨学生研修会
8	会 員 増 強 拡 大 月 間	8日 ロータリー財団地域セミナー（東京）	7日 G S E 委員会 9～12日 国際青少年交換留学生オリエンテーション 21～22日 I A C 年次大会（大村）
9	新 世 代 月 間		4日 職業奉仕セミナー 11日 G S E 委員会 12日 米山記念奨学生の集い
10	職 業 奉 仕 米 山 月 間	9日 第2回ガバナー補佐会議	28日 G S E 歓迎会
11	R 財 団 月 間	5～7日 第2740地区 地区大会 13日 第2回諮問委員会 25～28日 ロータリー財団地域セミナー ロータリーゾーン研究会 (広島)	19日 G S E 歓送会
12			5日 R財団奨学生研修会



年月	強調月間	ガバナー事務所	地区委員会
2005 1	R 理 解 推 進 月 間	22日 第3回ガバナー補佐会議 29日 第3回諮問委員会	15日 米山記念奨学生新年の集い
2	世 界 理 解 月 間		6日 米山記念奨学生選考会
3			6日 米山記念奨学生終了式・歓送会
4	R 雑 誌 月 間	29～30日 R I 会長主催祝賀会	10日 R財団奨学生壮行会
5		21日 第4回諮問委員会	14日 米山記念奨学生オリエンテーション
6	親 睦 活 動 月 間	11日 第4回ガバナー補佐会議 19～20日 国際大会（シカゴ）	4～5日 ローターアクト年次大会 12日 R財団奨学生選考会



報告のしおり

報告の種類	報告期日	期 限	摘 要
半期報告	前期 04年 7 月 1 日 後期 05年 1 月 1 日	R I 事務所から送付された用紙を使用	R I 日本事務局奉仕室
次年度会長・幹事 決定報告 (公式名簿掲載資料)	04年12月31日	R I 事務所から送付された用紙を使用	R I 日本事務局奉仕室 ガバナー事務所 ガバナーエレクト事務所
次年度クラブ事務所 通知 (変更の場合)	05年 4 月末日	書式自由	R I 日本事務局奉仕室 ガバナーエレクト事務所 ロータリーの友事務所
会員の入会・退会・ 変更	都度速やかに	日本事務局 所定の用紙を使用	R I 日本事務局奉仕室 ガバナー事務所
会長・幹事変更、 例会日時・場所等	都度速やかに	書式自由	R I 日本事務局奉仕室 ガバナーエレクト事務所 ロータリーの友事務所
クラブ月報Ⅰ	毎月 8 日	所定の用紙	ガバナー事務所
クラブ月報Ⅱ	毎月16日	所定の用紙	ガバナー事務所
国際大会信任状	04年 4 月末日	R I 事務所から送付された用紙を使用、 会長、幹事の署名が必要	ガバナー事務所

《報告先》

◇国際ロータリー日本事務局

〒115-0045 東京都北区赤羽2-51-3 NS3ビル1階
 (財団室) Tel. 03-3903-3192
 Fax. 03-3903-3781
 (奉仕室) Tel. 03-3903-3161
 Fax. 03-3903-3781
 (資料室) Tel. 03-3903-3194
 Fax. 03-3903-3781

◇ガバナー事務所

〒854-0016 諫早市高城町5-10-302
 Tel. 0957-35-4890
 Fax. 0957-22-2808

◇ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館8階
 ロータリーの友の会事務所
 Tel. 03-3436-6651
 Fax. 03-3436-5965



送金のしおり

	送金資金の種類	金 額	期 限	振 込 先
人 頭 分 担 金	R I 人頭分担金 前期 04年 7 月 1 日現在会員 後期 05年 1 月 1 日現在会員	(年額 U S \$ 35.00) U S \$ 17.50 U S \$ 17.50 ※注 1	04年 7 月 1 日及び 05年 1 月 1 日の会 員数を基準に 7 日 以内に送金手続き を完了する	三井住友銀行 新宿御苑前支店 (番) 6733244 国際ロータリー 日本事務局 事務局長 大島 四郎
	中途入会会員 R I 人頭分担金 前期 (7 / 2 ~ 9 / 30 入会者) 後期 (1 / 2 ~ 3 / 31 入会者)	U S \$ 8.75 U S \$ 8.75	04年 10 月 1 日 05年 4 月 1 日	
	規定審議会の為の 追加人頭分担金	U S \$ 1.00	04年 7 月 1 日 ※注 2	
	地 区 資 金	年間 6,200円 (半期 3,100円)	04年 7 月 1 日及び 05年 1 月 1 日の会 員数を基準に 7 日 以内に送金手続き を完了する	十八銀行 諫早支店 (番) 294051 国際ロータリー 第2740地区 ガバナー事務所 会計長 池田 光利
	ロータリー文庫協力金	年間 300円 (半期 150円)		
	全国ガバナー会運営費	年間 200円 (半期 100円)		
	G S E 分 担 金	年間 500円 (半期 250円)		
	世界社会奉仕資金	年間 360円 (半期 180円)		
	ガバナー事務所費	年間 3,200円 (半期 1,600円)		
	ガバナー月信購読料	年間 1,900円 (半期 950円)		
寄 付 金	国際青少年交換資金	年間 2,000円 (半期 1,000円)	04年 10 月 1 日	
	小 計	年間 14,660円 (半期 7,330円)		
	地 区 大 会 分 担 金	年間 6,000円	随 時	三井住友銀行 本店営業部 (番) 0968049 国際ロータリー 日本事務局 事務局長 大島 四郎 東京三菱銀行 本店 (番) 1528228 国際ロータリー 日本事務局 大島 四郎
	ロータリー財団寄付金	年次寄付 使途指定寄付 恒久基金寄付		
		税制上の優遇措置扱い寄付	随 時	三井住友銀行 本店営業部 (番) 8719834 国際ロータリー 日本事務局 日本ロータリー 奨学金委員会 所長 大島 四郎
	米 山 記 念 奨 学 会 寄 付 金	普通寄付 金額×会員数 (7月1日、1月1日現在)	04年 7 月 1 日 05年 1 月 1 日	三井住友銀行 京橋支店 (番) 0920373 (財) ロータリー 米山記念奨学会
		特別寄付 米山功労賞 10万円以上 準米山功労法人 5万円以上 35万円未満 米山功労法人 35万円以上	随 時	
そ の 他	ザ・ロータリアン誌購読料	1部・半期分 U S \$ 6.00	04年 7 月 1 日 05年 1 月 1 日	R I 人頭分担金と同じ
	「ロータリーの友」購読料	1部・半期分 1,200円(消費税別)	04年 7 月 1 日 05年 1 月 1 日	三井住友銀行 浜松町支店 (番) 6326314 ロータリーの友事務所
	文 献 資 料 代	表示価格	随 時	

※注 1 規定審議の結果により変更の可能性があります。

※注 2 04年 7 月 1 日の会員数を基準に R I 人頭分担金と同時処理

クラブ会長・幹事名簿

グループ	クラブ名	会長氏名	勤務先電話番号	幹事氏名	勤務先電話番号
第1グループ	佐賀	七田秀徳	0952-31-7311	武富公二	0952-22-3242
	小城	堤謙太	0952-73-2346	北島雅義	0952-72-4396
	牛津	白石公太郎	0952-66-0818	武富浩二	0952-68-2141
	多久	野中保圀	0952-76-2421	福地孝司	0952-74-3111
	佐賀大和	山本和子	0952-62-2498	福島隆暢	0952-51-2323
第2グループ	佐賀西	田中進	0952-34-1500	原田一洋	0952-53-1105
	佐賀北	福岡英信	0952-31-4611	吉田裕一郎	0952-23-3326
	佐賀南	北島恭一	0952-23-4514	秀島宣雄	0952-30-1141
	神埼	辻哲康	0952-44-2103	真島昭人	0952-52-7039
	佐賀空港	江口文明	0952-45-0328	山本秀男	0952-25-3290
第3グループ	有田	中山武夫	0955-42-4348	酒井田正宏	0955-43-2267
	武雄	前田康之	0954-23-2171	花田晴年	0954-22-2623
	鹿島	花島光喜	0954-63-3153	迎雅瑠嗣	0954-63-2411
	嬉野	谷嶋要三郎	0954-43-1869	宮崎保郎	0954-42-2225
	大町	山口康雄	0954-36-2555	山下賢司郎	0952-82-2045
	白石	本告伸好	0952-84-2755	岸川享仙	0952-84-2529
	太良	秀島寛	0954-67-2108	高木茂	0954-67-1688
第4グループ	唐津	宮崎素彦	0955-72-8115	辻幸徳	0955-72-6221
	伊万里	白川十郎	0955-23-5345	松尾通忠	0955-23-6806
	唐津東	丸山茂夫	0955-74-1511	市丸昌哉	0955-74-3638
	唐津西	富田隆明	0955-75-2575	鶴丸進	0955-72-3695
	伊万里西	曾我文雄	0955-22-7141	野田幹雄	0955-22-8361
	唐津中央	深谷誓志	0955-82-3939	北村直樹	0955-73-8883
第5グループ	佐世保	安福鴻之助	0956-22-8787	加納洋二郎	0956-47-2107
	平戸	塩澤恒雄	0950-57-2121	松本芳喜	0950-22-5323
	佐世保西	安東善重	0956-22-8296	巴山昇	0956-24-4630
	北松浦	西田耕也	0956-62-6480	御厨増尚	0956-63-2220
	松浦	青崎伊佐雄	0956-72-0198	岩藤一人	0956-74-0048
	生月	川邊禮子	0950-53-0145	田中明久	0950-20-5377
	佐世保南	前田一彦	0956-39-0011	岡崎敏幸	0956-85-7021
第6グループ	佐世保東	長野公道	0956-59-2311	前田和隆	0956-39-0011
	佐世保北	永田武義	0956-24-0808	越智和博	0956-24-2441
	佐世保中央	竹本慶三	0956-22-8569	指山康二	0956-25-0007
	佐世保東南	高比良直幸	0956-32-3232	藤野雅實	0956-33-5547
	HTB佐世保	川崎伸一	0956-24-7250	政木登	0956-39-2056
	大村	石坂和彦	0957-53-1168	酒井美克	0957-52-2074
第7グループ	島原	渡部哲夫	0957-63-1750	谷川正文	0957-63-2288
	雲仙	本田友良	0957-73-3211	一ノ瀬幸敏	0957-73-3476
	大村北	福谷健吉	0957-52-4455	浦田直彦	0957-52-1601
	島原南	隈部慎吾	0957-82-2006	佐藤英孝	0957-82-5314
	大村東	久富保孝	0957-53-7936	谷野貞則	0957-53-2311
	諫早	山下博之	0957-24-1368	芦塚猛	0957-22-3322
第8グループ	諫早北	森栄一郎	0957-25-2611	木村好孝	0957-22-0512
	諫早西	平武	0957-35-1660	中村正美	0957-23-5255
	諫早多良見	平悦生	0957-26-2414	若杉能將	095-825-2311
	諫早南	岩永則昭	0957-23-5717	黒田充典	0957-52-2529
	長崎	森義則	095-827-1313	中村重敏	095-823-2015
第9グループ	福江	田口功	0959-72-3363	中山勝義	0959-72-2051
	長崎北東	亀田純輔	095-821-7169	浜中洋	095-882-2204
	福江中央	野田直幸	0959-72-2787	宮脇秀展	0959-72-2080
	長崎西	四元永生	095-822-7431	井上司	095-821-7733
	長崎琴海	佐藤豊	095-884-1212	田中一広	095-880-4748
	長崎北	眞子裕史	095-825-1286	松尾正洋	095-827-0075
第10グループ	長崎南	金子叔司	095-824-0510	川崎孝	095-828-1145
	長崎東	宇宿勝博	095-823-7107	城尾忠明	095-823-7185
	東長崎	古賀豊太郎	095-861-5301	木下直樹	095-823-1863
	長崎中央	高村慎一	095-847-8383	岡田康信	095-857-8311
	長崎出島	小山虎之助	095-821-8195	安達健太郎	095-822-0162



文庫通信 (202号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

☆ ロータリーに関するいろいろ ☆

- ◎「奉仕の一世紀 国際ロータリー物語」 デイビットC. フォワード著；日本語訳監修 菅野多利雄 2003 331p

[申込先：R.I.日本事務局 TEL(03)3903-3194]

- ◎「選ばれたる人」 佐藤千壽 2003 37p

[申込先：呉R.C. FAX(0823)21-5692]

- ◎「R Iの方針とプログラム等について考える」 2004 8p
(第32回ロータリー・ゾーン研究会報告書 オープン・フォーラム)

- ◎「変えたいロータリー」 2004 13p
(D.2690地区大会 ガバナー補佐座談会)

- ◎「ロータリーの魅力」 深川純一 2004 12p (D.2690地区大会 講演)

- ◎「夢をかたちに……行動するロータリー」 2004 16p
(D.2730地区大会 シンポジウム)

- ◎「21世紀の人間のニーズを満たすものとは」 今井鎮雄 2004 4p
(D.2580地区大会 R I会長代理挨拶)

- ◎「あなたへのロータリーからの贈り物」 関場慶博 2004 6p
(D.2500地区大会 特別講演)

- ◎「ロータリー財団の最新情報」 片岡暎子 2004 7p (D.2500地区大会 講演)

- ◎「ロータリーとボランティア」 相原次男 2004 19p
(D.2710地区大会 基調講演) [上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



2004～2005年度 地

1. 地区関係資金人頭分担金

① 地区資金						
地区資金	地区大会 分 担 金	日本 S C 分担金		特別会計繰入金		小 計
		ロータリー文庫協力金	全国ガバナー会運営費	G S E 分担金	世界社会奉仕資金	
6,200円	6,000円	300円	200円	500円	360円	13,560円

2. 地区資金一般会計

収 入 の 部		支 出 の 部	
項 目	04～05年度予算	項 目	04～05年度予算
(1)地区資金	17,360,000	(1)ガバナー関係費	6,450,000
(2)地区大会分担金	16,800,000	GN国際協議会	1,200,000
(3)日本 S C 分担金		全国 G . P G 会議費	2,500,000
ロータリー文庫協力金	840,000	地区 G . P G 会議費	1,300,000
全国ガバナー会運営費	560,000	各種委員会会議費	900,000
(4)特別会計繰入金		ガバナー記念品代	100,000
G S E 分担金	1,400,000	渉外費・広報費	450,000
世界社会奉仕資金	1,008,000	(2)地区活動費 補助金	20,100,000
収 入 合 計	37,968,000	地区大会	16,800,000
		地区協議会	700,000
		P E T S	300,000
		地区チーム研修セミナー	300,000
		I M	0
		インターアクト助成金	700,000
		ローターアクト助成金	800,000
		R Y L A 助成金	400,000
		R 財団学友会	100,000
		(3)ガバナー補佐費	1,500,000
		(4)地区委員会費	5,450,000
		クラブ奉仕関係委員会	750,000
		職業奉仕関係委員会	350,000
		社会奉仕関係委員会	150,000
		新世代関係委員会	1,300,000
		国際奉仕関係委員会	2,800,000
		ロータリー100周年委員会	100,000
		(5)日本サービスセンター分担金	1,400,000
		ロータリー文庫協力金	840,000
		全国ガバナー会運営費	560,000
		(6)特別会計繰入金	2,608,000
		G S E 分担金	1,400,000
		世界社会奉仕資金	1,008,000
		規程審議会積立金	200,000
		(7)予備費	460,000
		支 出 合 計	37,968,000

〈地区委員会内訳〉

地区委員会名	04～05年度予算
クラブ奉仕関係委員会	750,000
クラブ奉仕委員会	100,000
出席委員会	100,000
拡大・会員増強委員会	200,000
ロータリー情報・広報委員会	200,000
ロータリー女性委員会	150,000
職業奉仕委員会	350,000
社会奉仕・環境保全委員会	150,000
ロータリー100周年委員会	100,000
新世代関係委員会	1,300,000
新世代委員会	100,000
ローターアクト委員会	600,000
インターアクト委員会	500,000
ライラ委員会	100,000
国際奉仕関係委員会	2,800,000
国際奉仕委員会	100,000
ロータリー財団委員会	500,000
米山記念奨学委員会	400,000
財団奨学・学友委員会	400,000
国際青少年交換委員会	1,300,000
G S E 委員会	100,000



区 関 係 予 算

②ガバナー事務所資金			③国際青少年 交換資金	合 計	平均会員数
ガバナー事務所 分 担 金	月 信 費	小 計			
3,200円	1,900円	5,100円	2,000円	20,660円	2,800名

3. ガバナー事務所会計予算

(2,800人)

収 入 の 部		支 出 の 部	
G事務所分担金 @3,200×人数	8,960,000	公 式 訪 問 旅 費	500,000
月信費 @1,900×人数	5,320,000	人 件 費	2,900,000
R I 補助金	1,500,000	月 信 費	5,200,000
雑収入	0	通 信 費	900,000
		消 耗 品 費	1,300,000
		室 料 お よ び 会 議 費	1,200,000
		旅 費 交 通 費	500,000
		ガバナーノミニー費	3,000,000
		直 前 ガ バ ナ ー 費	100,000
		予 備 費	180,000
収 入 合 計	15,780,000	支 出 合 計	15,780,000

4. 国際青少年交換資金会計

(2,800人)

収 入 の 部		支 出 の 部	
国際青少年交換資金 @2,000	5,600,000	学 生 滞 在 費 補 助	3,000,000
地区資金より補助	1,300,000	学 生 合 同 旅 行	1,100,000
クラブ負担金収入	0	オリエンテーション費用	1,500,000
その他	0	学 生 歓 送 迎 会 費 他	80,000
		委員会費・全国委員会費	600,000
		印 刷 費 他	200,000
		通 信 費	300,000
		予 備 費	120,000
収 入 合 計	6,900,000	支 出 合 計	6,900,000

国際ロータリー第2740地区 2004～2005年度地区組織図



Celebrate Rotary

Rotary International district 2740

ガバナー指名委員会 PG 逸見 嘉彦 (佐世保南) PG 宮島傳兵衛 (唐津東) PG 市瀬久米嘉 (佐世保東) PG 佐古 亮尊 (大村北) PG 牟田 勝輔 (武雄) PG 辻 洋三 (佐世保南) PG 野崎 元治 (長崎) PG 草場立太郎 (佐賀西) PG 武井 洋一 (佐世保) PG 福井 順 (長崎南) PG 隅田 達男 (伊万里) PG 安部 直樹 (佐世保) G 栗林 英雄 (諫早北)	諮問委員会 PG 逸見 嘉彦 PG 宮島傳兵衛 PG 市瀬久米嘉 PG 佐古 亮尊 PG 牟田 勝輔 PG 辻 洋三 PG 野崎 元治 PG 草場立太郎 PG 武井 洋一 PG 福井 順 PG 隅田 達男 PG 安部 直樹	ガバナーエレクト 本城 好春 (唐津) 地区研修リーダー 安部 直樹 (佐世保) 地区拡大委員会 福井 順 (長崎南) 隅田 達男 (伊万里) 安部 直樹 (佐世保) ロータリーの友 嘉村 末男 (諫早)	ガバナー補佐 第1グループ 佐賀・小城・牛津・多久・佐賀大和 第2グループ 佐賀西・佐賀北・佐賀南・神埼・佐賀空港 第3グループ 有田・武雄・鹿島・嬉野・大町・白石太良 第4グループ 唐津・伊万里・唐津東・唐津西・伊万里西唐津中央 第5グループ 佐世保・平戸・佐世保西・北松浦・松浦生月 第6グループ 佐世保南・佐世保東・佐世保北・佐世保中央・佐世保東南・HTB佐世保 第7グループ 大村・島原・雲仙・大村北・島原南大村東 第8グループ 諫早・諫早北・諫早西・諫早多良見諫早南 第9グループ 長崎・福江・長崎北東・福江中央・長崎西長崎琴海 第10グループ 長崎北・長崎南・長崎東・東長崎長崎中央・長崎出島
--	--	---	---

クラブ奉仕委員会	
委員長	宮崎 清彰 (諫早北)
委員	野村 安伸 (長崎北東)
※	平原妃沙子 (佐世保西)
※	藤田 智久 (長崎)

拡大・会員増強委員会	
委員長	野村 安伸 (長崎北東)
委員	酒井 三郎 (大村)
※	福蘭 英智 (佐世保西)

ロータリー情報・広報委員会	
委員長	宮崎 清彰 (諫早北)
委員	小松 重昭 (唐津中央)
※	大串 平二 (諫早北)
※	中尾 直弘 (武雄)

ロータリー女性委員会	
委員長	平原妃沙子 (佐世保西)
委員	松尾美知子 (HTB佐世保)
※	助村 房子 (諫早南)
※	金ヶ江亮子 (多久)

出席委員会	
委員長	藤田 智久 (長崎)
委員	西村 和郎 (神埼)
※	緒里勇三郎 (諫早西)
※	増本 恒彦 (HTB佐世保)

社会奉仕・環境保全委員会	
委員長	酒井 明仁 (諫早)
委員	服巻 芳史 (小城)
※	川原 俊也 (長崎北)

職業奉仕委員会	
委員長	駒井 英基 (佐賀南)
委員	影平 薫 (長崎東)
※	黒岩 洋義 (佐世保東南)
※	中村 良一 (長崎北)
※	梅津 哲夫 (佐賀西)

国際奉仕委員会	
委員長	本田 圭助 (長崎南)
委員	久保 元治 (諫早)
※	松尾 英機 (佐世保中央)
※	横尾 和正 (佐賀南)
※	前田 博憲 (佐賀西)

国際青少年交換委員会	
委員長	久保 元治 (諫早)
委員 (グループ1)	古賀 醸治 (佐賀)
※ (グループ2)	吉岡 励 (神埼)
※ (グループ3)	菅田 健一 (嬉野)
※ (グループ4)	堤 浩行 (唐津西)
※ (グループ5)	富永 正宏 (佐世保)
※ (グループ6)	中島 洋三 (佐世保南)
※ (グループ7)	本多 善彦 (雲仙)
※ (グループ8)	松藤 久傳 (諫早西)
※ (グループ8)	石田 豊 (諫早多良見)
※ (グループ9)	田嶋 英夫 (長崎北東)
※ (グループ10)	瀬戸口智彦 (長崎南)

GSE委員会	
委員長	本田 圭助 (長崎南)
委員 (グループ1)	諸島 貞一 (小城)
※ (グループ2)	芦原 清彦 (佐賀北)
※ (グループ3)	原田 恒俊 (嬉野)
※ (グループ4)	中島 紘一 (伊万里西)
※ (グループ5)	田中 俊夫 (平戸)
※ (グループ6)	東島 秀明 (佐世保北)
※ (グループ7)	金澤秀三郎 (雲仙)
※ (グループ8)	久保 泰正 (諫早西)
※ (グループ9)	西 亮 (長崎北東)
※ (グループ10)	山田 晃 (長崎南)



地区ガバナー (R1役員)

栗林 英雄

山本 光雄 (牛 津)

吉田 一夫 (佐 賀 南)

高原 武彦 (有 田)

田代 孝男 (唐 津 西)

佐藤 一男 (北 松 浦)

相良紘一郎 (佐世保南)

木下 一功 (大 村)

早田 和彦 (諫 早 西)

砂田 義博 (長崎琴海)

佐々木達也 (長崎出島)

ガバナー事務所

幹 事 (総 括)	杉原 宏一 (諫 早 北)
事務局長 (財 務、 地区チーム研修セミナー)	瀬頭 昭治 (諫 早 北)
副 幹 事 (国際奉仕、国際青少年交換)	鈴木 忠義 (諫 早 北)
◇ (月 信)	緒方 聖 (諫 早 北)
◇ (R財団、奨学・学友、GSE)	八江 正光 (諫 早)
◇ (クラブ奉仕(益大増強、情報広報、女性、出席)) (地区協議会)	横尾 健三 (諫 早 西)
◇ (環境保全、新世代、ライラ、IAC、RAC) (PETS)	中村 克三 (諫早多良見)
◇ (米山、職業奉仕)	山口 賢也 (諫 早 南)
委 員 (総務)	白倉 一男 (諫 早 北)
◇ (総務)	木村 好孝 (諫 早 北)
◇ (地区大会)	鶴川 浩基 (諫 早 北)
◇ (地区大会)	清水 昭弘 (諫 早 北)
◇ (財務)	芦塚 猛 (諫 早)
会 計 長	池田 光利 (諫 早)

地区チーム研修セミナー実行委員会

委員長	瀬頭 昭治 (諫 早 北)
幹 事	鈴木 忠義 (諫 早 北)

PETS実行委員会

委員長	田中 輝國 (諫早多良見)
副委員長	松本 尚武 (諫早多良見)

地区協議会実行委員会

委員長	奥村 耆 (諫 早 西)
副委員長	今村 文雄 (諫 早 西)
幹 事	永井 栄次 (諫 早 西)

地区委員会

ロータリー財団委員会

委員長	松尾 英機 (佐世保中央)
委 員 (グループ1)	飯盛 康登 (多 久)
◇ (グループ2)	正島 隆夫 (佐 賀 北)
◇ (グループ3)	富永 正嗣 (武 雄)
◇ (グループ4)	鈴木 謙一 (唐 津)
◇ (グループ5)	山縣 義道 (佐 世 保)
◇ (グループ6)	井上 亮 (佐世保中央)
◇ (グループ7)	日向 啓 (島 原 南)
◇ (グループ8)	田中 輝國 (諫早多良見)
◇ (グループ9)	友岡 純一 (長崎琴海)
◇ (グループ10)	高田昌一郎 (長崎中央)

財団奨学・学友委員会

委員長	横尾 和正 (佐 賀 南)
委 員	田中 克憲 (長 崎 西)
◇	久保 志郎 (佐 賀 西)
◇	志村 宏一 (佐世保南)
◇	橋口 浩敏 (佐 賀 南)

米山記念奨学委員会

委員長	前田 博憲 (佐 賀 西)
委 員 (グループ1)	音成日佐男 (佐 賀)
◇ (グループ2)	藤井 義博 (佐 賀 南)
◇ (グループ3)	山本 武 (大 町)
◇ (グループ4)	岩永 龍幸 (伊 万 里)
◇ (グループ5)	百武 裕二 (松 浦)
◇ (グループ6)	牛島 義亮 (佐世保中央)
◇ (グループ7)	吉田 秀隆 (島 原 南)
◇ (グループ8)	高木 正隆 (諫 早 南)
◇ (グループ9)	長谷川 宏 (長崎琴海)
◇ (グループ10)	西川 範子 (長崎出島)

新世代委員会

委員長	岩永 信昭 (長崎北東)
委 員	山口 修二 (鹿 島)
◇	西田 猛 (大 村 北)
◇	佐藤 真一 (諫 早 南)
◇	馬渡 誠 (長 崎 西)
◇	草野 幸子 (長崎出島)

ライラ委員会

委員長	佐藤 真一 (諫 早 南)
委 員	尾崎 隆 (東 長 崎)
◇	吉村 正則 (佐賀大和)
◇	劉 済昌 (長 崎 西)

インターアクト委員会

委員長	草野 幸子 (長崎出島)
委 員	岡 寛 (佐世保南)
◇	八木 正勝 (諫 早 北)
◇	大塚 良弘 (佐 賀 西)
◇	江口 武 (牛 津)
◇	田中丸治樹 (伊 万 里)
◇	天本 俊太 (長 崎)
◇	西田 猛 (大 村 北)

ローターアクト委員会

委員長	山口 修二 (鹿 島)
委 員	栄田 元信 (諫 早)
◇	都市右太雄 (唐 津 東)
◇	新穂 博文 (佐 世 保)
◇	安達 健蔵 (長 崎)
◇	木下 博行 (佐 賀)
◇	藤村 昌憲 (長 崎 北)
◇	高木 義和 (島 原)
◇	志久 雄三 (佐世保東)
◇	山崎 光英 (伊万里西)
◇	濱崎 芳裕 (長 崎 東)

ロータリー百周年委員会

委員長	佐古 亮尊 (大 村 北)
委 員	福井 順 (長 崎 南)
◇	安部 直樹 (佐 世 保)
◇	栗林 英雄 (諫 早 北)
◇	本城 好春 (唐 津)

財務委員会

委員長	小宮 康彦 (長 崎 南)
委 員	田尻 徳麿 (伊 万 里)
◇	福田 金治 (佐 世 保)

地区大会実行委員会

委員長	松角 雅夫 (諫 早 北)
幹 事	鶴川 浩基 (諫 早 北)
SAA	瀬頭 昭治 (諫 早 北)
事務局長	清水 昭弘 (諫 早 北)

諫早北RCでは、かつて西オーストラリアのピンジャラRCと子供達の絵画交換をしたことがあります。明るい彼等の絵をどうぞお楽しみ下さい。



諫早停車場（諫早市永昌町） 明治31年11月の長とトンネルの完成により、門司から長崎まで鉄道が通るようになった。諫早駅でも盛大な開通式が行われ、鉄道の開通によって人々の生活が大きく変化した。駅舎は現在も基本的には変わっていない。

古い写真をお持ちの方へ

ロータリー創立1905年（明治38年）から数えて、来年は輝かしい100年となります。この100年に因んで、明治38年当時の地元の様子を古い写真で紹介してみようと企画致しました。2740地区のロータリアンの皆様のお手元に、その当時の古い写真がありましたら是非お貸し下されば幸いに存じます。よろしく願い申し上げます。

※ご連絡はガバナー事務所まで



諫早川まつり

毎年7月25日に本明川で開催される「諫早川まつり」は、昭和32年諫早大水害での犠牲者の追悼のまつりです。

慰霊の思いを込め、本明川のほとりに約3万本の万灯を点し、花火を打ち上げます。

感動の一瞬をとらえた貴方の写真で、裏表紙を飾ろうではありませんか。振るってご応募下さい。

※ご応募はガバナー事務所へ



国際ロータリー第2740地区

2004～2005年度ガバナー

栗 林 英 雄

■事務所

〒854-0016 長崎県諫早市高城町5-10-302

TEL.0957-35-4890 FAX.0957-22-2808

E-mail:ri2740@ninus.ocn.ne.jp



編集後記

今年度ガバナー月信を担当する事になりました編集委員です。諫早北RCの池田栄雄さん、武田義憲さん、深川寛さん、緒方聖（委員長）4人がその任に当たりますが、2740地区ロータリアンの皆様に手に取って読んで（見るだけでも）頂けるように、遊び心を添えて編集する事に致しました。

この一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2004.8

vol. 2

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2740地区 ガバナー月信

2004～05年度 ガバナー 栗林 英雄





Contents

●ガバナー所感	1
●地区委員長あいさつ	2
●地区大会のご案内	15
●地区米山記念奨学委員会だより	16
●地区委員会だより	17

表紙の絵

「諫早公園の楠の大樹」

諫早公園の頂上には樹齢600年とも言われる楠の大木がある。眼下に諫早の街々を見下ろしている歴史の証人でもある。

傍を流れる本明川の河畔から描いてみたが堂々たる大樹である。

絵の提供 諫早北RC 緒方 聖会員



会長さんはクラブのパイロット

第2740地区ガバナー 栗 林 英 雄

今年度は何かと記念すべき節目の年のようなものである。国際ロータリーが来年2月で100周年を迎えることが先ず挙げられるが、オリンピック開催年でもあって、しかも近代オリンピック発祥の地ギリシャのアテネで正にその聖火が点火されようとしていることもその一つであろう。

さてガバナー年度が始まって急に身辺が忙しくなってきた感じがする。ガバナーが招集するいろいろな会合への出席は勿論のこと、地区委員会の中にはガバナーの出席を求められる会議も多々組まれている事もあるので、時間を工夫しながらそれに応じなければならない。

何よりも大切な事は、これまで殆ど経験がなかった地区の全クラブの公式訪問という行事である。各クラブの会員と直接お会いして、クラブ運営や奉仕活動に情熱を傾注される姿を拝見できるのは何よりの楽しみである。これまでも近隣クラブや外国でのメーキャップをした折、未知なるものの発見や素晴らしい出会いがあった経験はあるけれど、これは一人の来訪者としての気楽な訪問であった。しかし、今回は少し事情が異なる立場で出席する訳であって、新たな感動を受ける様な気がしている。

各クラブにはそれぞれ独特の例会場の雰囲気

が漂っている。決して同一ではない。同じ奉仕に志すロータリアンの集まりなのに、どうしてその違いが生まれるのか不思議な現象である。

先ずそのクラブが存在する地理的な土地柄やクラブの歴史的な経過が大きく関わっているように思われる。例えば、創立されて間もない若いクラブでは運営上の不備や不手際があったとしても、ロータリーに対する情熱や奉仕の取り組みが活発であって、見ていても明るくて気持ちが良い。一方少し歴史の古いクラブでは伝統の重みのような落ち付きと渋味を感じ、先輩達の運営手法を見習っておられるので、会の流れも実にスムーズである。反面軌道に乗っているという安心感からいろいろな所に停滞という難点が見えかくれするものである。

各クラブの諸々の事情はあるにしても、これを大きく舵取りをするのは会長さんのVisionであり、手腕であるように思われる。無難に過ごそうとしていると1年はあっという間に過ぎ去り、会員の記憶にも痕跡を留めぬ会長さんになってしまう恐れもある。

どうかこの1年、国際ロータリー100周年に便乗して、クラブの歴史に残る素晴らしい年度になりますよう、会の運営や奉仕活動に会長さんの先導者としての力量を発揮して下さい。



クラブ奉仕委員長・ロータリー情報広報委員長の抱負



宮崎 清彰（諫早北RC）
1946年2月3日生

不知火薬品(株) 代表取締役
1971年11月入会
1994～1996年 GSE委員会委員長
1996年 会長

ロータリークラブに入会して30年の月日がたちました。1996年クラブ会長に就任した年は“ロータリーの友”を1年間きちんと熟読していたことを思い出しました。

会長年度を無事おえたあとはお役御免とばかり、色々な広報誌も読み飛ばしていました。そんな不勉強な私に突然、地区のロータリー情報・広報委員長にとの話。昔からロータリーでは指名をうけたら断ってはいけないという先輩の教えがあります。その先輩の教えを忠実に守り、今日に至りました。

今年の「ロータリーを祝おう」というRIテーマについては栗林ガバナーより詳しく説明がありましたし又、地区協議会の席においても最終的には“皆でロータリーを楽しもう”というガバナーの発言通り一人ひとりが地域社会に貢献し「入りて学び出でて奉仕」というロータリー精神を通じロータリーを楽しもうという面からいろいろな情報提供を心がけていこうと思います。

クラブ奉仕委員会に属する会員増強、R情報、R女性、出席委員会の各々委員会は独立した委員会ですが、お互いに連絡を密にし、会員増強、退会防止、女性会員増強、出席問題等ありますが、クラブ奉仕委員会一丸となって頑張りますのでよろしくご指導、ご協力の程お願い致します。

拡大・増強地区委員長の抱負



野村 安伸（長崎北東RC）
1955年12月12日生

鶴田電機工業(株) 代表取締役社長
2001年4月4日入会
2002年 ポールハリスフェロー
2003～2004年 拡大・増強地区委員

私は、本年度拡大・増強委員長を拝命しました。今、その重責をヒシヒシと感じているところでございます。ロータリークラブは様々な職種、年齢などを超えたところの人の集まりである中において、会員拡大と増強はロータリーの活力源であると考えます。人が集まる所には、大いなるエネルギーが生まれると思いますし、そのエネルギーは、更なる発展にむけての原動力になると確信しております。新会員を推薦することは、ロータリアン一人ひとりの特権であり、また義務でもあります。とはいうものの、現実的にはなかなか簡単にはいかないのではないのでしょうか。また、会員の退会防止についてもまったく同じことではないのでしょうか。



各クラブとも目標を持って取組んでおられることはいうまでもないことと思いますが、情熱を持って取組まなければこの問題は決して解決できないのではないのでしょうか。この問題は、単年度でそれぞれ成果を出していくことは大変難しく、日々の地道な会員候補の掘り起こしによる候補者リストの作成やその後の絞込みなどを各クラブで組織的に行うことが必要であり、また大切な手順であると思います。こうした手順を踏みながら新規会員の獲得を進めていっていただきたいと考えます。また、会員の退会防止のための活動も大変重要と考えます。3年未満の会員のケアや欠席の多い会員のケアなどが特に重要かと思えます。クラブで効果を上げた方法など積極的に宣伝していただき、各クラブで、研究していただければと思います。ただし、会員拡大・増強を進めた結果として、クラブの士気の低下を招いたりしては何のための拡大・増強かわからなくなってしまう。全体のバランスを考えながら、クラブの発展のため活動していただきたいと考えます。

いずれにせよ、各クラブで目標を定め、目標到達にむけて頑張っていたいただきたいと思います。ガバナーは、純増100名の目標を出されています。100名増は、3.7%アップということになります。決して容易ではありません。しかし、手をこまねいていても何も変わりませんし、何もいいことはありません。「為せばなる 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり。」という先人の教えもあります。皆様のご協力よろしくお願い致します。

ロータリー女性委員長の抱負



平原妃沙子（佐世保西RC）
1950年1月2日生

フローラーミュージック 代表者

1994年6月入会

2003～2004年 ロータリー女性委員会委員

この度、押渕禮子会員、松尾美知子会員の後を継いで、女性委員会委員長を仰せつかりました。日本では1989年、北海道において、初めての女性会員が誕生して、およそ15年が経過しました。2740地区において、女性委員会が発足したのは、隅田達男パストガバナーの時で、今年度で3年目になります。全国で、女性委員会があるのは、2750地区と2740地区だけですが、2750地区では、男性会員も女性委員会のメンバーとして活躍されています。

2740地区では、去る5月15日、第一回女性委員会フォーラムが開催されました。出席者、男性15名、女性18名全員の方々に活発な御意見御発言を頂きましたが、従来の男性、女性という固定観念の枠を超えて、男性である、女性であるという特性を生かしながら、何よりもロータリアンとしての意識を持って、皆様方が御活躍なされているということを痛感いたしました。女性委員会が設立されたことで、私は、まだ入会11年目ではありますが、地区の委員会、セミナー等に出席させて頂き、改めて、ロータリーの組織、歴史について、一段と深く勉強させて頂く機会を得、視野が広がった様に思われます。

現代は、ある意味で、本当の男性性、女性性すなわち、性を超越した個々人の能力や特性が問われている様に思われます。

女性委員会は、まだまだこれからの活動に対して模索中ではありますが、今後、女性委員会フォーラム、文化活動、又、他の委員会との共同プロジェクト等、環境問題、教育問題も考慮に入れな



がら、又、女性性を生かしながら他のクラブの方々、若い世代の人たち、地域の方々と分かち合いの精神で活動が出来たらと思っております。今期R Iテーマ「ロータリーを祝おう」及び栗林英雄ガバナーが提唱されました「まず、自分自身で（を）祝おう」を念頭に置き、女性委員会の発展の為、微力ながらお手伝いできればと願っております。どうぞ宜しく御指導、御協力お願い申し上げます。

出席委員長の抱負



藤田 智久（長崎RC）
1935年9月21日生

（資）フヂタ楽器店

妻 輝子

1978年8月30日入会

1991～1993年 インターアクト委員会

2003～2004年 出席委員会

地区出席委員会は2年目を迎える。クラブ奉仕委員会に所属する。

‘04年3月13日（土）地区チーム研修セミナー

（於；諫早 ホテルセンリユウ）

‘04年3月28日（日）会長エレクト研修セミナー

（於；諫早 グランドパレス）

‘04年4月25日（日）地区協議会

（於；諫早 文化会館）に参加した。

栗林英雄ガバナーは、グレン・エステス会長の今年度のテーマ“ロータリーを祝おう”100年の歩みを提示した。

あなたのクラブで、あなたの職場で、あなたの地域社会で、私たちの世界で、ロータリーを祝おう。そして100周年の記念3大目標として「会員増強」「財団支援」「ポリオプラスにおける前進」を掲げた。

‘03～‘04年度は26年ぶりの関西での国際大会という大きなイベントへの出席目標があった。今年度は地区大会への出席をアピールして参りたい所存です。御指導・御協力のほどよろしくお願い致します。

社会奉仕・環境保全委員長の抱負



酒井 明仁（諫早RC）
昭和28年6月12日生

タクシー業

実母、妻、1姫2太郎、犬2匹

平成6年4月1日入会

数年前にインターアクト委員会に3年在籍

栗林ガバナーを諫早から輩出するということで、青天の霹靂か、はたまた棚からぼた餅か、諫早ロータリークラブ烏山会長から、「環境保全の地区委員長してね」の一言で、何も分からぬま



まに引き受けた次第です。

環境問題にはとても興味がありますが、興味があるのと地区委員長をするのは少々趣が違いうように思います。こと環境問題については、ロータリー自体が地域の名士？の社交クラブであり、ほとんどの環境問題となる事柄の、推進役もしくは賛意を示す側になる立場の方々が、とても多いように思います。反意を示される方々もおられますが、全般にそういう方々の声は小さいのが実情です。そもそも環境問題を一生懸命やる人は、ロータリーに入るはずもない？のかも知れませんね。

しかし環境問題、特に地球温暖化問題は年々深刻の度合いを増しています。ロータリアンは、環境破壊に手を貸す社交クラブで良いのでしょうか？利害損得だけで計ってはいけない、人の道が環境問題にはあるのではないのでしょうか？21世紀のロータリーの命題は、環境問題において他にないと思います。

最近スローライフという言葉をよく耳にします。自然に生きるということではないかと私は思います。大規模な不自然は、世の中に大きなストレスをつくります。未来を受け継ぐ子どもたちに、不自然なものを、大いなるストレスを、灼熱の地球を残して良いのでしょうか？

1年で何の出来るもんでもありますまいが、ロータリアンが利害損得を超えて、環境問題を考えていただけるようなことをしたいと思っているのですが……

地区職業奉仕委員長の抱負



駒井 英 基 (佐賀南 R C)
1955年 7 月 2 日生

歯科医院院長

1985年 6 月 22 日 佐賀南 R C チャーター会員

1990～1991年度 クラブ幹事

2001～2002年度 地区職業奉仕委員

米山功労者

2003～2004年度 地区職業奉仕委員長

ポールハリスフェロー

財団ベネファクター

私は、昨年度に引き続き地区職業奉仕委員長を拝命いたしました。

栗林ガバナーの今年度地区運営方針の中に、ロータリー100周年を迎えるにあたり、それぞれの分野にて活気ある生き生きとしたロータリーを作って行こうというものがあります。特に職業奉仕は、その理念がロータリーの原点に通じる分野でありますので、「100周年を祝う」という今年の活動方針として、その原点を見つめながら、これからのロータリーを考える上で、どのように考えていくべきか、皆様方と共に、工夫し検討努力してゆく所存です。

職業奉仕とは、綱領にうたわれている如く、それぞれの会員の事業及び専門職務の道徳的水準を高めて行くという、究極の理想であります。その過程を大事にすることこそが、大切だと思っております。また、それをなす上にも、それぞれの職業から学び、自己研鑽をできる雰囲気を作れるように情報提供を行っていきたいと思っております。

また、この様な考え方に造詣が深く、貴重な活動をされてこられた多くの当地区の先輩方による貴重な業績を礎にしながら今年の活動を行っていきたいと考えております。1年間宜しく願いいたします。



国際奉仕委員長・GSE委員長の抱負



本田 圭助（長崎南RC）
1934年2月21日生

技術士 環境カウンセラー 環境経営コンサル
タント

妻、子ども二人は独立

1988年2月14日入会

ロータリー財団地区委員、地区GSE委員、
地区GSE委員長

本年2月アメリカ・アナハイムにおける国際協議会に於いて、栗林ガバナーエレクトと第6290地区Seabrookガバナーエレクトが両地区の研究グループ交換の実施について覚書に署名されました。2004～2005年度はロータリー創立100周年にあたり、当地区の100周年目標として「100周年記念GSEプログラムを成功させよう」が掲げられております。又、ロータリー100周年の3大目標の中に「財団支援」と「ポリオプラスにおける前進」があります。前者は地区GSE委員会が担当し、後者は地区ロータリー財団委員会に関連したものであります。

(1) 国際奉仕委員会について

国際奉仕委員会のメンバーは国際青少年交換委員長・GSE委員長・ロータリー財団委員長・財団奨学学友委員長及び米山記念奨学委員長で構成されております。つまり4人の委員長が情報を持ち寄り、100周年記念の研究グループ交換（GSE）や青少年交換生の派遣・受け入れ、ロータリー・ボランティアの支援等の準備を有効に行い、国際的奉仕のパートナーの形成や文化交流の促進をはかるのが本委員会の役割かなと思料しています。

(2) GSE委員会について

2004年10月、11月にアメリカ／ミシガン州とカナダ／オンタリオ州にまたがる6290地区GSEメンバーを当地区に受け入れ、2005年9月、10月に当地区のGSEメンバーを第6290地区に派遣します。そのための準備を2003～2004年度に実施しました。GSE委員会を6回、ガバナー補佐との合同会議を3回実施致しました。その後、受け入れ準備は軌道に乗りつつあります。実行委員会の主体は各グループに設けられた小委員会です。小委員会は各RCの国際奉仕関係の委員長をメンバーとして構成されております。委員長は各グループのガバナー補佐です。小委員会の役割については表1をご参照ください。

100周年GSEの成功のために第2740地区ロータリアンの皆様のご協力を切にお願いする次第です。

受入準備小委員会の役割

表1

内 容	実施期間
1. 受入詳細スケジュール作成 10月24日到着、11月6日地区大会出席、11月22日帰国 現概略スケジュールの詳細化	4～7月
2. グループ予算編成 4月実行委員会及びGSE委員会にて全体予算枠策定	4～5月
3. 見学・訪問先選定、折衝、案内役選定 職業研修日（週に1日）以外は、あらかじめ見学・訪問先を選定しておく	5～7月
4. 歓迎・観光の程度と予算 各グループの予算の許す範囲 歓迎はRC例会を利用する（最初と最後のガバナー招待パーティーは別）	5～6月



5. 職業指導ロータリアン及び専門家の選定 第6290地区GSEメンバーの詳細データ入手後、実行委員会（GSE委員会）より連絡	6-7月
6. 通訳の要否及び決定	7-8月
7. グループ内交通手段	7-8月
8. ホームステイ先の選定	6-7月

国際青少年交換委員長の抱負



久保元治（諫早RC）
1953年12月13日生

株式会社 久保塾 代表取締役塾長
妻、一男一女
1996年1月19日入会
2000～2001年 GSE委員会

現代は戦争の時代です。富の偏在、宗教の相違等原因は色々あるでしょう。

しかし、互いの国の文化、風俗、習慣を理解し、相手の国民と意思の疎通が図ればその回避も難しくないかもしれません。

ロータリーは多くのすばらしい事業を行っています。国際青少年交換事業もその中の一つです。世界から集う留学生や日本からの派遣学生は親善大使でもあり平和大使でもあります。滞在する国の伝統、文化、風俗、習慣を学び、帰国後その体験を母国で役立ててもらいたいと思います。

委員会方針として下記3点を挙げています。

- 1 語学の徹底学習
- 2 文化、風俗、習慣の習得
- 3 地域住民との相互理解

語学は相互理解の最も重要な手段です。受け入れ学生にはオリエンテーションや学校での学習を通して早期に日本語の習得を図ってもらいます。また、派遣予定学生にも英語だけではなく、留学先の母国語修得の機会を設ける予定です。

郷土佐賀、長崎にはすばらしい伝統文化があります。ぜひ地元の郷土芸能や伝統文化にふれさせていただきたいと思います。また、この日本には世界に誇れる文化遺産も数多くあります。日本固有の四季を感じる美しい季節を選んで九州一周旅行や世界遺産研修旅行を実施し、見識を深めてもらうことにしています。

受け入れ学生は滞在中地元の学校に通い、ホストファミリー、クラブのお世話になります。あくまで家族の一員として家事も手伝い、地域の行事にも参加します。

日々接する家族、学校の先生・同級生からだけではなく、例会時でのロータリアンの方々、近所の方等接するすべての人々からの影響を受け暮らしていくことになります。オリエンテーションでこういった地域住民の人々との会話、ふれあいを大切にするよう指導していきます。派遣学生も同様滞在国で同じ体験をしてもらうことになります。

受け入れ学生たちの母国の文化、風俗、習慣が日本のそれと異なることがあり関係の方々に御迷惑をかけることが多いと思います。特に同じ屋根の下で過ごしていただくホストファミリーの方々には御迷惑をおかけすること多いと思いますが、よろしくお願い申し上げます。

次期委員会の構成メンバーは下記の方々です。



- ①古賀醸治(佐賀) ②吉岡励(神崎) ③菅田健一(嬉野) ④堤浩行(唐津西) ⑤富永雅弘(佐世保)
 ⑥中島洋三(佐世保南) ⑦本多善彦(雲仙) ⑧石田豊(諫早多良見)、松藤久傳(諫早西)
 ⑨田嶋英夫(長崎北東)⑩瀬戸口智彦(長崎南)

(敬称略、数字はグループナンバー、() 内は所属クラブ名)

経験豊富なベテランの方々からロータリー歴数年の若い方々まで、幅が広く層が厚い委員の皆様
 に助けられながらこの1年頑張る覚悟です。

世界平和はこの地球に住むすべての人の願いです。ロータリーの国際青少年交換委員会の活動
 がその一粒の種子になれば幸いです。どうか皆様の御理解、御協力をよろしくお願い申し上げます。

ロータリー財団委員長の抱負



松尾 英機 (佐世保中央RC)
 1941年12月25日生

印刷業

妻、息子二人、娘一人、孫一人

1990年9月29日入会

1992～1993年度 幹事

1997～1998年度 会長

2003～2004年度 ロータリー財団地区委員

今年度のRIの100周年3大目標のひとつに「財団支援」があります。

栗林ガバナーは第2740地区の目標を下記に設定されました。

年次寄付目標

280,000ドル/年

ベネファクター増加目標

58名/年

これをクラブ目標に見直しを致しますと次のようになります。

年次寄付目標

(会員数×100ドル/1人) 以上

ベネファクター

各クラブから1名以上

昨年1人100ドルを達成されましたクラブにおかれましては、今年度はより高い目標設定を、
 1人100ドルを達成していないクラブでは、まずは1人100ドルを目標に頑張っていたいただけたらと
 思います。

ロータリー財団が世界各地で奉仕活動をするには資金が必要です。そのための寄付をお願いし
 ています。

“奉仕活動のための寄付であって、決して寄付のための寄付ではありません”

ロータリー財団には二つのニーズと二つの寄付方法があります。年次寄付は今日の財団プログ
 ラムを支え、恒久基金は明日のプログラムを安定したものにします。年次寄付と恒久基金はお互
 いに補い合っており、同時に重要なものです。

年次寄付……ポールハリスフェローなどの年次寄付は財団を継承させるための燃料の役割を果た
 します。毎年クラブと地区は年次寄付の目標額を設定し、ロータリアンは毎年これ
 らの目標額を達成するために努力しています。

恒久基金……金額を問わずいくらでも寄付することができます。

恒久基金の元金は決して使わず、投資してその収益のみを財団プログラムの支援に
 使います。財団では年次寄付の目標達成に影響を及ぼさない範囲において、1000ド



ルの恒久基金寄付を要請しています。

2003年6月30日現在の恒久基金の累計額はUS\$9600万ドルですが、ロータリー創立100周年記念の2005年までに5億ドルと設定され、2025年までに10億ドルとするのが夢です。100周年記念祝賀（2005年）に向けて、恒久基金を特に支援するようにロータリアンに奨励しています。

地区補助金

今年度の地区補助金は*US\$34,711ドルまで要請できます。

*3年前の地区財団活動資金（3年前の年次寄付の60%）×20%（尚2005～2006年度からは年次寄付の50%×20%になる）

地区補助金はCAP-Community Assistance Program（地域社会援助プログラム）が2年間の試験プログラムを経て補助金プログラムとして2003年度よりスタートいたしました。

スタートして2年目のプログラムですのでわからないところがたくさんありますが、地区補助金には下限はありません。継続的プログラム（continue）には使用できませんが、持続性のあるもの（sustain）には使用できます。

“ロータリーにできること、ロータリーならできること”がある筈です。これは地域社会援助プログラムですので、どうか使用の仕方を間違えることなく、各クラブの周知を集めて地域のニーズを掘り起こして、この地区補助金をご活用ください。

財団奨学・学友委員長の抱負



横尾 和正（佐賀南RC）

1944年8月4日生

（株）北島 専務取締役

1985年9月入会

1988年 幹事

2003～2004年 財団奨学委員会委員

西岡榮一委員長のご活躍ご指導の後を、田中克憲（長崎西）久保志郎（佐賀西）志村宏一（佐世保南）橋口浩敏（佐賀南）の各委員で担当することとなりました。

ロータリー財団プログラムは 1）教育的プログラム 2）人道的プログラム 3）ポリオ・プラス・プログラム 以上3種類がある訳ですが、その中でも当委員会の担当するのは教育的プログラム中の実務部門です。当地区に於いて36クラブ（58クラブ中）が今年度までに参加奉仕した実績がある、歴史と実績がある財団プログラムの実践活動です。

財団奨学・学友委員会の活動はR財団規定の年3回の研修会に加えて6月の奨学生選考会が開催されます。いずれも将来に夢を託す優秀な若者が世界に向けて羽ばたく機会に我々がお手伝い出来るということは大変な喜びとする所です。

さて選考会を含め4回の研修会にはガバナーを始め地区幹事・各委員長・顧問ロータリアン・奨学生候補の皆さんにご参加頂き、【ロータリーとは】【ロータリーの歴史】【奨学生の責務】【顧問ロータリアン】などをしっかりと学習して頂く機会となっています。

また、瀬戸口智彦前委員長（長崎南RC）のEメールを駆使した連絡網の整備方針も、今では軌道に乗り奨学生との意思疎通にも大きな力になりました。近年、学友の協力が命題となっていました但此処2年は研修会に於ける学友のアドバイス参加は3～4名が多忙の中にも参加して頂



きました。奨学生は勿論ロータリアンにとっても素晴らしい勉強の機会となっています。

R財団国際親善奨学金の目的は、世界各国の人々間の国際理解と友好関係を増進させる事です。国際親善奨学金はロータリークラブが存在する他国での勉学や研究のために支給されます。留学期間中、ロータリークラブや地区、大学や公共団体等に出席してホスト国の人々に対する親善使節として活躍しています。留学を終え帰国した後は、留学生は自分を送り出してくれた地元のロータリアンを始め、地区主催の帰国報告会・研修会で留学中の体験等を報告しています。また、今年度は「大学教員のための補助金」も検討して行きたいと考えています。

ガバナー事務所ならびに西岡前委員長の更なるご指導を仰ぎながら、また特に田中克憲副委員長のご協力を願い、委員会の目的である財団プログラムの実践活動を更に活発化させていきます。

委員会活動方針

- ①財団奨学生の募集、選考、研修、留学にかかわる全ての業務の推進研修に留意し、ロータリーの国際親善大使としての自覚の修養に努める。
- ②奨学生支援活動・地区クラブ情報・資料提供活動の活性化。
- ③世界平和奨学金の推薦、並びに大学教員のための補助金の検討。
- ④R財団学友会への支援。(メール学友会の設立・学友会名簿の整備)
- ⑤学友のロータリー行事への積極的な参加の推奨。
- ⑥学友ロータリー会員への勧誘。
- ⑦奨学金で派遣される人は「国際親善大使」という役割も有しているので学問と共に、人格的な面でも優れた人を推薦してゆく。各クラブに対し積極的に推薦をお願いする。

米山記念奨学委員長の抱負



前田 博 憲 (佐賀西RC)
1947年1月6日生

トヨタカローラ佐賀(株) 代表取締役社長
妻、長女、長男
1996年9月入会
2002年～米山記念奨学委員会

この度、地区米山記念奨学委員会委員長の任を仰せつかりました、佐賀西ロータリークラブ所属の前田博憲と申します。

私自身、なにぶんにも米山地区委員会での経験は2年間と、甚だ不十分であります。栗林ガバナー、隅田米山奨学会理事、各グループ・ガバナー補佐の皆様、杉原地区幹事、山口地区副幹事、濱本前米山委員長他、多数のご先輩方のご指導ご助言を頂きながら、米山記念奨学会活動に微力を尽くしてまいりたいと考えております。

さて、「ロータリーの要諦」及びその「主体」は、各地域において様々な分野で、日々奉仕活動を実践されておられる「個々のクラブ」であることについては、皆様方も概ねご異論のないところではないかと存じます。

従って、私ども地区委員会の役割は、各クラブで計画・実行される活動が、ガバナー方針に著しく矛盾することなく円滑に行われるよう、適切な情報を発信し、よって各クラブ発展の為の一助となることであると心得ております。



さて今年度の委員会方針でございますが、

1. 地区内クラブに対し、地区委員会の活動状況や奨学生諸君の修学実態などの必要な情報を可能な限りお伝えしてまいります。
2. 地区内ロータリアンの皆様に、米山記念奨学制度の有意性やその仕組みについて、より正しく理解して頂くために、ガバナー月信などを通じて随時適切なインフォメーションを行います。
3. また、地区内ロータリアンやクラブから頂戴した米山制度に対する様々なご意見、ご提案等については積極的に奨学本部への具申を心がけてまいります。
4. 栗林ガバナーご提示の年度地区寄付目標額、3千5百万円を達成する為、クラブ毎の目標額をお聞かせ頂き、その進捗状況について、たえず注意を払っていきたいと考えております。

以上、4つの方針に基づき、グループ毎より選出の10名（音成日佐男君、藤井義博君、山本武君、岩永龍幸君、百武裕二君、牛島義亮君、吉田秀隆君、高木正隆君、長谷川宏君、西川範子君）の地区委員の皆様方と一緒に種々の活動を進めてまいりますので、地区内ロータリアンの皆様方のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

新世代委員長の抱負



岩 永 信 昭（長崎北東RC）
1959年2月2日生

内科医

社団 昭成会岩永医院理事長

妻、母、長女

1996年3月27日入会

2003～2004年度 会長

2000～2001年度 インターアクト地区委員

2001～2002年度 インターアクト地区委員長

2002～2003年度 新世代地区委員長

新世代に関しましては、その位置付け、取り扱いに多少の混乱が生じているのが実情です。皆様方からも日頃色々な疑問をお伺いしており、浅学菲才で明確な回答は導き出せませんが、代表的なものを挙げ現時点までに私なりに見聞きしてきた事を述べさせて頂こうと思います。

（疑問1）新世代は第5の奉仕部門ですか？

—NOです。2001年規定審議会で第5の奉仕部門へという決議案が採択されていますが、RI理事会は否定しています。制定案ではなく決議案であったという事実です。ロータリーはあくまで4大奉仕なのです。では、どう位置付ければ良いのでしょうか？手続要覧を見ても新世代は独立した奉仕部門と捉えられますので、あまり堅苦しく考えず4大奉仕に準じた扱いで良いのではないかと思います。

（疑問2）何故、青少年から新世代へ手続要覧が変わったのですか？

—真相はわかりません。変更提案の際の時期、手続的なものがRIとしては異例で違和感を覚える方も多くおられます。言葉だけの変更と割り切れる部分とそうでない所とがあります。対象年齢が引き下げられ（青少年：14～30歳⇒新世代：0～30歳）、より若い人達に目を向けようという意図はみてとれ、新世代会議が大きな目玉として加えられています、多分に21世紀＝新世紀を意識した用語設定と推測されます。

栗林英雄ガバナー、杉原宏一地区幹事、中村克三地区副幹事の御指導を仰ぎながら、地区委員の方々（下記）と力を合わせロータリー100周年に相応しい新世代への奉仕を模索して参りたいと思います。皆様、何卒よろしくお願い申し上げます。

**地区委員（敬称略）**

山口修二（鹿島）、西田 猛（大村北）、佐藤真一（諫早南）、馬渡 誠（長崎西）、草野幸子（長崎出島）

ライラ委員長の抱負

佐藤 真一（諫早南RC）
1963年2月25日生

2000年1月17日入会

2003年 幹事

2003～2004年 ライラ委員会委員

ライラ（Rotary Youth Leadership Awards）ロータリー青少年指導者養成プログラムは、ロータリー関係の青少年14歳～30歳の方々に参加して頂きロータリアンと共に活動し学ぶことで、若者の指導力と善良な社会人としての資質を伸ばすことを目的としています。第2740地区では、2004～2005年度 RYLAの開催で第26回目となります。

第25回のRYLAは、諫早南ロータリークラブがホストクラブとなり国立少年自然の家で開催されました。私はホストクラブのライラ地区委員ということでプログラムをつくることから経験させて頂きました。ライラ当日（5月15、16日）の2日間は、青少年の方々と共に活動することで、いろんな意見を聞くことができたへん勉強になりました。この経験により、ライラでは若者が現在、感じていること、又、ロータリアンが若者に対して感じていることをお互いに意見交換を行うことで、若者の資質を伸ばしそれぞれの地域の活性化、発展につながっていくプログラムであると理解いたしました。

ロータリアンの方々にライラの理解を深めてもらう為には、ロータリアンと青少年の方々の出席が非常に大事になります。その為にはプログラムの段階から青少年の方々にも参加してもらい、ホストクラブ、コホストクラブの方々と共に活動して頂き内容のあるプログラムを考えていただければ必ずライラの目的が達成できると思います。会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

インターアクト委員長の抱負

草野 幸子（長崎出島RC）
1945年11月17日生

ヤマハ音楽教室 音楽講師

夫(草野協)、長女(北浦麻美)、次女(西本加奈)

1998年9月4日入会 チャーターメンバー

2002～2003年度 インターアクト地区委員

2003～2004年度 〃

2004～2005年度 インターアクト地区委員長

皆様、こんにちは 国際ロータリー第2740地区インターアクトクラブ委員長の草野幸子でござ



います。今年でインターアクトにかかわって3年目になります。

私は長崎出島ロータリークラブに所属していますが、我がクラブの提唱校であります活水中学高等学校はクラブ員が104名程います。私が活水高等学校音楽コースにピアノを教えている関係で、音楽科の先生方の多大なるご協力の下、とても大勢で部員の数に心配なくすばらしいインターアクトクラブができています。

2004～'05年度今年のロータリーのテーマは“ロータリーを祝おう”というロータリー100年の歩みとしてのこの意義あるすばらしい年にインターアクト委員長として大役をおおせつかったことに感謝し、私のできる限りの力をインターアクトに注いで生きたいと思っています。

100周年の3大目標であります「会員増強」「財団支援」「ポリオプラスにおける前進」ですが、インターアクトクラブの生徒たちの確保・増員も地区委員及び、各クラブのインターアクト関係の方々の頭の痛い事だと思います。経験豊かなロータリアンと若い人たちの育成に、人と人とのつながりを大事にして信頼関係を保っていくのもロータリー家族の姿として大変大切なものと考えています。

栗林ガバナーもおっしゃっているとおり、1905年2月23日シカゴで集まったポール・ハリスをはじめとする4人の職業人の集まりからスタートしたロータリーの理念に基づいて今こそ、そのスタートラインに立ち戻って考えていかなければいけない時期にきていると私も思っています。自分の職業を通して奉仕するというロータリー精神の源である職業奉仕の立場から、私の場合は、音楽を通して生徒たちと一緒に何かが出来ることがあればと常々考えていました。

私事に涉り恐縮ですが、2004年1月28日(水)朝日新聞「ひと」という欄で紹介されましたが今年よりいろいろな障害を持つ人たちに対し、音楽を通して得られる感動や喜びの機会を与えてあげたいと思い、音楽療法とまでいなくても歌や楽器を通して心身の機能を回復させ、眠っている機能を引き出せないかと考え、障害のある人を対象に音楽教室を開くことになり、今、準備をチャクチャクと進めているところです。日本ではまだ浸透していませんが児童の発達障害や高齢者の痴呆に効果があるとされている音楽療法ですが、長女は音楽教室の講師として、次女は理学療法士として現場で二人ともがんばって活躍しております。彼女らの意見や体験を基にしたいろいろな話をしながら医療における音楽の可能性を探ってみたくなり、障害児を対象に開講することになりました。約40年間体調を崩したときも、点滴の針をさしたまま指導し、音楽教室を休んだことがありません。おかげで、今では、卒業生も8千人以上が巣立ち、国際的に活躍する教え子たちも多数いるし国内でも音楽家として活躍している生徒もいれば、医者や弁護士その他の仕事でがんばっている生徒たちも大勢います。

ロータリーに入会して5年がたち、私にできることはなにかと考えているところにインターアクト委員長としての大役。子どもたちがロータリアンと手を合わせてやれることは何かといろいろな模索しながら夢にむかって進んで行きたいと考えています。

今年は大村ロータリークラブの提唱校であります向陽高等学校がホスト校をつとめるインターアクト年次大会がシーハットおおむらで8月に開かれます。是非、成功するよう、各ロータリーの皆様の絶大なる応援とご協力の程をよろしくお願いいたします。



ローターアクト委員長の抱負



山口 修二 (鹿島RC)
1957年12月25日生

有限会社 山久 代表取締役

1996年12月3日入会

2002～2003年度 地区ローターアクト委員会
委員

2003～2004年度 地区ローターアクト委員会
委員長

全国のローターアクト・クラブ（以下RAC）は2003年7月現在、34地区内に420クラブ、4,963人の会員が活躍しています。一地区のクラブの平均は11.82クラブ、会員は145.97人です。

当地区では2004年5月現在 11クラブ、会員数約120人で、1クラブ当たり10.9人（1クラブ最大会員数21人、1クラブ最小会員数6人）です。

クラブ数は11クラブと全国平均の92%ではほぼ同数ですが、会員の人数は約120人と、全国平均の約146人、その比率は82%です。しかし、もともと当地区も160人以上の会員が在籍し、RAの活発な活動をしていました。

私たちロータリアンは、ローターアクターに何を、望んでいるのでしょうか。自クラブ、地区、他地区の多くのロータリアン、ローターアクターとの交流で学んだことを、職場や地域社会に持ち帰り、奉仕の機会を实践・推進し、将来、会社や地域の指導者となり、何れロータリアンとして活躍してくれることを期待し、彼等に夢を託していると思います。

その為にも、RCはRACが本来の活動が出来るように、適正な人数の会員を維持し、一人ひとりのローターアクターに学ぶ機会を与えなければならないと思います。

会員数を全国平均にするには、①RACの新設、②既存クラブの会員増強が考えられ、本来①、②を同時進行するのが一番望ましいのですが、①のRACの新設は、準備に1・2年掛かると思われます。それに比べ②は、企画さえ的確であるならば単年度でも実現できるのではないのでしょうか。勿論、①の努力も必要です。

支援として「会員増強並びに助成金」の方法が考えられます。「会員増強」では、未提唱クラブ（コ・スポンサー）の会員の子弟や、自社及び地域の将来を託せる有能な人材を提唱クラブ（スポンサークラブ）に推薦して頂くことです。また、「助成金」に付きましては、クラブにより異なりますが会員1名につき年間20,000円～30,000円程度の費用が発生します。これは、RI負担金、ローターアクト代表事務局負担金、年次大会など地区行事の負担金・登録料費です。

また、会員は入会金・会費を支払わなければならない義務が発生します。月額2,000円から3,500円です。

相互扶助では在りませんが、各グループ、各クラブで地区内のRACを支援し、将来のロータリアンに成りうる人材を一人でも多く育てる為に、ご尽力頂きますようお願い致します。必ず将来、素晴らしい人材に成長してくれることと思います。

しかしあくまで、提唱RCとRACは現状のままの1対1がよいと思います。複数のRCで1つのローターアクトクラブを提唱しますと責任の所在が定まらず混乱し、逆効果になる可能性が在ります。

また、1つのRACを複数のRCで提唱されている場合は、持ち回りではなく1つの提唱（スポンサー）クラブで見えていただき、その他のクラブはコ・スポンサークラブとしてスポンサークラブを支援して頂きたいと思います。

各ロータリークラブ及びロータリアンお一人お一人のご理解とご支援を頂き、このプログラムをぜひ成功させたいと思います。



地区大会のご案内

11月5日(金)・6日(土)・7日(日)

大会会場－諫早文化会館

奉仕の歩み100年を

一緒に祝いましょう



CELEBRATE
ROTARY

100 Years

11月5日(金)

大会前日

◆ 記念懇親ゴルフ大会 長崎国際ゴルフ倶楽部

◆ RI会長代理ご夫妻 歓迎晩餐会 L&Lホテルセンリュウ

11月6日(土)

大会第1日

◆ 委員会 (10:00～) 登録開始 (12:00～) 本会議 (13:00～)

◆ ロータリー100周年特別企画 シンポジウム

『はばたけ 世界へジャンプ！日本の若者！』

オリンピック・イヤーにちなみ、これからの21世紀を担う若者たちと、各種大会でレベルのすばらしい成績をあげた佐賀・長崎両県の各種競技指導者・監督の皆様を集めて、スポーツと健康を通してこれからの若者像と将来の日本について考えるシンポジウムを開催し、スポーツのすばらしさを伝えます。

◆ 記念懇談会 諫早観光ホテル道具屋

11月7日(日)

大会第2日

◆ 登録開始 (9:30～) ◆ 本会議 (10:30～)

◆ 記念講演会 (13:00～)

オリンピック、サッカー日本代表監督 山本昌邦氏 (予定)



地区米山記念奨学委員会だより

前田 博憲（佐賀西RC）

「クラブ米山委員長セミナー」・「奨学生カウンセラー研修会」が開かれました。

去る7月11日(日)、武雄センチュリーホテルにて、地区内クラブ米山委員長、奨学生カウンセラーの皆様、各グループガバナー補佐の方々にお集まり頂き、クラブ米山委員長セミナーと奨学生カウンセラー研修会が開催されました。

隅田米山奨学会理事によるご挨拶の後、西村金造（長崎RC）講師により、これまでの豊富なお経験を元にした大変貴重なご講演を頂きました。

その後、奨学事業の有意性やクラブ委員長、奨学生カウンセラーの立場・役割について最後までご熱心な研修を行って頂きました。

この度ご参加・ご協力頂いた皆様方に地区米山委員会一同、厚くお礼申し上げます。

尚、セミナーで使いましたプレゼンテーション資料（パワーポイント又はPDF）CDご希望の方は、ガバナー事務所（0957-35-4890、ri2740@ninus.ocn.ne.jp）にお申し出ください。



隅田米山奨学会理事ご挨拶



クラブ米山奨学委員長セミナー風景



西村講師（長崎RC）ご講演



米山奨学生カウンセラー研修会風景



地区委員会だより

◎ 國際青少年交換委員會

***第1回オリエンテーションのご案内**

日時：2004年8月9日(月)～12日(木)

場所：いこいの村長崎

◎ 國際奉仕委員會

* 国際奉仕関係合同セミナー

日時：2004年8月28日(土)

場所：ホテルグランドパレス諫早

◎ インターアクト年次大会

日時：2004年8月21日(土)～22日(日)

場所：シーハットおおむら

ホストクラブ：大村ロータリークラブ

◎職業奉仕委員会

*職業奉仕セミナー

日時：2004年9月4日(土)

場所：武雄センチュリーホテル

第2740地区全体図



諫早北RCでは、かつて西オーストラリアのピンジャラRCと子供達の絵画交換をしたことがあります。明るい彼等の絵をどうぞお楽しみ下さい。



長崎県北高来郡高来町
小江川溪流



国際溪流滝のぼり in ななやま 佐賀県（七山村）
毎年8月第3日曜日に開催。環境保全と観音の滝のPRが目的。
途中様々なゲームを楽しみながら2時間30分の基準タイムに
いかに近くゴールできるかを競います。

古い写真をお持ちの方へ

ロータリー創立1905年（明治38年）から数えて、来年は輝かしい100年となります。この100年に因んで、明治38年当時の地元の様子を古い写真で紹介してみようと企画致しました。2740地区のロータリアンの皆様のお手元に、その当時の古い写真がありましたら是非お貸し下されば幸いに存じます。よろしくお願い申し上げます。

※ご連絡はガバナー事務所まで

感動の一瞬をとらえた貴方の写真で、裏表紙を飾ろうではありませんか。振るってご応募下さい。

※ご応募はガバナー事務所へ



国際ロータリー第2740地区

2004～2005年度ガバナー

栗 林 英 雄

■事務所

〒854-0016 長崎県諫早市高城町5-10-302
TEL.0957-35-4890 FAX.0957-22-2808
E-mail:ri2740@ninus.ocn.ne.jp

編集後記

今年は何と暑い夏でしょうか。
全国各地で記録的な猛暑が報じられ、人も植物も喘いでいます。
この最中、ガバナー公式訪問が始まり、地区内の各ロータリー
クラブでは、その準備のためご多忙のことと思います。
一連の公式行事が滞りなく、終わりますよう念じております。



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

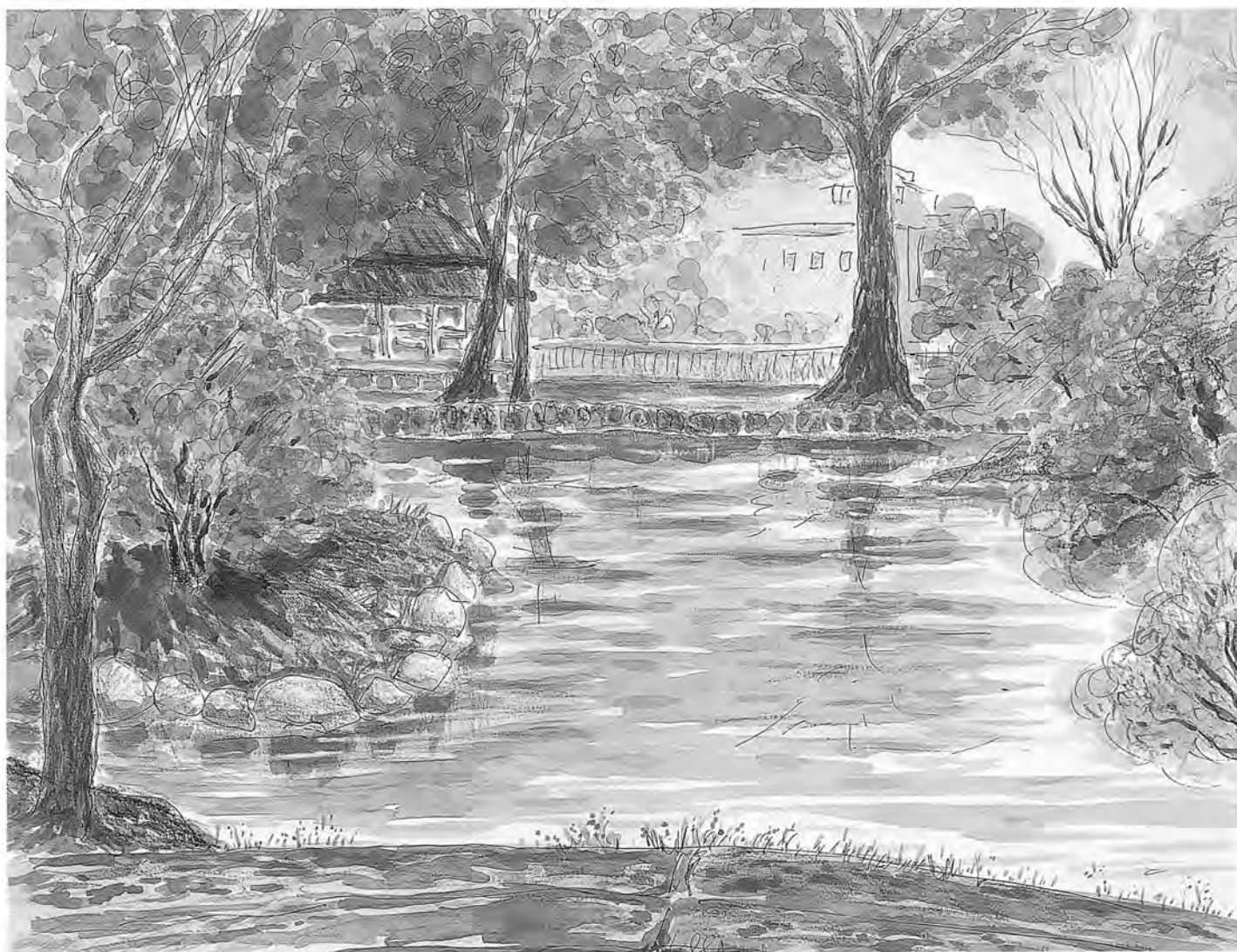
2004.9
vol. 3

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2740地区 ガバナー月信

2004～05年度 ガバナー 栗林 英雄





ロータリーを 祝おう

100年の歩み

2004～2005年度
国際ロータリーのテーマ

Contents

●ガバナー所感	1
●規定審議会報告書	2
●クラブ紹介	5
●ガバナー公式訪問	5
●新入会員紹介	12
●寄付者紹介	13
●米山奨学生紹介	14
●地区委員会だより	14
●地区大会のご案内	15
●7月会員数・出席報告	16
●文庫通信	17

表紙の絵

「諫早高校の御書院」

かつて、オシドリの飛来地として国の天然記念物に指定されていたが、諫早高校の敷地内にあったため、地元の人といえども立入りは意のままにならなかった。

平成16年2月「水と緑の文化の路」として整備され一般公開されるや、その全容が明らかとなった。まさしく心癒される緑陰と静寂の大空間である。

絵の提供 諫早北RC 緒方 聖会員



ガバナーからのメッセージ

新世代月間に寄せて
家庭教育、今、父親が出番です

第2740地区ガバナー 栗林 英雄

21世紀を迎えたこの地球上では、未だに世界のどこかで戦争が起り、それに伴って貧困や飢餓、人権問題が派生しています。このような現場でいつも犠牲になるのは、社会的弱者である子ども達です。罪のない彼等の身の上に争いの魔の手が伸びて、暗い影を落してゆきます。戦火に追われ当てもなく国境地帯を流浪する難民の中に、痩せ細った子ども達を見るにつけ心が痛むものです。彼等の食糧は、健康管理は、教育は一体どうなっているのだろうと気懸りになります。

一方国内に目を転じて、わが国の子ども達の状況を見ると、戦後60年余りに亘る平和な時代の中で物質文明の恩恵を受けて何不自由なく育てられた子ども達は、一見幸福そうに見えます。しかし、詳細にその実態を分析すると様々な問題を抱えている事が指摘されています。

少子化の中で常に大事に育てられてきた彼等は欠乏という環境の変化に耐える力が弱いのです。精神的にも肉体的にも忍耐力が不足しています。さりとて、すぐに彼等を責める訳にはゆきません。時代の大きな流れの中で、女性（母親）の社会進出や核家族化は家庭内教育力に変化を及ぼし、躰を中心とする道徳的観念の伝承が行われず、就学前期教育が不十分なために、社会生活をする上に不可欠な他者を思いやる心が育っていないのです。つまりこれは「わがまま」なのです。

教育現場で深刻な問題となっているいじめや不登校、学級崩壊の根底にはこの点が関わっているようです。

更にこれに拍車をかけるように、現代の情報化社会ではマスメディアを通して過剰な情報が飛び交い善悪の判断がつかぬまま、時には現実と夢想の世界を混同してしまう現象や

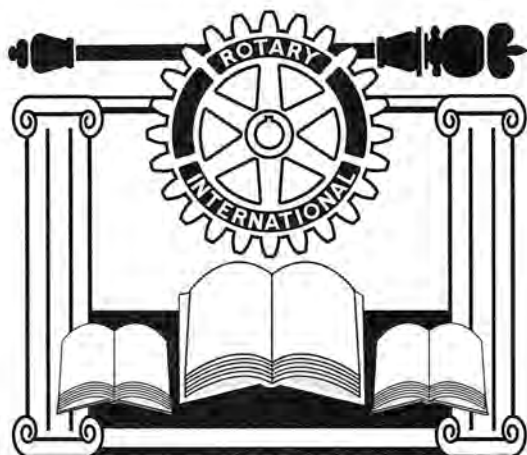
事件が現れてきました。

ロータリーはこれまでインターアクト、ローターアクト、国際青少年交換等の奉仕活動を通して、若い世代の地域社会に対する奉仕の実践を促し、国際理解と世界の恒久平和に尽してきた意義は大きいと思われます。これらは主として多感な青年期の若者を対象としてきたものでありましたが、先の子どもの実相を考えると、新世代のターゲットを幼児や小学生等の低年齢層に移行させねばならないような気がします。

これまで父親は企業戦士として仕事一筋に時間を費やし、子どもの教育は殆ど母親に依存していたように見受けられます。家庭内でも各人の生活のリズムが異なることから、会食や一家団らんもままならなかったのが実情でありました。長い間父親の存在が忘れられて来ました。ところが父親の父性が子育てに必要な事が叫ばれ、父権復活が現実のものとなりつつあります。父親は権威をもって家族の上に君臨するオヤジではなく、父性の中に示される社会規模を教育したり、大局的見識、迅速な決断力、速い行動力と言った特徴が子育ての中で重要なのです。

従って、これからは教育現場に父親が顔を出したり、校内活動に協力する等父性の発露の機会を求めて出掛けてゆかねばなりません。

ロータリアンの皆さんは各企業の管理者として、子を持つ親の立場を「わが子の教育者」とであるという認識の上に、子育て支援としての休暇の積極的運用にご理解とご協力を頂けますようお願い申し上げます。



COUNCIL ON LEGISLATION

2004年 規定審議会報告書

6月13日～18日 シカゴダウタウンマリオネットホテル

RI会長：ジョナサンB. マジアベ 議長：ビル・ハントレー

2004年6月22日 地区代表議員 武井 洋一

6月13日（日曜）から6日間、シカゴにてRIの規定審議会がありました。

この規定審議会は、ロータリーの議会又は立法機関と定義されています。審議会は、議会同様ロータリーの法律（定款細則）を作成及び改正します。審議会が始まる前に、全議員に対して、「私のクラブにどう影響するか」ではなく「何が国際ロータリーにとって最善か」という精神で考慮される様要請を受けました。

規定審議会には世界の各地区から1名の代表議員が出ます。全世界から集まったこれら529人の代表議員に加え、オブザーバー（元RI会長等）、審議会リーダー等、600人以上が一堂に集まって熱のこもった討議を行いました。

今回は、各地区やRI理事会から提出された524件の議案が5日間に互って討議されました。3回に互って月信に掲載し、ご報告致します。

2004年規定審議会で採択された主な決議案

決議案とは制定案のように規約を変更するものではなく、RI理事会に対して善処方を要請するものが殆どです。採択された決議案を実行に移すか否かはRI理事会の裁量に委ねられている場合が多く、直ちに実施されるとは限りません。

RI定款、RI細則、クラブ定款の改正を要しない規約変更（クラブ細則の変更等）もこの決議案によって処理されます。

1. スポンサークラブとして拡大をする場合、現在最低会員数25名必要だが、これを20名に変更する。
2. クラブ奉仕部門に沿革史編纂／資料保存委員会を設置する。
3. 新クラブの結成の際、1つの職業分類につき2名の会員を認める。
4. 被災地のガバナーから災害救援要請があった場合のみ救援が可能となる。
5. 8歳から12歳までの子どものためのロタキッド・クラブを設立する。2001年規定審議会において同様なプロジェクトである、アーリー・アクトが認められている。
6. 高所得国は、低所得国の候補者に国際親善奨学金を寄付する。
7. 開発途上国から奨学生にロータリー世界平和奨学金を優先的に与える。
8. エイズ孤児ケアのための孤児院建設費用にマッチング・グラントが使用できるようにする。



9. ウェブ上での財団の決済を可能にする。
10. 2005年までに一人100\$を達成するために「毎年、あなたも100\$を」のスローガンを正式に支持する。
11. 最低40クラブあれば地区を形成する。
12. 地区番号に地理的な標示を付記する。 例…2680地区兵庫
13. 地区大会に、会長代理の出席が必要か否かを地区が決定する。
14. 地区大会の要項を改正して、1-3日、6時間以上とする。
15. クラブやロータリアン個人に送付されるすべての郵送物を、地区ガバナーにも送付する。
16. RI委員やTFコーディネーター等の役職の任命を国際協議会前にガバナー・エレクトに知らせる。
17. 2004年にゾーンの再編成を実施する。
18. ロータリー・リーダーシップ研究会をRIのパイロット・プログラムとして採択する。
19. ロータリークラブのために、世界規模で大量に統一ドメインを購入する。
20. 会員名簿の開示を禁止する。
21. 中国語をRI公式言語にする。
22. 修正案によって、He profits most who serves best が They profit most who serve best に変更された。
第二モットーを廃止しようという提案が否決された。
ロータリーにとって歴史的に重要な声明や文書はその原文を保存することが認められた。
相反する決議案が採択されたため、どのように対処するかはRI理事会に委ねられることになったが、ドクターマン元RI会長（前規定審議会議長）から、日本人が望むのならば He profits most who serves best を使っても差し支えないという言質を得た。
23. すべての表記は、ROTARY INTERNATIONAL と大文字を使用する。
24. 2005年2月23日には、RI代表団が平和メッセージを持って、各国の元首を訪問する。
25. 国際大会を見直して、登録料を安くする。
26. テレビによって規定審議会を開催する可能性を検討する。

2004年規定審議会において採択された主な制定案

以下の立法案はRI定款、RI細則、標準ロータリークラブ定款の変更です。それぞれの制定案は10%以上の反対があれば効力が停止し、郵便投票によって過半数の反対があれば無効となりますが、そのような例は過去に無く、事実上7月1日から発効します。たとえ正式な文書を受け取ってなくても、これらの規約を遵守する義務があります。

1. メークアップ規定の中に、「クラブのウェブサイトを通じて、30分の相互参加活動に参加」した場合を追加。E-クラブのホームページに30分間参加すればメークアップとして認められます。
2. メークアップ規定の中に、「ロータリー親睦活動の例会に出席」した場合を追加。正式にRIから承認を受けた「歴史と伝統の会」「ロータリー囲碁同好会」「アマチュア無線」等の会合に参加した場合メークアップとして認められます。クラブや地区の親睦活動ではありません。
3. 転勤先で長期間勤務している場合、双方のクラブの合意があれば、転勤先の指定クラブへの出席がメークアップとなる。
4. 理由ある出席免除（在籍年数と年齢の和が85、その他クラブ理事会が承認した出席免除）、



- RI役員の欠席は出席記録に算定しない。(出席率計算の分母、分子から除外)
5. 現行5年のニューモデル・クラブによる試験的プロジェクトを6年に延長する。
 6. クラブが合併した場合、双方のクラブの歴史的資産(クラブ名、マーク等)を保持することができる。
 7. 地区が30クラブ、1,000名未満の場合、RI理事会は地区境界の変更や合併を行うことが可能となる。
 8. RI理事会の承認なしに、地区の境界外で地区大会を開くことが可能となる。
 9. 地区ガバナーは地区財務諸表、報告書を提出する義務がある。
 10. RIの長期計画の詳細が決定。
 11. RI会長ノミニーとして指名されるためには、その意思があることを事務総長に通知しなければならない。
 12. 事務総長を報酬を受ける唯一の役員とする。(RI会長、RI会長ノミニー、RI会長エレクトに対する謝礼禁止)
 13. 会長、会長エレクト、会長ノミニーならびに会長室に弁済されたすべての経費を公開する。
 14. 半期人頭分担金を2004-05年度\$19.50、2005-06年度\$21.50、2006-07年度\$23.50に増額する。
 15. 規定審議会に提案するクラブ提出立法案は地区の承認が必要となる。
 16. 審議会代表議員候補者は地区内のいかなるクラブからでも指名できる。
 17. ガバナー・エレクトから免除を受けずにPETSおよび地区協議会に出席しない会長エレクトはその役職に就任することができない。実質的に次年度から適用される。
 18. 次期会長という役職名を新設する。
 19. 会員身分の終結に関する仲裁に調停を新たに加える。
 20. 瑕疵ない状態で身分が終結した場合のみ、再入会を認める。
 21. 会費不払いのために会員身分が終結した際、すでに職業分類が充填されている場合は、負債が完済されても正会員に復帰できない。
 22. 名誉会員の選考基準に「ロータリーの運動を恒久に支援した」ことを加える。
 23. 財団管理委員長および次期委員長に弁済されたすべての経費を公開する。
 24. 地区財務監査報告書をクラブ代表が集まる会合で検討しなければならない。
 25. 8年ごとにゾーンの境界を見直す。
 26. ガバナー・ノミニーの資格条件中、創立会長に限り6カ月以上就任とする。(その他の会長は全期間就任が必要)
 27. ガバナー・ノミニーは就任する18カ月以内に選出する。
 28. 欠点のある立法案は、規定審議会に回付しない。
 29. クラブは最低10名分の人頭分担金を支払う義務がある。10名以下のクラブも10名分の人頭分担金を支払う必要がある。

クラブ紹介

牛津ロータリークラブ



当クラブは、現在会員数32名、男性会員31名、女性会員1名、平均年齢60.2歳であります。

創立は昭和52年5月29日、28年目を迎えております。牛津ロータリークラブは佐賀市から約8km西に位置し、牛津町、芦刈町、久保田町からロータリアンの方々が在籍しておられます。週1回の例会は金曜日、昼12時30分から始まりますが、先輩後輩関係なく、会場では皆さんがお茶くみ、弁当並べ等をされ、本当に賑やかで和気藹々のクラブです。特に親睦を中心として8月家族会交流会、12月はクリスマス家族会、2月会員婦人の集い、年単位では会員夫婦での海外視察研修、又、近隣クラブ、小城クラブ、多久クラブ、大和クラブでの4地区合同例会、ゴルフ大会、野球大会等、親睦を深めています。今期は2月に予定しております。IMを当クラブがホストクラブとして開催致します。その事業の一環として今年は「国際ロータリー100周年事業」も含めてIMで、やる様になっています。プロジェクトチームを発足して運営の準備が進められています。

牛津は「九州の浪花」と言われています。昔、宿場町で、今もその名残りが残っている歴史とロマンのある街「牛津」へ、是非皆様のお越しを会員一同心よりお待ち申しております。

ガバナー公式訪問



佐賀空港ロータリークラブ



私共のクラブは佐賀空港開港と同時に発足しました。只今設立6年目の若いクラブです。

設立当時は30名ほどの会員でしたが今では17名になってしまいました。このような極小クラブではありますが、まとまりのある大変楽しいクラブです。毎週水曜日の例会は空港全体が見渡せる大変明るい佐賀空港の会議室で行っております。皆様、一度はメーキャップにおいで下さい。

また、秋には空港東側の遊休地にコスモス畑のボランティアにも参加し、協賛しております。それから、他クラブにはない行事と致しましては全国空港RCフォーラムというのがありまして、全国に空港という名前の入ったクラブが8クラブあり、毎年持ち回りでフォーラムをやっている事です。北は北海道から南は九州佐賀県まであり、毎年楽しみにしております。





佐賀北ロータリークラブ



創立年月日 昭和45年6月10日
 会員数 42名(2004/8/1現在)
 会長 福岡英信
 幹事 吉田裕一郎

我々佐賀北ロータリークラブは今年35周年を迎えます。佐賀北ロータリークラブは楽しいクラブ、楽しい例会、ためになるロータリー活動を目指し、幅広い年齢層の会員構成ですが、お互いに上手くコミュニケーションを取りながら、素晴らしいクラブ活動を行っています。

例会時の『俺に言わせろ!』コーナーでは、数名会員の方に趣味の話、企業の新商品の話、また、来訪者の会員の方にもご了解を頂ければこのコーナーに参加いただき、所属クラブのお話や企業のご紹介などをお話いただいています。

素晴らしい会員に恵まれ、SELEBRETER ROTARYの下、温故知新の精神を持ってロータリアンで良かったなと思えるクラブ、この佐賀北ロータリークラブで良かったなと思えるクラブ、それが佐賀北ロータリークラブです。



神埼ロータリークラブ



8月3日猛暑の中、栗林英雄ガバナーをお迎えして公式訪問及び例会を開催いたしました。当日は、杉原宏一地区幹事、松角雅夫地区大会実行委員長、吉田一夫ガバナーも参加いただきました。栗林ガバナーに30分という事で卓話をお願いいたしましたところ、少々お時間が足らなかった様子で

あられましたが、貴重なお話をお聞きする事ができました。

当クラブは29名という小さなクラブですが、交換留学生の受け入れ、米山奨学生への支援等の頑張りは大変優秀であるとお言葉を頂き、嬉しく思いました。

今年は、国際ロータリー創立100周年を迎える年、背伸びせず、ガバナーのご指導の下、できる限りの活動に励んでいきたいと思ひます。





武雄ロータリークラブ



武雄ロータリークラブは、昭和38年1月12日に佐賀RCをスポンサークラブとして創立しました。今年度で43年目を迎えますが、会員は現在59名で、平均年齢は59歳です。

一昨年は40周年行事、昨年は2,000回例会を迎え、前会長のもと、その若さと情熱によってさまざまな新しい試みが創り出されて、活気のある運営がなされてまいりました。

今年度は、そのようなものを尊重し踏襲しつつ、100周年にふさわしい活気のある楽しい又秩序あるロータリーをめざして、委員会例会等を運営していきたいと思ひます。



嬉野ロータリークラブ



嬉野ロータリークラブは創立1970年（会員数27名内女性会員1名）35周年を迎えることになりました。100周年の三大目標の一つ会員増強に力を注いでいるところです。

今年度7月30日に栗林英雄ガバナー・高原武彦ガバナー補佐・杉原宏一地区幹事・松角雅夫地区大会実行委員長をお迎えし、観光ホテル大正屋でガバナー公式訪問をとり行いました。

栗林英雄ガバナーは「ポールハリス」の言葉を引用して、ロータリーの原点について格調高いご指導と新世代の復活に対する情熱がひしひしと伝わりました。

ガバナーが力点を置かれている、青少年の育成を参考にさせていただき当クラブもインターアクト・塩田工業高校との交流を今以上密にし、ロータリー野球部の連帯感を大切にしながら、会員相互の「親睦と融和」をはかり、地域を巻き込んだ奉仕活動を実践していきたいと思ひます。





唐津東ロータリークラブ



創立年月日は昭和40年1月26日、今期40周年を迎える。本年度のクラブ運営方針は明るく、楽しい、充実した例会にしよう。創立40周年とロータリークラブ100周年を会員、家族、諸先輩、ロータリアンの皆さんと祝いましょう。この2点を目標として

1年間運営して行きます。

クラブの紹介、ロータリー家族という我がクラブの特徴のひとつに婦人の集いというのがあります。日ごろお世話になっている奥様方に食事と、酒と、愚痴る場所を提供させて頂いて戴かせています。今年で10年になります。それ以後、家族親睦会は大変和やかになりました。台湾の姉妹クラブにも夫婦同伴で出かけることもあります。先日の栗林ガバナの公式訪問の時は例会場がいつもと変わっていましたので申し訳ありませんでしたが、本来の例会場は海に向かって全面ガラス窓で、唐津湾が一望でき解放感溢れる例会場です。皆様一度おいでください。親交を深めましょう。



島原ロータリークラブ



島原市街の背後に聳える眉山（817.7m）は、形が不気味な山だと、司馬遼太郎さんは「街道をゆくNo 17」に書いておられましたが、私もそう思う。夜、我が家から見ると、蝙蝠が翼手を広げて町を包み込んでいる様に見える。しかし普賢岳災害の時

は、火砕流の楯となって市民を守ってくれたありがたい山なのです。

さて、1964年創立され、40周年を前年度に無事済ませた我がクラブは、今一番脂の乗り切った時期であり、アダルトムードの漂う、格調高いクラブであるという世間の評判は余り聞かれない。元来、性格の明るい方が多く、更に活発な女性会員の入会で、老人会の様な雰囲気はかなり改善された。長老会の様な会長経験者がずらりと揃っており、これを利用しない手はない。精神年令の若い私を会長に選ぶ無謀さも、懐の深さの表れであろう。明るい明日に向かって走り始めた当クラブの、水も魚も旨い城下町島原へ是非遊びに来てほしい。





島原南ロータリークラブ



山は雲仙、見下ろす海は有明海。島原の乱の御当地に少数精鋭で18年を迎える島原南ロータリーです。

設立当時は34名ではありましたが今は22名の小さなクラブです。少人数で大きなクラブの真似をするのではなく独自路線で大きなクラブにない良さを見つけていこうと思います。

福井県の丸岡クラブとの姉妹クラブも今年で10年目を迎え、来年5月には丸岡にて継続を予定しております。

夏にはサウスカップ少年ソフトボール大会、春にはサウスジュニア合唱団の演奏会を開催し、子ども達の元気をもらっています。

40代での会長というのは余りに早すぎると思いますが、そこは皆さんの協力により何とか無事に務めたいと思います。

町村合併を前に私達のクラブの地区名が南島原市になるそうで島原南クラブとしては複雑な心境です。



雲仙ロータリークラブ



8月7日、栗林ガバナー、木下ガバナー補佐、杉原地区幹事をお迎えしての懇談会と例会は私たちにとって有意義な勉強会となりました。

雲仙クラブは先に七條達夫地区ガバナーを送り出しており、今年創立35周年となります。この歴史と伝統を築いてくれた先人先輩への感謝とロータリーの輪をこれまで以上に大きく広がるよう、親睦に、奉仕活動に努力していきたいと思います。

ガバナーの今年度の方針の一つ、会員増強、退会防止については、現在会員数33名ですが、これ以上の減少が無いよう、退会防止に努めるとともに今年度は1名の増強を目指しています。

当クラブがロータリー100周年記念事業として取り組んで参りました国際青少年交換留学の国際奉仕活動は「ロータリーを祝おう」に相応しい成果が得られるように、ホストクラブの役割を充分果たしていきたいと思います。

1年間ロータリー活動に努力して参りますので、ご指導の程よろしくお願いいたします。





福江ロータリークラブ



去る7月23日遠路はるばる五島の地へ、栗林英雄ガバナーにとりましては大変な一日ではなかったかと思えます。

私達会員は、新しい年度が始まって間もなくの公式訪問ということで、資料作り、例会の運営と不手際があったのではないかと終わった後に思いを巡らしています。

当クラブも40周年を終え、次の45周年に向けての新たな活動方針、継続するための運営を考えながら、会員数41名となった今、相互の親睦を図り親しみあるクラブにできたらと思っています。

これから、各委員会であげた活動計画を基に会員が奉仕と協力を続けていきたいと思えます。



福江中央ロータリークラブ



わがクラブは昭和50年5月6日に創立され、本年はちょうど創立30周年の節目の年度であります。その意義ある年度に会長を拝命し、その責任の重さを痛感している所です。会員数は現在42名で最近では会員減少に歯止めがかかりませんが、本年度

は職業分類等を再検討し、何とか2名以上の純増を、会員一丸となり有能な人材の確保に努めたいと思っています。また、委員会活動にも重点をおきたいと考えています。委員会の活性化を図ることが会員のコミュニケーションづくりに役立ちますし、それがクラブの結束につながります。ですから、委員会が開かれる時は、会長・幹事で出席したいと思います。

10年ひと昔という言葉がありますが、今は1年で変わる時代で、ロータリーも例外ではないようです。その時代の流れ、ロータリーの変化というものを的確に捉えながら、また地域性を十分に考慮しながら、親睦と奉仕のバランスのとれたクラブ運営をめざし、クラブをより充実強化しクラブの発展に寄与したいと考えております。





長崎ロータリークラブ



創立1936年、九州で3番目設立、68年の歴史を数える。創立メンバーは、グラバーの子孫や地元財界有志20名。今日迄ガバナー4名を出している。クラブ会員平均年齢63.5歳。第9、10グループ内での明治生まれは当クラブの3名のみであり、大正

シングルを含めるとグループ内14名中7名が当クラブであって、年齢層の厚さがクラブの宝である。古い伝統が誇りであると共に、時代にクラブが追い越されぬよう常に変えるものは変え、変えないものを大事にし乍ら、伝統を育てていく事が当クラブの使命である。敷居が高いとの風評があるが、今年は「ロータリーを楽しく」をモットーに例会や奉仕を盛り上げることに、心掛けています。そしてクラブの活性化の第一歩は新会員増であり、100周年に因んで会員100名への復活宣言をしている。併せて、100周年事業や100周年記念行事を企画しているが、ロータリーを心から祝えるクラブづくりに努力していきたい。力まず、急がず、手を抜かず!!



長崎南ロータリークラブ



長崎南ロータリークラブは、8月4日に栗林英雄ガバナー、佐々木達也ガバナー補佐、杉原宏一地区幹事をお迎えして公式訪問例会を行った。例会では栗林ガバナーより本年度の地区運営方針について力強いご説明をいただいた。また、松角雅夫地区

大会実行委員長からは大会のご説明とご案内をいただいた。

本年度はロータリー創立100周年だけでなく、当クラブの創立40周年という記念すべき年でもある。まさにR Iのスローガンである「ロータリーを祝おう」にふさわしい記念式典と祝賀会を計画している。また、本年度は金子叔司会長の変革、改革するロータリーとするために

1. 例会・親睦活動の充実
2. 委員会活動の活性化
3. 予算の効率化
4. 全員による寄付金の推進

を重点項目として、全会員にとって意義あるロータリー100周年、クラブ40周年となるように努力するというクラブ運営方針を決定した。





新・入・会・員・紹・介

ロータリーの新しい仲間になられました方々をご紹介します。



小城RC
菅 俊裕 君



神崎RC
空閑 清人 君



長崎出島RC
鶴田 修 君



長崎出島RC
松尾 哲朗 君



長崎南RC
上戸 政明 君



長崎中央RC
平城 光一 君



長崎中央RC
川原 哲也 君



長崎RC
進藤 和彦 君



長崎北東RC
小川 一朗 君



有田RC
石川 慶藏 君



有田RC
蒲原 健次 君



有田RC
吉岡 正夫 君



武雄RC
大渡 利彦 君



武雄RC
野口 広満 君



松浦RC
荒巻 康博 君



佐世保南RC
川渕 孝順 君



佐世保東南RC
奥川 信治 君



佐世保東南RC
原岡 慶和 君



佐世保東南RC
中嶋 徳昭 君



島原RC
相良 直介 君



大村東RC
菊地 廣行 君



諫早RC
米原 新三 君



諫早RC
大串 賢作 君



諫早RC
野口 己喜夫 君



諫早西RC
木村 暢義 君

◆ 訃報

謹んでお別れいたします。

故 辻 保孝 君
(諫早南RC)





寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します

種 類	氏 名	クラブ名
P・H・F	松 下 隆 義	唐津中央RC
マルチプル・P・H・F	白 川 十 郎	伊万里RC
	前 田 一 彦	佐世保南RC
大口寄付	西 村 金 造	長崎RC
ポリオプラス	橋 口 光 彰	有田RC
ベネファクター	山 本 光 雄	牛津RC
	野 田 直 幸	福江中央RC
米山功労者	中 嶋 泰 生	唐津西RC
	小 松 重 昭	唐津中央RC
	森 義 則	長崎RC
	岡 田 康 信	長崎中央RC
米山功労者（マルチプル）	松 尾 雄次郎	唐津RC
	白 川 十 郎	伊万里RC
	前 田 米 蔵	唐津西RC
	古 賀 行 雄	武雄RC
米山功労者（メジャードナー）	嵩 則 雄	福江RC

職場環境づくりに重点



「ロータリーの原点に立ち戻り、地域還元したい」と抱負を語った栗林ガバナ―
佐賀新聞社

国際ロータリー
ガバナ―就任 **栗林さん本社来訪**

佐賀市

佐賀市長 佐賀と長 2740地区ガバナ―に
崎をエリア 就任した栗林英雄さん
とする国際ロータリー第(モ)が二十八日、佐賀新

聞社を訪れた。「職業倫理の向上はロータリー活動の柱。安心して働ける職場環境づくりに力を入れ、地域に還元したい」と語った。

栗林ガバナ―は諫早北ロータリークラブに所属。会社役員や商工会議所会頭を兼務する忙しい身だが、七月にガバナ―就任以来、地区内のクラブを精力的に回る。

今年がロータリー創立百周年。「ちようど節目にガバナ―になるとは不思議な巡り合わせ」と栗林ガバナ―は話し、ポリオの根絶や識字率の向上などの重点活動目標を挙げた。

(樋渡)



米山奨学生紹介



世話クラブ 長崎北東RC
 カウンセラー 丸木覚誠
 国 籍 中国
 学 校 長崎大学
 氏 名 顧軼婷
 (コ・イツテイ)



世話クラブ 長崎南RC
 カウンセラー 尾上 徹
 国 籍 モンゴル
 学 校 長崎大学
 氏 名 ジャンバル・
 オダゲレル

日本の伝統的な文化は華道、茶道、書道等であると私はそう思う。この道の考え方は、日本人の特色の一つで、道を極める求道する心と態度が、自らを向上させるという考え方に裏打ちされています。そして、その道を求め続けた人が次第にステージが高くなっていく、そして格付けされていく家元制度のようなものが、日本の文化の中に、根付いていったと思われる。

また、この道を極めるという考え方は、禅の考え方と共通するものがあり、日本人の考え方は自分に与えられた仕事を懸命に行うことが中世以降の日本社会の中で、日本人の中に深く浸透しました。つまり、そのような組織の中では、変革は非常に難しいことで、古来からのしきたり、作法、用法をかたく守るということになってしまいます。

日本人の考え方は、集団のあり方を重視するということだと思います。

私はモンゴルから来たジャンバル・オダゲレルと申します。長崎大学、生産科学研究科の大学院生です。研究は伝熱工学に関する理論研究です。お陰様で来年博士後期課程を卒業する見込みです。

私は日本に来て学生になり、そして米山奨学生に選ばれて本当に良かったとありがたく思っています。米山奨学生になって経済的に安定した上、例会に招待していただきカウンセラーの尾上さんを始め、ロータリアンの皆様にとっても温かく親切にして頂き感謝の気持ちでいっぱいですが、私は科学者として、もっている知識や技術を世界の平和のため、皆が共に生きていける環境をつくるために少しでも力になる仕事をしたいと思っています。そして留学生生活で得たことを母国の発展のために生かしたいと考えております。

私は自分の研究と共に日本の文化、習慣等を勉強し日本について理解を深め母国と日本の掛け橋になれるように努力したいと思っています。

地区委員会
 だより

◎ 米山記念奨学委員会

* 米山の集い開催ご案内

日時：2004年9月12日(日)

場所：L & L ホテルセンリュウ



国際ロータリー第2740地区 地区大会のご案内

2004年 11/5(金)・6(土)・7(日)

大会会場／諫早文化会館



CELEBRATE
ROTARY

100 Years

奉仕の歩み100年を
一緒に祝いましょう

ホストクラブ

・諫早北ロータリークラブ

コ・ホストクラブ

・諫早ロータリークラブ

・諫早多良見ロータリークラブ

・諫早西ロータリークラブ

・諫早南ロータリークラブ

11/5

(金)

大会前日

◆記念懇親ゴルフ大会 長崎国際ゴルフ倶楽部

RI会長代理 土屋直裕様ご夫妻

◆歓迎晩餐会 18:30~ L&L ホテルセンリュウ

11/6

(土)

大会第1日

◆委員会 11:00~ ◆登録開始 12:00~ ◆本会議 13:00~

◆ロータリー100周年特別企画 シンポジウム 15:00~ (一般公開)

『はばたけ 世界へジャンプ! 日本の若者!』

オリンピック・イヤーにちなみ、これからの21世紀を担う若者たちと、各種大会で全国レベルのすばらしい成績をあげた下記の佐賀・長崎両県の各種競技指導者・監督の皆様を集めて、スポーツと健康を通してこれからの若者像と将来の日本について考えるシンポジウムを開催し、スポーツのすばらしさを伝えます。

参加高校の監督と 主な競技成績

■九州文化学園高校／バレー部

井上博明 監督
『2004年中国総体』優勝
『2004年春の高校バレー』優勝
『2003年長崎ゆめ総体』優勝
『2001年宮城総体』優勝

■長崎女子高校／バスケット部

山崎純男 監督
『2003年全国高校選抜優勝大会』3位
『2003年長崎ゆめ総体』3位

■諫早高校／陸上部

松元利弘 監督
『2003年全国高校駅伝』準優勝
『2002年全国高校駅伝』4位入賞
『2001年全国高校駅伝』優勝

■佐賀工業高校／ラグビー部

小城 博 監督
全国高校ラグビー選手権大会(81回~83回)ベスト8
『2000年第80回全国高校ラグビー選手権大会』準優勝

■佐賀女子高校／新体操部

光岡三佐子 監督
『2003年全国新体操選抜大会』優勝
『2002年茨城総体』優勝
『2001年熊本総体』優勝

◆記念懇親会 18:00~ 諫早観光ホテル道具屋

11/7

(日)

大会第2日

◆登録開始 9:30~ ◆本会議 10:30~

◆記念講演会 13:30~

(一般公開)

オリンピックサッカー日本代表監督

山本 昌邦氏(予定)



指導者としての経歴

1995年	第8回ワールドユース(U-20)選手権ベスト8 日本五輪代表コーチ就任
1996年	アトランタオリンピック出場
1997年	U-19日本代表監督就任
	第9回ワールドユース(U-20)選手権ベスト8
	97年6月度AFC最優秀コーチ賞受賞
	ジュビロ磐田ヘッドコーチ就任
7月	Jリーグセカンドステージ優勝
10月	Jリーグサントリーチャンピオンシップ優勝
12月	Jリーグヤマザキナビスコカップ優勝
1998年	Jリーグファーストステージ優勝
8月	日本代表コーチ就任
10月	第10回ワールドユース(U-20)選手権準優勝
1999年	シドニーオリンピック出場権獲得
4月	ハッサン二世杯(モロッコ)
2000年	対フランス/2-2 対ジャマイカ/4-0
6月	キリンカップ優勝
9月	シドニーオリンピックベスト8
10月	アジアカップ(レバノン)
2001年	FFAコンフェデレーションズカップ準優勝
8月	キリンカップ優勝
7月	FFAワールドカップベスト16
2002年	対ベルギー/2-2 対ロシア/1-0 対チュニジア/2-0 対トルコ/0-1
7月30日	日本代表コーチ兼五輪代表監督就任
2003年	1月1日 五輪代表監督専任



2004年7月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第1グループ	佐賀	5	89.9	75	0	74	0	-1
	小城	4	96.5	36	1	36	1	0
	牛津	5	92.5	32	1	32	1	0
	多久	5	88.2	41	4	41	4	0
	佐賀大和	4	75.9	26	3	26	3	0
	小計		88.6	210	9	209	9	-1
第2グループ	佐賀西	3	82.3	54	0	54	0	0
	佐賀北	4	89.0	42	3	42	3	0
	佐賀南	4	84.7	40	0	40	0	0
	神埼	4	87.1	29	0	29	0	0
	佐賀空港	4	64.7	16	0	17	0	1
第3グループ	小計		81.6	181	3	182	3	1
	有田	3	78.4	39	1	40	1	1
	武雄	3	84.5	54	0	56	0	2
	鹿島	4	89.3	41	2	41	2	0
	嬉野	4	89.0	27	1	27	1	0
	大町	5	87.4	28	0	28	0	0
	白石	4	68.4	19	0	19	0	0
	太良	5	81.6	12	0	12	0	0
第4グループ	小計		82.7	220	4	223	4	3
	唐津	3	92.4	51	0	51	0	0
	伊万里	4	98.8	42	0	42	0	0
	唐津東	5	93.6	54	0	54	0	0
	唐津西	4	91.2	41	0	41	0	0
	伊万里西	5	89.0	48	0	48	0	0
	唐津中央	4	94.0	42	4	42	4	0
第5グループ	小計		93.2	278	4	278	4	0
	佐世保	4	94.9	85	0	86	0	1
	平戸	4	79.7	43	0	42	0	-1
	佐世保西	4	98.5	38	1	37	1	-1
	北松浦	3	91.3	33	0	33	0	0
	松浦	5	97.8	38	2	38	2	0
	生月	4	70.3	22	2	22	2	0
	小計		88.8	259	5	258	5	-1
グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第6グループ	佐世保南	4	100.0	85	0	86	0	1
	佐世保東	5	82.4	35	0	35	0	0
	佐世保北	3	100.0	51	0	51	0	0
	佐世保中央	5	100.0	50	0	49	0	-1
	佐世保東南	4	85.2	19	0	22	0	3
	HTB佐世保	4	86.0	28	4	28	4	0
	小計		92.3	268	4	271	4	3
第7グループ	大村	4	97.7	50	2	50	2	0
	島原	4	75.2	40	3	39	3	-1
	雲仙	5	85.9	33	0	33	0	0
	大村北	4	100.0	33	0	33	0	0
	島原南	4	81.8	22	1	22	1	0
	大村東	3	65.9	43	0	44	0	1
	小計		84.4	221	6	221	6	0
第8グループ	諫早	5	91.9	69	0	68	0	-1
	諫早北	5	82.1	64	0	64	0	0
	諫早西	4	96.8	48	0	49	0	1
	諫早多良見	4	80.6	44	0	44	0	0
	諫早南	3	81.8	33	3	32	3	-1
	小計		86.6	258	3	257	3	-1
第9グループ	長崎	5	80.5	92	0	92	0	0
	福江	5	97.9	44	0	41	0	-3
	長崎北東	4	87.3	64	5	65	5	1
	福江中央	4	89.6	42	0	42	0	0
	長崎西	4	76.4	71	0	71	0	0
	長崎琴海	5	80.0	20	2	20	2	0
	小計		85.3	333	7	331	7	-2
第10グループ	長崎北	3	80.4	79	0	77	0	-2
	長崎南	4	85.8	90	0	91	0	1
	長崎東	5	98.7	77	0	77	0	0
	東長崎	4	83.1	39	0	39	0	0
	長崎中央	3	92.1	59	0	61	0	2
	長崎出島	5	88.3	58	16	60	16	2
	小計		88.1	402	16	405	16	3
合計			87.1	2630	61	2635	61	5



文 庫 通 信 (203号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

☆ 地区大会記念講演から ☆

- ◎「出来ることからボランティア」 福岡政行 2004 13p (D.2760)
- ◎「スポーツが地球を救う！～21世紀のスポーツの役割」 水野正人 2004 8p (D.2630)
- ◎「何のために事業をするのか — 一人に愛を —」 岡田卓也 2004 10p (D.2630)
- ◎「カビと環境」 宮治 誠 2004 2p (D.2790)
- ◎「人間再発見」 藤本義一 2004 2p (D.2790)
- ◎「文化財赤十字構想について」 平山郁夫 2004 9p (D.2580)
- ◎「わがくに國の三大隣国 — 米・中・露 — について考える」 古川 清 2004 13p
- ◎「地球環境と経営調和 — 1秒でこんなに変化する世界の中で —」 山本良一 2004 12p (D.2560)
- ◎「勝者の思考法」 二宮清純 2004 16p (D.2690)
- ◎「動物園で暮らしています」 小菅正夫 2004 4p (D.2500)

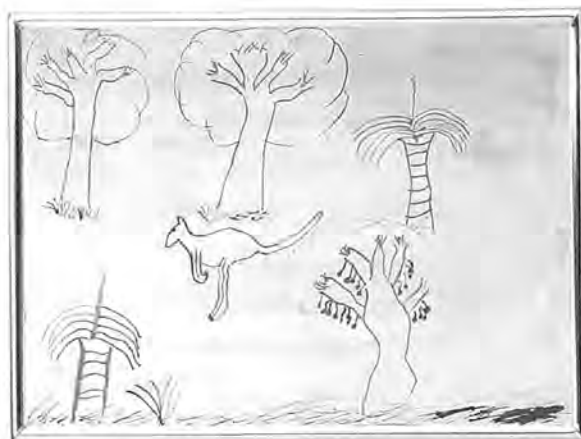
[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

諫早北RCでは、かつて西オーストラリアのピンジャラRCと子供達の絵画交換をしたことがあります。明るい彼等の絵をどうぞお楽しみ下さい。



佐賀停車場

明治36年の佐賀駅前（当時は佐賀停車場）風景です。佐賀駅（旧佐賀停車場）は明治24年8月20日に開業し、鳥栖・佐賀間に鉄道が走りました。

写真は陸軍の大演習に合わせて第1回目の拡張が行われた記念に発行され絵葉書に使われた物です。当時は人力車が並び、まだ馬鉄もありませんでした。

写真提供 佐賀RC 音成日佐男様

古い写真をお持ちの方へ

ロータリー創立1905年（明治38年）から数えて、来年は輝かしい100年となります。この100年に因んで、明治38年当時の地元の様子を古い写真で紹介してみよう企画致しました。2740地区のロータリアンの皆様のお手元に、その当時の古い写真がありましたら是非お貸し下されば幸いに存じます。よろしくお願い申し上げます。

※ご連絡はガバナー事務所まで



富川溪谷

諫早駅より本明川を上流に10.5kmほど行くと、青く澄んだ豊かな水と深い緑が美しい富川溪谷にたどり着きます。周辺は森林浴の森にも指定されており、シーズン中は多くのキャンパーで賑わいます。また、大きな吊り橋や公園も整備され、新しい観光スポットになっています。

感動の一瞬をとらえた貴方の写真で、裏表紙を飾ろうではありませんか。振るってご応募下さい。

※ご応募はガバナー事務所へ



国際ロータリー第2740地区

2004～2005年度ガバナー

栗林 英雄

■事務所

〒854-0016 長崎県諫早市高城町5-10-302
TEL.0957-35-4890 FAX.0957-22-2808
E-mail:ri2740@ninus.ocn.ne.jp

編集後記

記録的な猛暑と集中豪雨による被害を残して、今年の夏は過ぎていきました。

アテネオリンピックでは日本人選手の大活躍とメダルラッシュにわれわれの心に大きな感動を与えてくれました。

11月の年次大会は諫早の地で、誇りあるロータリアンとして再会を楽しみにしております。ご来諫をお待ち致しております。



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2004.10

vol.4

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2740地区 ガバナー月信

2004～05年度 ガバナー 栗林 英雄





ロータリーを 祝おう

100年の歩み

2004～2005年度
国際ロータリーのテーマ

Contents

●ガバナー所感	1
●規定審議会報告書(続)	2
●2002-03年度 RI会長 ビチャイ・ラタクル氏 講演 (No.1)	5
●クラブ紹介	6
●ガバナー公式訪問	6
●地区ローターアクト委員会情報	16
●クラブ便り・ガバナー事務所だより	17
●新入会員紹介	18
●寄付者紹介	19
●地区大会のご案内	20
●GSEチームメンバー紹介	20
●地区大会記念事業のご案内	21
●8月会員数・出席報告	22
●文庫通信	23

表紙の絵

「白木峰高原から望む諫早湾」

秋のコスモス風景を求めて白木峰まで登ってきたけれど、季節が少々早く、可憐な花々には出会えなかった。何気なく眼下を見遣ると、雨粒を含んだ大気を透かして、汚濁の諫早湾が鈍い光を放っていた。

これを描き始めたが、とうとう小雨が降り出したので、急ぎ素描を済ませたのだった。

絵の提供 諫早北RC 緒方 聖会員



ガバナーからのメッセージ

職業奉仕月間に寄せて

— 専門職業人としての自覚を —



第2740地区ガバナー 栗林 英雄

ロータリークラブは社会を構成する数多くの職種の中から選ばれた良質な職業人の集まりである。それぞれの企業を経営する人たちが集うトップ集団でもあり、その規模に大小の差こそあれ、企業経営という同質の苦悩を共感できる人々の連帯の中に存在している。ここでは専門職業の品性を高めよ、全てに公平であれ、自らの職務を通して社会に奉仕せよと教えられているが果たしてその実効は？

昨今のニュースで度々報じられる如く、企業の経済活動の中で、その管理者の倫理観の欠落を物語る不祥事が相次いでいる。2002年ロータリーの友10月号に、時のRI会長ビチャイ・ラタクル氏が「信頼を高める職業奉仕を」と題する会長メッセージを寄稿しておられる。その紹介文の中に「アメリカの世論調査で住民の半数以上が大企業の財務報告を殆ど信用していない。そして2/3は重役たちの倫理がこの数十年で低下したと信じている」とあった。情報開示が厳格な指導の下に行われていると思われていた米国で、情報の不正操作という暗い影が忍び寄っていたとは。この不正に加担したロータリアンが居たのだろうか。

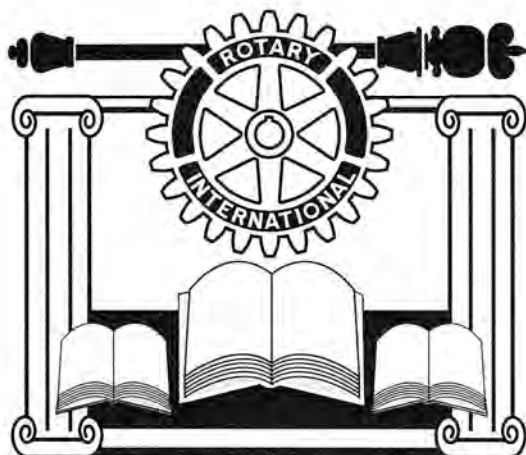
企業の経営が成り立つためには資本投下に見合うだけの利益が上がるねばならず、さもなくば赤字、倒産という危機はいつも身近に迫っている。とはいえ不正行為は断じて許されるものでなく、中々後を絶たないこの種の企業の態度は企業のもつ公共性を忘れた背信行為であって、企業人のひとりとして暗澹たる気持ちにさせられる。

ある企業の存続可能な条件として、その土地に生産拠点となる工場を構え、地域に雇用を創出し、そこで働く従業員の生活を支え、かつ企業そのものが地域住民に愛される事が必要であろう。そこで生産される商品が一般社会にも快く受け入れられ、優れた価値あるものと評価され、その結果その企業の業績が

上がることが望ましい。その利益の一部はそこで働く従業員に賃金として還元され、ひいては地域経済を潤す事になる。このような需要と供給の理想的な循環は如何にして持続できるのだろうか。

ロータリーでは優良な企業の経営者は一業種数名（正会員5名会員数51名以上は10%）という制約の下に業界の代表として選ばれ、入会が許されることになっている。そして、例会の度にこれらの人々が親睦と融和を深め、互いに切磋琢磨しつつ利己と利他との調和をはかるという極めて重要な思想を学ぶのである。それは各人の専門とする自分の職業を通して公正な経済活動を行うことにより、他者をも利することを知らされる。これこそ職業奉仕の根幹をなす考え方である。それ故ロータリーでは企業者に入会を勧誘し、「入りて学び、出でて奉仕せよ」と職業奉仕の手法を実践し促しているのである。奉仕の心に根ざした公正な企業活動は地域社会の支持を得て、やがて地域に不可欠な存在となる。そしてその活動は様々な領域まで有機的に影響を及ぼし、又新たな奉仕の形が展開してゆくのである。それは好調な企業の業績によって生み出された余剰の経済的エネルギーを、地域の社会貢献、文化支援に向けて放出する方法である。その結果、その企業は地域にとって重要な職種として認知され、限りなく成長を続けてゆくことになるだろう。

さて、ロータリーでは自分の言動を律する指針として「四つのテスト」を提唱している。ともすれば例会場での復唱だけに止まっている謗りをまぬがれないが、毎日繰り返される企業活動の中で、個人の私生活の中でも、各人の言行を確かめる尺度とし、自浄能力を高めてより良い職業人としての人間形成に努力しなければならない。失われつつある企業への信頼回復のためにも。



COUNCIL ON LEGISLATION

2004年 規定審議会報告書 (続)

地区代表議員 武井 洋一

先月号で採択された主な決議案、制定案について報告済みですので、審議会全般に亘って私が感じた点をお伝え致します。

概況説明 (順不同・思いつくまま)

1. 採択及び修正採択された**制定案**は、2004年7月1日から発効します。
2. 採択及び修正採択された**決議案**は、全て理事会で再検討されて随時公表されます。
従って予算負担が大きい案件等は発効が遅れる可能性があり、又過去理事会で容認されないままのものもあるそうです。
3. 一覧表の内 **Council No.**とは立案法の受理番号で、**Oc No.**とは審議を行う順番のことで採否に大きく影響を与えます。例えば人頭分担金の値上げは理事会提案が1件で、値下げ案が5件位ありました。若し値下げ案を先にして可決されると、その他は全て取り下げで値上げ案は消えてしまいます。値上げ案を先に審議してRI原案通り採択されたので、他はボツになりました。本部の知恵の見せ所なのです。
4. 第2テーマは **ONE** に適切な反論もあり論議の末、**THEY** に再三修正して残す事に決定しました。He profits most who serves best が They profit most who serve best に変更です。
5. 育児産休など女性会員に配慮された諸立法案は何故か女性議員の反対が多数でした。今回**女性議員のパワーは刮目**で、1995年度に女性初ガバナーが誕生し、2001年度の選出議員十数名です。
6. **マンダリン語**がRI公用言語に決定し、台湾関係の議員は念願が叶って大喜びでした。
7. ポリオ終結以降の懸案事項も種々論議されたが、ポリオ終了後に考えると保留。それに対して何故今直ぐ考えない、ネガティブです、もっとダイナミックに考えよう、前進あるのみ等々の反論あり。その他**WCS関連**は件数も多く議論も熱気に溢れ、新世代やクラブ奉仕と共に今や大黒柱です。
8. 毎回提案されますが、綱領に第5項目を追加する件は全て否決されました。青少年、財団、教育 etc.
9. 今、世界で会員10名以下のクラブ数は約660もあり、**合併制定案**は採択。例会だけなら2人でも可。但し、10人以下のクラブでも、10人分の人頭分担金を払うことになりました。
10. **賛否同数が2件**あり、議長権限で1件は広報関係で採択され、1件は否決されました。
11. ロータリーは **SHALL** よりも **MAY** を、**BEST** の強要よりも **BETTER** の推奨を多用しましょう。



12. 新しい会員の為に、古いという理由だけでロータリーの基本を変えてもよいのでしょうか。
13. 発言時間は提案者が2分で、セカンドとフロアーは各1分でしたが、日本の議員は大活躍でした。
14. 途中で席替えがあり、休憩時間に隣席の南アフリカやベルリンの議員と楽しみました。
15. Rを宇宙に拡大という夢の提案には、MUが楽しい、RIをR宇宙に名義変更か、金は、言語はetc.
16. 壇上では、定款細則委員会と議事進行会議運営の超専門家が、数名ずついて度々相談していました。
17. **自分は地球の裏側から来た。**審議が遅れるなら夜までやろう。全議案を完全に済ませて帰りたい。
18. 厚さ12cmもあるファイルは、毎日資料が増えて帰って計ると、約4.8kgもありました。
19. 採択された制定案でも、2カ月以内に10%の反対があれば、最終的には投票で可否を決めます。
20. 報酬を受けるのは事務総長1人に限定。
7月4日東京反省会（座長：2680地区 田中毅議員）での話題と資料の一部を下記にお知らせします。21～31は制定案で以下は決議案。
21. 親睦活動の出席をMUにとは、地区やクラブが決めた行事ではなく、RIが正式に示したR・フェローシップの会合に限ります。例えば「歴史と伝統の会」「アマチュア無線」「R囲碁同好会」etc.
22. クラブが合併した場合、双方のクラブの歴史的資産（クラブ名、マーク等）を保持する事ができる。
23. RI理事会の承認なしに、地区の境界外で地区大会を開くことが可能となる。
24. 規定審議会に提案するクラブ提出立法案は地区の承認が必要となります。
25. 地区ガバナーは地区財務諸表、報告書を提出する義務があります。（経理の透明性を強調）
26. 半期人頭分担金を2004－05年度\$ 19.50、2005－06年度\$ 21.50、2006－07年度\$ 23.50に増額する。
27. 会員身分の終結に関する仲裁に調停を加える。
28. RIの目的に「地区とクラブの指導」を加える。
29. 地区財務監査報告書をクラブ代表が集まる会合で検討しなければならない。
30. 次回より欠点のある立法案は、規定審議会に回付しない。
31. ポリオ以降の長期計画を策定。
32. クラブ奉仕部門に沿革史編纂／資料保存委員会を設置する。（名門と呼ばれるRCにはおおよそあります）
33. 被災地のガバナーから災害救援要請があった場合のみ救援が可能となる。
34. 最低40クラブあれば地区を形成する。
35. 地区番号に地理的な標示を付記する。（例：2740地区 佐賀、長崎）
36. 地区大会に会長代理が必要か否かを地区が決定。
37. 地区大会を改正して1～3日、6時間とする。
38. 全ての表記は、ROTARY INTERNATIONALと大文字を使用する。



日本から提案されたる立法案

04-27	出席記録から、会員の理由のある欠席を除外する件	2650地区 桜井	A 採択
04-47	ガバナーがクラブの統合手続きを率先できるようにするために次回の規定審議会に立法案の提出を考慮するよう RI 理事会に要請する件	2770地区	W 取下げ
04-87	クラブが会員選考委員会の検討後にのみ会員の入会を認めることができるよう、推奨ロータリークラブ細則を改正することを考慮するよう RI 理事会に要請する件	2770地区	W 取下げ
04-91	移籍ロータリアンおよび元ロータリアンに関する規則を改正する件	2780地区 綾瀬	W 取下げ
04-147	ロータリー世界平和奨学金のためにもっと開発途上国から奨学生の選出を考慮することを管理委員会に要請するよう RI 理事会に要請する件	2640地区	A 採択
04-181	クラブおよび地区のインターネット・コミュニケーション担当役員を任命することを考慮するよう RI 理事会に要請する件	2680地区 篠山・淡路北	R 否決
04-197	地区大会の義務要項を改正することを考慮するよう RI 理事会に要請する件	2770地区 埼玉副都心	W 取下げ
04-273	ロータリーにおいて歴史的に重要な声明や文書の原文の用語を保存することを考慮するよう RI 理事会に要請する件	2680地区 淡路三原	A 採択
04-274	二つのロータリーの標語、「超我の奉仕」と「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」を首唱することを考慮するよう RI 理事会に要請する件	2500地区 紋別港	W 取下げ
04-296	ロータリアンが世界平和および世界の環境保護の唱導者になるよう奨励することを考慮するよう RI 理事会に要請する件	2710地区 広島南	R 否決
04-317	会長ノミニーの選出の規則を改正する件	2640地区 富田林	A A 修正採択
04-410	規定審議会を2月に開催する件	2610地区 富来	W 取下げ
04-418	審議会の決定の発効日を改正する件	2610地区 金沢西	T 保留
04-521	RI ウェブサイトの言語コミュニティの費用を賄う料金を課する件	2680地区 伊丹	R 否決



これからシリーズで会員の皆様へご紹介する論説は、今年の国際協議会において、2002～03年度国際ロータリー会長ビチャイ・ラタクル氏が講演されたものであります。世界各国から集まったガバナーエレクトを前に話された内容は非常に高い評価を受けたものであり、会場に居合わせたロータリアンは大きな感動を受けたのです。内容は実に格調高く示唆に豊かなものでありますので、一般会員の皆様にも等しくその感激を味わって頂きたいと思い、取り上げることに致しました。

過去に基づき、未来に焦点を (No. 1)

2002-03年度 RI会長 ビチャイ・ラタクル

会長、敬愛する友人の皆さま、次期ガバナー、紳士淑女の皆さま、息を呑むような瞬間というものがありますが、私にとって、今がそのような瞬間です。

この大変栄誉ある行事での講演にグレン・エステス会長エレクトから招聘されるのは、私にとってなんという光栄でしょう。ここ国際協議会で、世界の隅々からロータリーのリーダーが集まり、ロータリー運動の創設から100周年までのロータリーの歴史をたどり、学ぶのですから。

2世紀目に近づいた今、私たちは新しい世紀の幕明けに心を弾ませ、ロータリーを、善を為す真の力にしたいという意欲にかられています。

この創設100周年記念日には、間違いなく畏敬の念を起こさせるものがあります。100年とは、価値と実績の後光、勝利した闘い、目標達成の思い出で飾られた輝かしい年月です。

個人の人生で、100年は長い長い年月で、そうそう誰もが生き永らえる寿命ではありません。しかし、組織の一生では、これは全体的な体系のごく小さな断片にすぎません。

来年の2月23日に、創立100周年を迎えるにあたり、私たちは少しも速度を落とす予定はありません。そしてこれまでに得たあらゆる知識、友情、所有物などを活用せず、楽しまないなどということは決してありません。

この歴史的な節目を目前に控えた今は、一息ついて、吟味するとき、これまで歩いてきた道、通りすぎた一里塚を振りかえる時です。何にも増して、奉仕と親睦というロータリーの理想が国際的に受け入れられたことを感嘆する機会でもあります。

明らかに、互惠取引というロータリーの概念は、当初の人気と成長に大きく貢献したかもしれません。それはシカゴだけではなく、他の都市や海外への拡大にも役だったかもしれません。しかし、ロータリー史の展開において、ビジネスにおける自己とクラブ仲間への奉仕という基本概念が、生活の全面における他者への奉仕と援助、そして究極的に全人類への奉仕というさらに崇高な理想へと移行しました。人助けへの関心を行動で示す者に、いみじくも商売の利益が流れることをロータリアンが学ぶにつれて、強調点が「受けること」から「与えること」へと変わったのがこの時点でした。

しかし、100周年はただ過去を振り返るときではありません。現在を見直すときでもあります。今日私たちがどこにいるか、今何をしているか、そして正しい方向に向かっているか、を検討するときです。

100周年は、将来について考え、新しい目標を設定し、新しい挑戦事項に立ち向かう時です。



クラブ紹介

有田ロータリークラブ



わが有田クラブは、チャーターメンバー20名で発足し、1961年11月に認証を受け、今年44年目を迎える会員40名の小じんまりとしたクラブです。が、県外からのビジターが頻繁に訪問されるクラブでもあります。

当町出身で日本人初のロータリアン福島喜三次翁を顕彰し、創立5周年の記念事業と致しまして、福島奨学金制度を設立し、現在3名の大学生が活用しております。又福島喜三次伝を発刊し今日も全国ロータリアンに読んで頂いております。創立15年度には、オーストラリアより窯業研修生女子1名を1年間受け入れました。これが今の交換留学生制度設立のきっかけとなったと聞いております。創立20周年に初めて交換学生をアメリカへ派遣いたしました。

25周年には、福島喜三次翁顕彰碑を建立、遠方からのロータリアンが参拝に来ていらっしゃいます。当クラブのガバナー公式訪問時の顕彰碑参詣は恒例になりました。

創立40周年を祝って、有田RC野球部を発足しました。勝負はともかく、5年毎に開かれる全国野球大会、今年度はロータリー100周年の記念大会が開催されますので、会員の親睦と信頼と友情を深め、甲子園を目

ガバナー公式訪問

指して楽しいクラブにしたいと思っております。テリトリーは、西有田町、山内町と少人口で、会員勧誘には厳しい面もありますが、増強にも精一杯努力しております。



諫早西ロータリークラブ



諫早北ロータリークラブを親クラブとして1985年2月20日チャーターメンバー30名でスタートした我が諫早西ロータリークラブも今年度20周年を迎えることができます。来年4月の記念事業の準備に全会員多忙な日々をすごすなか、ロータリー100周年と同じ年度に当クラブが成人するのにも意味深いものを感じております。

現在会員数48名、平均年齢56歳（80歳～42歳）、諫早5クラブで3番目に古いクラブになります。

仕事においても、脂の乗り切った会員が中心のクラブですが、例会に、そして親睦にと全会員頑張っております。

釣りクラブとゴルフクラブの同好会がありますが、特にゴルフ同好会のウエスト会には、会員のほぼ半数の会員が所属し年6回のコンペで親睦を図っております。

会員同士の仲の良さは他クラブからも羨ましがられております。

ロータリー活動は家族の理解から。この信念のもと、年2回の家族同伴例会のほか、年2回の夫人の集いを実施、本年は会員の職場での菓子作り教室を計画しております。多くの夫人が参加され夫人方だけの交流も盛んです。

以下に20年の歩みを簡単に紹介します。

諫早西ロータリークラブは1985年2月20日諫早北ク

ラブを親クラブとして創立。

5年目の平成元年には多良見諫早ロータリークラブの拡大を図ると同時に第1回青少年チャリティーコンサートを開催（平成3年まで実施）致しました。

7年目には、白木峰コスモス園に案内板の寄贈、10周年には記念事業の一環として北諫早小学校に琴十艘を寄付。

13年目には識字率向上の為にネパールに小学校建設寄贈（シバシャクティー小学校）。小学校運営のためのチャリティーバザーを会員夫人の協力により5年間実施。

14年目より佐世保ダービススクールと交流学習実施（現在まで継続中）。

20周年の今年は諫早公園に久留米つつじの記念植樹、そしてネパール基金の設立を計画しております。





大町ロータリークラブ



当大町ロータリークラブは、昭和48年6月7日に隣接する北方町・大町町・江北町の3町をテリトリーとしての26名の有志によって認証され発足した、創立32年を迎えるクラブです。現在の会員数は29名ですけど、多い時は40名を有する時期もありました。長引く不況と社会状況の変革により減少し、現在の会員数となっております。

会員増強という事も当然必要な事と認識はしておりますが、質の問題と量の問題どちらを選択するか一長一短ある訳ですけど、私としては少数精鋭でもロータリーの趣旨をよく理解し、真の付き合いが出来るメンバーのみでもよいのではないかと思います。増強ばかりに捕らわれず、退会者が出ないようなクラブにするのも大事な事ではないでしょうか？

例会では、ロータリーソングを歌った後体操をして、一人ひとりと握手をし、食事前には「頂きます」と大きな声で合掌してから食事を摂っています。

この様に、例会が楽しい雰囲気出来るよう心がけて、今後とも工夫をしながら努力をしていきたいと考えており、又月に1回程度の夜の例会を実施し、親睦を深めていきたいと思っております。



白石ロータリークラブ



白石ロータリークラブの区域と重なる新白石町（平成17年1月合併予定）現在白石町、有明町、福富町からなる）は、佐賀平野の西部に位置し、米、たまねぎ、レンコン、大豆、アスパラ、ぶどう、そして海苔の産地です。この農林水産業の基盤の上に経済が成り立っています。

去る8月25日、栗林ガバナー、高原ガバナー補佐、瀬頭事務局長、鶴川地区大会幹事をお迎えしての公式訪問例会を行いました。栗林ガバナーは、今年度の方針として職業奉仕と新世代委員会を設けて青少年の教育に力を入れるという内容の卓話をされました。特にスポーツを通じて勝つ喜び、負ける悔しさを感じ、又現代の子どもたちが孤独であり、チームスポーツで連帯感や協調心を培うことが非常に大切とおっしゃいました。

このことは、これからのクラブ運営に大きなヒントになるようです。我がクラブは19名の小さなクラブですが、これからも和気あいあいの雰囲気をもちながら、地域社会に密着したクラブでありたいと思います。





伊万里ロータリークラブ



伊万里ロータリークラブは、昭和36年7月27日（1961年）第370地区松本パストガバナーの指導のもと、佐世保南クラブをスポンサークラブとして、23名のチャーターメンバーを以て結成されました。そして同年9月20日には、国際ロータリークラブの承認を得ました。

以来今年度で44年目を迎えることになります。過去43年間という長い年月、会員同士の友愛の中、ロータリーの理念と実践ロータリーの理念に邁進してきました。

今年は、RI会長のテーマ「ロータリーを祝おう」100周年の節目に当り、会長白川十郎のもと、ロータリーの理念をあらためて確認し更に会員相互の親睦と、奉仕の理想に向け前進していきます。



唐津西ロータリークラブ



我がクラブは、エリアに呼子、名護屋城跡、玄海原子力発電所があり、バナーには九州で初めて原子力の火が九州最北端エリアの一角に灯った、その原子の核を中心に配し地色のブルーは玄界灘を表現した。これは昭和44年創立会員の製作で、原子力発電所がエリア内にある事を強調、お互いが切磋琢磨し

今後の発展を表してある。白砂青松、美しい海と豊かな自然に囲まれ、風光明媚な唐津に昭和45年1月7日に誕生し、今年度35周年を迎えます。名誉会員1名チャーターメンバー2名を含む42名の構成で、特色は韓国3クラブとの姉妹締結、公式訪問時栗林ガバナーより今後も継続を、と激励戴いたエリア内2つの高校で、卒業目前の生徒に社会人としての心構え等のテーマで、毎年講演の出前を実施、又8月恒例の船上バーベキュー家族例会でしょう。この1年諸先輩方や会員諸氏の御指導、御協力を戴き、明るく楽しく笑顔で奉仕をモットーに努めて参ります。





伊万里西ロータリークラブ



私共、伊万里西ロータリークラブは1974年（昭和49年）3月9日に創立され、31年目を迎えています。現在会員数48名、平均年齢59.81歳です。

ロータリーマークの歯車が馬車の車輪に似ているとの発想から、我がクラブは独りでスマートに運転する車ではなく、馬車のように会員が平等に力を合わせて、地道に進もうということで、自ら「馬車クラブ」と愛称し、先輩、新人の区別なく「大いなる親睦」を旗印にゴルフ愛好会、俳句会等、和気あいあいで行っています。一方、イベント・行事等においては「やる時や、やっばい」の精神で、会員一丸となり取り組み、結束力のあるクラブであると自負しています。

3年前から、11時30分より飲み物を準備し、食事を随時とってもらようようにしています。この事は、例会の1時間をフルに使い、中身の濃い、楽しい場にしたという発想からです。

このような、伊万里西ロータリークラブです。是非一度メイクアップにお越し下さい。



北松浦ロータリークラブ



我々のクラブは創立35周年を今年3月にむかえ、長崎県北松浦郡の6カ町をエリアとしたクラブです。但し、来年には市町村合併を控え、エリアの6カ町はさまざまな合併を行うと言われています。長引く不況下にて会員数は減少し33名となりました。

8月24日の栗林ガバナー公式訪問では新入会員入会式を行うことができ、更なる会員増強に力が湧いてきたところです。

栗林ガバナーが提唱されている一つに若者の育成としての「家族を大切に」があります。当クラブは昨年度より中学生とともに合同奉仕作業とバーベキュー食事会、その後に中学生とロータリアンとの懇話会を行ってきました。今年も別の中学校にて開催しました。平均年齢60歳となった我がクラブ会員にとっては、今の中学生の考えを知る事はいい勉強になりました。これからも地域の若者たちへ積極的に働きかけを行っていきたくと考えています。





佐世保北ロータリークラブ



1984（昭59）年4月16日 創立
（設立例会31名）
1984（昭59）年5月14日 R I 承認
1985（昭60）年4月13日
認証状伝達式（チャーターナイト）
チャーターメンバー41名
（現在23名在籍）

現在会員数 52名 （8月23日現在）

平均年齢 57・56歳（8月23日現在）

1984年（昭和59年）4月16日に、31名で設立例会を開いて早いもので20年が経過致しました。メンバー数もMAX71名を記録した時もありましたが、バブル崩壊等の影響もあり現在52名となりましたが、親睦を中心にまとまったいいクラブであると自負しています。20周年はまさに成人式、これを契機に更に発展を遂げ、次なる30周年・50周年へと歴史を刻み伝統を築き上げることにより会員一同ここに誓い努力いたします。

創立20周年を記念して、全会員がPHFとなりました。（7月1日現在51名）

2004～2005年度クラブテーマ

「親睦を深めてロータリーを楽しもう」



佐世保南ロータリークラブ



日時：8月20日（金） 12：30～
場所：J Aながさき西海さぜぼホール

我がクラブは1958年の創立で、50周年記念行事のため準備を始めています。現在、会員数86名、名誉会員4名の陣容です。会長グレンE.エ

ステスSr.氏の『ロータリーを祝おう』を念頭に、実績を築いた先人の努力に感謝し、今後祝うべき奉仕活動の実践に力を注ぎたいと思っています。

栗林英雄ガバナーが立てられた目標の一つに、原点回帰があり、職業奉仕こそロータリーの生命であると謳っています。職業人の倫理を強く問われています。今後も魅力あるクラブ運営に努め、意義ある奉仕活動を推進し、地域社会のためいささかの貢献ができればと願っています。





大村ロータリークラブ



本年は“Smile & Serve”を合言葉に、笑顔溢れる楽しいクラブ運営を心がけております。去る8月21日・22日に開催されました第2740地区IA年次大会におきましては、栗林ガバナー・木下ガバナー補佐はじめ地区役員の皆様方に大変お世話になりました。お蔭様で高校生が主役の、感銘深い大会となりました。又8月31日の公式訪問例会では、栗林ガバナーより『超我の奉仕』について、心に残る卓話をいただきました。当クラブは、来年2005年2月、国際ロータリー100周年と共に、お蔭様で創立45周年を迎えさせていただきます。私共も45周年を通じて、或いは地道な委員会活動を通じて、ロータリーの奉仕の心と、ロータリアンとして“一隅を照らす生きかた”を勉強できたと念じております。これからも価値ある1年であることを願い、会員みなで活動と感動を分かち合っていきたいと思っております。



大村東ロータリークラブ



大村東ロータリークラブは、創立9年目の若いクラブで、会員は44名です。例会は、毎週月曜日で、第3例会は夜の例会となります。

主な活動内容として、大村城南高等学校インターアクトクラブの奉仕活動・大村市空手道大会・琴の湖杯西日本身体障害者インドアスポーツ大会の支援を行っています。

また、各方面から講師を招いて講演をして頂き、会員の志気を高めております。ゴルフ大会等も、積極的に開催し会員の親睦をはかっています。委員会の会議も開き、全員参加の奉仕活動をめざしています。

大村市は花と水と緑の町と言われますように、大村公園で4月には桜、6月には菖蒲がみごとな花を咲かせます。当クラブの6月の菖蒲例会では、会員の家族も参加して頂き、楽しい親睦会を行っています。

ガバナーは今年の方針の1つとして、会員増強・退会防止をあげられています。

私共、東ロータリークラブでも、会員増強に力を入れています。また、来年度は10周年を迎えますので、会員の親睦を深め、益々大村東ロータリークラブが発展するよう努力したいと思います。





諫早南ロータリークラブ



栗林ガバナーが公式訪問に見えられたのは、8月9日の原爆祈念日に当りました。懇談会の席でガバナーと共に黙祷を捧げました。

ガバナー卓話においても、原爆の話や、世界の紛争のことに触れられ、紛争で犠牲になった罪もない

女性や子どもにロータリーを通じて手を差し伸べなければならないと話されました。

又、職業奉仕につきましては、体験談を中心にロータリーの職業奉仕についての卓話をされました。

我がクラブは、平成10年9月9日に創立し、今年度6年目の若いクラブです。設立当時25名の会員でしたが、今では32名（内女性会員3名）の会員数です。平均年齢52才と若い会員が多く、楽しく元気のあるクラブを目指しております。

今後更にロータリーへの理解が深まるよう日々例会を充実してまいりたいと考えております。



諫早ロータリークラブ



我がクラブの町諫早は、自然と歴史、人情豊かで伊東静雄や野呂邦暢ら多くの傑物の生まれた所です。

諫早で最初に誕生した我がクラブは今年45年目を迎えます。諫早人の気質がとてもよく現われていて質実さを旨とするクラブです。今年度は

前述のように創立45周年を祝うことが年間計画の柱と成りますが、ロータリー誕生の100周年目を記念する年にも当り、地域から世界の事まで思いを広げられる絶好の年になりました。我がクラブの運営方針は、今日の社会や経済の動きも「歴史的な変革の時」であることから次の事柄を掲げました。

1. ロータリー100周年を祝って、世界を語ろう。
2. 我がクラブの45周年を祝って、我が町を語ろう。
3. 我がクラブの各奉仕部門について、語り尽くそう。
4. 会員相互の理解を深めるための例会作りに徹しよう。
5. 45周年の節目に当り、50周年を見据えた記録等事務的充実を図ろう。
6. 組織力を活用したロータリーのライフワークの充実を図ろう。

以上、記してクラブの紹介といたします。





長崎西ロータリークラブ



本年度我がクラブは創立20周年を迎えます。この間、歴代会長を中心に会員が、青少年育成の事業に熱い情熱を傾け、独自の青少年キャンプ事業や、またインターアクトを創り、「ロータリー思想」継承の受け皿づくりをし、地区のライラ等の事業にも協力し、それらの事業を通して、ロータリーの基本、会員相互の「融和と親睦」を図り、その結果クラブの雰囲気はアットホーム的性格になっています。20周年記念事業として、地元で起こりました子どもの痛ましい事件を目の前にして、新たに青少年、特に幼児教育の大切さを感じ、情操教育の一助になればとの思いから、県、市へ児童用図書の寄贈と長崎大学医学部小児病棟へテレビ一式、絵本棚を贈呈いたしました。また、ロータリー100周年記念事業として、インドネシアの難聴問題に手を差し伸べ、医療機器を寄贈します。今後も我がクラブは、青少年健全育成事業を中心に「夢と感動」を与えるものを目指していきたいと思っています。



長崎琴海ロータリークラブ



我がクラブは、パサージュ琴海の最も景色がすばらしいところを例会場としており、メイキャップをされた方はまず、そのすばらしさに驚きの声を挙げております。そして昼食は、今まで同じメニューがでたことがありませんので、いつも今回はどんな料理がでるのか、楽しみでもあります。

今年で創立13年目に入り、会員数は20名と少人数であるため、一人ひとりの役割が非常に重要になっていますが、例会ではいつも笑いが絶えないアットホームな雰囲気が漂っているところが大きな特徴です。





長崎東ロータリークラブ



長崎東ロータリークラブは、宇宿勝博会長のもと77名でスタート致しました。

クラブ奉仕委員会を中心に、「好意と友情を深める」親睦活動は活発であり、会員増強に積極的に取り組み、勉強会など新会員への情報委員会・親睦委員会共同での「刷り込み」活動を行っています。

職業奉仕委員会では、毎年、大学や職業訓練校に卓話者を派遣し、新世代の社会参加のお手伝いを行っています。

また、職業・職種として地域に必要と認められる人の表彰を行っています。

社会奉仕委員会には、今期家族委員会の担当委員会として、長崎東RCの活動内容を深めてもらい、又その情報や具体的な「場」を親睦委員会やクラブ会報、広報で協調活動しています。

新世代委員会は、ローターアクトの活動を支え、次世代の成長に寄与する活動を行っています。

国際奉仕委員会での台湾高雄西RCとの交流、青少年のショートステイ、ロータリー財団、米山記念奨学会へのその意義の啓蒙活動と寄付と活発に取り組んでいます。



長崎北ロータリークラブ



長崎北ロータリークラブは、昭和32年6月14日に30名のメンバーで創立され、平成18年には50周年を迎えます。会員数は、4名のチャーターメンバーを含めて、80名です。

我がクラブの眞子裕史会長は、ロータリークラブ活動の基本は「例会への出席から始まる」に重きをおいて、楽しい意義のある例会を心掛けることと、ガバナー方針にもあります会員増強と退会防止に会員が総力を上げ、更に数字を掲げて取組むことを今年度クラブ運営方針としています。

また、ロータリー100周年を祝う事業として、高齢者を対象とした年長者市民俳句大会を9月に、新世代を対象とした長崎市少年剣道寒稽古を来年1月に、開催に向けて準備を進めております。

どうぞロータリアンの皆さんメーキャップにお出掛けください。





長崎中央ロータリークラブ



台風16号が九州に上陸し、長崎県下も暴風雨圏内に入った8月30日、公式訪問を迎えました。栗林ガバナー、佐々木ガバナー補佐、瀬頭ガバナー事務局長、鶴川地区大会実行委員会幹事には悪天候の中、ご来場下さいました事を会員一同お礼申し上げます。

す。

長崎中央RCは長崎北RCをスポンサークラブとして平成2年6月4日に誕生し、RI創立100周年の節目である今年度、創立15周年を迎えます。

100周年の記念事業として、創立10周年の時に植樹しました出島ヒマラヤ杉に、市民や観光客の憩いの場となるよう、クリスマス～ランタンフェスティバル開催期間中電飾する事を計画しております。

現在、会員増強に苦戦致しておりますが、会員一人ひとりの立場、色々な考え方を尊重しながら、奉仕と親睦の楽しい例会運営を心がけ、各委員会活動の活性化と委員会間の協力を図っていきたくて思っております。また、幼稚園園児との地引網家族懇親例会等自然に親しみながら、そして青少年交換留学生の派遣や新世代会議開催等、青少年の心身の健全育成にも力を注いでいきたいと思っております。



△▽△

△▽△

△▽△

長崎 山崎 兼介 戸川

2004年(平成16年)9月8日 水曜日 本紙は再生紙を使用しています

国際ロータリー第2740地区
ガバナーを務める

栗林 英雄さん(70)

イタズラ
2004

就任以来、これまで十三のクラブを回り、それぞれの地域文化に触れながら意思の疎通を図ってきた。地域に密着した奉仕活動が基本。特に子どもたちを巻き込みながら一緒に汗を流す活動に取り組む、青少年の健全育成に役立ちたい。

安心して働ける環境提供

全国トップレベルで活躍する同県内の高校スポーツの指導者、監督らが集うシンポジウム。就任を前に、米カリフォルニアで世界のガバナーの研修会議が開かれた。そこでタイの元ガバナーが「職業に倫理観を持ち、誇りと責任感を持って奉仕しなければならない。それが薄いと、たとえ熱心でも、研鑽では、世界各国や国内の多くの人と交流し、とても有意義だった。」(聞き手は、長崎早大・三浦祐二)

△長崎、佐賀両県の五十八クラブからなる第2740地区を統括するガバナーに七月就任した。今年はロータリーが一九〇五年に米国・シカゴで誕生して百周年となる。地区内のクラブを精力的に訪問する「一ヶ月に予定している記念行事の準備に忙しい毎日だ」。

地城ロータリー活動の統括者として重責を担っているが、抱負を。就任以来、これまで十三のクラブを回り、それぞれの地域文化に触れながら意思の疎通を図ってきた。地域に密着した奉仕活動が基本。特に子どもたちを巻き込みながら一緒に汗を流す活動に取り組む、青少年の健全育成に役立ちたい。

青少年の健全育成を



くりはやし・ひでお 諫早北ロータリークラブ所属。会社役員。諫早商工会議所会頭。諫早湾防災干拓事業推進連絡本部本部長も務める。「リタイア後に不登校の児童や生徒を支援する施設を立ち上げたい」という目標も。ガバナーの任期は来年6月まで。自宅は諫早市原口町。



地区ローターアクト委員会情報

国際ロータリー第2740地区

ローターアクト委員長 **山口 修二** (鹿島RC)



前年度に引き続き地区ローターアクト委員会委員長を仰せつかる事になりました。昨年度は諸事情から目標未達成のまま任期を終わりましたが、栗林ガバナー事務所よりもう一期地区ローターアクト委員長を仰せつかる事になり、改めて其の重責を感じています。今年度は目標達成出来るよう努力したいと思っています。

今期目標として

- 地区の10グループ全体でローターアクト会員を増強する体制。
- ロータリアン一人ひとりに新世代部門ローターアクトの意義等を啓蒙。

そして、ローターアクト会員には

- ロータリーが何を望み何を期待しているのか、本来のローターアクト活動の目的を周知徹底。

以上の事に重点を置き、ローターアクトプログラムを少しでも分かり易くお伝え出来るよう努めていくつもりです。今期一年間皆様方のご協力ご鞭撻よろしくお願いいたします。

アクトの部屋

第22回年次大会

実行委員長 **古賀 竜介** (鹿島RAC)



今年度、地区ローターアクト代表を務めます鹿島RACの古賀竜介です。

私がRACに入会し、今年で4年目を迎えます。長い様で短かった4年間ですが、その経験を代表としての活動に活かしていければと思っています！

地区テーマを『破常識～STANDARD&CREATIVE～』として、基本の再確認！と新しい事への挑戦！を目標にし、具体的には例年の活動を継続するだけでなく自分たち自身で新しい企画をし、活動していくような地区・クラブづくり。それに付随し、今まで内に向いているイメージの強かったアクト活動を外（地域、提唱RCなど）へ向ける事（PR）により会員増強へと繋げていければと思っています。一年間という限られた中で、どこまでやれるかはわかりませんが、仕事と家庭とのバランスを考えながら出来る限りアクト活動に邁進できればと思います。

どうぞ皆様、一年間よろしくお願いいたします。



クラブ 便り



1994年当クラブが建立した“マクドナルド顕彰之碑”周辺の清掃と整備のため、8月1日朝8時松の森神社に集合。

福島環境保全委員長の指揮のもと、ガラガラと照りつける太陽の日ざしをあびながら、滝のように流れる汗をものともせず御影石の縁石をこつこつと刻み、何とか仕切りの石組みが完成。素人の仕事とは思えないような出来ばえ(?)でした。一度“マクドナルド顕彰之碑”を見にお越し下さい。

長崎南ロータリークラブ

幹事 川崎 孝

ガバナー事務所だより

* 第2回ガバナー補佐会議

日時：2004年10月9日(土) 15:00～

場所：セントラルホテル佐世保

* 地区ロータリー財団委員会委員 就任のお知らせ

柴田 克博 君 (諫早多良見RC)

* GSE 歓迎会

日時：2004年10月28日(木) 18:30～

場所：長崎グランドホテル

* IM開催予定日

第1・2グループ 2005年3月12日(土)

第3グループ 2005年3月26日(土)

第4・5・6グループ 2005年2月13日(日)

第7・8グループ 2005年3月5日(土)

第9・10グループ 2005年2月11日(金)

* 地区ライラ委員会委員就任の お知らせ

赤木 行秀 君 (北松浦RC)

ガバナーエレクト事務所開設のご案内

開設日 2004年10月1日(金)

所在地 〒847-0012 唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5階

TEL 0955-75-1371 FAX 0955-75-1372

E-mail: ri2740y-honjo@sirius.ocn.ne.jp

執務時間 9:00～17:00 (土・日・祝日は休日)

事務局員 片桐 悦子



新・入・会・員・紹・介

ロータリーの新しい仲間になりました方々をご紹介します。



佐賀RC
ふじ かわ かず とし 君
藤川和敏君



佐賀RC
あ せ ち ち ゆ き お 君
阿世知幸男君



佐賀RC
くす だ とし あき 君
楠田俊明君



佐賀RC
ひら やま やす ひろ 君
平山康弘君



佐賀RC
た な か やす あき 君
田中康晶君



佐賀南RC
さ と う あき ひろ 君
佐藤明洋君



武雄RC
まつ もと けん いち ろう 君
松本兼一郎君



武雄RC
お お つ び ひさ よし 君
大坪久芳君



武雄RC
にい る ひで あき 君
新納英明君



武雄RC
た な か おき 君
田中修君



大町RC
ふ く だ あき ら 君
福田明君



伊万里RC
ま さ き とし ろう 君
真崎俊郎君



伊万里RC
しい ば たか し 君
椎葉隆司君



唐津中央RC
みや ざき ちよ 君
宮崎治善君



佐世保RC
みや うち いち ろう 君
宮内一郎君



平戸RC
た か た ひろ し 君
高田浩司君



平戸RC
い わ い ち ひろ 君
岩井忠弘君



佐世保西RC
た な か しょう じ 君
田中省二君



佐世保西RC
い と う みち お 君
伊藤道男君



生月RC
もり のり のり 君
森能範君



長崎RC
い い じ ま し ろう 君
飯島史郎君



長崎RC
お お く ま のぶ ひこ 君
大隈信彦君



長崎RC
あ ら い けん じ 君
荒井健治君



長崎RC
い け まつ せい ざん ろう 君
池松勢三郎君



長崎RC
や ま うら まさ ひろ 君
山浦政弘君



長崎RC
や ま した ゆき ひさ 君
山下幸久君



長崎西RC
か き がわ てる ほ 君
柿川照穂君



長崎北RC
た な か みつ よし 君
田中三善君



長崎北RC
もり ひで き 君
森秀樹君



長崎北RC
う え はら まさ あき 君
上原政章君



長崎北RC
戸田 久嗣 君



長崎東RC
馬場 政廣 君



長崎出島RC
森田 龍三 君

◆ 訃報

謹んでお別れいたします。



故 井手 正喜 君
(諫早RC)



故 水田 宝久 君
(長崎北RC)

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します

種 類	氏 名	クラブ名
P・H・F	山 口 健 一	鹿島RC
	根 来 博 文	諫早RC
マルチプル・P・H・F	丸 山 茂 夫	唐津東RC
	長 野 公 道	佐世保東RC
	岩 永 信 昭	長崎北東RC
	高 村 慎 一	長崎中央RC
	馬 場 政 廣	長崎東RC
	花 島 光 喜	鹿島RC
ベネファクター	高 村 慎 一	長崎中央RC
	金 子 淑 司	長崎南RC
米山功労者	高 原 武 彦	有田RC
	丸 山 茂 夫	唐津東RC
	長 野 公 道	佐世保東RC
	八 江 正 光	諫早RC
	田 口 功	福江RC
	小 林 英 樹	長崎中央RC
	川 崎 孝	長崎南RC
	馬 場 政 廣	長崎東RC
米山功労者 (マルチプル)	高 村 慎 一	長崎中央RC
	田 中 進	佐賀西RC



地区大会

大会前日 11月5日 [金]

記念懇親ゴルフ大会

会場 長崎国際ゴルフ倶楽部

登録料/5,000円 ビジターのご負担は10,000円

18:30 RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 会場 L&L ホテルセンリュウ

登録料/13,000円

プログラム

大会1日目 11月6日 [土]

会場 諫早文化会館

10:30 レディースエクスカッション 無料・要登録

11:00 委員会・委員長会議

12:00 登録開始

12:45 プロローグ

13:00 点 鐘

開会宣言

国歌・ロータリーソング斉唱

来賓・出席者紹介

参加クラブ紹介

物故会員追悼

大会委員会報告(登録・信任状・選挙管理委員会)

ホストクラブ会長歓迎挨拶

ガバナー挨拶

RI会長代理挨拶

来賓祝辞(県知事・市長)

RI6290地区GSEメンバー紹介・挨拶

RI青少年交換学生報告

点 鐘

14:40 休 憩

15:00 ロータリー100周年特別企画シンポジウム 一般公開
記念事業発表18:00 記念懇親会 登録料/会員5,000円・ご家族5,000円
新世代の集い

会場 諫早観光ホテル道具屋

大会2日目 11月7日 [日]

会場 諫早文化会館

9:30 登録開始

10:30 点 鐘

ロータリーソング斉唱

ガバナー挨拶・現況報告

RI会長メッセージ伝達

RI現況報告

大会委員会報告(決議委員会)

大会決議採択

表 彰

次年度地区大会ホストクラブ紹介

RI会長代理所感

記念品贈呈

ガバナー挨拶

閉会宣言

点 鐘

12:00 昼食・一般観客入場

13:30 記念講演会 一般公開

15:00 終 了

第6290地区 GSEチームメンバー



Davey Taylor

35歳 男性 既婚 子供4人

フィットネストレーナー 経験10年

カナダ オンタリオ州 Sault Ste Marie市

Amy Arntsen

39歳 女性 独身

高校教師 経験14年

ミシガン州 Grand Rapids市

チームリーダー

Dr Jim Morse

54歳 教育長 ミシガン州

Grand Rapids RC

Emily Meyerson

36歳 女性 既婚 娘1人

都市計画プランナー 経験9年

ミシガン州 Petoskey市

Aaron Gill

25歳 男性 独身

土木環境エンジニア 経験2年

ミシガン州 Grand Rapids市



地区大会記念事業

ロータリークラブ100周年・2004アテネオリンピックイヤー記念

ミニバスケットボール教室



濱口典子選手と共に

- 日時／2004年10月31日(日)13:30～16:00
- 場所／長崎県立総合体育館
長崎市油木町
- 主催／国際ロータリー第2740地区

はまぐちのりこ

濱口典子

アテネオリンピック
バスケットボール日本代表選手
ポジション…センター

生年月日 1974年1月15日

身長 183センチ

体重 79キロ

出身地 長崎市

出身高校 深堀中学校～鶴鳴女子高校

所属先 (株)ジャパンエナジー

主な成績 1996年アトランタオリンピック7位

2004年アテネオリンピック10位

趣味・特技 読書、そば打ち

尊敬する人 両親、恩師

目的……オリンピック選手から、直接指導を受けることで技術の向上はもとよりスポーツの楽しさや、一生懸命に打ち込むことができるものを見つける大切さ、また自分のチーム以外の仲間たちとのコミュニケーションなどを体験し、青少年健全育成のサポートイベントと致します。

参加者……佐賀・長崎両県の小学生チーム（約200チーム）の中より佐賀県・長崎県バスケットボール協会を通じて募集します。

基本的に各チーム1名の参加規模で100名参加程度のクリニックを実施致します。

【定員になり次第締め切ります】

その他……当日は参加者のチームメイトや一般のギャラリーの方も自由に見学できます。その場合は、観覧席（2階）からの見学となります。



2004年8月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第1グループ	佐賀	3	86.8	75	0	79	0	4
	小城	3	96.3	36	1	36	1	0
	牛津	3	93.1	32	1	32	1	0
	多久	3	92.7	41	4	41	4	0
	佐賀大和	4	81.7	26	3	26	3	0
	小計		90.1	210	9	214	9	4
第2グループ	佐賀西	3	91.0	54	0	54	0	0
	佐賀北	4	85.5	42	3	41	3	-1
	佐賀南	4	80.4	40	0	41	0	1
	神埼	4	78.7	29	0	29	0	0
	佐賀空港	4	66.2	16	0	17	0	1
	小計		80.4	181	3	182	3	1
第3グループ	有田	5	73.5	39	1	40	1	1
	武雄	3	79.2	54	0	59	0	5
	鹿島	4	88.8	41	2	41	2	0
	嬉野	3	86.4	27	1	26	1	-1
	大町	3	74.6	28	0	28	0	0
	白石	3	79.0	19	0	19	0	0
	太良	3	75.0	12	0	12	0	0
	小計		79.5	220	4	225	4	5
第4グループ	唐津	5	95.5	51	0	51	0	0
	伊万里	3	97.7	42	0	44	0	2
	唐津東	3	93.8	54	0	54	0	0
	唐津西	4	88.5	41	0	41	0	0
	伊万里西	3	92.9	48	0	48	0	0
	唐津中央	3	96.1	42	4	43	4	1
	小計		94.1	278	4	281	4	3
第5グループ	佐世保	4	93.8	85	0	86	0	1
	平戸	4	86.1	43	0	43	0	0
	佐世保西	5	95.3	38	1	37	1	-1
	北松浦	5	89.1	33	0	34	0	1
	松浦	3	91.0	38	2	38	2	0
	生月	3	74.4	22	2	22	2	0
	小計		88.3	259	5	260	5	1
グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第6グループ	佐世保南	3	100.0	85	0	86	0	1
	佐世保東	3	82.4	35	0	35	0	0
	佐世保北	4	99.5	51	0	52	0	1
	佐世保中央	3	100.0	50	0	49	0	-1
	佐世保東南	3	75.8	19	0	22	0	3
	HTB佐世保	4	77.4	28	4	28	4	0
	小計		89.2	268	4	272	4	4
第7グループ	大村	5	97.7	50	2	50	2	0
	島原	5	73.3	40	3	39	3	-1
	雲仙	3	88.9	33	0	33	0	0
	大村北	4	100.0	33	0	33	0	0
	島原南	4	77.4	22	1	22	1	0
	大村東	4	69.4	43	0	44	0	1
	小計		84.5	221	6	221	6	0
第8グループ	諫早	3	93.4	69	0	67	0	-2
	諫早北	3	90.7	64	0	64	0	0
	諫早西	4	93.8	48	0	48	0	0
	諫早多良見	5	75.8	44	0	42	0	-2
	諫早南	3	82.3	33	3	32	3	-1
	小計		87.2	258	3	253	3	-5
第9グループ	長崎	3	81.3	92	0	98	0	6
	福江	3	95.5	44	0	41	0	-3
	長崎北東	4	88.7	64	5	65	5	1
	福江中央	4	89.1	42	0	42	0	0
	長崎西	4	85.4	71	0	72	0	1
	長崎琴海	3	75.0	20	2	20	2	0
	小計		85.8	333	7	338	7	5
第10グループ	長崎北	5	75.3	79	0	80	0	1
	長崎南	4	81.5	90	0	91	0	1
	長崎東	3	98.7	77	0	77	0	0
	東長崎	4	86.5	39	0	39	0	0
	長崎中央	4	90.9	59	0	60	0	1
	長崎出島	3	88.0	58	16	61	16	3
	小計		86.8	402	16	408	16	6
合計			86.6	2630	61	2654	61	24



文庫通信 (204号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

☆ 青少年委員会活動の実例 ☆

- ◎「インターアクトの翼に寄せて」 D.2830 2004 47p
[申込先：ロータリー文庫]
- ◎「青少年に慈愛の種を播きましょう」 D.2650 2004 17p
(IMパネルディスカッション) [申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「ロータリアン学校評議員 講師派遣 職場体験受入企業 リスト」
D.2530 2003 19p [申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「第9回ロータリー青少年指導者養成プログラム記録誌」 D.2830 2004 28p
[申込先：ロータリー文庫]
- ◎「二〇〇四年鈴鹿市児童詩コンクール作品選集」 鈴鹿西R.C. 2004 58p
[申込先：ロータリー文庫]
- ◎「青少年問題について」 今井鎮雄 2004 2p (D.2680地区協議会報告)
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「われわれは次の世代のために何ができるのか」 ジョイスS.津野田 2004 12p
(D.2740地区大会ロータリーセミナー) [申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「感性ということ 座談会—新世代の人作り—」 佐藤千壽 2001 51p
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「子供に夢と感動を与えよう」 鳴海淳郎 1999 20p
[申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

諫早北RCでは、かつて西オーストラリアのピンジャラRCと子供達の絵画交換をしたことがあります。明るい彼等の絵をどうぞお楽しみ下さい。



古い写真をお持ちの方へ

ロータリー創立一九〇五年（明治三十八年）から数えて、来年は輝かしい一〇〇年となります。この一〇〇年に因んで、明治三十八年当時の地元の様子を古い写真で紹介してみようと企画致しました。二七四〇地区のロータリアンの皆様の手元に、その当時の古い写真がありましたら是非お貸し下さい。よろしくお願い申し上げます。

※ご連絡はガバナー事務所まで

感動の一瞬をとらえた貴方の写真で、裏表紙を飾ろうではありませんか。振るってご応募下さい。

※ご応募はガバナー事務所へ

明治38年 5月30日 東京日日新聞



写真提供：高尾 弘様 諫早市在住

編集後記

最近、国内外のニュースは暗い話題が多い。ロシアで起こったテロリストによる学校占拠事件。ここでも多くの学童が犠牲となった。平成13年大阪府池田小学校に乱入した犯人により、8名が殺害され、犯人（宅間）に対して先日死刑が執行された。その後も幼い命が奪われつづけている。今、社会は命のかけがえのなさを、何ととらえているのだろうか。命の問題はロータリーで取り組むテーマの一つになりはしないか。



国際ロータリー第2740地区

2004～2005年度ガバナー

栗 林 英 雄

■事務所

〒854-0016 長崎県諫早市高城町5-10-302
TEL.0957-35-4890 FAX.0957-22-2808
E-mail:ri2740@ninus.ocn.ne.jp



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

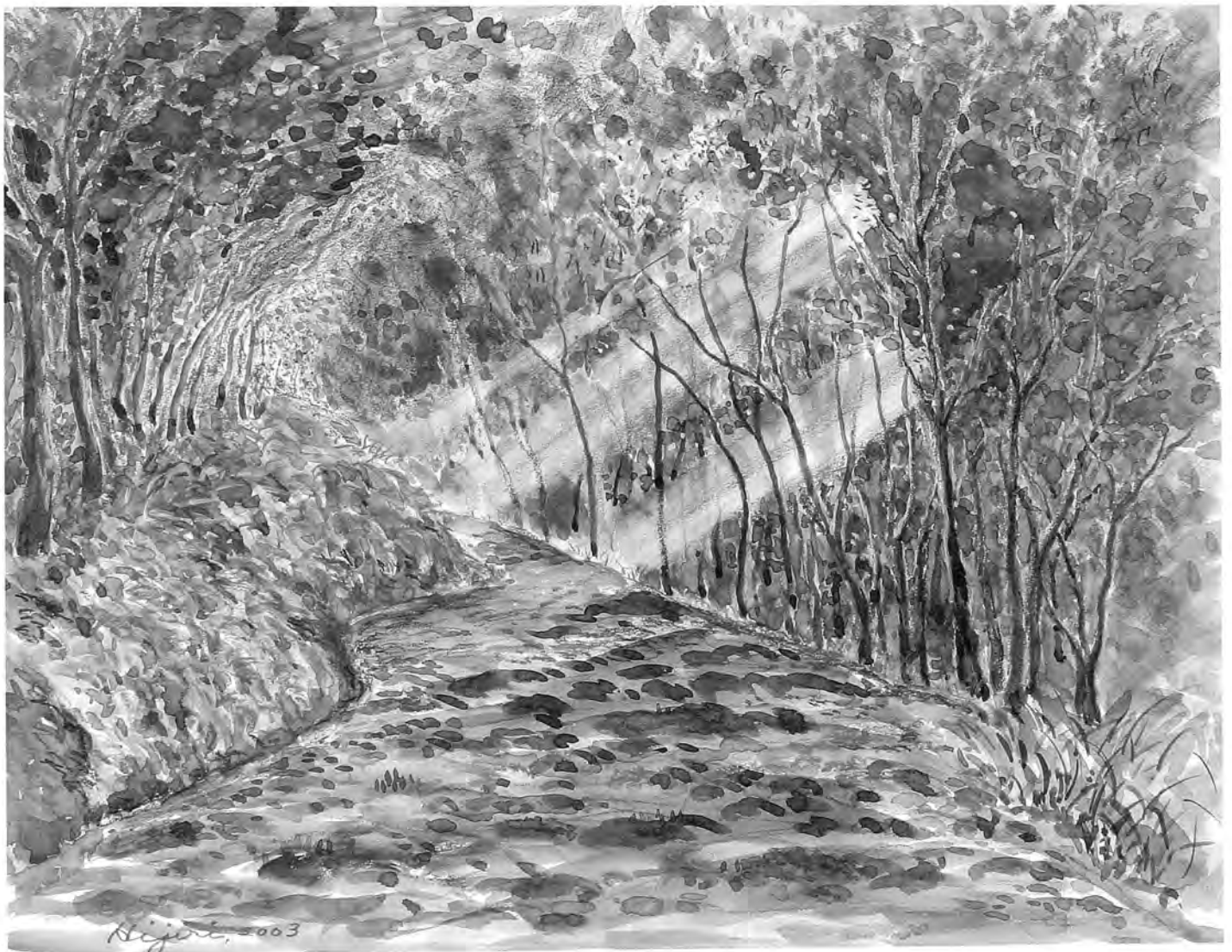
2004.11
vol. 5

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2740地区 ガバナー月信

2004～05年度 ガバナー 栗林 英雄





ロータリーを 祝おう

100年の歩み

2004～2005年度
国際ロータリーのテーマ

Contents

●ガバナー所感	1
●ロータリー財団月間に寄せる	2
●規定審議会報告書(続々)	3
●2002-03年度 RI 会長 ビチャイ・ラタクル氏 講演 (No.2)	5
●2004～2005年度 国際奉仕関係合同研修セミナーを終えて	6
●インターアクト年次大会をふりかえって	7
●クラブ紹介	8
●ガバナー公式訪問	8
●新入会員紹介	17
●米山奨学生紹介	18
●地区米山委員会だより	19
●寄付者紹介	20
●9月会員数・出席報告	21
●文庫通信	22
●クラブ便り・ガバナー事務所だより	23

表紙の絵

「ほの暗き山路」

市内は緑が豊かである。街のほぼ中央に文化会館が建てられ、すぐ近くまで隣の御館山が迫ってきている。

こんもりと茂った森に足を踏み入れると、いろいろな野鳥の啼き声が俗世界のことを忘れさせてくれる。

絵の提供 諫早北RC 緒方 聖会員



ガバナーからのメッセージ



過ぎし感動の月日

第2740地区ガバナー 栗林 英雄

ガバナー公式訪問が始まって間もない頃のことである。暑い日本の夏を更に熱くする甲子園球児達の熱闘と、108年振りにオリンピック発祥の地に戻ったアテネオリンピックの各種競技が報じられていた。前者は毎年この時期に行われる日本の夏の風物詩の一つであるが、後者は21世紀最初となる地球上の人類によるスポーツの祭典であって、マスメディアが伝える選手達の命を懸けた競技に精一杯の声援を送ったのである。

スポーツ好きの私にとって、公式訪問の間隙を縫うようにTVの映像を眺めながら、応援者のひとりとして勝敗のゆくえを見守るのは良い息抜きの時間であった。

全国高校野球は各都道府県より勝ち上がってきた各地区の優勝校が、日本一を目指して行われる野球試合であるけれど、単なる競技とは少し趣を異にする意味を持っている。それは各地区代表という事もあり、試合場の雰囲気の中には地域色豊かな応援と県民の連帯意識を強く感じるものである。甲子園は応援のために集う人々が遠方より大挙して会場に乗り込み、一球一打に歓喜しては選手と一体となって勝敗を体感する大舞台と化するのである。一つのスポーツを通してこれ程までに観客と競技者が一体となれるものは少なく、同一県民である連帯感、郷土愛の発露がそれを支えているものであろう。

観衆を惹きつけて離さないものは若い高校生のフェアプレー、きびきびとした動き、汗と地にまみれた青春の躍動であって、TV観戦によってこの事を鮮烈に感じるものである。

対戦が進み次第に出場校が姿を消してゆき、敗者の夏の終りを告げているようで一抹の淋しさが漂う。勝利に湧き立つ群衆のエネルギーと敗者の見せる涙も又見る者の心を揺さぶるのである。事の終りに付きまとう静寂が熱闘の余韻の中に広がってゆく。

例年であれば、この後は静かに初秋の感慨に浸るところであるが今年は違う。アテネオリンピックが未だ続いていたからである。しかも今回は日本人選手の活躍が目覚しく、連日メダルラッシュに湧いたのである。メダルの数に一喜一憂するのではなく、懸命に競技

する選手の強い意志や尽きぬ情熱がTVの映像を通してわれわれの胸に迫り、感動を覚えるのである。

競技種目も多く全てを観戦する時間的余裕もなかったけれど、心をゆり動かされたものに女子マラソンがあった。近年行われたマラソンの中でも最も過酷なレースと前評判が高かった今回のレースは、視聴者をとらえて離さない死闘であった。マラソンの戦いの故事にふさわしいその現地で行われたマラソンレースは単に42.195km（死にゆくごとく、語呂合わせ）の平坦な道程ではなく、高低差が激しい難コース、35度を越す気温、過去の実績をも打ち崩す苦闘が繰り広げられた。肉体の限界まで挑戦する強い精神力、レースの掛け引き、給水時の思わぬアクシデント、有力選手が次々と倒れ、棄権してゆく中で最後まで頑張り通した日本の三選手（野口優勝、土佐5位、坂本7位入賞）の胸のすくような力走に歓喜の拍手を送ったことだった。

しかし、あの感激のオリンピック期間が過ぎても、私の胸には今尚感動と良き思い出が初秋の残照さながらに輝いている。それは7月下旬より始まった第2740地区、58クラブを巡った公式訪問のことで、私にとってはマラソン競走に等しい長丁場であった。

当初の計画通り、全クラブを訪問するという私の考えに従って事が進められ、中には日程の調整でご迷惑をかけたこととなり、一日に2クラブを訪問するという強行軍も何とか乗り切った。

今にして思えば、全クラブの例会に出席し、それぞれのクラブが友情溢れる雰囲気の中で迎えて頂いたことに改めて感謝致しているところである。奉仕を志すロータリアンの集団が、地域社会に貢献せんとして自己研鑽に励まれる姿をこの目で確かめ、膚に感じて、この地区の奉仕するエネルギーの高さを認識した次第である。これら有能な社会人（ロータリアン）の存在こそが、この地区を、この国を、いや世界を幸福と争いのない地球へと導く大きな原動力となることを確信したことであった。



ロータリー財団月間に寄せる

— ポリオ・プラス・パートナー・プログラム支援のお願い —

第2740地区ガバナー

栗 林 英 雄

皆様ご存知のように、ロータリー100周年を迎えるに当たっての、グレンE.エステスRI会長の最大の強調事項の一つに、ポリオの撲滅が挙げられています。

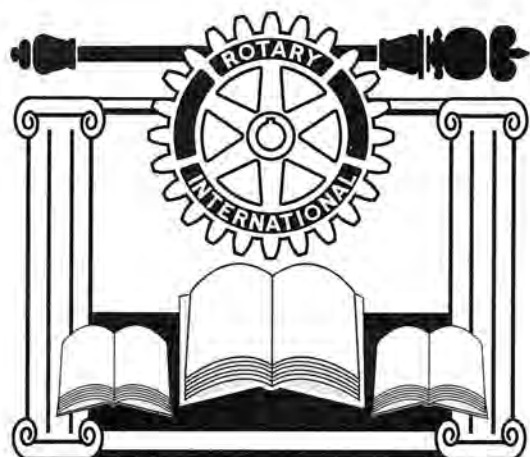
国際ロータリーがポリオ撲滅のために、国際機関と協力してポリオ予防接種活動を開始した1985年当時は、世界で年間38万人以上のポリオ発症例がありました。その後、世界各国政府の国際支援や、ボランティアの協力のお陰で、去年は発症が1,000件以下にまで減少しました。今年に入ってから9月までの発症例は54人であり、ポリオ感染者の発生をゼロにしようとするポリオ撲滅の目標達成は目前に迫っています。

残念ながら、ポリオ撲滅運動は、ロータリーをはじめとする関係機関の努力にもかかわらず、途上国の武力抗争などの予期せぬ障害の影響を受けて予定が遅れました。そのために、国際ロータリーは、計8,000万ドルの「ポリオ撲滅基金キャンペーン」を開始し、日本のロータリーもこれに協力して、一昨年度から3年間で一人当たり150ドルの寄付をお願いしています。

元来、「ポリオ・プラス計画」の資金は、主としてポリオ・ワクチンを供給するためのものであり、現地のボランティアや関係機関が、このワクチンを有効に利用するために必要な資金を提供するのが、「ポリオ・プラス・パートナー・プログラム」であります。このプログラムは、現地の検査室の整備や、広報活動などのボランティア活動支援になくてはならないものです。このように、ポリオ撲滅のための募金系統が「ポリオ・プラス計画」と、「ポリオ・プラス・パートナー・プログラム」の二つに分かれていることから、この両者はしばしば混同されますが、現地のボランティアにとって最もありがたいものは「ポリオ・プラス・パートナー・プログラム」による援助であると言われます。

ポリオ・プラス・パートナーへの送金は、一般の送金報告書をご利用いただけます。ロータリー財団月間を迎えるに当たり、ロータリー100周年の最大の記念行事となるべきポリオ撲滅を目前にして、「ポリオ撲滅基金キャンペーン」へのご協力と共に、資金の多寡にかかわらず、ご無理のない範囲内で、何卒ポリオ・プラス・パートナー・プログラムへのご支援をお願い申し上げます。





COUNCIL ON LEGISLATION

2004年 規定審議会報告書 (続々)

地区代表議員 武井 洋一

規定審議会印象記

一口にR Iの規定審議会と申しまして、600人以上の人達が集まって行われる案件の審議は大変な作業のようです。

当地区より代表議員としてこの会に出席され、無事に大役を果たされました武井P Gより、率直な印象記を書いて頂きましたので、そのご苦勞を知る意味でも掲載いたしました。

規定審議会には各世界の地区から1名の代表議員が出ます。全世界から集まったこれら529人の代表議員に加え、オブザーバー（元R I会長等）、審議会リーダー等、600人以上が一堂に集まって熱のこもった討議を行います。壮観です。会場には通訳者用のブースも設けられ、日本の議員（34名）のために3人の女性が交代で、英語・フランス語・スペイン語等通訳に当り、格調の高い日本語で語ってくれました。

投票を迅速に進めるために、電子投票システムが使用されました。議案の提出者には、議題に関して冒頭と結びの論述を行う権利が認められます。提案理由の説明に提出者には3分間の時間が与えられます。他の議員から反対意見があった場合は、討議の結びに2分間の時間が与えられます。

議案の提出者以外の議員は、討議について1回だけ発言が認められます。この際の議員の発言は1回に2分を超えてはいけません。

この規定審議会の出席については、市瀬久米嘉パストガバナー（1998年出席）や、辻洋三パストガバナー（2001年出席）から事情を聞いておりました。とにかく5日間で474件の議案の賛否を取らないといけないので、大変だとは聞いていました。市瀬P Gが出席された審議会はインドで行われ、しかも“電子投票システム”がまだ採用されていなかったのも、時間的にも体力的にも大変だったと思います。更に辻P Gの時にはシカゴで行われ、しかも電子投票システムが初めて採用されましたが、提出された案件の数が600件もあり6日間に亘って行われたそうですから、この時も大変お疲れになったと思います。

今回は審議会議長にビル・ハントレー氏（イングランド）、副議長にマーク・ダニエル・マロニー氏（米国）、議事運営にはレイ・クリングスミス氏（米国）が当られました。

ところが初めから討議を丁寧にやり過ぎて、初日には僅か50件の議案しか捌けませんでした。議案は474件もあります。2日目は少し急ぎましたが、70議案しか進みませんでした。議場に焦燥の雰囲気になりました。ここで執行部が異常事態を宣言しました。そして3日目からは朝



食は6時から（前日までは6時30分から）、審議会は8時から（前日までは8時30分から）、午前と午後の休憩は30分を20分に短縮するという処置をとられました。午前8時から午後6時まで、昼食時間以外は短時間の休憩のみです。その上、議案提出者の発言時間3分を2分30秒に、質問者2分を1分30秒に短縮されました。時間の節約のためです。

しかも比較的似た様な議案は、運営委員が議案提出者に“議案取下げ”をお願いして回り、眼の色を変えて審議議案の数を減らしておりました。あれこれ立ち回りがあって、5日目の午後6時まで討議しても議案が残り、それらは理事会付託となりました。3日目4日目5日目は議案の処理を急ぐため、それこそ会場に緊迫感が漂っていました。5日間の審議が終了した時会場は疲れ果てていました。

ここで内輪話（ウチワバナシ）を致します。私は生来乗物に弱く、特に外国旅行に付きものの“時差ボケ”がひどいのです。

飛行機の中で眠れないのです。日本とシカゴとは14時間の時差があります。

6月12日午前11時成田空港を発ち、11時間かかってシカゴのオヘア空港に着いてみると、同じ6月12日の午前10時です。昼と夜が全く逆になります。不眠も手伝って完全に時差ボケに罹っていました。

この様な状態で規定審議会の長丁場の討議に入ったのです。つまり手っ取り早く申しますと、昼は眠くて夜はパッチリ目が覚めるのです。これには参りました。





過去に基づき、未来に焦点を (No. 2)

2002-03年度 RI会長 ビチャイ・ラタクル

ロータリーのような組織には人にはない一つの利点があります。それは創設からの長い歴史を祝っていても、それ自体年をとらないということです。何度も自ら若返り、常に変化して、時代とその需要に自らを適合させることができます。影響を広げ、成長し、生産的な力であり続けるかぎり、100年でも1000年でも奉仕することができます。

問いは、これです。私たちはロータリーが真に生産的な力であると確信しているのでしょうか？もちろんです。

紳士淑女の皆さん、私がこう申し上げるのは、ロータリーの豊かで尊敬される過去の裏には、100年にわたるロータリーの奉仕の物語、個々の職業を通して地域社会に与えながら、他者の需要に心配りを示してきたロータリアンの物語があると固く信じているからです。この物語を詳しく語ろうとしても無理でしょう。100年の間には非常に多くのことが起りました。溢れるほどの思いやり、優しさ、親切が注がれてきたため、短時間でこれらを描写するのは無理です。

しかしながら、ロータリーの良き業のハイライト、1世紀にわたる市民奉仕については、この時点で少なくとも言及する必要があるでしょう。

創設当初はロータリーは非常に小さな活動でした。シカゴ・クラブが最初に興味を示した社会奉仕は、市役所への公衆便所設置を援助することでした。これに続いてご存知のように、さまざまな社会奉仕プロジェクトが導入されました。

おそらく知らないうちに、初期のロータリアンは、その後発展するロータリーの運動と組織の特徴ならびに原則を形作り始めていたのです。

その後、何年、何十年にわたり、各地のロータリアンがさまざまな仕事に熱心に取り組み、それらを大成功に導いてきました。

障害者、貧困者、飢える人、病人、読み書きの不自由な人、絶望に陥っている人、路上生活者（ホームレス）、世界の子どもたち……何十億もの人々の生活を私たちは救い、豊かにしてきました。彼らは皆、ロータリーによって、あなたによって、影響を受けてきました。何という輝かしい過去でしょうか。

ロータリーの最も偉大な会長の一人である故ジム・ボーマーの言葉を引用しましょう。

「今日、奉仕志向のロータリアンの善意が明るく輝いています。私たちは、1905年以来慎重に作られてきた「道具と規則」で強化されて未来に向かいます。」

では未来とは何でしょうか？ロータリーがすでに開発したプログラムをじっくりと見れば、未来の機会が見えてきますし、善意の人が勝利を得る世界に向けて着実な進歩があると、楽観的に確証することができます。

しかし、油断は禁物です。人生には思いもかけないことが次々と起きるからです。ポリオとの闘いには勝利することでしょうが、すべての病気、非識字、貧困に対する闘いにおける勝利はまだです。私たちは世界で善をなす能力を確実なものとするために、絶えず警戒を怠ってはなりません。

しかし、私が申し上げたことは、立派なことではあっても、「外向き」の行いに目を当てているに過ぎません。

同じような希望と意欲を持っていた前の世代のことをしっかりと覚えて将来を目を向ける時、私は、活発な奉仕団体を期待しながら、その実現を見なかった世代が多いと感じずにはられません。



2004～2005年度 国際奉仕関係合同研修セミナーを終えて

R I 2740地区国際奉仕委員長
本田 圭 助

2004年8月28日(土) 諫早市 ホテルグランドパレス諫早に於いてR I 2740地区 国際奉仕合同セミナーを実施しました。ロータリー財団委員会、財団奨学・学友委員会及びG S E委員会のプレゼンテーションに就いては「2004～2005年度国際ロータリー第2740地区国際奉仕関係合同研修セミナー」を御参照下さい。今回のセミナーの特徴はR財団奨学生・学友、青少年交換留学生及びG S Eの経験者に留学及び職業研修訪問先での体験を下記の3氏に話をしてもらったことです。

- R財団奨学生・学友 諸江 善文（県立佐賀北高教諭）
- G S Eチームメンバー 岡 邦信（フリーライン代表、コンピュータシステム開発）
- 青少年交換留学生 手塚 麻子（武雄高校2年生）

3人がそれぞれの方法で自分の体験を発表して、第2740地区全ロータリークラブ会長、幹事（又は国際担当委員長）に深い感銘を与えました。これは今後国際奉仕関連のプロジェクトを実施する上で各R Cからの共感を得るのに大きな貢献となります。

又、来る10月24日から1カ月間アメリカ・ミシガン州、カナダ・オンタリオ州、R I 6290地区からG S Eチームメンバー5人がR I 2740地区に大きな期待をもってやってきます。これ迄R I 6290 G S Eチームの受入に対する各グループのガバナー補佐及び各R Cの会長、幹事（又は国際担当部門長）の多大な努力と貢献に深く謝意を述べて本大会を無事終了しました。





インターアクト年次大会をふりかえって

インターアクト委員会

委員長 草野幸子

暑さきびしい真夏の8月21日・22日の2日間、ホスト向陽高校、コ・ホスト大村工業高校、大村城南高校で2004～2005年度国際ロータリー第2740地区インターアクト年次大会が、シーハットおおむらさくらホールで行われ、今年の大会テーマは“未来を繋ぐひとつひとつの命の尊さ” One for all all for oneという現代社会においては避けては通れない非常に大事なテーマです。特に長崎においては2件続けて悲しい事が起っただけに一人ひとりが命の大切さを考えなくてはならないとても意味のあるテーマで始まりました。

開会式のあと3つの分科会に別れ、国際理解部会では「戦争の忘れ物ー地雷について」学び、自分たちに今何が出来るとか発表があり、クイズも交えてとてもためになる部会の発表でした。

社会奉仕部会では「福祉を訪ねて」というテーマでバス4台に分乗し、真珠加工の授産施設を訪ねました。訓練を通して自立支援・援助を行う福祉活動を学び、たずさわる指導員の方々の卓話を聞き作業場を見学して御身体の不自由な方々の細かい作業と情熱に頭が下がる思いがして私も少しでも皆さんのお役に立てたらと田崎真珠のネックレスを買って帰りました。

クラブ運営部会で手話を学び歌ったり、自己紹介が出来るようにという事で部屋に入ると声もなく音一つない中で、みんな必死に手話を通じて相手に伝えるむずかしさを一生懸命習っていました。その後、夕べの集いに移り生徒たち一人ひとりが楽しく情熱を持った交流会がもてたようでした。2日目は「2本足の犬、次郎と私」という題で埼玉県からみえた動物保護家の戸川由起子さんの講演がありました。命ある全てに対して慈みの心を持つ事、また思いやりと優しさを持ち何よりも命の大切さが一番である事を切々と訴えられていました。お子様が連れてきた犬を飼うようになったのがきっかけで捨て犬、捨て猫の保護活動に関心を持つようになりこれまで200匹以上を里親に出されている、その中で列車にひかれて2本足をなくした次郎との出会いがあり、それが本になりいろんな反響を呼び現在は犬8匹、猫8匹を飼い老人ホーム慰問や小学校などを訪ねて命の大切さを教えていらっしやると聞き本当に素晴らしい事をなさっている方だなと思いました。とても有意義な2日間を過ごす事ができホスト提唱クラブ大村ロータリークラブの方々のサポートによって素晴らしい年次大会になりました。御苦勞も大変だったかと思います。本当に意義ある2日間をありがとうございました。

来年2005～2006年年次大会は佐賀女子高校がホスト校となり行われます。皆さんそろって参加し、また学び楽しいインターアクトクラブにしていきたいと思います。どうもおつかれ様でした。





クラブ紹介

佐賀ロータリークラブ



佐賀ロータリークラブは本年10月をもって、創立52年を迎えようとしています。今年も例会を重視し、プログラムの工夫、出席率の向上など、例会を最大の交友、親睦の場とすべく努力をしております。

また、活動への積極的参加、奉仕活動の継続と見直し、広報活動の推進など今まで以上に力を入れて取り組みたいと思っております。

会員数が減少傾向にある中で、会員増強も大きなテーマです。

地区事業への積極参加、財政見直しなどきりがありますが、この時期に当たり今年には創立時を振り返る原点回帰の年と、位置づけたいと思っております。

ガバナー公式訪問



唐津中央ロータリークラブ



唐津中央ロータリークラブは、観光と歴史に彩られた、古き良き城下町「唐津」で4番目に設立されました。2階建てのクラブとして、会員全員が新会員でスタートを致し、お蔭様で今年の3月創立10周年を迎える事が出来ました。現在会員数43名、

第4グループの中で唯一女性会員（4名）を有しております。1999年11月に韓国麗水 閑麗ロータリークラブとの姉妹締結を致し、「好意と友情」の絆を深めて参りました。2年前には人道的同額補助事業を行い、本年は締結5周年を迎え、閑麗ロータリークラブへの訪問を計画しています。又、地域と密着した奉仕活動の一環として、高校生インターンシップ（職業演習）受け入れ実施を行い、受け入れ側のメンバーと体験高校生の感想を、例会時に発表する機会を設けています。この活動を通して、会員各自の職業奉仕に対する理解が一層深まっている様な気がしています。会員増強に力を入れ、会員の親睦をより深めクラブ例会が楽しくなる様に努めて参ります。





唐津ロータリークラブ



唐津RCは佐賀RCをホストクラブとして今年で発足48周年になります。現在、会員数は51名（職業分類48業種、平均年齢60歳）で構成されています。唐津焼、唐津くんち、虹の松原は全国的に認知度は高く大きな観光資源になっています。又、唐

津は古くから「唐の湊」として海外との民間交流が盛んな土地柄であります。

国際交流として、韓国麗水RC、台湾大甲RCと姉妹提携をしています。青少年奉仕として、唐津西高等学校のインターアクトの活動を支援しています。

来年1月には1市6町1村からなる市町村合併で新唐津市が誕生します。そして、次年度ガバナーの本城ガバナーエレクトは当クラブ所属であります。

活動フィールドの変化とガバナー輩出を目前に控え、会員一同は今日ロータリー100周年を祝い、「超我の奉仕」を目指しています。



佐世保西ロータリークラブ



当クラブは本年10月で創立35周年を迎えます。記念事業として新世代月間の9月に①今年で8回目となる少年少女ミニバスケット大会を35周年記念大会として盛大に開催する。

②頻発する青少年の非行・犯罪に対しその対処方法を探る講演・討論の

会を開催する事にしました。

①については県内外より男女86チーム総勢1,300人の参加を得、9月11・12の両日佐世保体育文化館を主会場とし市内11会場で熱戦が繰り広げられました。ミニバスケットを通して勝利への強い意志・チームワーク・相手チームへの思いやりの心そして何よりも多くの感動を体験してもらったと思っています。

②については大村椿の森学園園長で精神科医の富田雄吾先生を講師として迎え、9月25日に佐世保コミュニティセンターで「大人達へのメッセージ・子ども達の心の叫び」と題して開催致しました。

この二つの事業を全員参加で成功させ、クラブ創立35周年・ロータリー100周年を祝う年に、会員一同燃えています。





佐世保ロータリークラブ



チャーターNo7745、昭和26年2月21日創立の佐世保ロータリークラブ。11月8日、市公会堂で催された承認状伝達式に当時小学校6年生だった私は父に連れられて出席した記憶があるが、チャーターメンバーはすべて鬼籍に入ってしまった。

「歴史と伝統に輝く」という言葉がある。歴史はただ歳月を重ねるだけで出来るが、伝統はやるべき事をきちんとやって初めて出来るもの。私は先輩方が営々と築き上げて来られた我がクラブの歴史と伝統を守り、更に次の世代に引き継いで行きたいと思っている。

その為にまず第一にロータリーの基本である例会を大切にしたい。勿論誰にでも例会出席よりも大事なこと（仕事・家族etc）がある。

その時は堂々と欠席すれば良い。しかし例会に出席した時は途中退席は慎むようにしたいものである。我がクラブ例会場のエレベーターホールのSAAマネキン人形はその目的で設置した。是非一度ご覧いただきたい。



平戸ロータリークラブ



「さあ、みんなで、国際ロータリー100周年を、楽しく、お祝いしましょう。」

これが、我が平戸ロータリークラブのクラブ運営方針です。栗林ガバナー、杉原地区幹事、松角実行委員長、公式訪問ありがとうございます。

た。

創立44年目の当クラブに過分のお褒めの言葉をいただき、感謝しております。

親睦委員会が計画してくれました、僕の故郷である、長野県飯田、馬込、妻籠への親睦旅行はご家族含めて28名の参加をいただき、楽しくなごやかな会となりました。

9月26日には、当クラブ会員のお世話で、100周年記念講演会、きたやまおさむ先生（元ザ・フォーク・クルセダーズ、現心理学教授）の講演「人間関係の悩みと喜び」を近隣4ロータリークラブの共催で行い成功裡に終わりました。親子関係の希薄化が問われる中、タイムリーな企画と思います。

会員数43名、今期、名幹事さんを得て、パスト会長さん方、会員皆さんの本当に親身のご指導を受け、「新米ロータリー会長」は「慕進中」です。





生月ロータリークラブ



9月2日、栗林ガバナー、杉原地区幹事、松角地区大会実行委員長をお迎えしての懇談会と例会は会長はじめ当会にとりまして感激のひとつとなりました。

当クラブは22名の小さなクラブで、長年会員相互が和気藹々の雰囲気の中で例会を運営してまいりました。今年度に入り出席率の低迷に心を悩ませておりましたが、当日の例会は会員のロータリー精神を、栗林英雄ガバナーの卓話には島内でのキリスト教信仰から、ロータリーの原点についてご指導を頂き、特に新世代育成に対する発言には力強い情熱の一端を目の当りにさせて頂きました。

今年は、国際ロータリー「100周年」の記念事業をはじめ会員相互間の連帯感を大切にして、一步一步着実に地域に根ざした奉仕活動を継続実践していきたいと思ひます。

会員相互の活動に心から感謝し、クラブ紹介とします。



松浦ロータリークラブ



松浦RCは、現在会員数が38名、内女性会員が2名入会されています。今、多くのクラブが会員数の減少に悩まされ、会員増強に力を入れていることと思いますが、当クラブも例外ではなく2年前に一度に7名の退会者を出すという苦い経験をし

ています。

そういう経験から、いかにして会員を増やすかということを当クラブの最重要課題として取り組んでいます。

また、当クラブ会員の年齢は上は76歳、下は32歳と幅広い年齢層に渡っていますが、例会に於いては、非常に和気あいあいとした楽しい雰囲気が保たれていると思ひます。

先輩会員は若手会員に気軽に声をかけていただき、若手会員も先輩会員に遠慮することなく活動でき、ギクシャクとした雰囲気がないのも松浦クラブの大きな特徴です。この事は、当クラブにビジターとしてメーキャップにこられた方がどなたでも感じていただける事と思ひます。

皆さんも是非当クラブにお越しいただき、この楽しい雰囲気を味わってください。会員一同お待ちしております。





佐世保東南ロータリークラブ



9月1日、まだ残暑厳しい中、栗林英雄ガバナー・相良紘一郎ガバナー補佐・瀬頭昭治事務局長・松角雅夫地区大会委員長にご参加いただきました。

栗林英雄ガバナーには、有意義なお話をいただき会員一同感謝致しております。当クラブは22名というクラブですが、全員一致協力のうえ相互の信頼を基に和気あいあいの中、本日まで参りました。

ロータリーにふさわしい活気ある楽しさのなか秩序あるロータリアンを目指し委員会・例会を運営して行きたいと思っております。

国際ロータリー100周年を祝いながら、背伸びをせずこの1年間ロータリー活動に努力して参りますのでご指導をよろしくお願い致します。



佐世保東ロータリークラブ



わが佐世保東ロータリークラブは佐世保市東部を拠点に、東彼、西彼地区までの広域なテリトリーを誇り、ハウステンボスや西海橋など様々な観光資源に恵まれ、三川内・波佐見などの焼き物の産地があることも特徴のひとつになっています。継続し

て続けている活動を挙げると

- ・記念植樹…34年間で地元各所に佐世保市市花など約一万本を植樹
- ・釜山蓮堤RC（大韓民国 第3660地区）との姉妹クラブ締結…1986年以来18年目
- ・奨学金制度…30周年記念事業としてスタートし現在8年目（佐世保高専の推薦学生を支援）
- ・佐世保東RACへの支援…30周年を迎えた佐世保東RACへの全面的支援
- ・早岐小森川への鯉の稚魚放流…社会奉仕委員会の継続事業として地元の園児を招き実施
- ・交通安全活動の推進…早岐地区「交通安全母の会」への活動資金の贈呈

などがあり、会員の平均年齢が地区最高でありながら今期第39代目長野会長の号令の下全員が一丸となって積極的に活動し、新時代に対応した楽しいクラブ創りに励んでいます。





HTB佐世保ロータリークラブ



ハウステンボス佐世保ロータリークラブは、現在会員28名、創立9年目に入り、いよいよ10年の節目を迎えるまでに成りました。

当クラブは創立来、家族会（納涼会・芋掘りバーベキュー会・クリスマス会）・婦人同伴例会等の夜例会などをより多く取り入れ、会員・家族の親睦に重点を置いた、和やかな雰囲気のあるクラブ作りを行っています。

また少人数のクラブですが、活動においても社会奉仕委員会では毎年ハウステンボスにて12月に行われる身体障害者による“夢駅伝inハウステンボス”の支援チャリティー活動や交換留学生・米山奨学生の受入れなど活発に活動しております。例会場はハウステンボス内ホテルデンハーグにて毎週火曜日に行っております。花や緑のある美しい環境を持つハウステンボスの園内を散策しながらのメイキャップにお越し頂ければと思います。



佐世保中央ロータリークラブ



本年度、佐世保中央ロータリークラブは創立14周年を迎えます。

49名の会員は、最年長70歳・最年少40歳・平均年齢53歳と若いクラブです。

厳しい社会状況・経済状況の中、会員の減少、運営活動資金の不足等々、問題山積ですが、知恵を出し合い、活力を出し合って、質も量もふさわしい会員の増強を図り、活力ある、元気のある楽しいクラブを目指しています。

人・事業・委員会・例会等々、ロータリーという出逢いが人生を変えていきます。理動という言葉はないように理屈や理論では人は動きません。心を動かすから、感動するから人は動くのです。感じたら具体的に動く。感動とは常に自分が主役になり生き生きと動くことだと思います。そういう意味で、『出逢い そして 感動』をテーマに様々な出逢いを求め、感動を味わえる活動を行い、明るく楽しく、出席する事が楽しいクラブを目指しています。





大村北ロータリークラブ



創立年月日 昭和51年7月14日

会員数 33名

会長 福谷健吉

我が大村北ロータリークラブは、次年度30周年を迎えます。「楽しくなければロータリーじゃない。」福谷会長の考えの下、親睦と奉仕の理想を求め迷走しています。最年長者84歳、最年少者39歳、若い会員にとってはすばらしい経験・知識を吸収でき、先輩会員は新しい情報などを取り入れたりする、バランスのとれたクラブです。

だが、私が入会した10年前と比べると、他クラブと同様に会員減少は否めない事実です。

本年度会長のバイタリティー溢れる行動力と豊富な人脈で何とか3名の新しい仲間を作りたいと思います。多くの仲間と愉快的語り合いそして楽しいお酒、これだけでも大村北ロータリーに入ってよかったなと思います。

最後にもう一度「楽しくなければロータリーじゃない。」



諫早北ロータリークラブ



○承認

1971年（昭和46年）2月2日

○会員数

チャーターメンバー 32名

平成16年9月1日現在 66名

○スポンサークラブ

諫早ロータリークラブ

○会員の年齢 平均年齢 57.46歳

諫早は多良岳をのぞみ、大村湾、橘湾、有明海の3つの海に面した自然豊かな街です。今、白木峰では色とりどりのコスモスが秋の諫早を象徴しています。

今年度当クラブより、県央諫早において初めて栗林英雄会員が第2740地区ガバナーに就任しています。各クラブにおかれましては公式訪問の際、当クラブ会員の地区大会への案内ではたいへんお世話になりました。11月6・7日地区大会開催に向け、只今松角実行委員長のもとで日々準備を重ねているところです。地区大会へは地区内会員皆様の多数のご参加をお願い申し上げます。

現在当クラブ会員は、例会及び事業と地区関係事業の2本柱を切磋琢磨して、それぞれの分野で責任をもって運営をはかっています。若手会員の参加によりさらに会員同士の融和が深くなることを期待しています。

R I 会長のテーマ「ロータリーを祝おう」の100周

年祭にあたり、第8グループ5クラブでは来年3月に桜の記念植樹を致します。100周年を祝うとともに原点にもどり「4つのテスト」を見直し、親睦と友情を深めた充実したクラブに努めていきます。

重ねて、11月6・7日地区大会への多数のご参加をお願いしまして、クラブ紹介といたします。





諫早多良見ロータリークラブ



我がクラブは創立15周年を迎え、平均年齢52.36歳と比較的に若い世代が多く、活気にあふれています。

現在会員数が42名と減少傾向にありますが、本年度は50名の目標を掲げ達成に向け、はりきっています。

会員同士の親睦を深める事が、クラブ運営を円滑に機能させる秘訣であると思います。その為には夜の例会終了時には、必ず全員に声かけをし2次会参加を意識付け、酒をくみかわし、腹を割った交流を続けているのが我がクラブの特色です。

又、当クラブにはクラブ内の親睦会があり、ゴルフを年4回実施します。夜はゴルフに参加しなかった会員も、宴会に出席し友好と親睦を深めています。この親睦会の名称は諫早と多良見の頭文字をとって「諫多朗会」と名づけています。

- ・今年度は記念すべきロータリー100周年の年度になります。

諫早地区5RC合同で県下最大の桜並木を来年2月までに植樹し100周年記念事業とし実施します。

- ・今年度で4回の青少年交換留学生の派遣を実施し、国際交流の基礎作りに取り組んでいます。



職場訪問（豊後高田）

長崎出島ロータリークラブ



私たち長崎出島ロータリークラブは1998年の創立で、まだ6歳の若いクラブです。昨年まで、「スタートダッシュの5年間」ともいえる一区切りを終え、今年からまた新たな気持ちでクラブの運営を見つめ直していこうという会長方針のもとに、無理なく楽しいクラブ作りを目指して活動を続けています。

現在の会員数は61名。うち女性会員は16名で、区内で最も女性会員の多いクラブです。今年度58名でのスタートでしたので現在3名増、会員数65名までの増強を目標としています。

また、クラブ奉仕部門の今年度のテーマは「ロータリーを楽しもう」となっており、自ら楽しもうとする行動を大切にしていきたいと考えています。

9月3日には栗林ガバナーにご来訪いただき、クラブ内ますます活気づいています。2740地区の先輩クラブ・ロータリアンの皆様、これからもご指導お願い致します。地区大会でお会いしましょう。

9月3日には栗林ガバナーにご来訪いただき、クラブ内ますます活気づいています。2740地区の先輩クラブ・ロータリアンの皆様、これからもご指導お願い致します。地区大会でお会いしましょう。





東長崎ロータリークラブ



我がクラブの町、東長崎は、長崎市中心部より日見峠を越えた、まさしく長崎の東、そして「長崎ぶらぶら節」の主人公出身の地区でもあり、市内にありながら独特の地域色豊かな小さな町です。

当クラブは、チャーターメンバー28名で発足し、1980年2月に認証を受けました。現会員39名のこじんまりとしたクラブですが、「奉仕活動への参加」をスローガンとし、特に社会奉仕活動を中心に東長崎地域を見つめた地域活動を頑張っています。例をあげれば、長崎県脳性まひの会主催「交流キャンプ」への参加、助成、そして「八郎川いかだ下り大会」への参加、助成です。

本年度は当クラブも創立25周年を迎え、ロータリー100周年を祝う記念事業を軸として、当クラブ会員のご令嬢で長崎出身のエッセイスト、井形慶子さんの講演会を開催するにあたり、会員一丸となって取り組んでいます。

これからも、より会員相互の親睦を深め、クラブの活力を増し、地域社会、並びに私達の世界に奉仕できるよう、できる事から活動していこうと思っております。どうぞ、是非一度メイクアップにお越し下さい。



鹿島ロータリークラブ



鹿島ロータリークラブは、昭和40年9月7日、25名のメンバーで設立され、平成17年には40周年を迎えます。現在の会員数は3名のチャーターメンバー、2名の女性会員含め、42名でございます。

最年長者が82歳、最年少者43歳、平均年齢62.74歳です。今年度は平均年齢を若返りたいと思います。

鹿島は由緒ある祐徳稲荷神社、干潟公園での鹿島ガタリンピック、旭ヶ岡公園の桜が有名でございます。

栗林ガバナーが提唱されている、若者の育成として、当クラブでは高校生の就職面接の模擬面接会の実施、小・中学生の市内剣道大会の実施・観桜少年柔道大会・鹿島市少年の夢発表会への協力をしています。

国際奉仕委員会では交換学生のブラジルへの派遣・受入、100周年事業として地区交換学生・奨学生・鹿島RACをコ・ホストとしてキャンプ場宿泊研修～ガタリンピック研修開催予定。

RAC委員会では会員14名で活動しています。各委員会以上、青少年育成に取り組んでいます。

会員の親睦会を重点に置き、観月会、寿の会、家族旅行、家族新年会はクラブ会員の楽しみな行事です。

その他色々な事業を進めながら、地域社会に少しでも貢献ができればと願っております。



新・入・会・員・紹・介

ロータリーの新しい仲間になられました方々をご紹介します。



佐賀RC
園田良秀君



佐賀空港RC
田中 功君



唐津東RC
安芸雅史君



唐津中央RC
古谷良三君



北松浦RC
北野正徳君



諫早北RC
東村久儀君



諫早北RC
城井一馬君



福江RC
富永康文君



福江RC
田中雄介君



長崎RC
萩原節昭君



長崎北RC
前田 茂君



長崎東RC
増田康行君



長崎東RC
栗原雅和君



長崎東RC
佐藤 修君



長崎東RC
山本宣哉君

長崎北ロータリークラブ

公式訪問でガバナーより祝福を受けた新入会員



ガバナーよりRCグッズを受け取る新入会員





米 山 奨 学 生 紹 介



世話クラブ 長崎出島 R C
 カウンセラー 高久和也
 国 籍 ボリビア
 学 校 長崎大学
 氏 名 ウガルテ・カボ ファンルイス

長崎大学歯学部大学院生です。はじめに、米山の奨学生に選んでいただき本当にありがとうございました。ロータリークラブの皆様のおかげで研究に専念することができるようになりました。私の長崎出島ロータリークラブカウンセラーや大学の指導教官の先生方にもお礼を言いたいと思います。いつもご指導ありがとうございます。

私の国ボリビアは南アメリカの中心にある国です。人口は約8百万人です。現在、経済的問題や社会的問題などいろいろな問題がありますが、特に健康問題が深刻で、口腔衛生状況はとても悪いです。健康保険制度が普及してないことも原因の一つですが、何より、ボリビアには口腔衛生予防プログラムがありません。そのため私は多くの国々の口腔衛生関係データを集め、研究をし、この研究をボリビアの口腔衛生状況の改善のために活用したいと思っています。

私の研究を助けてくださっている皆様に、あらためてお礼申し上げます。本当にありがとうございます。



世話クラブ 東長崎 R C
 カウンセラー 西岡英一
 国 籍 スリランカ
 学 校 長崎総合科学大学
 氏 名 ガネゴダゲ・ダルシャナ・プラディープ

はじめに、米山奨学生として選んでいただき、本当にありがとうございます。奨学生になったおかげで将来の夢を実現しようと思っている私に力を与えてくれました。

東長崎クラブの一員になり「いかだ下りバーロン大会」に参加したことをうれしく思っています。その際皆様と力を合わせてパフォーマンス後バーベキューをしてなかなかできない経験をさせてもらいました。また山登りが好きな私を誘って多良岳の頂上まで登ったりして楽しい一日を過ごすことができました。またこのような機会があればいいと思っています。カウンセラーと一緒にドライブに出て色々な話を聞かせてもらったり、島原の有名な所を教えてもらったりしていい勉強になりました。

奨学金をもらえることができたおかげで自分が学んでいる分野にもっと時間をかけることができます。また今までやってきた部活やボランティア活動にも積極的に参加することもできます。自分がリードしてある老人ホームの夏祭りに手伝いに行った事が今年に入って一番良かったことだと思います。今からも勉強が自分の力になるように頑張っていこうと思っています。この前の米山の集いで言いましたように「絶対戦争には参加しない」ことを固く心の底にしまい、歩んでいきます。



世話クラブ 佐賀北 R C
 カウンセラー 太田善郎
 国 籍 中国
 学 校 佐賀大学
 氏 名 黄愛輝 (コウ・アイキ)

こんにちは！佐賀大学の黄愛輝と申します。企業経営を専攻にしています。来年3月修士卒業する予定です。今は修士論文の作成に励んでいます。

米山奨学生になって半年経ちました。お世話になっている佐賀北ロータリークラブの例会に出席させていただきながら、ローターアクトの活動もしています。ロータリーの例会に出席することを通じて、ロータリアンとの交流ができ、いろいろな話を聞いたり助言をいただいたりできるので、とても勉強になったような気がします。この半年間自分としては成長した感じがします。

先月諫早で行われた米山奨学生の集いに参加することができました。その場で、ほかの奨学生と対面して、自分と同年代の若者は今どんな考えを持っているか、こんなにがんばっているんだ、などなど知ることができ、とてもよかったと思います。そして、その時、とても印象に残ったのは、米山奨学金は今の時代になって、留学生救済金より優秀な留学生に対する奨励金の意味がきわめて大きいというロータリアンの話でした。プレッシャーでありながら、励みにもなりました。誇りを持って、みんなの期待を裏切らないように、今以上にがんばらないと思いました。

あと半年で留学生活が終わりますが、米山奨学生になることをきっかけに、ロータリアンと知り合い、いろいろ助けてくれましたし、奨学生の身分が終わっても、一生のつきあいができればと望んでいます。どうぞよろしくお願い致します。

地区米山委員会 だより

米山記念奨学委員長 前田博憲

9月12日(日)、諫早市において、地区「米山の集い」が開催されました。

集いには地区内の米山奨学生、カウンセラー、学生指導担当教員を始め、隅田・安部パストガバナー、各グループガバナー補佐、クラブ米山委員長、諫早地区の各クラブ会長幹事と地区委員など、約100名を超える皆様にお集まり頂き、終始和やかな内に終了しました。

奨学生諸君にとっても地域ロータリアンとのふれ合いを通じて、ロータリーを理解するいい機会になったのではないかと思います。当日の集いにご協力頂いた皆様方に心から感謝申し上げます。





寄 付 者 紹 介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します

種 類	氏 名	クラブ名
P・H・F	犬 塚 勝 政	伊万里 R C
	松 原 究	諫早 R C
マルチプル・P・H・F	隅 田 達 男	伊万里 R C
	安 福 鴻之助	佐世保 R C
	浦 本 忠 男	佐世保東 R C
	菊 地 廣 行	大村東 R C
	島 田 勝 利	諫早北 R C
	白 川 十 郎 (御母堂 故 白川ハル様を偲んで)	伊万里 R C
メモリアルコントリビューター		
ポリオプラス	村 里 愛 子	大村 R C
米山功労者	犬 塚 勝 政	伊万里 R C
	池 田 光 利	諫早 R C
	福 井 功	長崎 R C
	江 頭 紀 一	福江中央 R C
	宮 原 増 幸	長崎西 R C
米山功労者 (マルチプル)	安 福 鴻之助	佐世保 R C
	浦 本 忠 男	佐世保東 R C
	村 里 愛 子	大村 R C
	草 野 志 郎	長崎西 R C
	小 林 敏 教	長崎南 R C

お詫びと訂正

月信No 4 (10月号) 19頁

新入会員紹介欄の

長崎東 R C 馬場政廣君 は新入会員ではなく、

寄付者 (マルチプル P H F ・ 米山功労者マルチプル) と紹介させていただきます。

お詫びして訂正申し上げます。



2004年9月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第1グループ	佐賀	4	86.9	75	0	79	0	4
	小城	4	96.5	36	1	36	1	0
	牛津	4	92.8	32	1	31	1	-1
	多久	4	93.0	41	4	41	4	0
	佐賀大和	3	85.9	26	3	26	3	0
	小計		91.0	210	9	213	9	3
第2グループ	佐賀西	3	87.5	54	0	54	0	0
	佐賀北	4	86.2	42	3	42	3	0
	佐賀南	3	78.1	40	0	42	0	2
	神埼	4	71.3	29	0	29	0	0
	佐賀空港	4	57.3	16	0	17	0	1
	小計		76.1	181	3	184	3	3
第3グループ	有田	3	72.6	39	1	39	1	0
	武雄	3	79.7	54	0	58	0	4
	鹿島	3	86.9	41	2	42	2	1
	嬉野	4	93.3	27	1	25	1	-2
	大町	4	75.5	28	0	29	0	1
	白石	5	76.6	19	0	18	0	-1
	太良	4	70.8	12	0	12	0	0
	小計		79.3	220	4	223	4	3
第4グループ	唐津	4	94.3	51	0	51	0	0
	伊万里	4	97.2	42	0	44	0	2
	唐津東	4	89.7	54	0	55	0	1
	唐津西	4	88.6	41	0	39	0	-2
	伊万里西	4	86.9	48	0	48	0	0
	唐津中央	4	92.6	42	4	43	4	1
	小計		91.5	278	4	280	4	2
第5グループ	佐世保	4	93.7	85	0	85	0	0
	平戸	4	94.6	43	0	43	0	0
	佐世保西	4	92.2	38	1	38	1	0
	北松浦	3	92.9	33	0	34	0	1
	松浦	4	96.6	38	2	38	2	0
	生月	5	76.1	22	2	22	2	0
	小計		91.0	259	5	260	5	1
グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第6グループ	佐世保南	4	100.0	85	0	85	0	0
	佐世保東	4	84.6	35	0	35	0	0
	佐世保北	3	97.3	51	0	52	0	1
	佐世保中央	4	100.0	50	0	49	0	-1
	佐世保東南	4	74.8	19	0	22	0	3
	HTB佐世保	3	78.7	28	4	28	4	0
	小計		89.2	268	4	271	4	3
第7グループ	大村	3	97.0	50	2	50	2	0
	島原	3	79.5	40	3	38	2	-2
	雲仙	3	88.9	33	0	33	0	0
	大村北	5	100.0	33	0	33	0	0
	島原南	5	72.4	22	1	21	1	-1
	大村東	3	71.9	43	0	44	0	1
	小計		84.9	221	6	219	5	-2
第8グループ	諫早	4	93.8	69	0	67	0	-2
	諫早北	4	84.5	64	0	66	0	2
	諫早西	4	95.7	48	0	48	0	0
	諫早多良見	3	76.2	44	0	42	0	-2
	諫早南	3	71.9	33	3	32	3	-1
	小計		84.4	258	3	255	3	-3
第9グループ	長崎	4	86.5	92	0	98	0	6
	福江	4	91.4	44	0	42	0	-2
	長崎北東	4	90.7	64	5	65	5	1
	福江中央	4	93.5	42	0	41	0	-1
	長崎西	3	85.7	71	0	72	0	1
	長崎琴海	4	72.5	20	2	20	2	0
	小計		86.7	333	7	338	7	5
第10グループ	長崎北	3	78.4	79	0	80	0	1
	長崎南	4	77.0	90	0	91	0	1
	長崎東	4	98.8	77	0	80	0	3
	東長崎	3	87.4	39	0	39	0	0
	長崎中央	3	83.1	59	0	56	0	-3
	長崎出島	4	81.2	58	16	61	16	3
	小計		84.3	402	16	407	16	5
合計			85.9	2,630	61	2,650	60	20



文 庫 通 信 (205号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

☆「ロータリーの奉仕」について☆

- ◎「知行合一」 佐藤千壽 平城京RC 2003 40p
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「『クラブ奉仕の願望』」 深川純一 2004 6p (D.2680ガバナー月信)
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「『ロータリー運動の主役はクラブ』」 田中 毅 2004 5p (D.2680ガバナー月信)
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「ロータリーの心を尋ねて」 松田尊文 大牟田RC 2004 49p
[申込先：大牟田RC FAX (0944) 57-7220]
- ◎「21世紀のロータリー」 千 玄室 2004 4p (D.2650地区大会基調講演)
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「おもしろおかしくロータリー」 堀場雅夫 2004 10p (D.2650地区大会講話)
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「ロータリー物語」 鳴海淳郎 別府中央RC 2004 39p
[申込先：ロータリー文庫]
- ◎「私のロータリー観」 田中克憲 2004 116p
[申込先：田中克憲 FAX (095) 822-4699]
- ◎「ロータリーは知・好(行)・楽ーロータリー情報の栞ー」 八尾RC 2002 81p
[申込先：八尾RC FAX (0729) 24-0010]
- ◎「『ロータリーを考える』」 菅生浩三 1993 27p (「ロータリー随想」より)
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.jp>

開館＝午前10時～午後5時

休館＝土・日・祝祭日



クラブ 便り



我が伊万里西ロータリークラブでは、去る9月9日(木)（重陽の節句で中国では非常におめでたい日とされる）例会を変更し移動例会にしました。

この例会は、伊万里市の黒川地区に「イマリンビーチ」という海水浴場（人工ビーチで黒澤明記念館の建設予定地）で親睦委員会主催で、昔懐かしい？ドラム缶風呂に入り、その後懇親のバーベキュー大会を開催したのです。

この「ドラム缶風呂に会員が入ろう」と企画した親睦委員会のメンバー福井君は元自衛隊の幹部で以前、富士の演習場での訓練の際のドラム缶風呂入浴を再現しようと

今回の取り組みになったものです。

大体がこのような面白い企画に目が無い山崎委員長が、すぐこの口車に乗り直ちに実行された訳です。

3本のドラム缶を準備しましたが（1本は予備）、2本に水を溜め、なんとキャンプなどで使用する固形燃料が燃料（藁の替わり）なのです。今回は季節外れもあって固形燃料が不足したため、旅館などの鍋料理で使う4センチ～5センチ大の小さな固形燃料20個で風呂が沸きました。ドラム缶1本があんな小さな燃料？で水が沸く？感動しました。

人間ってなんでも考え出すものだと、会員一同感心し、事務局員の特別なあつらえによる「ジャパニーズ・パンツ FUNDOSI」をはいて入浴するのです。今年度会長、前年度会長、幹事、親睦委員長ら十数名が入浴し「気持ちいいよー」とはしゃいでいました。

こんな変わった例会は、世界広しといえども伊万里西ロータリーくらいかなと思います。

ちなみに現在交換留学生でニューヨークから来ている女性の高校生エンジェルくんが一言「オー・クレイジー!!!」でした。

伊万里西ロータリークラブ
会長 曾我文雄

ガバナー事務所だより

* D2740地区大会

日時：2004年11月5日(金) 記念懇親ゴルフ大会 8：30スタート

11月6日(土) 大会第1日目 13：00点鐘

11月7日(日) 大会第2日目 10：30点鐘

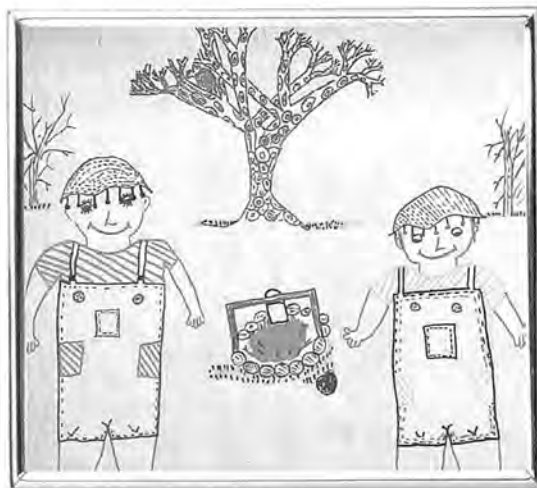
場所：諫早文化会館

* GSE送別会

日時：2004年11月19日(金) 18：00～

場所：マリトピア（佐賀市）

諫早北RCでは、かつて西オーストラリアのピンジャラRCと子供達の絵画交換をしたことがあります。明るい彼等の絵をどうぞお楽しみ下さい。



古い写真をお持ちの方へ

ロータリー創立一九〇五年（明治三十八年）から数えて、来年は輝かしい一〇〇年となります。この一〇〇年に因んで、明治三十八年当時の地元の様子を古い写真で紹介してみようと企画致しました。二七四〇地区のロータリアンの皆様の手元に、その当時の古い写真がありましたら是非お貸し下さい。幸いです。よろしくお願い申し上げます。

※ご連絡はガバナー事務所まで

大村家墓所（本経寺境内）
国の史跡になった大村藩主大村家墓所です。
九州では大宰府の鴻臚館とともに国の史跡に指定され、一躍有名になりました。

感動の一瞬をとらえた貴方の写真で、裏表紙を飾ろうではありませんか。振るってご応募下さい。

※ご応募はガバナー事務所へ



本経寺 大村家菩提寺（古町1丁目）
（大村北RC PG 佐古亮尊様）「大村北RCの事務所も境内にある」

編集後記

本誌に対するいろいろなお批評が寄せられ、編集室としては有難く思っている。

かつて、会長、幹事宛に発送されていたものが、今では全会員に配布されるようになったので、表紙の宛名は削除することにした。この事に関して反論があり、残すべしとの事。しかし、宛名を省略（削除）した例は地区内外の月信にも見られ、意見の分かれるところである。

ロータリーの進化という大局に立てば、宛名の存在は余り意味がないように思うのだが。



国際ロータリー第2740地区

2004～2005年度ガバナー

栗 林 英 雄

■事務所

〒854-0016 長崎県諫早市高城町5-10-302

TEL.0957-35-4890 FAX.0957-22-2808

E-mail:ri2740@ninus.ocn.ne.jp



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2004.12

vol.

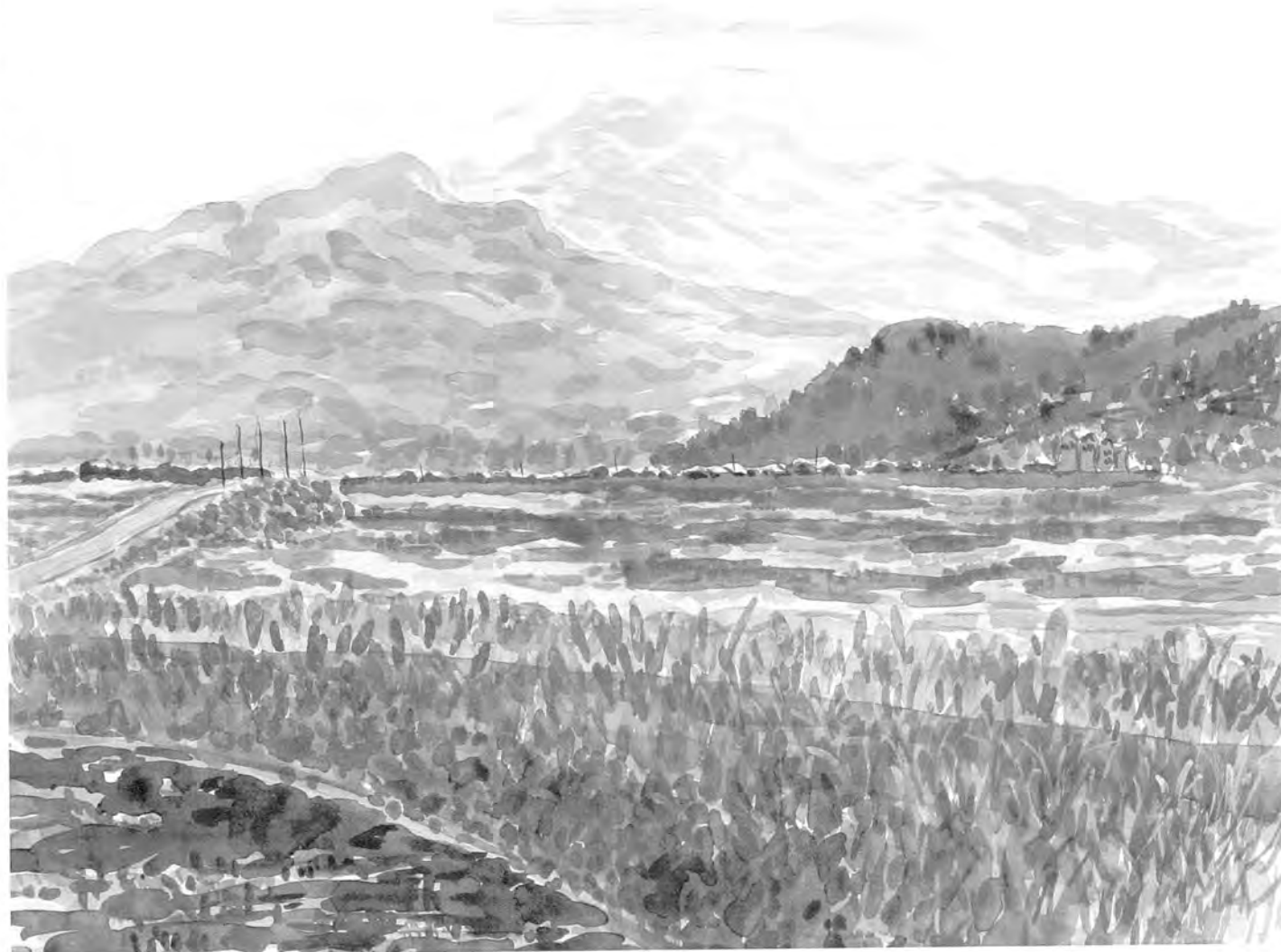
6

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2740地区 ガバナー月信

2004～05年度 ガバナー 栗林英雄





ロータリーを 祝おう

100年の歩み

2004～2005年度
国際ロータリーのテーマ

Contents

●ガバナー所感	1
●2002-03年度 RI 会長 ピチャイ・ラタクル氏 講演 (No.3)	2
●2004～2005年度地区大会を振り返り	3
●2004-2005年度 国際ロータリー第2740地区 地区大会	4
●RI 2740地区 国際青少年交換プログラム下半期スケジュール表	9
●クラブ紹介	11
●ガバナー公式訪問	11
●インドネシア『バリ島』難聴支援再訪問記	14
●米山奨学生紹介	17
●新入会員紹介	18
●ガバナー事務所だより	18
●寄付者紹介	19
●10月会員数・出席報告	20
●文庫通信	21

表紙の絵

「諫早平野と雲仙岳望遠」

市の東方には雲仙岳が望まれ、四季様々な表情を見せてくれる。穀倉地帯である諫早平野越しに眺める情景は素晴らしい。この日は少し白く輝いて見えた。もしかすると霧氷だったかもしれない。

絵の提供 諫早北RC 緒方 聖会員



ガバナーからのメッセージ



ロータリーを駆動する歯車

第2740地区ガバナー 栗林 英雄

2004～'05ロータリー年度の上半期が終ろうとしている。これまで無我夢中で走り続け、後を振り返る気持ちの余裕さえなかったが、年間に消化すべき主要な行事が一通り終了した今、ようやくその気になった所である。

過ぎし一年余り前に思いを巡らしてみると、ガバナーノミニーの指名を受けたあと、その重責に押し潰されそうな日々を送っていたのである。

15年10月にガバナーエレクト事務所を立ち上げ、当地区の会務をまとめる地区組織の編成に大きなエネルギーを費やした。キャビネットを構成する幹事及び副幹事の方々にはそれぞれ役割分担をして頂き、組織をかためる事にした。

16年2月中旬よりアナハイムにおける国際協議会へ出席。自分でも驚くほど洗脳されて帰国するや、地区チーム研修セミナー、PETS、地区協議会と主要な行事を開催し、RI会長の次年度のメッセージを洩れなく伝達せねばならなかった。

当2740地区の10グループから卓越した10名のガバナー補佐が選出され、各クラブの掌握、情報交換のため再三集まって頂き、地区運営に支障が生じないようご協力をお願いしたことであった。

ガバナー年度に入って間もなくガバナー公式訪問。私の強い要望で58クラブ全てを親しく訪問させて頂き、2740地区隅々まで足を運んで何より良い経験をさせてもらったことに大変感謝しているところである。最大のイベントである地区大会も内外のロータリアンの皆様のご支援により、成功裡に終ることが出来て安堵しているのである。

私はふとここで立ち止まり、今日まで私に自己犠牲を強制し、自由を束縛されているにも拘らず、何の抵抗も示さず、素直にこれに順じているのは何故であろう、と頭の片隅で考えた。

さて、ロータリアンの胸に付けられている国際ロータリーのシンボルマークは1924年に現在のものが考案、採用されて、輝かしい奉仕の歴史と共に歩んだ同志の社会的貢献を讃

えるものである。様々な時代の流れにも抗して、力強く回転した歯車はこれに接する次の歯車にその力を伝達し、その先々の末端の機械にまで中心の力が波及してゆく。止まるところを知らず回転し続けるロータリー活動の強さと永続性を具象化したものとも言える。

1905年に誕生したロータリー運動はその小さな輪が年ごとに大きな歯車となってその駆動力を増し、回転速度を上げて拡大を始めたのである。そのエネルギーは瞬く間に国境を越え、言語の壁を打ち破って世界各国に広がって行った。歯車と歯車の摩擦部分に親睦という潤滑油が注入され、100年という長い年月にも耐えて回り続けた。世のため、人のために奉仕活動をとという大いなるVisionの下に回るその原動力はロータリーが掲げる理念が崇高なる人類愛と世界の恒久平和にあったことが指摘できるのではなかろうか。

そして100年の歴史を刻んだことにもそれなりの理由を見つけることも可能である。それは時代に即応して変化し、新鮮さと再生力を失わなかったことにあると考える。

RI会長から年ごとに発せられるターゲット、テーマ、メッセージは会長ご自身の人生観やロータリー哲学に由来する言葉で綴られ、全世界のロータリアンに新鮮な驚きと感動で迎え入れられてきた。毎年提示されるこのメッセージをロータリアンは固唾をのんで見守ってきたに違いない。

一つのロータリークラブでは会長も役員も、各奉仕部門の委員長も一年間でその任を解かれるという期限付きである。年ごとに変わる会長の運営方針は新鮮そのもの、新役員の奇抜なアイデアの奉仕、クラブ運営に導入された魅力的な企画等々今年こそは、来年こそはと会員の情熱は高められてゆく。RIという大きな歯車の動きが末端の小さな歯車にまで伝達されてゆく由縁である。

ロータリークラブには独自性が尊重されているのだから、その特徴を生かしつつ、早まらず遅れることなく、日々のロータリー活動へ歯車を回し続けて参りましょう。



過去に基づき、未来に焦点を (No. 3)

2002-03年度 RI会長 ビチャイ・ラタクル

私たち自身の「内面」を見てみましょう。私が申し上げるのは、近年ロータリーが直面する最も重大な課題でありながら無視されてきたものです。昨年の国際協議会まで、長年言及もされず、討議に上がらなかった課題 — それは職業奉仕です。

そうです。ロータリーは、多くの人道的および教育的プログラムに関する評判で困難を乗り越えてきたことを誇ることができます。確かに人間の活動の多くの分野で著しい進歩を生んできましたが、物質的、精神的な意味で、私たちの企業生活、職業生活はスキャンダルや腐敗行為に病んでいるということを認識することが大切です。

道徳的水準の変更はビジネスにおいても政治においても、多くの分野で目に見えるものであり、世界全体に急速に広がっています。

法規制の軽視、友人・親戚・財政援助者への独占権付与、特権情報の優遇使用、票の買収、資源の浪費、労働搾取など、個人の利益のための不正行為を並べ上げると切りがありません。

ある事件が特に世界に衝撃を与え、組織の運営責任者の誠意と威厳に疑問を投げかけました。倒産し、究極的に巨大会計監査法人アーサー・アンダーソンを破綻に追い込んだエンロン社の話です。

この企業が世界最大のエネルギー取引企業になり、わずか16年間で1,000億ドルの年収を上げるようになったとは信じ難い事実です。実業界最大のスターでした。しかし、わずか1年でその輝きが突然消滅しました。高慢な野心と仰天するほどの経理のごまかしが、経営陣の無理な会計原則とともに暴露され、米国の企業史上有数の大破綻につながりました。

疑いもなく、エンロン社は大変成功していました。しかし、ロータリーの多くの例のように、エゴと貪欲が全レベルのリーダーを、常軌を逸する行動にけしかけました。

世界の一部地域で私が見開きしたことによれば、このような行為は「職務への献身」から「即時の利益分配の探求」への変容と特徴づけることができるかもしれません。貪欲と利己主義が公益への配慮にとって代わっています。

この傾向をどうすれば転換できるのでしょうか？少なくとも社会やロータリーでの、これ以上の蔓延を防止するために何ができるのでしょうか？

ロータリアンについて何ができるかみてみましょう。

私たちは皆、ロータリーを際立たせるものが何か、ロータリーを他とは違うものにするのは何かを知っています。それは職業分類の原則です。

私にとりましては、これこそがロータリーの商標です。これがロータリーの基本的な特徴であり、各ロータリアンに、社会が常に必要としている道徳原則への誓約を表明する特権を与えるものです。

私たちの会員基盤がこのように多様な専門職と業種の分類から構成されているお陰で、私たちはどのような問題にも多面的な取り組み方法を選ぶことができます。私たちは必ずしも職業教育の問題に関心を示すわけではありません。それは、ロータリーの主要な関心は過程や手順、体系にあるのではないからです。すべての事業、すべての職業に共通の問題は、私たちが人々をどう扱うかにあります。人々に対する私たちの態度と取り組み方が最大の重要性を持ちます。さらにロータリーには、2つの貴重な成分を個人間、企業間、国家間の関係にもたらす素晴らしい機会があります。この成分とは、誠意と同情的理解です。互いの扱い方における高い道徳的水準は、常に職業奉仕の至上の目標であり続けてきました。

しかし、このロータリーの際立った特徴はロータリアン個人の行為を通してのみ示され、認識されるものです。ですからロータリアンが私たちの組織の理想と目的を個人の態度、社会的振舞い、市民そして専門職者としての役割に反映させなければ、私たちの住む世界を向上させるという目標に到達することはできません。



2004～2005年度地区大会を振り返り —御礼と総括に代えて—

第2740地区ガバナー 栗 林 英 雄

ロータリーではガバナー年度前半の終わり頃に地区大会の開催が計画されるのが通例である。地区協議会やIMなどの研修を目的とした会合に比べると、RI直轄の情報伝達の意味を持つ大事な行事である。当地区では2004年11月6～7日の2日間、諫早文化会館を中心に行われたが、地区内外のロータリアン及びそのご家族のご出席を得て、盛会裡に終了することが出来ましたことを心より感謝申し上げる次第である。

今大会にはRI会長代理として土屋直裕ご夫妻のご来駕をたまり、RI会長からの貴重なメッセージを報告していただいた。土屋氏は温厚篤実なお人柄で、ロータリー100周年を迎えるこの時期にふさわしい奉仕の歴史について格調高く講演された。決議23-34号を議題に取り上げられ、ロータリーの先人達が奉仕の実践は如何にあるべきかという事について激論を交わし、その論争の結晶こそがこの決議案であったことを説かれた。後世になってこの決議案の存在が危うくなり、現在もお消滅の危機に瀕していることに危惧の念を吐露されたのでした。ロータリーの原点に立ち戻り、本質を直視する事の重要性を強調され、会場に居合わせたロータリアンは一様に襟を正したことであろう。

本年度、当地区はGSE受入れの年に当たり、この地区大会の会期に合流するように本県を訪れた団長ジェームス・モース氏外4名の方々が舞台上で紹介される場面となった。有能な5名の職業人は各人が有する専門的見地から、佐賀、長崎両県の産業、教育、文化等について見聞を広められ、友好と親善を深めつつ、錦秋の日本を楽しまれたに相違ない。帰国後も親善旅行を通して得られた日本の生活や文化、平和を願う一般市民の心情など伝えてほしいと願うものである。

過去の地区大会には基調講演として政治、経済、科学、文化等の分野で著名な知識人を招聘して講演を行うのが慣例となっているようであるが、今大会ではRIのテーマと直接関係のない企画でガバナーの意思を反映させて頂くことにした。常日頃、青少年の教育問題に特別の関心を抱いているので、スポーツを通しての人間形成に焦点をしぼり、計画を立ててもらった。

大会第1日目には「はばたけ、世界へジャンプ！日本の若者」というテーマの下に、佐賀、長崎両県の高校でスポーツ指導に当たっておられる優秀な監督さん5名（内1名はVTR出演）によるパネルディスカッションである。どの方も種目は異なるけれど、全国トップレベルを占める成績を残された実績をもつ指導者で、若い高校生を如何にしてそこまで育て上げたかという体験に基づく対談となった。

肉体的に成長著しいこの時期、又、精神的には多感で感受性の強い学生を相手にしてどの様に向き合っていくのか、興味の尽きないところである。高い目標を立て、それに向かって過酷な練習に耐え、勝利を目指すトレーニングの間にも、人間としての基本的な考え方や生活態度、日常的な心の教育等も取り入れてあり、競技者としての技術面の指導ばかりでなく、ひとりの人間として、団体の中での個の生き方等人間形成に力点が置かれている点など訴えておられた。

大会2日目にはアテネオリンピック、サッカー日本代表監督、山本昌邦氏が「夢を追いかけて」と題して、一般公開となって市民の方々でほぼ満席となった聴衆とロータリアンに思い出に残る講演をされた。長崎県の高校サッカーは国見高校を頂点にレベルの高い地域であり、場内にはサッカーに熱心な中学、高校生も多く見られ、氏の歯切れのよい弁舌に聴き入っていた。国見高校出



身の大久保、平山選手等の名前が次々とび出してくるサッカー競技の臨場感あふれる話は、中学生の某君が舞台上に登場して、監督と1対1で模擬プレーを披露するというハプニングもあって大いに盛り上がった。常に高い目標を求めて努力を重ねる者にこそ一流選手としての道は開かれており、飽くなき強い気持ちをもって人生の目標に向かうようにと結ばれた。

又今年の記念事業は講演と同様スポーツに関連あるもので、アテネオリンピック、バスケット日本代表選手、濱口典子氏（長崎市出身）によるバスケットボール教室が開催された。オリンピック選手からの直接指導は子どもたちにとっても技術的なものの外に、教室に参加した他のチームの人たちとの出会いや楽しい思い出、何よりも一つの目標を立てて努力することの大切さを教えられたことであろう。

例年のことながら、地区大会における全体会議や懇親会を通じて、新たなロータリーの情報に触れて奉仕の心が触発されると共に、遠来の友とも旧交を温めるよい機会であったことだろう。今大会がロータリーの新たな2世紀に向けての一步に少しでも役立てれば幸いである。

最後に今大会が第2740地区ロータリアンの皆様のご理解とご協力によりまして、つつがなく終了致しましたことに深謝し、大会の運営に献身的に当たって頂いた関係各位に心より御礼申し上げます。

2004-2005年度 国際ロータリー第2740地区 地区大会

2004-2005年度 国際ロータリー第2740地区大会が11月6日(土) 7日(日) の両日、開催されました。土屋直裕RI会長代理ご夫妻をお

招きして、地区内外のロータリアンが多数集い、盛会のうちに終了しました。そのスナップを掲載します。

奉仕の歩み100年を共に祝いましょう

記念親睦ゴルフ大会

諫早市・長崎国際ゴルフ倶楽部にて大会前日、記念親睦ゴルフ大会が行われた。

5日(金) 大会前日



諫早北RC
森会長始球式



優勝者の中尾健治様（牛津RC）右から2人目



土屋 R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会



土屋 R I 会長代理ご夫妻



本会議風景

本会議 大会 1 日目 6 日(土)



プロローグ

諫早ジュニア合唱団
コスモス合唱団



開会宣言



栗林ガバナーあいさつ



土屋RI会長代理あいさつ



GSEメンバー紹介

ロータリー100周年特別企画 シンポジウム



「はばたけ
世界へジャンプ!
日本の若者」



長崎女子高校バスケット部監督
山崎 純男



也賀工業高校ラグビー部監督
小城 博



読売新聞 埼玉総編集
松元 利弘



九州文化女子高校 バレー部監督
井上 博明



広島新聞 読者部デスク
城 知哲



アサヒ新聞 さいたま支局
須口 典子



レディスエキスカッション





新世代の集い



記念懇親会





本会議 大会 2 日目 7 日(日)



鎮西学院高校 吹奏楽部演奏



次年度は唐津で又、会いましょう。

記念講演

アテネオリンピック
サッカー日本代表監督 山本昌邦氏





R I 2740地区 国際青少年交換プログラム下半期スケジュール

国際青少年交換委員長 久保元治

プログラム	月日	対象
北海道スキー研修旅行	12月8日～12日	来日学生
クリスマス会、お別れ会	12月19日	来日、派遣候補生、帰国学生、ホストファミリー、地区委員（食事は生徒たちの手作り。ホストファミリーの母親の会も開催。）
初日の出普賢岳登山	12月31日、1月1日	来日学生の希望者のみ （ホストファミリーのご都合でお考え下さい。）
第3回 オリエンテーション	2月5日	来日、派遣候補生、帰国学生、ホストファミリー、クラブ関係者、地区委員
世界遺産研修旅行	5月20日～24日	来日学生
第4回 オリエンテーション・ お別れ会、壮行会	6月25日	来日、派遣候補生、帰国学生、ホストファミリー、クラブ関係者、地区委員

*この他、日程が合えば5月末に鹿島のガタリンピックに参加予定。また、来春北海道の2510地区から来日学生が訪問予定。都合により上記日程は変更になる可能性があります。

第1回オリエンテーション

日時：2004年8月9日(月)～12日(木) 場所：いこいの村長崎





2004～2005 来日学生

	氏 名	ニックネーム	出 身 国	ホストクラブ
1	Frank Ian Brislawn	Ian・イアン	オレゴン	佐 賀
2	Sophie Renard	Sophie・ソフィー	フランス	神 埼
3	Geovana Gomes	Gé・ゼオバナ	ブラジル	鹿 島
4	Megan Mitton	Megan・メガン	カナダ	伊 万 里
5	Angelina R.Stilolions	Angel・エンゼル	ニューヨーク	伊万里西
6	Richard Bnfield	Richard・リチャード	ドイツ	佐 世 保
7	Johann Kroeber	Johann・ヨハン	ドイツ	佐世保南
8	Vera van Duran	Vera・ベラ	オランダ	HTB佐世保
9	Takesi Osuga Chapa	Takesi・タケシ	メキシコ	雲 仙
10	Jamaica Granis	Jamaica・ジャマイカ	オーストラリア	諫早多良見

2004～2005 派遣学生

	氏 名	在 籍 校	派 遣 国	ホストクラブ
1	篠 原 遥	佐賀北高校2年	アメリカ・オレゴン	佐 賀
2	北 島 郁 美	三養基高校2年	フランス	神 埼
3	永 石 隆	鹿島高校1年	ブラジル	鹿 島
4	一ノ瀬 浩 文	伊万里高校3年	カナダ	伊 万 里
5	竹 田 智 史	伊万里高校2年	アメリカ・ニューヨーク	伊万里西
6	中 村 天	佐世保西高校3年	ドイツ	佐 世 保
7	宮 岡 佳 美	佐世保高専3年	ドイツ	佐世保南
8	迎 春 香	聖和女子2年	オランダ	HTB佐世保
9	本 多 正 篤	鎮西高校1年	メキシコ	雲 仙
10	若 杉 友香里	日 大 中 3 年	オーストラリア	諫早多良見
11	猶 崎 藍 子	長崎南高校2年	アメリカ・ミネソタ	長 崎

2005～2006 派遣候補学生

	氏 名	在 籍 校	保 護 者	ホストクラブ
1	百 武 絃 司	佐賀大附中3年	睦 子	佐 賀
2	古 賀 陽 平	神 埼 高 校 1 年	貴 文	佐 賀 北
3	北 川 あゆみ	武 雄 高 校 3 年	哲 徳	武 雄
4	田 代 かおる	佐世保北高校1年	博 之	佐世保中央
5	竹 下 理 子	長崎西高校1年	薫	諫 早
6	有 田 奈 央	長崎北高校1年	真 一	長崎中央
7	平 子 咲	聖和女子学院1年	千太郎	佐 世 保
8	平田稔人(としき)	佐世保商業高校1年	炎(あつし)	佐世保北



クラブ紹介

多久ロータリークラブ



多久ロータリークラブは1985年の創立で、本年は創立20周年の年に当たります。

会員数は41名、その中で女性会員4名となっております。

多久市は佐賀県のほぼ中央部に位置し、西九州自動車道多久インターを有してはありますが、旧産炭地でもあり人口は約24,000人と小さな市であります。

その中で先発のライオンズクラブの存在も影響し、会員増強に努めておりますが、会員確保に大変苦勞しております。それでも創立時23名の会員数に対し、現在ほぼ会員数倍増に近づいておりますので自信を持っております。またクラブのムードづくりには女性会員の影響が大でありますので女性会員の増強にも努力をしております。

現在多久ロータリークラブは、11月20日の創立記念式典及び記念事業の成功に向けて、クラブの総力を結集して準備に取り組んでおります。各クラブのロータリアンの皆様この機会に是非「多久」を訪れて下さい。また我がクラブのすばらしい雰囲気を感じて頂ければと心よりお待ち申し上げております。

ガバナー公式訪問



佐賀南ロータリークラブ



R I 会長は100周年にあたり、「ロータリーを祝おう」と呼びかけておられます。このテーマをお聞きして、創立20周年を迎える我がクラブへのメッセージだと感動し、会員の皆さんと共に「創立20周年を祝おう」と考えました。

そのためには、奉仕に汗を流して活動の中から育んだ親睦と友情の輪を拡げたいと考えています。

記念事業のテーマを教育問題と決定し、次世代を担う子ども達の育成事業に取り組みます。具体的には佐賀市とタイアップして児童虐待防止ワークショップに参加します。子ども、保護者、教職員とそれぞれ研修、地域ぐるみで子どもを守っていこうという試みです。

次に会員増強に努力しています。若い世代の入会によるクラブの活性化なくして、次の20年の健全な成長はありません。

2005年2月26日の記念式典開催に向けて、前進しております。





佐賀大和ロータリークラブ



我がクラブは昨年、諸先輩方のご指導ご鞭撻のお陰で、創立10周年を迎えることが出来ました。

創立当初より女性会員が在籍する中、クラブ初の女性会長が誕生しました。その会長が特に、家族や職場の理解があつてこそそのロータリー活動という事を強調しますので、家族への心遣いを大事にしていきたいと考えています。

会員数は10年来30名前後で、チャーターメンバーが約半数です。今年は、退会者を出さない事と3名の増員を目標に活動を進めています。

また、従来どおり、極小規模ではあるが肥前大和巨石パークへの植樹、伝統を絶やさない為の地域の活動「松梅の柿むき大会」等へ積極的に参加し、地域に密着した奉仕、国際交流の手助けをしたいと思っています。

20周年に向けて再スタートの年と考え、若い会員の斬新なアイデアも積極的に取り入れ、新しい風を通わせたいと試みています。我がクラブの雰囲気を表現すると、和気藹々かつ少数精鋭（いざとなったら）でしょうか？



長崎北東ロータリークラブ



当クラブは、S49.4月の創立で昨年度に創立30周年記念事業を行いました。当時は十八銀行時津支店（西彼杵郡時津町）の2階会議室に於いて弁当出前での例会を開催していたそうです。22名のチャーターメンバーで現在3名の方が元気に会を支えて下さっています。この3名は我が会の知恵袋的存在で大変頼りがいがあり頼もしい存在です。

会員数も47～8名で推移しているなか、2000年頃最低の41名迄減少。それを田中会長・岩永幹事が発奮され「チャレンジ50」を掲げ奮闘努力し50名を達成。それを引き継ぎ八木会長・北郷幹事が「チャレンジ60」と掲げ58名と目標近く迄増やし、井口会長・西幹事が65名迄増強。3年間で21名も純増することが出来ました。

今「チャレンジ70」で頑張っております。

今年度より例会場が長崎厚生年金会館に変わり大いなる節目の時なので心機一転をし、先輩会員、新会員一丸となって目標に向かって益々努力していく所存です。

国内では、京都北東RCと友好クラブを結び、海外では台湾基隆東RCとも友好を深めています。

今年度は100周年と記念すべき年です。前年度30周年記念事業でアフリカのギニアビザウに学校建設資金を提供し学校も開校し子ども達も勉学に励む様子などの記録報告を受けています。そこで100周年記念事業として学用品等の提供も考えております。





太良ロータリークラブ



太良RCは鹿島RCをホストクラブとして、1995年1月に認証されロータリー創立100周年を迎える年に太良RCは10周年を迎えます。32名のチャーターメンバーでスタートしましたが、長引く不況と、社会情勢の改革により現在12名（平均年齢51.42

歳）と運営面では厳しい状況ですが「奉仕、親睦、周年事業の成功」を今年度の重点目標にしていきます。

栗林英雄ガバナー公式訪問では職業奉仕、新世代の話をされ、青少年育成事業には特に力を入れる様にと話をして頂きました。太良RCでも太良町内小学生軟式野球大会（小林杯）の後援と第1回太良RC杯中学生ソフトテニス大会を開催し青少年育成事業としたい。

今年度のRI会長のテーマ『ロータリーを祝おう』と100周年にふさわしいテーマが示され太良RCでも職場で、地域社会で新たに奉仕に献身しあいロータリーを祝いたいと思います。



小城ロータリークラブ



- * 設立年月日 1965年11月10日
- * スポンサークラブ 佐賀・唐津
- * 現在会員数 35名
- * 平均年齢 60歳
- * 最年長者 79歳
- * 最年少者 36歳

* バナー図案について

桜の名所小城公園の桜と直下75Mの清水の滝を眼下に見下ろす秀峰天山を象徴したものであります。

デザインは佐賀大学教授 石本秀雄 画伯 作

2004-2005年度RI会長グレン・E・エステス氏のテーマ「ロータリーを祝おう」のもと、栗林ガバナーのご指導と当クラブ諸先輩を始め全会員の協力を得、奉仕活動を始め理解されるロータリークラブの運営に努めて参ります。





インドネシア『バリ島』難聴支援再訪問記

ロータリー100周年、クラブ創立20周年記念事業報告

長崎西ロータリークラブ

ロータリー100周年記念部会長：江上 徹也

長崎西ロータリークラブ（RC）20周年と国際RC100周年記念事業としてインドネシアのバリ島を再訪問し、難聴対策の医療器具を贈呈し、現地の耳鼻科医やロータリアンと交流を深めたので、概要を報告します。

1. バリ島難聴対策の歴史

2000年武井洋一ガバナー、福井順ガバナーエレクトが出席された地区国際奉仕協議会で故山田吉喜委員長から途上国難聴対策の現況について報告を指名された。筆者のヒアリングインターナショナル日本（HI-J）の理事、耳鼻科医としての活動、長崎西RCの支援の歴史を述べ、武井ガバナーがたまたま耳鼻科医という好都合もあったので地区の事業として後援して頂くこととなった。HI-Jにインドネシアのバリ島からHIインドネシア（HI-I）を通して州立眼科耳鼻科病院に中耳炎の検査手術器具整備の要望があった。長崎西RCと現地バリタマンRCが主提唱クラブとなり2740地区の43クラブの賛同を得、同額補助金を国際ロータリー財団に申請承認された。5万ドル相当の難聴対策医療器具を贈呈のため高橋市郎ガバナー補佐を団長として2002年4月に現地を訪問し、現地の難聴対策関係者やロータリアンと交流を深めた。



訪問団9名のロータリアン、贈呈機器を前に福岡空港で。

2. 今回訪問の目的と概要

長崎西RCの単独事業として100万円をRC100周年事業として計上した。バリ島地域の難聴対策に最も効果的でスムーズな器具贈呈になるように、施設と機器の選択、通関手続きはHI-IとHI-Jに一任した。訪問日程を平成16年9月16日発、22日帰国と設定し、ロータリアン9名、家族1名の10名の訪問団が結成された。直前にジャカルタのオーストラリア大使館の爆弾テロがあり、2年前のバリ島における爆弾テロの悪夢が頭をよぎったが、現地ロータリアンと大学医師の安全情報に身を預けて予定通り出発した。早朝長崎を発ちグアム島経由でデンパサール空港に到着したのは夜になったがバリタマンRCの本事業の窓口担当のイスカンゲル万亀子元会長と前会長、次期会長の3名の女性ロータリアンに出迎えて頂いた。



難聴セミナーが我々の訪問に合わせて開催され、物の援助だけでなく技術知識交流も行った。この冒頭に贈呈式が設定されていた。



3. ウダヤナ大学病院贈呈式・難聴シンポジウム

9月17日は国立ウダヤナ大学病院で近隣の耳鼻科専門医、一般家庭医100名位が参加して難聴に関するシンポジウムが開催されその冒頭で訪問団が持参した医療機器の贈呈式が設定されていた。バリタマンRCの主要メンバーも同席して医学部長、病院長、耳鼻科主任教授に四元永生会長から耳鼻科用のファイバースコープ一式が贈呈された。難聴シンポジウムでは江上が「小児の滲出性中耳炎の管理」と「耳の真菌症（カビ）」について2題の講演を行った。物の贈呈だけでなく知識・技術交流を行って人材を育てるロータリーの援助の精神を実現するための職業奉仕の一環である。



ウダヤナ大学付属病院での贈呈式。四元永世会長からバリタマンRCを介して医学部主脳へ贈呈証の授与。

4. バリ州立感覚器病院訪問

当時は「眼科耳鼻科病院」であったが、今回は建物が増築され皮膚科を新設し、視覚、聴覚・平衡覚（めまい）、皮膚感覚を扱う意味で標題のようにユニークな病院名に変更されていた。土曜午後の休診時間帯であったが常勤の耳鼻科医3名が出迎えてくれて贈呈した機器の使用状況の説明を受けた。主要な機器にロータリーマークが貼布されていた。2740地区からの機器のおかげでそれまでバリ島地域で近代耳科手術が可能なのはウダヤナ大学耳鼻科に限られていたのがこの州立病院でも可能となった。バリ島の爆弾テロでは100名に及ぶ犠牲者が出たが、生存者の中にも鼓膜が破れたり、強大音響で難聴を来した人が多かったが、大部分は贈呈した機器の恩恵を受けて聴力を回復したということであった。今回は不足分の補充という意味で鼓膜観察用の拡大耳鏡を贈呈した。



前回ロータリー財団同額補助金により医療器具を贈呈した州立感覚器病院の再訪問。移動手術検診車はバリ島の周辺部の白内障手術や難聴検診を行っている。

5. 国立ろう学校慰問

バリ島の高度難聴児を集めて補聴器を使った言語獲得教育、職業教育を行っている。120名が寄宿生活を送っており、田中克憲前会長は歯科医としての職業奉仕として歯磨きセットを学校長に、虫歯検診セットを歯科医ロータリアンに贈呈した。



国立ろう学校の慰問。寄宿生が歓迎してくれた。



6. バリタマンRCとの交流

前回の同額補助金による機器贈呈の際の共同提唱クラブであるバリタマンRCは会員が女性だけ30名という珍しいクラブである。日本人が4名も在籍し日本語でも苦労しない。今回は現執行部の美女会員の出席のもと歓迎レセプションを催して頂いた。四元会長からニコニコ袋としてクラブの奉仕活動の一助にして頂くべく金一封を贈呈した。



田中克憲前会長は歯科医の職業奉仕として歯磨きセット、検診器具を校長先生、とロータリアンに贈呈した。

7. ロンボク島医療施設の視察

バリ島の東にロンボク島がある。面積、人口共に同規模で州立の眼科病院があり白内障の手術を中心に視覚障害者向け医療を行っている。バリ島のロータリーの支援による難聴対策の充実に触発されHI-Iを通して視察の要望があった。耳鼻科の診察を始めるにあたって、外来用の部屋が確保されていたが機器はないに等しかった。四元会長、高橋市郎実行委員長と筆者の3名、東京から合流したHI-Jチームとウダヤナ大医師、ロンボク島ロータリアンと共に訪問した。同島には医学部がないので難聴対策のレベルはバリ島よりも深刻であることを実感した。とりあえず眼科の巡回検診の時に難聴の検診をはじめられるよう聴力検査と鼓膜を拡大して診る機器を贈呈した。2740地区で同島の難聴者支援に名乗りをあげるクラブがあれば紹介することを約束した。

8. まとめ

日本の海外援助は、フォローが足りない。物を贈るのが主で人の顔が見えない等の批判もある。HI-JとHI-Iの理事にはロータリアンも多く、機器を贈呈した医療施設を毎年数回巡回してデモ手術や、セミナーを開催している。難聴患者の利益だけでなく地元の若手医師も順調に育っており「人を育てるロータリーの援助」を体現している。今回の我々の再訪も、贈呈した医療機器の使用状況を確認し、不足分を補充し、現地の耳鼻科医を激励することになった。バリ、ロンボク島のロータリアンと友情を深めると共に難聴支援の重要性を理解してもらえた実り多い旅であった。



米 山 奨 学 生 紹 介



世話クラブ 佐賀大和R C
 カウンセラー 松尾一行
 国 籍 中国
 学 校 佐賀大学
 氏 名 劉 光磊

日本での留学生生活をはじめてそろそろ2年が過ぎます。振り返ってみると、この2年間は私の人生にとって、かけがえのない貴重な2年間でした。学問だけでなく、日本の社会や文化や生活など、いろいろな面についてたくさんの思いが残っていますが、私にとって一番身近な大学の生活に関して感想を述べたいと思います。

中国の大学は、学生にとって学習と研究の場所だけではなく、共同生活の場所でもあります。大学には研究、学習の施設だけではなく、学生宿舎、学生食堂、運動場、商店、飲食店などの生活施設もあります。学生は皆学生宿舎に住んでいるので、朝通学しないで直接、講義に行きます。午後の講義が終わると、みんなが運動場に行って1～2時間運動します。夜はまた研究室や図書館に行って勉強します。土、日曜日の夜には、各種のパーティを開催してよく遊びます。日本の場合は学生が別々に暮らしているので、講義が終わったら、アルバイトをしたり、遊びに出かけたり、研究室にいる時間はあまりありません。中国の大学生は毎日大学のキャンパスで共同で学習と生活をしているので、仲間は一緒に住んでいるクラスメイトです。それに比べて日本の大学生はサークルで仲間になる場合が多いとおもしろく感じます。

(財)ロータリー米山記念奨学会



ロータリー米山記念奨学会への特別寄付金に対しては、税法上の優遇措置（寄付金控除）が受けられます。1年間（1月～12月）に1万円以上の特別寄付をされた方には、来年1月末までに申告用領収書をクラブにお送りいたします。来年の確定申告は、12月30日(木)までに入金されたご寄付が対象となります。



新・入・会・員・紹・介

ロータリーの新しい仲間になられました方々をご紹介します。



牛津RC
山本 康徳 君



佐賀南RC
後川 慶三 君



鹿島RC
山中 喜見 君



佐世保RC
片山 仁志 君



佐世保RC
高口 純一 君



佐世保西RC
西浦 隆洋 君



佐世保南RC
福田 康孝 君



佐世保北RC
藤井 憲二 君



佐世保北RC
深町 等 君



佐世保北RC
川原 康廣 君



福江中央RC
野口 喬史 君



長崎RC
押久保直樹 君



長崎北RC
今吉 英夫 君



長崎北RC
厩 瑳 繁夫 君

◆ 訃報

謹んでお別れいたします。



故 園田 敏雄 君
(武雄RC)

ガバナー事務所だより

* R財団奨学学友委員会

第2回R財団奨学生研修会のご案内

日時：2004年12月12日(日) 13：30～

場所：佐賀観光ホテル「山水荘」

* 国際青少年交換委員会

クリスマス会及び歓送会のお知らせ

日時：2004年12月19日(日) 10：00～

場所：西諫早公民館



寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します

種 類	氏 名	クラブ名
P・H・F	長 津 弘	大村北RC
マルチプル・P・H・F	池 田 豊	佐世保RC
	田 中 純智男	佐世保東RC
	岡 田 康 信	長崎中央RC
	塚 崎 寛	長崎中央RC
メモリアル・コントリビューター	村 田 勉 (ご令室 故 村田チヨ様を偲んで)	島原南RC
ベネファクター	長 野 公 道	佐世保東RC
米山功労者	岩 永 龍 幸	伊万里RC
	高 田 俊 夫	佐世保RC
	橋 口 佳 周	佐世保中央RC
	黒 川 敏 行	佐世保中央RC
	竹 本 慶 三	佐世保中央RC
	宮 脇 秀 展	福江中央RC
	城 尾 忠 明	長崎東RC
	迫 龍 二	長崎東RC
	大 田 義 弘	長崎東RC
	島 富 士 男	神埼RC
米山功労者 (マルチプル)	池 田 敏 昭	佐世保RC
	古 原 進	佐世保RC
	佐々木 秀 也	佐世保RC
	東 陽 三 郎	佐世保RC
	田 中 豊 秋	佐世保RC
	長 野 公 道	佐世保東RC
	小 山 和 彦	佐世保東RC
	岩 永 則 昭	諫早南RC
	野 田 直 幸	福江中央RC
	柿 川 純 正	長崎東RC
米山功労者 (メジャードナー)	堤 和 之	佐賀大和RC
	福 田 金 治	佐世保RC
	山 本 良 勝	福江中央RC
米山功労法人	（備）深谷プロパン店 深谷誓志	唐津中央RC

- ・長崎南RC 創立40周年記念としてポリオプラスへ寄付
- ・長崎出島RC 米山記念奨学会へ特別寄付



2004年10月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第1グループ	佐賀	3	87.3	75	0	79	0	4
	小城	3	96.2	36	1	35	1	-1
	牛津	4	91.4	32	1	32	1	0
	多久	4	88.9	41	4	41	4	0
	佐賀大和	4	81.0	26	3	26	3	0
	小計		89.0	210	9	213	9	3
第2グループ	佐賀西	3	82.0	54	0	54	0	0
	佐賀北	4	87.6	42	3	42	3	0
	佐賀南	4	79.9	40	0	42	0	2
	神埼	4	73.2	29	0	28	0	-1
	佐賀空港	4	58.8	16	0	17	0	1
	小計		76.3	181	3	183	3	2
第3グループ	有田	4	72.7	39	1	39	1	0
	武雄	3	83.3	54	0	57	0	3
	鹿島	4	89.6	41	2	42	2	1
	嬉野	4	91.5	27	1	25	1	-2
	大町	4	71.3	28	0	29	0	1
	白石	4	77.8	19	0	18	0	-1
	太良	4	64.6	12	0	12	0	0
	小計		78.7	220	4	222	4	2
第4グループ	唐津	4	95.6	51	0	51	0	0
	伊万里	4	97.7	42	0	44	0	2
	唐津東	4	91.5	54	0	55	0	1
	唐津西	4	93.3	41	0	39	0	-2
	伊万里西	4	88.4	48	0	48	0	0
	唐津中央	5	91.6	42	4	43	4	1
	小計		93.0	278	4	280	4	2
第5グループ	佐世保	4	95.3	85	0	87	0	2
	平戸	4	94.7	43	0	42	0	-1
	佐世保西	3	93.3	38	1	38	1	0
	北松浦	4	77.7	33	0	34	0	1
	松浦	5	87.8	38	2	38	2	0
	生月	4	74.2	22	2	22	2	0
	小計		87.2	259	5	261	5	2
グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第6グループ	佐世保南	5	100.0	85	0	86	0	1
	佐世保東	4	82.4	35	0	35	0	0
	佐世保北	3	98.0	51	0	53	0	2
	佐世保中央	4	100.0	50	0	49	0	-1
	佐世保東南	3	63.6	19	0	22	0	3
	HTB佐世保	4	80.3	28	4	28	4	0
	小計		87.4	268	4	273	4	5
第7グループ	大村	4	97.1	50	2	50	2	0
	島原	4	70.5	40	3	38	2	-2
	雲仙	4	86.1	33	0	33	0	0
	大村北	4	100.0	33	0	33	0	0
	島原南	4	80.0	22	1	21	1	-1
	大村東	3	64.2	43	0	43	0	0
	小計		83.0	221	6	218	5	-3
第8グループ	諫早	5	91.0	69	0	67	0	-2
	諫早北	4	91.9	64	0	65	0	1
	諫早西	3	92.9	48	0	48	0	0
	諫早多良見	4	85.7	44	0	42	0	-2
	諫早南	3	76.1	33	3	32	3	-1
	小計		87.5	258	3	254	3	-4
第9グループ	長崎	3	86.9	92	0	98	0	6
	福江	5	94.6	44	0	40	0	-4
	長崎北東	3	89.6	64	5	64	5	0
	福江中央	4	90.0	42	0	41	0	-1
	長崎西	4	89.6	71	0	72	0	1
	長崎琴海	4	71.3	20	2	20	2	0
	小計		87.0	333	7	335	7	2
第10グループ	長崎北	3	84.4	79	0	82	0	3
	長崎南	4	74.9	90	0	91	0	1
	長崎東	4	98.8	77	0	80	0	3
	東長崎	4	87.2	39	0	39	0	0
	長崎中央	3	88.7	59	0	56	0	-3
	長崎出島	4	81.7	58	16	61	16	3
	小計		85.9	402	16	409	16	7
合計			85.5	2,630	61	2,648	60	18



文 庫 通 信 (206号)

このたびは昨年度の会計報告をさせていただきます。今後ともロータリー文庫をご活用くださるようお願い致します。

ロータリー文庫 2003～2004年度会計報告

(貸借対照表)

(単位：円)

資 産		負 債	
現 金	32,799	雇用保険料預り金	10,154
普 通 預 金	2,676,458	社会保険料預り金	246,654
定 期 預 金	10,000,000	負 債 合 計	256,808
		正 味 財 産	
現 金 預 金 計	12,709,257	次期繰越剰余金	12,452,449
合 計	12,709,257	合 計	12,709,257

(収支計算書)

(単位：円)

収 入		支 出	
会 費 収 入	31,795,950	委 員 会 費	1,467,118
雑 収 入	517,569	業 務 費	4,485,470
		賃 貸 管 理 費	9,191,880
		人 件 費	16,913,155
		予 備 費	552,100
当 期 合 計	32,313,519	当 期 合 計	32,609,723
前期繰越収支差額	12,748,653	当 期 収 支 差 額	△ 296,204
収 入 合 計	45,062,172	次期繰越収支差額	12,452,449

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時

休館＝土・日・祝祭日

大阪国際大会記念切手の特別通信販売のご案内

第95回ロータリー国際大会開催にあわせて発行されました記念切手のご案内を申し上げます。

切手は 1シート10枚 800円です。

申込み締め切り……2004年12月20日

ご希望の方はガバナー事務所 (TEL 0957-35-4890) へご連絡ください。

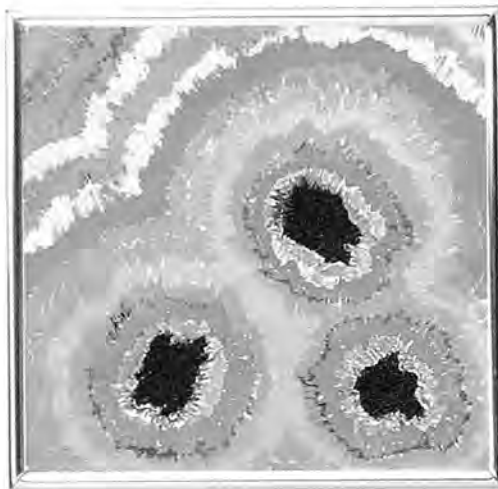
100周年記念シカゴ国際大会のご案内

日 時：2005年6月18日(土)～22日(水)

場 所：米国イリノイ州シカゴ

登 録 料	締切日 1	締切日 2	当 日
	2004年12月31日	2005年3月31日	
ロータリアン/地区の職員、あるいは19歳以上のゲスト	US \$ 250	US \$ 275	US \$ 300
ロータリアンと配偶者およびロータリアンのカップル	US \$ 400	US \$ 450	US \$ 500
ローターアクト、ロータリアン以外の財団学友、財団奨学生	US \$ 60	US \$ 80	US \$ 100
インターアクト、青少年交換学生、18歳以下のゲスト	US \$ 20	US \$ 30	US \$ 40

諫早北RCでは、かつて西オーストラリアのピンジャラRCと子供達の絵画交換をしたことがあります。明るい彼等の絵をどうぞお楽しみ下さい。



古い写真をお持ちの方へ

ロータリー創立一九〇五年（明治三十八年）から数えて、来年は輝かしい一〇〇年となります。この一〇〇年に因んで、明治三十八年当時の地元の様子を古い写真で紹介してみようと企画致しました。二七四〇地区のロータリアンの皆様の手元に、その当時の古い写真がありましたら是非お貸し下されば幸いに存じます。よろしくお願い申し上げます。

※ご連絡はガバナー事務所まで



大正時代の末期、祐徳軌動車が走っていた鹿島の商店街。なかでも矢野酒造、江口商店と大きな店舗が立ち並ぶこの通りは大八車が行きかい、当時珍しかった乗合自動車も走っていて活気にあふれていた。

（提供：福山暢生氏）

「白木峰高原のコスモス」

写真提供 出口 勝 治 様

長崎県北高来郡高来町在住



感動の一瞬をとらえた貴方の写真で、裏表紙を飾ろうではありませんか。振るってご応募下さい。

※ご応募はガバナー事務所へ

編集後記

新潟県中越地震によって崩落した土石の中から、92時間ぶりに奇跡的な生還を果たした皆川優太ちゃん（2歳）（'04.10.27）。あの暗黒と極限の地中で幼い命は何を思い、何を頼りに生き抜いたのだろうか。暗く悲しいニュースに明け暮れる私達に、大きな希望と勇気を与えてくれた出来事であった。

例年になく自然災害に荒れた今年もいよいよ終りを告げようとしている。来年こそは佳い年でありますように。



国際ロータリー第2740地区

2004～2005年度ガバナー

栗 林 英 雄

■事務所

〒854-0016 長崎県諫早市高城町5-10-302

TEL.0957-35-4890 FAX.0957-22-2808

E-mail:ri2740@ninus.ocn.ne.jp



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2005.1
vol. 7

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2740地区 ガバナー月信

2004～05年度 ガバナー 栗林 英雄

2004～2005年度国際ロータリーのテーマ 連風



Contents

●ガバナー所感	2
●ガバナーエレクト新年のごあいさつ	3
●ガバナー補佐新年のごあいさつ	4
●2002-03年度 RI 会長 ビチャイ・ラタクル氏 講演 (No.4)	10
●ロータリー財団地域セミナー報告	11
●第2回ガバナーエレクト研修セミナー (GETS)	11
●米山奨学生紹介	12
●地区米山記念奨学委員会だより	13
●第2740地区 & 2510地区交換旅行 国際青少年交換プログラム	14
●新入会員紹介	15
●寄付者紹介	16
●11月会員数・出席報告	17
●クラブ便り	18
●ガバナー事務所だより	18
●文庫通信	19

表紙の書

祝は示と兄とを組み合わせた形
象形文字では「𠂔」
「示」は神を祭るときに使う机
「𠂔」は祭器を頭に載せている人の形
で神を祭る人をいう
神事をする者は兄弟の中では長男で
あった だから「祝」となる
「いのる」の意味がのち「いわう」の
意味に使われている

白川 静 著 常用字解より

100年とはいいいませんが古い墨を使用
し、現代的構成に考慮し、明るくすっ
きりと、この100年を、未来を祝いた
いと表現したつもりです。

書の提供：諫早南RC 山口賢也（逸風）会員



Wishing you a season filled with peace and joy

Glenn and Mary Estess Family



ガバナーからのメッセージ



年 頭 所 感

第2740地区ガバナー 栗 林 英 雄

国際ロータリー第2740地区ロータリアンの皆様、新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで輝かしい新春を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

今年は2005年、この2005年という年号の響きは私共ロータリアンにとって特別の意味を思い起こさせます。それはロータリアンとして記憶すべきあの出来事から、壮大な奉仕活動の歴史が刻まれ、終に100年経ったのだという時の長さ、と積年の功績の重さを直感できるからです。

100年前の1905年2月23日、厳寒のアメリカ、シカゴの街中から誕生した職業人の献身的な奉仕運動が、さながら燎原の火の如く、国境を越え、言語の壁をもものともせず、拡大して行った一世紀にわたるロータリーの歴史に思いを馳せる時、身震いをするような感動を覚えます。そして共にこの記念すべき2005年の年にひとりのロータリアンとして居合わせた幸運を喜ばしく思っています。

それではこの拡大と発展を遂げたエネルギーはロータリーのどこに潜んでいたのでしょうか。人間には元来弱者への慈愛の心が備わっているもので、貧困に苦しみ、病に倒れ命の危機に瀕している者を目前にした時、救いの手を差し伸べたくなる。これと同質の精神性がロータリー活動の根底には流れているからと思うのです。奇しくもこの事をエドワード・F・カドマン氏（1985～86年度、RI会長）は次のように語っている。「飢えている子や涙を流している母親がいれば、ロータリーはそこに出向きます。白内障に悩まされた目、彎曲した手足がある所、医療、矯正器具、手術を必要とする所に、ロータリーは出向きます。淋しさゆえの溜め息、孤独による絶望がある所にロータリーは出向きます。ロータリーとは親睦の聖性、四海同胞の愛、信頼の温かさです。」それ故に、思想、信条、人種の違いを超越して多くの国々の心ある人々に受け入れられ、今日ここまで成長したロータリーの姿となったのではないのでしょうか。

ロータリーの100年、これは先人の涙ぐましい献身と努力によって打ち建てられた記念碑そのものであり、人類の歴史上に刻まれる大いなる業績である

うと考えます。しかし、ロータリーが次の100年を踏み出そうとする21世紀初頭の今日の国際政情や地球環境を見渡す時、貧困と飢餓、民族紛争による大量殺戮や難民流出、テロリストによる無差別殺傷、環境破壊、核拡散の脅威、難治性感染症の伝播等々数限りない難問が噴出し、これらは様々に複合、地球規模に膨脹して解決の道さえ見えぬ不透明な様相を呈しています。更にこれら異常事態を告げるニュースは瞬時にして地球上を駆け巡り、人類共有の苦悩となるものの、余りにも巨大な難題になす術を知らず、ただ傍観者を装っているのが現状です。

この様な場面に遭遇したロータリーは一体どのように取り組み、どの様な支援が出来るのでしょうか。それともこれは政治の問題だから、自分達の出る幕ではないと無関心で過ごすのでしょうか。ロータリーは政治問題には直接関与しないことを永年固守して来たけれど、人類の英知を結集することが可能なこの組織は何か打つべき手段を講じるに違いない。すでに1980年より3H program (Hunger, Health, Humanity) という極めて重要な手法を提案し、1983年よりポリオ・プラスというポリオ撲滅のプロジェクトとして展開し、これらのProgramは先に挙げた諸問題をターゲットとした施策のように思われます。従って、その道程は遠くとも、この奉仕活動が効果的に機能するようになれば、和平と人々の幸福に少しでも貢献するのではないかと密かに考えているところです。

人の善意にもとづく献身は反社会的行動に暗躍する一部の人々に対して、同じ人間であれば通じる人の温情を伝えることが出来るのではないのでしょうか。悪意を解きほぐし、人を信じる心と好意へと導く糸口として何を施すべきか、ロータリーが取り組む最大のテーマとしてロータリアンの英知を活用しなければなりません。そのネットワークはすでに敷設済みであり、166カ国約120万人のロータリアンがその機会をうかがっているではありませんか。

ロータリーが100年を迎えるこの年の初めに、今後ロータリーが進む試練の道について思いを巡らしたことでした。



ガバナーエレクト 新年のごあいさつ

第2740地区ガバナーエレクト 本 城 好 春

新年おめでとう御座います。新世紀も2005年となり、国際ロータリーも100年を祝おうと記念すべき年を迎えました。ガバナーエレクトを何気なくお受けしたのはよかったのですが、GETS（ガバナーエレクト研修セミナー）が年2回に増え、地区でもいろんな会合に見習いとして出席して、栗林ガバナー、杉原地区幹事からやさしい手習いを受けて居ります。他に米山記念奨学会の評議員になり今まで2回新高輪プリンスホテルで協議会があり、その他クラブ周年行事等で、万歳要員となり、次第に頭も身体も段々ロータリー漬けになって居ります。最後の仕上げは、年明けて早々米国アナハイムで2月18日から24日まで缶詰めにされ、完全に洗脳されて帰国する自分の姿が目浮かぶようです。73歳の高齢者になり、果たして体力がもてるかどうか心配です。広島でのエレクト会で全国から34名集って、初めての会合がありましたが、一番若い51歳のエレクトから、皆さんガバナーが終わったら2～3年で亡くなられるそうで、急逝しないように若い私がガバナーに選ばれましたと、対面で言われた時にはショックでした。私の隣が78歳で最高齢で私は6番目位の年寄でした。皆さん活発に自分の意見を発言され、昔の教育を受けて「沈黙は金」、「男は年に三口」等の諺で育った私には異様な雰囲気を感じられました。

先日東京で、米山記念奨学会評議会があり、その席上、島津久厚理事長が最後に、皆さんのご意見を成る程、成る程と拝聴しました。皆さんの貴重なご意見を充分取り汲んで参考にさせていただきますと上手にまとめられ、「寛容と謙虚」なお言葉に、皆さん大拍手でした。一種のガス抜きで、偉い人ほど人心の集約がうまいと思いました。GETSでもロータリーでクラブ、ロータリアンにやる気を起こさせるには、「寛容な気持ち」で各人の人格を認め、ほめる事だと研修を受けました。この時、

ロータリーは「自己研鑽」の場であると、しみじみ思いました。4年前から会員の伸び悩みがしばしば問題になって居ります。ロータリーの魅力がない、理念がない等で退会される会員があると聞きますが、昔の先輩達から指導されたような「自己研鑽の理念」が失われて来たからではないでしょうか。今度の広島でのゾーン研修会でも分科会1、「新世紀の夢を語る」に参加しましたが、若い会員の方がロータリーにはブランド性がないので入会が増えないのだと言われました。厳しい現代社会でメリットがないから魅力がないとはっきり言われる若い会員の方は、まだロータリーの魅力がよく判っておられないようでした。私の入会した36年前は、自分の目標となるような立派な先輩ロータリアンの方々が沢山居られて、いつか私も努力して、自己研鑽してあの方達のような立派なロータリアンになりたいと燃えていたのを思い出します。今はその目的が無くなって或る意味では可哀想な気がします。インフレからデフレ、ビッグバン、明かりの见えない失われた10年のトンネル等の時代に生きている若者達を何とか立ち直らせねばなりません。なかなか結論の出ないセッションでしたが、上野孝モデレーター（横浜RC）が最後にロータリーの究極の目的は次世代への教育であり、今の混乱の世の中から、ロータリー・パワーで秩序の回復をしなければならぬと見事にまとめられました。この方の語り口は非常にソフトですが、原爆体験から今日を成された背骨の通ったロータリアンで、今からの若いロータリアンにとって立派なブランド、自己研鑽の目標になれる方と私はお見受けしました。今からこんな立派な方々が次々に輩出される姿を見て、世紀末みたいに暗い印象ばかりの中で、ロータリー101年の夢もまんざら捨てたものではなく、明るい希望が持てるかと確信して居ります。



ガバナー補佐新年のごあいさつ



第1グループ ガバナー補佐

山本 光雄 (牛津RC)

新年明けましておめでとうございます。

ガバナー補佐の重責を背負い暗中模索で任務を遂行してまいりましたが、早いもので今期も上半期が過ぎました。各クラブを訪問し勉強不足の私をご支援・教示頂きまして本当に感謝申し上げますと共にロータリーの友情を身をもって感じたことはありません。

第1・第2グループ合同例会・ガバナー訪問、栗林ガバナーは各クラブを訪問されました。クラブ会員は、緊張感を感じつつ感激し全会員が一体となった思いがしました。

地区大会は、「はばたけ世界へジャンプ 日本の若者」各種競技指導者監督シンポジウムとオリンピックサッカー日本代表監督山本昌邦さんの記念講演に大変な感動を受けた大会となりました。100周年記念事業のGSE受け入れプログラムで、ロータリー第6290地区アメリカ・ミシガン州、カナダ・オンタリオ州からジェームス（ジム）モース リーダー他4名は各地を見学し職業研修とクラブ例会に出席をいたしました。



第2グループ ガバナー補佐

吉田 一夫 (佐賀南RC)

新年明けましておめでとう御座います。

昨年中は大変お世話になりました。今年もよろしくお願い申し上げます。

2004～2005年度の、最初のガバナー補佐会議によって補佐としての活動分野の学習でこれは大変な年で大変な仕事だと感じました。

私なりの地区・地域の年間行事予定とし

ロータリー会員の皆様の温かい歓迎を頂き大成功であったと思います。ご協力に対しお礼申し上げます。

さて、下半期の始まりです。来る3月12日はIM「100周年ロータリーを祝おう会」が開催されます。今回はテーマにふさわしく楽しい大会にしたいと思います。第1・第2グループ一堂に会しまして開催いたしますのでご協力をお願い致します。又RI会長テーマ「ロータリーを祝おう」とガバナー100周年目標、それから各クラブの活動プログラムを消化し素晴らしい成果を達成してロータリーを祝おうではありませんか。

2004年は日本列島がいろんな意味で大きく揺れた年でありました。大型台風、大水害の発生、新潟中越地震と大災害が続き大変な一年でしたが、今年は大きな災害も無く平和な年でありますように願っております。

今年も引き続き、ロータリーの友情で昨年以上に会員の皆様のご指導とご協力をお願い致します。

では、

- 1) 新旧会長・幹事会と同時に、新年度のガバナー補佐としての活動方針案説明（6月）
- 2) 第1・第2グループ新会長・幹事合同例会でのグループの活動方針（7月）
- 3) 各クラブ協議会への参加（各クラブの活動方針内容について、ガバナーへの



報告)

- 4) 栗林ガバナーの各クラブ公式訪問・(随行)、地区大会への参加
- 5) 栗林ガバナーの国際ロータリー100周年記念事業の一環として、GSEグループ交換プログラム小委員会設置、そして第1・第2グループ合同による受入の対応
- 6) 100周年記念事業プログラム(各地域、各クラブでの企画)
- 7) IM

現在、5) GSEプログラムまで無事終了しまして、ホッとしているところです。しかし、今振り返ってみて、このようなプログラムも自分自身が、地区の委員会活動やクラブ活動などを学習する機会と促え、そして多くのロータリアンとの出会い、ふれ合いのチャンスで、むしろ貴重な体験学習となるのではなかろうか、というプラス

思考に切り換えて、対応して来て、将にその通りでした。

協議会・公式訪問・GSE受入れプログラム委員会活動では、たくさんのロータリアンとのふれ合いによって、人の和の大切さ、美しさを知りました。また思いやり、気配り、協調性、責任感の必要性を身にしみて痛感いたしました。

これ等は、ガバナー補佐としての貴重な体験となりました。今は栗林ガバナーの地区活動プロジェクトに深く感謝を申し上げたい気持ちです。

早いもので半年が過ぎました。今後残されたプログラム活動に対しても、ガバナー補佐としての責務に努力して行きたいと思っております。

今年もご指導ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



第3グループ ガバナー補佐
高 原 武 彦 (有田RC)

明けましておめでとうございます。皆様お元気で新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年はオリンピックの年で選手や彼等を支援するスタッフの熱い戦いと努力に感動しました。一方、相次いでやって来た台風、新潟中越地震と不幸な災害が重なりました。被災地の皆さんがお元気で早く元の暮らしに戻ることが出来ますようにお祈りいたします。夏の暑さも忘れて武雄―嬉野―太良―有田―大町―白石―鹿島と7つのクラブ協議会、ガバナー訪問で走り廻ったこと、昼は大町、夜は太良のガバナー訪問とダブルヘッターもあり忙しくよく頑張ったもんだと懐かしく感じています。各クラブに参上いたしました折には温かくお迎えいただき、ロータリーの友情を体感

させて頂きました事を有難くお礼申し上げます。最初の武雄クラブでは打っ立ち祝いとのことで懇親会に出席させていただき多くの先輩の助言をいただき緊張を解してもらいました。最後の鹿島クラブでは仕舞い祝いということで観月会に参加、おいしい地酒を御馳走になり心身共に元気が出たことを思い出します。それぞれのクラブに特色があり、奉仕の理想に向かってロータリーを楽しみながら各地域で立派に活動されていることがわかりました。3月26日(土)IMです。実行委員長のもと計画中です。よろしくご協力をお願いいたします。

今年こそ平和で良い年になりますように祈願いたします。



第4グループ ガバナー補佐
田代孝男 (唐津西RC)

新春のお慶びを申し上げこの一年が佳き年でありますよう心よりお祈り致します。昨年は年度の始まりから台風や地震等文字どおり天災地変で大変な日本列島でした。そのような中であって、栗林ガバナーのご指導のもと、クラブ協議会やガバナーの公式訪問など何とかクリア出来たのも地区役員を初め第4グループ6クラブの会長・幹事様や当該会員の皆様のご協力のお陰と心より感謝を申し上げます。

扱、地区に於いては、11月に開催されました地区年次大会では青少年の問題を重要視されている栗林ガバナーの意図が存分に反映された「はばたけ世界へジャンプ日本の若者」のシンポジウムは大変感動を覚えました。改めて出席(参加)への大切さを実感致しまし

た。又創立100周年事業の一つでもありましたGSEの行事も、夫々に役割を發揮し、その目的に沿った結果を得られたものと思います。

一方ガバナー補佐としての反省を多々感じながら、後期にどれだけカバー出来るか自問自答の心境です。早速2月13日には、佐世保南ロータリークラブのお世話で第4・5・6グループのI・Mが予定されています。

テーマは「ロータリーは今青少年に何が出るか」となっています。どうかこの企画に関心を持ち参加をお願いします。又後期はクラブで計画した活動状況をチェックして目標達成のための大事な時期でもあります。どうぞ後半期も宜しくお願い致します。



第5グループ ガバナー補佐
佐藤一男 (北松浦RC)

明けましておめでとうございます。

2005年2月23日はロータリー100周年です。良い年になりますよう期待しています。一昨年の12月より半年に亘り、次期ガバナー補佐として、諫早に集まり栗林英雄ガバナーエレクトから、補佐がいるから私は助かっていると持ち上げられながら良い教育を授かりました。7月より愈々本番に入り、佐世保西クラブを皮切りに第5グループのガバナー補佐として、又ガバナーの案内役として9月まで各クラブを表敬訪問しました。北の生月クラブから南の伝統を誇る佐世保クラブまでの訪問に、栗林ガバナーは驚き第5グループの守備範囲は広いなあと感心しておられたのが印象的でした。そしてこの数年の会員の減少に驚き、私が会長をしていた平成3年の頃を思い出しました。時のガバナーは富永雄幸さんでした。北松浦に今一つのクラブを作ろうと真

剣に討論したのが今は昔の物語となりました。10月もあれこれこなし愈々11月5日より3日間、ゴルフを皮切りに、RI会長夫妻の歓迎晩餐会、そして本会議と続き更に「スポーツ分野における青少年の健全育成を」というシンポジウム、更に3日目はアテネオリンピックのサッカー日本代表の山本昌邦氏のユーモアと熱情はとばしる講演で終わりました。

栗林ガバナーの熱い謝辞にガバナーの青少年教育に対する意気込みというものを垣間見る思いでした。昨年はまさに国の内外多事多難凶事続きの一年でした。10度に亘る台風の本土上陸に加え、新潟大地震、佐世保市や奈良市の少女殺害事件、イラクの戦争拡大と次から次の事件続きに茫然として昭和16年の大東亜戦争突入の年を思い出しました。

今年は酉年です。朝日新聞のコラムに「雄鶏一喝天下白」とありました。鶏の雄々しい



鳴き声で夜が明け、曙の光が次第に東の空を赤く染めて行く。新しい一日、また一年が始まるということです。このような年にしたいも

のです。本年もよろしく御交誼の程お願い致します新年のあいさつと致します。



第6グループ ガバナー補佐
相 良 紘一郎 (佐世保南RC)

新年明けましておめでとうございます。

第6グループの皆様、ロータリー100年の新春、ロータリー活動についての気分も新たに迎えられたことと拝察申し上げます。

新年度が始まり、7月早々に佐世保市内8ロータリークラブの合同のロータリー100周年記念委員会を立ち上げ、佐世保市内小学校5・6年生を対象として「命の尊さを考えるコンサート」が実施されました。ミュージックセラピストの池田千鶴子氏による「トーク&ハープコンサート」でした。これは佐世保で起きた小学生の事件に対する素早い対応で、命の尊さを改めて考えるとき参加した小学生の心に、何かを与えるすばらしい企画であったと感動致しております。お世話されたロータリー会員の皆様ご苦勞様でした。

第6グループの8・9月のガバナー公式訪問、クラブ協議会、そして11月の地区大会も無事終了致しました。いろいろなことでご支援ご協力を頂きましたことに大変感謝致して

おります。ありがとうございました。

いよいよ後半期に入ります。来る2月13日には第4・5・6グループ合同のIMが、ウェルサンピア佐世保において、第6グループ・佐世保南ロータリークラブの担当で開催されます。今までとは一味違ったインターシティ・ミーティングを企画しております。IMが盛大に且つ有意義な会になりますよう多くの会員の皆様のご参加をよろしくお願い申し上げます。

ロータリー100年というこの年度、クラブ協議会訪問の折りに100年の重みと各クラブにあってはクラブの次なる世代活動の構築に、年度目標に対し意欲的に取り組まれていることが感じられました。どうか多大なる成果を上げられますことを祈って止みません。

会員の皆様には健康に注意され、そしてご活躍を祈念申し上げ、いっそうのご協力を賜りますようお願い申し上げます。



第7グループ ガバナー補佐
木 下 一 功 (大村RC)

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

ガバナー補佐になって、大変だ！大変だ！と思いながら、与えられた事業も一つ一つが終わっていき、早や半ばが過ぎました。

2740地区のクラブ協議会、ガバナー公式訪問は島原ロータリークラブからのスタートでした。緊張をしながらもクラブ訪問は楽しいものでした。どのクラブも身にあまる歓迎をしていただきました事が大変嬉しく、心より

お礼申し上げます。この間、栗林ガバナーのパイプ役として、参加させていただいたクラブ協議会、公式訪問、そして地区大会と、新たな会員の方々との交流が広まり、友情を深め合うことができました事は、私の無上の喜びであります。

我々を取り巻く環境は、上向くどころか、一層厳しさを増しているのではないかと思います。

こんな時代だからこそ「原点回帰」に立ち



戻り「職業奉仕」の重要性を認識し、倫理観の高揚、職業哲学の徹底に努め、ロータリアンであることの誇りを持つことが一番求められているのではないかと思います。

大村3クラブ合同で行われましたGSEの職業交流・歓迎会が成功裡に終わり準備を積み重ねてくれた、会長、幹事、国際奉仕委員長さんに心より感謝する次第です。私自身リーダーのドクタージム・モースの2日間の滞在

は良い思い出になりました。

2月26日は大村ロータリークラブの45周年を迎えます。そして3月5日は雲仙で、第7・8グループ合同のI・Mが開催されます。雲仙ロータリークラブがホストで、テーマは「ロータリーを祝おう」です。多くのロータリアンの参加をお待ちしております。

本年も皆様の温かいご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



第8グループ ガバナー補佐
早 田 和 彦 (諫早西RC)

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

ロータリー100周年という記念すべき年度に、この諫早の地より栗林ガバナー誕生ということで、我が第8グループは新年度から燃えました。

そしてメインの事業であります地区大会も、諫早北ロータリーを中心に本当に大変なことではありましたが、お陰で好評(?)のうちに無事、終了することが出来たのではないかと思います。皆様方のご協力とご支援があったればこそと感謝の気持ちが今も一杯です。

次期ガバナー補佐も決定し、これでガバナー補佐としての役目は、終わったのではと独り錯覚をしているようです。あと何がガバナー補佐として残された職務なのか、新年にあた

り考え直さなければならぬと心を新たにしております。

各クラブの訪問も機会をみて実行しなければなりません。又、次の大きな目標であります。第7・第8グループ合同のIMも3月には控えております。これも是非、成功裡に終わりたいと考えております。

第7グループ・第8グループの皆様方全員のご協力をお願いしたいと思います。

そして、改めてガバナーの目標、特に会員増強については少しでもお応えすべく努力をしてゆくつもりです。

残す任期中、皆様のご努力、ご助言を宜しくお願い致します。



第9グループ ガバナー補佐
砂 田 義 博 (長崎琴海RC)

明けましておめでとうございます。

新年のように神々しく、敬虔な気持ちを常に持ち続けたいと思うのは私だけではないでしょう。2740地区第9グループ会員の皆様も、お元気で恙無く新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。この清々しい気持ちで今年もお互いに頑張りましょう。

ガバナー補佐としての務めも早いもので上半期が終わりました。この間、クラブ協議会・

公式訪問と各クラブを訪問しましたが、何れのクラブでも温かくお迎え下さいまして、訪問時には常に緊張ぎみな私の心を和らげて下さいました。このときほどロータリアンの友情を強く感じたことはありません、有り難う御座いました。

今期はロータリー100周年記念の年であります。2740地区栗林ガバナーの掲げる5大目標を各クラブとロータリアンの皆さんに目標



達成のためのご努力をお願いして参りました。各クラブとも親睦あふれる例会、活気あるクラブ協議会の討議、そのような中で、目標達成のために各クラブ会長や各委員長さんが大変ご苦労されているのを拝見して、私も何かお手伝い出来ないかと考えてみましたが「頑張ってください」と声をかけるのがやっとでし

た。一人で何かをするのではなく、皆さんが知力を結集して奉仕をすることの大切さを改めて強く感じました。

下半期には、今期の目標達成は勿論、IM開催もあります。出来ればロータリーの基本について皆さんと考えてみたいと思いますので、宜しく願い申し上げます。



第10グループ ガバナー補佐
佐々木 達也 (長崎出島RC)

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。栗林ガバナーの下、ガバナー補佐を拝命させていただき、早いもので半年が過ぎました。慌ただしい半年でありました。私のような若輩でガバナー補佐を務まるのか、との不安な気持ちでスタートしましたが、この半年で、ロータリーの素晴らしさを再認識しております。と申し上げるより、ロータリアンの素晴らしさに敬服しております。昨年10月、100周年記念事業として実施された、GSEでのロータリアンの行動力には感銘いたしました。準備段階では、かなりの議論が交わされ、計画決定までには、かなりの時間を要したのですが、い

ざ、計画が決まり、分担がしっかり決まると、その段階からの、各ロータリークラブのロータリアンの、行動力とGSE来日メンバーに対する思いやりは、目を見張るものがありました。いかにGSEメンバーの有意義な時間を過ごしてもらうか。その事に関する心配りは、GSEメンバーの感激ぶりからも、明確に感じ取ることが出来ました。このような、素晴らしい方々が集うロータリークラブに加えさせていただいていることに、心の底から感謝の気持ちで一杯です。今年も、「まずは、自分自身が良きロータリアンになること」を肝に銘じて参ります。よろしくお願いいたします。





過去に基づき、未来に焦点を (No. 4)

2002-03年度 RI 会長 ビチャイ・ラタクル

理論としては立派だが、現実的ではないとあなたはおっしゃるかもしれません。

ロータリーは、人に道徳的な誠意ある行いをするよう教えるとは公言していないと思います。ロータリーの目的は、すでにあると分かっている態度の職業生活への適用を奨励することだと思います。ロータリーは幅のある原則を想起させますが、その解釈と応用は、ロータリアン個人とその良心の間の問題です。

では職業奉仕とは実際に何なのでしょう？この質問には答えが2つあります。

第一に、私たちの仕事を行う上で奉仕の理想を体現すること、第二に、ロータリアンではない同僚や仕事上の知人に奉仕の理想を分かち合うことです。もしロータリアンにこれができなければ、ロータリーの主要目的は挫折します。

ですから大きな責任が会員増強委員会に課せられていることになります。もし間違ったタイプの会員が入会すれば、職業奉仕は確実に地に落ち、その世界的な名声も傷つきます。社会の目には、数名の質の低い会員は組織全体の信用を損ないます。それは、ここ数年来の多くのケースで目にしてきました。

そうです。職業奉仕は個人の生活に不可欠であり、各ロータリアンがその理想と、市民として、人間としての有用性をこれほど良く表現できる分野はおそらくありません。

そうです。職業奉仕は誠意と信頼です。職業奉仕は民衆の間で、さらに重要なことには、ロータリアン自身の間で、事業や職業の基準向上を目指します。

残念ながら、私たちの多くはロータリー理念のこの最も大切な要素を忘れてしまいました。私たちの職業生活への、さらにはロータリーの仕事への倫理と誠意の適用をわざと無視してきたとは、何と恥ずかしいことでしょうか。

ポール・ハリスは職業奉仕を定義して、各ロータリアンがその職業において最高の道徳的水準を保つことだと述べました。

そうです。職業奉仕の最重要点は、職業倫理の向上です。そしてこの仕事にとりかかるにあたり、私たちは固く心を決めて、しかし用心して行わねばなりません。

何年も前のことですが、日本の東ヶ崎潔パスト RI 会長がこの件でよい話を聞かせてくださいました。彼は、情熱的な若いロータリアンが街の実業家を訪ねて、不正広告を止めるよう諫めた様子を話してくれました。次の日、この若いロータリアンは、控え目な物腰で、目の周りにあざをつくって昼食の例会にやって来ました。はたして彼は、国際奉仕委員会への移籍を要請したのです。今の仕事より安全だと思ったからです。

私は皆さまにこのような極端な手段に訴えることを期待してはおりませんが、この逸話は、この奉仕部門を要約しています。あなたは、職業奉仕をどのように定義されますか？これは他者にどうすべきか告げることだけではなく、私たちの日常生活で、倫理と誠意の基準を実行することです。

間もなく皆さまは、過去を土台に未来を見据えて職業奉仕をいかに実践するかというグループ討論に参加なさいます。あなたが地区ガバナーとして各自の職業の究極の目的を持ち、それを実践していないなら、そして、すべての取引や処遇で威厳と誠意をもって高い道徳的水準を守らないなら、努力は実りません。

あなたがクラブを訪問なさるとき、生活の質を高める上で、またロータリアンとしての倫理と誠意を支持する上で、職業奉仕が持ちうる甚大な潜在能力について時間を割いてお話しくださるようお願いします。



ロータリー財団地域セミナー報告

ガバナーエレクト 本城 好春

初めにアメリカ、エバンストン本部から出席されたグレン E・エステス R I 会長が、当地広島は、以前 R I 会長代理として来日した事があり、今回 2 回目で古い友人が沢山居り懐かしいと挨拶され、今回の主要討論問題はロータリアンとその家族（配偶者や子ども）から成るロータリー家族を大切に方法、地元地域における保健に関する需要や世界的な識字率向上及び教育問題への対処、水の質の問題とその改善方法、ポリオ撲滅を目標に努力し続ける重要性、会員増強と退会防止の重要性を引き続き話し合う必要性があると言われました。次いでカルロ・ラビッツァ R I 財団管理委員会委員長が、「毎年あなたも 100ドルを」という目標を信奉する事によって飢えに苦しむ子どもの苦しみを軽減し、家族を養う事の出来ない非識字女性を救い、恐ろしい未知の病にかかった人を救い、極貧の中で日々を生き抜こうとしている無数の人々に援助の手を差し伸べる事が出来ると挨拶されました。田中、南園両 R I 理事は、ロータリーの目標①ポリオ撲滅②会員退会防止③基本はクラブと会員であり、ロータリー機能を簡素化して、情報伝達をクラブレベル、会員個人に行う事で他区とクラブのギャップがなくなり、活性化出来る事と述べられました。「財団の金の行方」について、片岡暎子 R I 日本事務局財団室長が説明され、①教育プログラム②人道的プログラム③ポリオプラスに 3 等分される。2005 年でポリオは撲滅し、2008 年で完了する。日本の寄付は 16 億、恒久基金 1 億 8,000 万、ポリオプラスとマッチング、グランド（使途指定寄付）4 億、国際親善奨学金 6 億 5,000 万、地区補助金は 60%→50%に減額され 1 億円。その他 G S E、世界の為に使われる。地区財団委員長は任期 3 年間である。クラブへは視覚に訴える DVD、VTR を利用すべきであると述べられました。

第 2 回ガバナーエレクト研修セミナー(GETS)

ガバナーエレクト 本城 好春

セッションが 10 に分かれて、ここでも「ロータリー財団プログラム」が第 1 セッションに挙げられ、才女の片岡暎子財団室長がスライドを使ってくわしく説明されました。第 2 は「クラブの活性化を促す会員増強と退会防止」について、亀岡弘会員組織コーディネーターが話され、退会するのは新人 2～3 年会員が多い。4 年前から国際的現状で会員の伸び悩みが見られる。1905 年に僅か 4 人で発足したが 2004 年現在 121 万人に増大した。減少ワーストは、日本、米国、インド、フランス。増加国はドイツ、韓国、イタリアで、日本は 4220 ↓、代わりに女性会員が 2900 ↑。理由は自然減少、社会的事情、経済、クラブ内事情、ロータリーに対する理解度不足、規制緩和がある。ロータリーの熱意がない、理念が無くなった。自分が必要で無くなったと思う時にクラブ活性化が喪失する。PETS の時、よく指導する。セッション 3～4 は「国際ロータリーの運営要件 (I) (II)」で川尻政輝研修リーダーと太木光男ロータリー日本事務局奉仕室長が話された。人頭分担金を支払わないクラブがあるが、終結する前には支払って欲しい。地区大会は 2 日間、6 時間以上行い、R I 会長代理は国際ロータリーの現況、世界的情報を伝達する意味から必ず招待する。交通費は R I が支払うが宿泊費は地区負担とする。但し、同一言語を話す近隣から R I が派遣する。セッション 5 「効果的な指導力の開発」は黒田正宏研修リーダーが話され、①地区チーム研修セミナー②会長エレクト研修セミナー③地区協議会④地区大会前後に地区指導者育成セミナーを行う。公式訪問、ガバナー月信、ホームページ、クラブ周年行事等を整理して簡素化する。「寛容な気持」で各クラブ、ロータリアンにやる気を起させる。各人の人格を認め、ほめる事。ガバナー補佐は年 4 回位各クラブを訪問する。地区協議会は多様性を受け入れ自主的に理解と意欲を高めるように参加者を指導する。セッション 6 「財団寄付増進とシェア・システムについて」宮崎茂和財団コーディネーターが話された。財団は近年好転しており、グレン・エステス R I 会長の「100 周年 3 大目標」は「善意の奉仕」で①ポリオ・プラス②会員増強③ロータリー財団であり、ポリオはアフリカのみ残存してナイジェリア 637、インド 69、全世界で 851 例である。セッション 7 「国際協議会の予備知識」について川尻政輝研修リーダーが話され、最後のセッション 8 「評価及び協議」は上野孝研修リーダーがロータリーの究極の目標は次世代への教育であり、究極の平和である。ロータリー・パワーで秩序の回復をしなければならないと上手に結論をまとめられた。



米 山 奨 学 生 紹 介



世話クラブ 佐世保中央 R C
カウンセラー 福田英彦
国 籍 英国
学 校 長崎国際大学
氏 名 鄧詩雅

『テーマ：幸せは私のすぐそばに』

大体3カ月前、ほぼ毎日新聞を開くと、悲しいニュースばかりでした。本当は子どもを守るべき親が、自分の子どもを殺してしまったことや、子どもが親を殺してしまったこと…。そんな家庭の悲劇を耳にすると、悲しくて胸が痛みます。同時に、抱えきれないほどの愛情で私を育ててくれた両親への、私にやさしくしてくれた人々への、思いがあふれてきます。

香港の中学5年生の夏、私は暗い毎日を過ごしていました。進学試験の成績が思ったより悪かったからです。あんなに一生懸命勉強したのに、なぜ？と泣いてばかりでした。仲良しの友達はいずれ皆外国に留学し、そのうえ、かなり大切な人と気まづくなってしまうしました。二重、三重のショックで、何もする気が起きませんでした。ご飯も食べないで、ふさぎこんでいる私を心配して、父がこう言いました。「外に目を向けて、広い世界を見てごらんよ。」と、そしてお金をやりくりして、私を旅行に行かせてくれました。

旅行に行って、その国の粗末な食事や質素な生活にショックを受け、自分の幸せがわかりました。そして、家に帰った時には明るい気持ちで、両親に心から「ありがとう」と言えました。本当は旅行が大好きなのに自分は我慢して、私を旅行に行かせてくれた父には今でも感謝しています。

そんな父が、ある日、私の目の前で急に倒れました。苦しげに体を曲げて、脂汗を流していました。私はどうすればいいかわからず、おろおろするだけでした。救急車で運ばれていく父を見て、「お父さん、死なないで」と心の中で叫んでいました。仕事で疲れていても、週末と休みには一家で過ごす時間をとってくれた父。勉強のやりすぎで、胃を悪くしてしまった私と一緒に病院に行ってくれた父。試験に失敗した私に「外国の大学に行きたければ、行ってもいいよ、お金はお父さんが何とかするから」と言ってくれた父。そんな父の姿が浮かんで来て、涙がとまりませんでした。

幸い、父は一週間ぐらいで退院することができました。そして、このことを通して、あらためて家族の大切さがわかりました。自分は一人ぼっちではない、本当はこんな近くに自分を守って支えてくれる、かけがえのない人たちがいたのです。

私は将来の仕事に日本語を役に立てようと思い、そのために留学を日本にしました。これは根本的な理由ですが、こう思えたのはやはりもっと視野を広げなさいと教えてくれた父のおかげです。それに私が、そのように気持ちを固めていく過程は、多くの日本人の好印象が関与しています。

日本へ留学に来る前に、実は私は長崎に一回来たことがあります。それはもう3年前のことでした。香港の大学で副学士コース1年生の時、夏期セミナーに来ました。2週間ホームステイをしながら毎日長崎国際大学へ通い、日本語や日本文化の授業を受けました。日本人の生活を垣間見ながらの学習は本当に楽しかったです。夏期セミナー中一番印象深かったのは、やはりホーム



ステイでした。川棚町に住んでいる日本のお父さんたちに出会って、とても良かったです。お父さんたちをはじめ、家族の人々はとても優しくかったです。仕事でいつも遅く家に帰っても、2週間の間に毎日時間を作って、日本語や日本の文化などを教えてくれたし、ためになるさまざまな場所へ連れて行ってくれたり、自分の娘のように接してくれたり、2週間の研修は短かったけど、本当に楽しい経験をしました。そして、長崎の人々はとても細やかな心づかいをもっているように思えました。その時の長崎のことは忘れがたく、香港の大学を卒業したら、できれば、きっと長崎へ戻って来ようと思って帰国したのでした。

日本に来て、早2年目です。香港の大学で2年間日本語の勉強をした私は、小学2・3年生のレベルの日本語力で、クラスの授業も半分位しか理解できず苦勞しました。その上学校には中国からの留学生が大勢いますが、私は中国語があまり得意ではありません。モンゴルからのルームメイト、ガンボル・ハリオナーさんとも日本語が共通語です。今では将来の夢、家族のことなど話しあえるかけがえのないルームメイトです。

私と弟は叔母達からお金を借り留学する事ができました。川棚町のお父さん達、先生方にも色々とお世話になり感謝しています。今年米山奨学生となり、経済的な援助はもちろん、カウンセラーの福田先生はじめロータリアンの方々、奨学生達と交流を通して充実した留学生活ができるようになりました。

ロータリーのめざす色々な目標の中で、私にとって重要だと思うのはやはり平和です。度々くりかえされる恐ろしいテロ事件と関係があるかもしれません。世界の平和と理解につながることで人々に寛容の精神と協調性を培うことが大変大切です。私はキリスト教徒で、聖書のコリント人への信徒への手紙Ⅰの13章に、「信心、望み、愛三つの中に、一番大切なのは愛です。」と書いてあります。考えてみたら、この世の中に食べるものも足りない国もあるし、戦争ばかり起こる国もあります。私は平和なところで生まれて、食糧不足とか、天災とか、戦争とか、そんな経験をしたこともなく、今まで無事に生きて、それだけで自分が本当に幸せだと思います。又沢山の人の人から勇気や優しさをもらいました。まだまだ何もできない私ですが、人を思いやり、困っている人を助けてあげられるようになりたいと思っています。これから、もっともっと頑張ろうと思っています。

地区米山記念奨学委員会 だより

* 次年度地区米山奨学生選考会

日時：2005年2月6日(日) 13:00～
場所：ワシントンホテル・プラザ佐賀

* 米山奨学生終了式・歓送会

日時：2005年3月6日(日) 11:00～
場所：ホテルニュー長崎



第2740地区 & 2510地区交換旅行

— 国際青少年交換プログラム —

第1日目

12月8日(水)
第2510地区ホームステイ

12:45 千歳到着
* 2510地区委員会の出迎えを受け余市宇宙記念館など見学

ホテル「水明閣」にてジンギスカン



第2日目

12月9日(木)
スノーユニバース泊
終日スキー

第3日目

12月10日(金)
スノーユニバース泊
終日スキー

第4日目

12月11日(土)
第2510地区ホームステイ

午前中 スキー
14:00 札幌着
15:00 九州留学生歓迎会 & オーストラリア受入学生送別会

第5日目

12月12日(日)
15:00 福岡へ

* ホームステイ先より千歳空港にて合流、九州へ



新・入・会・員・紹・介

ロータリーの新しい仲間になられました方々をご紹介します。



武雄RC
お ぎ さ わ ら く に や す
小笠原邦康 君



唐津中央RC
み づ た に ち も り
水谷智幸 君



島原RC
い の う え ち よ み
井上千代美 君



大村北RC
ま つ し た よ し み つ
松下善光 君



長崎RC
た な か お ゐ し ゅ
田中修 君



福江RC
い け だ よ し の り
池田芳則 君



福江RC
や ま だ か つ ひ さ
山田勝久 君



長崎北RC
ほ り け い じ
堀啓二 君

◆ 訃報

謹んでお別れいたします。

2004年11月24日逝去
(享年66才)

故 小川 琢也 君
(武雄RC)



2004年11月5日逝去
(享年63才)

故 廣瀬 卓雄 君
(佐世保南RC)



2004年11月6日逝去
(享年83才)

故 中村 房一 君
(諫早RC)



2004年11月25日逝去
(享年72才)

故 前田 利昭 君
(伊万里RC)





寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します

種 類	氏 名	クラブ名
P・H・F	川 富 昌 弘	佐世保RC
	植 杉 茂	諫早西RC
	眞 子 裕 史	長崎北RC
	松 尾 正 洋	長崎北RC
	戸 北 悦 生	長崎北RC
	安 達 健太郎	長崎出島RC
マルチプル・P・H・F	島 内 定 義	牛津RC
	草 場 立太郎	佐賀西RC
	三 宅 清兵衛	佐世保RC
	曾 我 勝 宣	佐世保RC
	坂 田 邦 壽	佐世保RC
	貞 松 豊二郎	大村RC
	本 田 友 良	雲仙RC
	江 崎 淑 夫	長崎RC
	瀬戸口 孝 次	長崎RC
	利 井 信 男	福江中央RC
	今 村 音 松	福江中央RC
	柿 川 純 正	長崎東RC
	西 村 金 造	長崎RC
大口寄付	川原田 元 八	小城RC
ベネファクター	辻 本 善 樹	諫早西RC
	森 義 則	長崎RC
	井 上 司	長崎西RC
	小 山 虎之助	長崎出島RC
	中 島 閏 二	佐世保北RC
米山功労者	前 田 啓 介	大村東RC
	梅 木 誠 一	長崎北RC
	牛 丸 敬 祥	長崎出島RC
	宮 原 利 弘	佐賀南RC
米山功労者（マルチプル）	井 上 定 雄	嬉野RC
	淵 健 治	佐世保北RC
	藤 井 良 介	佐世保北RC
	小 西 宗 十	佐世保北RC
	古 賀 新 二	佐世保北RC
	都 甲 泰 臣	佐世保北RC
	緒 方 信 行	佐世保北RC
	西 福 夫	福江中央RC
	上 田 恵 三	長崎北RC
	岩 崎 邦 臣	佐世保西RC
	福 田 俊 郎	佐世保北RC
	築 城 士 郎	長崎北RC



2004年11月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第1グループ	佐賀	4	87.1	75	0	77	0	2
	小城	3	94.3	36	1	35	1	-1
	牛津	4	95.3	32	1	32	1	0
	多久	4	92.7	41	4	41	4	0
	佐賀大和	4	89.0	26	3	26	3	0
	小計		91.7	210	9	211	9	1
第2グループ	佐賀西	4	87.0	54	0	54	0	0
	佐賀北	3	86.5	42	3	42	3	0
	佐賀南	4	77.4	40	0	42	0	2
	神埼	4	77.5	29	0	27	0	-2
	佐賀空港	3	51.0	16	0	17	0	1
	小計		75.9	181	3	182	3	1
第3グループ	有田	4	80.4	39	1	39	1	0
	武雄	5	80.4	54	0	57	0	3
	鹿島	4	90.4	41	2	43	2	2
	嬉野	4	95.0	27	1	25	1	-2
	大町	4	75.5	28	0	28	0	0
	白石	3	77.8	19	0	18	0	-1
	太良	4	70.8	12	0	12	0	0
	小計		81.5	220	4	222	4	2
第4グループ	唐津	2	94.1	51	0	51	0	0
	伊万里	3	95.5	42	0	43	0	1
	唐津東	3	94.7	54	0	55	0	1
	唐津西	3	83.3	41	0	39	0	-2
	伊万里西	4	86.3	48	0	48	0	0
	唐津中央	3	93.4	42	4	44	4	2
	小計		91.2	278	4	280	4	2
第5グループ	佐世保	3	95.7	85	0	87	0	2
	平戸	4	95.8	43	0	42	0	-1
	佐世保西	4	94.8	38	1	38	1	0
	北松浦	4	89.3	33	0	34	0	1
	松浦	4	89.6	38	2	38	2	0
	生月	3	78.3	22	2	22	2	0
	小計		90.6	259	5	261	5	2
第6グループ	佐世保南	3	100.0	85	0	85	0	0
	佐世保東	4	84.5	35	0	34	0	-1
	佐世保北	5	96.0	51	0	53	0	2
	佐世保中央	4	100.0	50	0	49	0	-1
	佐世保東南	3	74.2	19	0	22	0	3
	HTB佐世保	4	81.8	28	4	27	3	-1
	小計		89.4	268	4	270	3	2
第7グループ	大村	4	96.6	50	2	50	2	0
	島原	4	70.5	40	3	39	3	-1
	雲仙	4	83.3	33	0	33	0	0
	大村北	3	100.0	33	0	34	0	1
	島原南	3	71.4	22	1	21	1	-1
	大村東	5	68.8	43	0	42	0	-1
	小計		81.8	221	6	219	6	-2
第8グループ	諫早	4	90.3	69	0	66	0	-3
	諫早北	2	83.3	64	0	64	0	0
	諫早西	3	92.2	48	0	48	0	0
	諫早多良見	3	88.1	44	0	42	0	-2
	諫早南	4	74.2	33	3	31	3	-2
	小計		85.6	258	3	251	3	-7
第9グループ	長崎	4	85.5	92	0	99	0	7
	福江	4	94.1	44	0	42	0	-2
	長崎北東	3	88.5	64	5	64	5	0
	福江中央	4	93.8	42	0	41	0	-1
	長崎西	4	88.5	71	0	72	0	1
	長崎琴海	4	70.0	20	2	20	2	0
	小計		86.7	333	7	338	7	5
第10グループ	長崎北	5	88.6	79	0	83	0	4
	長崎南	3	74.2	90	0	90	0	0
	長崎東	4	98.8	77	0	80	0	3
	東長崎	4	90.5	39	0	39	0	0
	長崎中央	4	89.3	59	0	56	0	-3
	長崎出島	4	87.1	58	16	61	16	3
	小計		88.1	402	16	409	16	7
	合計		86.2	2,630	61	2,643	60	13



クラブ 便り



先月10月31日、当クラブは町の秋まつりに参加して、チャリティーバザーを開きました。

第1回嬉野温泉秋まつり、うれしの産業祭でポリオ撲滅チャリティーバザーを実行いたしました。フリーマーケットの片隅で会員の家に眠っている品を持ちより、国際ロータリーのボランティア活動を紹介するパネル、ロータリークラブの活動等を理解していただくパンフレットも用意いたしま



した。

おりしも、地震災害の募金活動に皆さんが一生懸命の最中でもあり、バザーのほか、旅館業の会員の協力で金魚すくい・ヨーヨーなどをして募金を呼びかけました。秋晴れの日、会員ほとんどの全員参加でいい汗をかきました。

ポリオ・プラス、新潟被災地の皆さんのお役に微力ながら立てればといいと願う次第です。

平成16年11月29日

第3グループ
嬉野ロータリークラブ
会長 谷 嶋 要三郎

ガバナー事務所だより

* 第3回ガバナー補佐会議

日時：2005年1月22日(土) 12:00～

場所：ホテルグランドパレス諫早

* 第3回諮問委員会

日時：2005年1月29日(土) 17:00～

場所：HTB JR全日空ホテル



文庫通信 (207号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

☆ ロータリー情報の資料として ☆

- ◎ 「再・ロータリー随想」 菅生浩三（直前R I 理事） 2004 246 p
[申込先：出版文化社 TEL (03) 5821-5300]
- ◎ 「心に残るロータリアンの言葉」 中井義尚 岸和田東RC 2004 70 p
[申込先：岸和田東RC FAX (0724) 23-2530]
- ◎ 「遥かなる道 ロータリーと共に」 呉 在璟（元R I 理事） 2004 3 p
（D.2520ガバナー月信） [申込先：ロータリー文庫（コピー）]
- ◎ 「R I 現況報告」 上野 孝 2004 5 p（D.2830地区大会）
[申込先：ロータリー文庫（コピー）]
- ◎ 「ロータリーの魅力と楽しさ ロータリーの未来を語ろう」 本山新三 他
2004 18 p（D.2680地区大会ロータリー・トーク）
[申込先：ロータリー文庫（コピー）]
- ◎ 「職業奉仕セミナー『その基本原理について』」 深川純一 2004 11 p
（D.2780ガバナー月信） [申込先：ロータリー文庫（コピー）]
- ◎ 「純ちゃんのコーナー（ロータリー3分間情報）PartⅢ」 深川 純
伊丹RC 2004 32 p [申込先：伊丹RC FAX (0727) 75-1223]
- ◎ 「社会奉仕セミナー『21世紀の社会奉仕活動』」 田中 毅
（D.2780ガバナー月信） 2004 8 p [申込先：ロータリー文庫（コピー）]
- ◎ 「職業倫理のつれづれー職業奉仕かわら版ー」 D.2650 2003 8 p
[申込先：ロータリー文庫（コピー）]
- ◎ 「目に関することわざ『ロータリー情報』」 宇部西RC 2004 35 p
[申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

諫早北RCでは、かつて西オーストラリアのピンジャラRCと子供達の絵画交換をしたことがあります。明るい彼等の絵をどうぞお楽しみ下さい。



古い写真をお持ちの方へ

ロータリー創立一九〇五年（明治三十八年）から数えて、来年は輝かしい一〇〇年となります。この一〇〇年に因んで、明治三十八年当時の地元の様子を古い写真で紹介してみようと企画致しました。二七四〇地区のロータリアンの皆様の手元に、その当時の古い写真がありましたら是非お貸し下さい。幸いです。よろしくお願い申し上げます。

※ご連絡はガバナー事務所まで



中川橋を渡る気動車（鹿島市・大正初期）明治38年、民間経営の馬車鉄道が開業。当初は塩田の五町田まで走っていたが、やがて祐徳～武雄間、乙丸～百貴間、武雄～高橋間まで延びていった。機関車も石油発動車（気動車）から蒸気機関車へと変わっていったが、昭和6年には廃止のやむなきにいたった。

（提供：最所 新氏）



佐賀・竹崎観世音寺修正会鬼祭（裸祭）

毎年正月2・3日に行われる寒中の裸祭り。凍てつく夜に白い息をはきながら裸の男達が走り回る姿は勇壮そのもの。県重要無形民俗文化財指定。

感動の一瞬をとらえた貴方の写真で、裏表紙を飾ろうではありませんか。奮ってご応募下さい。

※ご応募はガバナー事務所へ

編集後記

2005年、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。私共ロータリアンにとって、記念すべき100周年のその日が刻々と迫って参りました。先人の献身的な奉仕の業績を讃えると共に、これから歩むロータリーの道筋を探る大切な一年にしたいものです。どうか平和な年でありますように。



国際ロータリー第2740地区

2004～2005年度ガバナー

栗 林 英 雄

■事務所

〒854-0016 長崎県諫早市高城町5-10-302
TEL.0957-35-4890 FAX.0957-22-2808
E-mail:ri2740@ninus.ocn.ne.jp



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2005.2
vol. 8

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2740地区 ガバナー月信

2004～05年度 ガバナー 栗林 英雄





ロータリーを 祝おう

100年の歩み

2004～2005年度
国際ロータリーのテーマ

表紙の絵

「早春の多良岳」

諫早から眺める多良岳は形が良く、穏やかな山波をしている。北の方角に位置し、この山に懸かる雲の様子から、昔は明日の天気を占っていた。年間の降雨量も多く、市内を貫いて流れる本明川の源流ともなっている。早春のかすみの中に山はまだ眠っているようであった。

絵の提供 諫早北RC 緒方 聖会員

Contents

●ロータリーの軌跡、一世紀の時空を超えて	1
●ガバナー所感	3
●「奉仕の一世紀 国際ロータリー物語」の案内	4
●2002-03年度 RI 会長 ビチャイ・ラタクル氏 講演 (No. 5)	5
●グレン・エステス RI 会長主催 祝賀会議へのご案内	6
●佐世保ローターアクトクラブ 創立35周年記念式典	7
●長崎北ローターアクト 創立35周年記念式典を終えて	8
●(財)ロータリー米山記念奨学会だより	9
●ガバナー事務所だより	9
●ガバナーエレクト事務所便り	9
●新入会員紹介	10
●寄付者紹介	11
●12月会員数・出席報告	12
●文庫通信	13



「ロータリーの軌跡、一世紀の時空を超えて」

第2740地区ガバナー 栗 林 英 雄

国際ロータリーが創立して100周年となる輝かしい記念日、2005年2月23日が迫ってきた。エステスR I会長のメッセージ「ロータリーを祝おう」の意を解し、全世界のロータリアン、殊に第2740地区の皆さんにおかれましても、心より祝意を表わしておられることと思う。

ロータリーが誕生して一世紀、遥かに遠く過ぎ去った100年の歳月を回顧する時、そこには初期ロータリーを支えた多くの先人の烈火の如き情熱と激論の果てに集約されて行ったロータリー哲学の経緯を学び取ることができる。そして、その時代その時代に即応した形や機能を備えつつ進化を遂げてきたが、決して平坦な道程ではなかった。この世界的な組織が創設されて100年の年輪を重ねたことは、この組織が提唱し、所属する会員各人が積み重ねてきた弱者への奉仕活動と世界の恒久平和を希求する行動が国境を越えて多くの地球人に支持された何よりの証である。

今から100年前、青年弁護士ポール・ハリス他3人の異業種の職業人が集まったささやかな会合は、大都会の孤独な人間が味わう淋しさを癒す心の故郷であり、商取引の上で生じる様々な問題の解決に互いの知恵を出し合う場であった。そこでは単なる情報交換に留まらず、会員同志の間で交わされる商談は互いに信用し合った者同志で行われる便宜をはかるといった利己的な側面も持ち合わせていた。この互惠主義は必ずしも万人に受け入れられた訳でなく、やがてある事を契機に自分達の内部に蓄積された余剰のエネルギーを周辺社会の改善のために放出するという奉仕の概念が導入され、初期ロータリーは大きな脱皮と飛躍を遂げる事となった。(1905.創立 親睦と互助、1908.奉仕概念導入、1910.全米ロータリークラブ連合会16クラブ、1912.ロータ

リークラブ国際連合会20クラブ、1922.国際ロータリー975クラブ)

1933年ボストンで開催されたロータリー国際大会でポール・ハリスは一般市民に向けて放ったラジオ放送の中で、次のように言っている。

“Mighty oaks from little acorns grow”
(小さなどんぐりから巨大な樫の木が育った)
彼の手元を離れ、予測を上まわる速さで拡大を続け、次第に巨大化してゆくロータリーという構造物に少々驚きの念を抱いているように思われる。(この時期、彼の良き協力者フレデリック・シェルドンはすでに退会) 体調不良のためロータリーの表舞台から次第に身を引いていたポール・ハリスは1947年78歳で静かにこの世を去った。彼の死後も巣立った幼鳥が自力で大気中を滑空する如く、ロータリーの拡大、発展は止まるところを知らず、第二次世界大戦という不穏の中で一時的に停滞はあったが、戦後は再び蘇生して、166カ国120万人の会員を擁する巨大なNGOとなったのである。これまで男性社会であったロータリーに女性会員が誕生したのは1988年のことであり、その運営や奉仕の在り方にも女性の視点から新鮮な改良が加えられていくことであろう。

奉仕の様式にも様々な変化が現われている。初期ロータリーの頃から論争のテーマであった職業を通じての精神的奉仕か、社会奉仕の中で度々見られる金銭・即物的奉仕なのか、紆余曲折の末、その折衷案とも言われる決議23-34号の中に決着をみている。しかし現実的には具体的な即物奉仕が社会への説得力が強く、この底流は1978年に提唱された3Hプログラムにまで連なっているようである。多額の資金の拠出が強要され、その資金を元に巨大プロジェクトが可能となり、ポリオ撲滅、ポリオプラスとなって姿を現わしたのである。

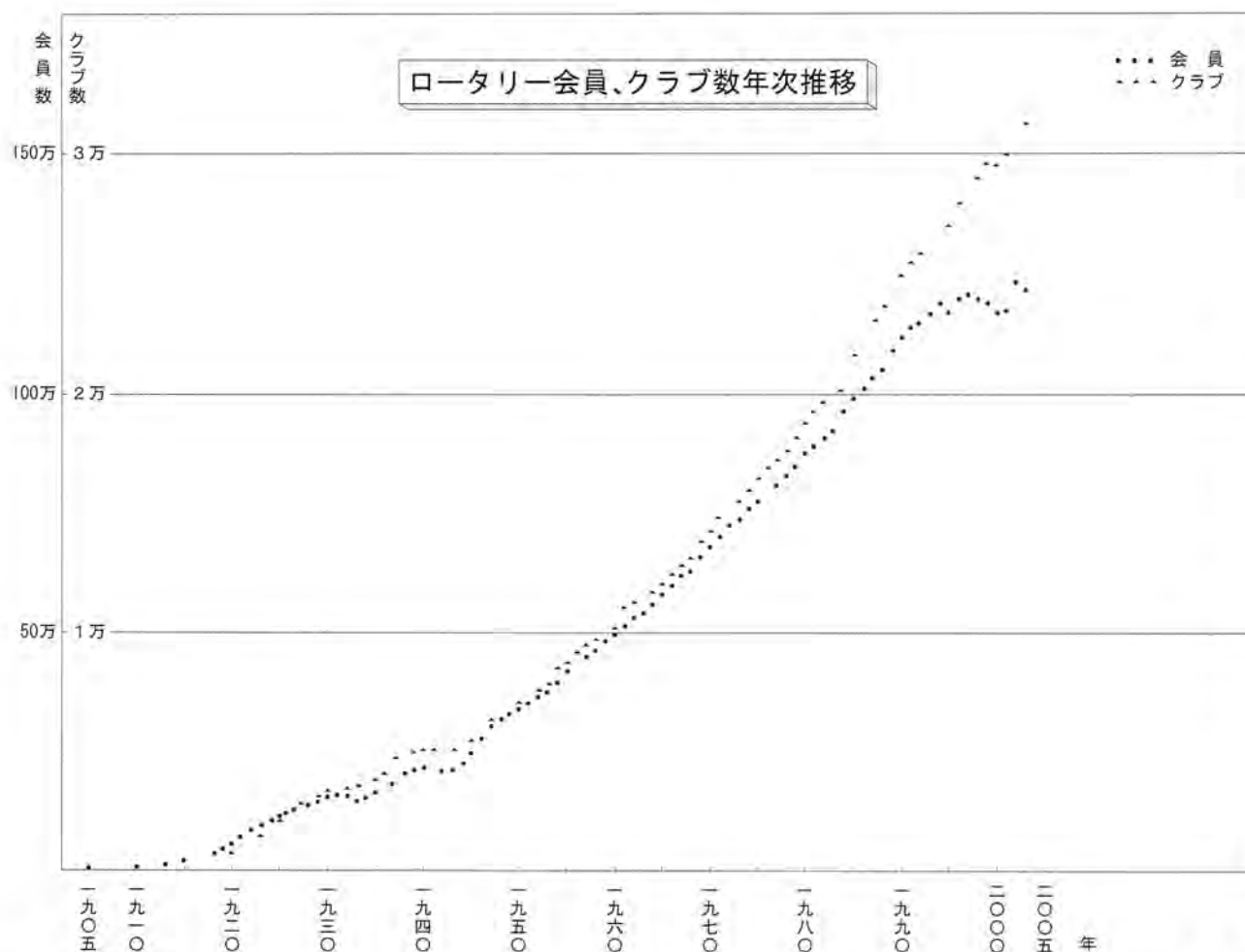


これまで発展、拡大の一途を辿っていたロータリーに少し翳が見え始めた。(1997～'98. 12,153人減少、全世界1%) 新クラブの誕生で辛うじて減少を食い止めていた増強が退会者の勢いを阻止できず、世界的にもロータリアンの減少が深刻化している。(ヨーロッパ、アフリカ、旧ソ連邦の新独立国を除く、多くの地域で減少) (図を参照)

経済界の景気の動向に左右されるロータリアンの身分を確保するため、これまで会員選考の中で議論の中心であった「質か量か」という二者択一の問いが、会員の減少を危惧する余り、量の方へ傾斜していくように見える。これまで厳格であったロータリアンの会員資格やその義務に関する規定が緩やかになりつつあって時代に即応すると言いつつも気懸りな措置である。

最近内外で暴露された大企業不正事件、企業利益を追求する目的の様々な裏工作、これらの人々の中にはロータリアンは含まれていないのだろうか。奇しくも2004～'05年国際協議会の席上、ピチャイ・ラタクル元RI会長が基調講演の中でこの事を厳しく指摘され、その場に居合わせたガバナーエレクトのひとりとして、正しく天誅の一撃を受けた感じがした。専門職業人としての倫理観の欠如はロータリアンとしての資質を欠き、社会への背徳行為は許される事ではない。

100周年を迎えるに当たり、ロータリーの創設期の先人がその奉仕哲学の確立に苦悩した歴史的事実に思いを馳せ、ロータリーの原点である精神性の高い職業奉仕の基本に回帰し、新たな101年の始まりにふさわしい軌道を進んでいくことにしよう。



ガバナーからのメッセージ



全国高校駅伝大会の教訓

第2740地区ガバナー 栗林英雄

これは昨年暮れにあった出来事なので、ニュース性には乏しいと思われるけれど、私はその中に極めて重大な事柄を感じたので記すことにした。

平成16年12月26日、私は京都陸上競技場の観衆の一人としてスタンドにおり、師走の寒風に曝されていた。この日、恒例の全国高校駅伝大会が京都で行われるため、地元代表校を応援しようと関係者と一緒に京都入りし、スタンドの一番良い場所に陣取っていた。私が応援に駆けつけた理由はわが長崎県代表としてガバナー事務所の窓からすぐ隣に見える諫早高校の陸上部男女が揃って出場していることもあり、親近感と共に諫早市民も大きな期待を抱いていたからでもあった。殊に女子チームは予選合計タイム全国1位という記録が物語るように、優勝の呼び声が高かったので心弾ませながらその瞬間を待っていた。

競技前の予想通り、午前中に行われた女子の競技で諫早高校チームは最終前の4区まで上位を守り、最終5区のタスキ渡しは11秒遅れの2位であった。ここまで各区間の走者が各自に与えられた責任を存分に果たし、この位置を保ってきたのである。監督の選手起用がズバリ適中し、この時点で松元監督は勝利を確信したという。そして残り1.7kmの地点でそれまでトップを走っていた岡山県の走者(興譲館)を抜き去り、その差を広げて1位で競技場に姿を現わした。見れば胸には濃紺に白抜き「諫早高校」の4文字が誇らしく揺れており、寒空の下で2時間余り待機していた応援の人々は一斉に立ち上がって歓声を上げた。トラックを一周したアンカーはタスキを手に握りしめ、大役を果たし切った笑みを満面に浮かべて優勝のテープを切ったのである。3年振り2度目の全国制覇にスタンドは

大いに沸き、誰の目にも光るものがあったが、私も等しく感涙に咽った。この感動を体感できるのは現場に居合わせた者だけに与えられる特権であろう。

午後に行われた男子のレースでも、女子の優勝に刺激されたように、諫早高校男子チームはフルマラソンと同じ距離42.195kmを走り切り、昨年の28位より17位に順位を上げる大健闘であった。

地元高校の優勝に感動した私であったが、やがてガバナーという現在の立場が無意識の中に作動して、浮き立つ気持はすぐに鎮静して行った。それは2740地区の佐賀県代表として、男子は白石高校、女子は多久高校が出場していたので、その両校の成績も気懸りになって来たからである。多久高校は32位の成績であったが、白石高校は何という悲運に見舞われたことだろう。第1区の走者に思わぬ事故が発生したため、無念の途中棄権となり、母校のタスキを継ぐことが許されなかったのである。この事はその後に控えた選手達にとって何とも悔しい出来事であったに相違ない。テレビ応援をしておられた佐賀県の皆さん、2740地区ロータリアンの方々もさぞかし無念の涙を流しておられるのではと思うと胸が痛んだ。しかし、後続の走者の態度は実に立派であった。最後までレースを放棄せず、棄権による重いハンディキャップを負荷されたにも拘らず、最後まで走り抜いたのである。この不撓不屈の精神に私の胸は又熱くなった。

私は駅伝競技というスポーツの陰に潜む、記録とは次元の異なる特別の精神性について思いを強くしたのである。

駅伝は長距離走のマラソンと似て否なる競技で、限られた1区間だけの走者でありながら、全区間を走破する程の極めて重い責任を



背負っており、全員が最善を尽くさねば勝利を得ることは出来ない。一つのミスも許されない競技なのである。しかも、長いレースの途中では予測も出来ない事態は起きるもので、その結果苦杯をなめねばならないことも悲しいかな実際にはあるのだ。しかし、この悔しさを再起への心のバネにして、次のレースに向けて猛練習を重ねる選手には苦境に耐える強靱な精神力が培われてゆく。

私は全国高校駅伝大会の印象記の目的でこの原稿を書いたのではない。最近、フリーターと称して定職に就かず、目標もないままに転々としている若者が増えているように思われる。この事を考慮して中学教育課程には職場体験学習のカリキュラムが組み入れられているけれど、短期間であるため大きな成果を上げているようにも思えない。私は彼等に対する一つの提言として、駅伝を引用したのである。

再び巡り来ることのない青春の時を、自分の将来を決定する職種を探したり、職能を開発したりする努力を怠り、無為に過ごそうとするその無気力に苦言を提したい。彼等もいずれは国家を支える最小単位の家庭を持つことになり、家族を護り養うためには何らかの職業に就き収入を得ねばならないはずである。それを放棄しては家庭を築くことも不可能であるし、それ以前にひとりの日本人として、労働の貴さを自覚すべきである。

今回の駅伝大会において、競技に参加する高校生は日頃過酷な練習を積み重ね、苦痛に耐えながら常に高い記録を定めて努力し、その結果大いなる勝利が得られたのである。この事は一般社会でも通用する貴重な教訓であり、若い中に人生のより高い目標を求めて、真剣にその道を進んで行ってほしい。

「奉仕の一世紀 国際ロータリー物語」の案内

ロータリーの最初の会合から100年目を迎える今年度は、我々の過去の数多くの業績を振り返るのに理想的な時であります。「奉仕の一世紀 国際ロータリー物語」は、ロータリーの第一世紀を物語る逸話、事業、そして写真を豊かに取り揃え紹介しています。日本のロータリアンはこの記録の重要な一部を担っておられます。貴重な史料であるばかりでなく、ロータリーの百年史は、この生涯一度の機会の記念品としても最適です。

また、著者、デイビッド・フォワード氏直筆サイン入りの革装丁の「奉仕の一世紀 国際ロータリー物語」もご用意しております。米国ニュージャージー州、マールトン・ロータリー・クラブの会員であるフォワード氏は、この感動的な書のための調査と執筆に3年以上の年月を費やされました。

創立百周年となる今年度、「ロータリーを祝おう」を实践する多くの機会をもたらしています。この歴史的機会の思い出の品として、皆さまが「奉仕の一世紀 国際ロータリー物語」をお買い求めになることを切に願っております。

R I 事務総長 エド・フタ



過去に基づき、未来に焦点を (No. 5)

2002-03年度 RI会長 ビチャイ・ラタクル

朋友ロータリアンの皆さま、ここで話されたことをすべて憶えていることはないとしても、最低一つのことを憶えておいてください。

あなたがなぜ入会したのか思い出してください。

- 社会福祉に深く関与しておられたからですか？いいえ。
- 国際問題に積極的かつ知的な関心を持っておられたからですか？いいえ。
- 青少年について懸念し、青少年のために働いていたからですか？いいえ。

これらの点がいずれもプラスに作用したことは確かでも、ロータリー入会の推薦を受けた理由は、あなたこそあなたの職業分類、あなたの職業を代表する資格がある人物だと誰かが信頼してくれたからです。この信頼を決して裏切らないようにしなければなりません。

ハーブ・テラー・パストRI会長の提案した四つのテストがロータリーに採択され、受け入れられたとき、尊敬すべきロータリーのシニア・リーダーの脳裏には、実際にどのような思いがあったのでしょうか？

これはビジネス慣行における手引きを与えるものと考えられていたと思います。当時も現在も、これは私たちの私生活や職業生活で行われる決定を測る優れた物差しです。それは、もし4つの質問すべてに「はい」と答えて決定を行うことができるなら、正しい軌道にあることを確信し、自信を持って前進することができるからです。

しかし、過去にもそうあったように、社会は、大小の企業やロータリーを含む非政府組織の運営における誠意と透明性を再び疑問視しています。

ロータリーで討議される倫理と誠意は、多くの人に関心のある題材であり、多地域における私たちの最近の経緯の認識がこの懸念を助長しています。四つのテストを説教するよりも実行する必要性が現在ほど高まったことはない、と強く感じています。

朋友ロータリアンの皆さま、私は四つのテストがエンロン事件に適用できたとか、これが悲劇的な結果を回避できたと申し上げているのではありません。しかし、明らかに全世界のロータリーに適用し、ロータリアンによって実践されることができます。

このように競争の熾烈な時代には、ロータリーの綱領や四つのテストの規定する原則を維持することは不可能だと考える会員にも会ったことがあります。なぜか理由を尋ねると、商売を失い、利益が減るという答えが返ってきました。

イギリス、ロンドンの某高等法院判事は、「紳士協定」をこう定義しています。自分の責務を履行するつもりのない者が、相手は約束した責務を残らず行うものと期待する非紳士間の協定だと。

紳士淑女の皆さん、これは私たちが物事を行うやり方でしょうか？金儲けが人生の第一の目的でしょうか？

金銭、富、財産、社会的地位—これらが再検討される必要があると敢えて申し上げます。それらに役割と価値があることは言うまでもありません。今日、理論においても実践においても、人々はこれらが至上であり、至高であると主張しています。富は幸福・安らぎに続く二次的なものだと心から申し上げます。そして正直さと誠意を基にした、成功した人々の新しい評価法が必要だと提案いたします。



グレン・エステス R I 会長主催 祝賀会議へのご案内

実行委員長 RI 理事 田 中 作 次
副実行委員長 RI 理事 南 園 義 一

すでにご案内申し上げております今回の祝賀会議は、ロータリーの100周年を記念して、2004～05年度に世界8カ国で開催されるR I 会長主催会議の一つです。グレン・エステス R I 会長と共に100周年を祝い、ロータリーの夢を語り合い、その夢の具現化に向けて討論し、ロータリーの2世紀の進むべき道を見いだしていただくことを目的としています。参加資格はすべてのロータリアンと配偶者の皆様で、新会員を含む多くのロータリアンのご参加を歓迎いたします。

1月8日現在、全国の各地区から頂いたご登録数は4月29日夜に開催されるR I 会長ご夫妻歓迎晩餐会が554名様でした。翌30日の祝賀会議は1,500名の予定に対し921名（1地区の約束数含む）でした。つきましては誠に恐縮ではございますが4月30日のR I 会長主催祝賀会議に是非共、あと580名の追加ご登録を賜りR I 会長ご夫妻を皆様とともに温かくお迎えしたいと存じます。

祝賀会議実行委員会では、グレン・エステス R I 会長の基調講演のほか、職業倫理、ロータリーのイメージアップ、ロータリー情報の徹底、会員退会防止と増強、魅力あるクラブづくりの5つのテーマによる分科討論会を予定しております。またそれぞれの5つのテーマに対するご意見を各地区5名のシニア・リーダーにお願いし寄稿文を当日、分科会別に配布させていただきます。

本会議

と き 2005年4月30日(土) 10:00～17:00

ところ 新高輪プリンスホテル

登録料 10,000円（昼食、休憩時のコーヒー代含む）

アトラクション 午後のひと時をマリンバ・ポニーズで（2:30～3:05PM）

3歳から12歳までの子どもたちが各種楽器で交互に演奏する、その明るく、はじけるような楽しい音楽は、日本はもとより、世界中で愛されています。ニューヨークのカーネギーホール、ウィーン楽友協会大ホールなど世界の名ホールでコンサートを開催し、成功を収めています。国内では「NHK金曜オンステージ」、「題名のない音楽会」、「たけしの誰でもピカソ」、などにも出演しています。「八木節」、「星条旗よ永遠なれ」、「ラ・クンパルシータ」など広いレパートリーが特長です。また2月14日の建国記念日式典にはNHK大ホールで、4月29日には九段会館での昭和天皇聖徳式典で記念演奏をします。

R I 会長ご夫妻歓迎晩餐会

と き 2005年4月29日(金) 18:00～20:30

ところ 新高輪プリンスホテル

会 費 18,000円（お一人様）

参加者 ロータリアンおよびご家族の皆様

最終締切日を2005年2月25日とさせていただきます。お申し込みは従来通りクラブを通じて貴地区ガバナー事務所にお願い申し上げます。ご不明な点はガバナー事務所まで宜しくお願いいたします。



佐世保ローターアクトクラブ 創立35周年記念式典

佐世保ローターアクトクラブ 会長 吉 村 潤 二
創立35周年記念式典 実行委員長 入 江 高 広

平成16年11月14日、佐世保市の九十九島観光ホテルにて、総勢約65名で式典を開催致しました。当日は当地区の栗林ガバナー、地区ローターアクト山口委員長よりご臨席頂き、お祝いの言葉を頂戴しました。

栗林ガバナーが、式典テーマの「喜会^{きあい}」の言葉を気に入って下さった事が、会員にとって嬉しい出来事でした。

式典では、当クラブ30代～34代のローターアクト委員長と会長の感謝状贈呈を行い、感謝状の内容に会場より笑いが起こるなど和やかな雰囲気での式典でした。

午後より、佐世保市教育長の鶴崎耕一様より教育についてご講話頂きましたが、今後の人生にとっても意味ある講演でした。その後のレセプションでは、新人が多い私達会員は、ロータリアンをはじめ地区内外のアクト会員と交流の場を持つことができ、盛会のうちに終了致しました。ご臨席頂いた皆様、ありがとうございました。





長崎北ローターアクト 創立35周年記念式典を終えて

国際ロータリー第2740地区

長崎北ローターアクトクラブ 会長 尾上美香

平成16年11月21日、長崎北ローターアクトクラブの創立35周年記念式典を開式に際し、お忙しい中たくさんのご来賓、ご祝辞を賜り、誠にありがとうございました。

長崎北ローターアクトクラブは、この式典のメインテーマを『The Best Is Yet to Be』としました。この言葉はポールP. ハリスの名言の一つで、直訳すると、「ベストはまだ実現しません」という意味になります。真のベストの実現を望まず、真のベストの実現はあってはならない、真のベストは永遠の目標である！という思いが込められています。

私たちアクトのメンバーにおいても、常に目標を定めてベストを尽くします。そして次のベストを尽くすため、何かを追い求めているのではないかと思います。

しかし、式典の準備当初は、この言葉の意味は本当に言葉だけでした。何のために忙しい中集まっているのだろうという気持ちがありました。ほとんどのメンバーが35周年の意味が分からずにやらされている感じを持っていたのではないかと思います。もちろん私たちは30歳前の若者ですので、35年間の歴史を知っている訳がありません。この時は35周年という歴史の重さを理解する事はできませんでした。しかし、レセプションで発表するアングルン（インドネシアの楽器）を練習し、だんだんと気持ちが変わり、みんなで何かを完成させる目標を持ち、メンバーのまとまりが生まれました。当日は「感動した！」というお言葉をいただき、本当にやってよかったという達成感でいっぱいでした。今思えば、一つ一つの事が重なり合って、歴史が刻まれているのではないかと感じています。この達成感があるからこそ、アクトが存続していくのではないかと思います。

国際ロータリー第2740地区

長崎北ローターアクトクラブ創立35周年記念式典

テーマ「The Best Is Yet to Be」

提唱 長崎北ロータリークラブ





(財)ロータリー米山記念奨学会 だより

スマトラ沖地震およびインド洋津波被災国出身の米山奨学生は今……

12月26日に発生したスマトラ沖地震と津波の被災者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

津波の主な被災国（インドネシア、スリランカ、インド、タイ、マレーシア）出身の現役米山奨学生は82人に上ります。これらの奨学生に家族の安否を確認したところ、「祖母が行方不明になっている」「おじが怪我をした」「故郷の友人・知人が多数死亡、行方不明」という報告がありましたが、幸いにも、ほかに家族に被害があったという人は今のところ出ていません。中には、「来月の奨学金から少しでも義援金を出したい」「同国人の留学生会で、募金活動や被災孤児の支援活動を推進している」などの報告もありました。

学友については、地区や世話クラブのご協力も仰ぎたいと思います。各地区・クラブで学友の被災者に関する情報が入りましたら、米山奨学会事務局にもお知らせいただければ幸いです。

ガバナー事務所だより

* 米山奨学生選考会

日時：2005年2月6日(日) 13:00～
場所：ワシントンホテル・プラザ佐賀

* 青少年交換学生 第3回オリエンテーション

日時：2005年2月6日(日) 13:30～
場所：西諫早公民館

* ローターアクトー泊研修会

日時：2005年2月19日(土)～20日(日)
場所：波戸岬少年自然の家

* 第9・10グループIM

日時：2005年2月11日(金) 14:00～
場所：ウェルシティ長崎厚生年金会館

* 第4・5・6グループIM

日時：2005年2月13日(日) 11:00～
場所：ウェルサンピア佐世保

ガバナーエレクト事務所便り

◆ 地区チーム研修セミナー

日時：3月12日(土) 13時～18時30分
場所：唐津ロイヤルホテル

◆ PETS (クラブ会長エレクトセミナー)

日時：3月27日(日) 13時～18時50分
場所：唐津シーサイドホテル

◆ 地区協議会

日時：4月24日(日) 13時～
場所：唐津シーサイドホテル



新・入・会・員・紹・介

ロータリーの新しい仲間になられました方々をご紹介します。



佐賀RC
岡田 隆信 君



武雄RC
辻 清定 君



鹿島RC
藤 永一男 君



唐津RC
田中 博 君



唐津西RC
宮 成修二 君



HTB佐世保RC
竹内 大介 君



HTB佐世保RC
今泉 良一 君



HTB佐世保RC
丸尾 寛治 君



大村東RC
雄城 勝 君



諫早RC
井手 大二 君



長崎出島RC
松園 隆 君

◆ 訃報

謹んでお別れいたします。

2004年12月23日逝去
(享年80才)

故 大木 亮達 君
(佐世保東RC)



2004年11月20日逝去
(享年76才)

故 中村 和正 君
(福江RC)





寄 付 者 紹 介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します

種 類	氏 名	クラブ名
P・H・F	樋 口 勝 彦	唐津西 R C
	佐 藤 幸 雄	諫早西 R C
	池 田 久 幸	諫早西 R C
	豆 谷 耕 蔵	福江中央 R C
マルチプル・P・H・F	中 村 文 昭	佐世保南 R C
	菖 蒲 公 治	諫早多良見 R C
	砂 田 義 博	長崎琴海 R C
メモリアルコントリビューター	中 江 章 (御尊父 故中江登様を偲んで)	唐津西 R C
米山功労者	前 山 正 博	大町 R C
	川 尻 治	佐世保南 R C
	中 村 文 昭	佐世保南 R C
	江 崎 淑 夫	長崎 R C
	荒 木 健 治	長崎 R C
	豆 谷 耕 蔵	福江中央 R C
	伊 東 弘 行	東長崎 R C
米山功労者 (マルチプル)	大 神 邦 明	佐世保 R C
	雪 竹 弘 男	佐世保南 R C
	岡 崎 敏 幸	佐世保南 R C
	増 本 智	佐世保南 R C
	前 田 一 彦	佐世保南 R C
	大久保 隆 生	長崎 R C
	鳥 巢 維 文	長崎 R C
	益 田 耕 作	長崎 R C
	樋 口 美枝子	長崎出島 R C
米山功労者 (メジャードナー)	江 頭 泰 幸	佐賀北 R C



2004年12月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第1グループ	佐賀	4	86.4	75	0	77	0	2
	小城	4	96.4	36	1	35	1	-1
	牛津	4	90.6	32	1	32	1	0
	多久	3	88.6	41	4	41	4	0
	佐賀大和	3	88.0	26	3	26	3	0
	小計		90.0	210	9	211	9	1
第2グループ	佐賀西	4	80.8	54	0	54	0	0
	佐賀北	4	86.9	42	3	41	3	-1
	佐賀南	3	82.1	40	0	42	0	2
	神埼	3	79.5	29	0	27	0	-2
	佐賀空港	4	63.5	16	0	18	0	2
	小計		78.6	181	3	182	3	1
第3グループ	有田	3	73.1	39	1	38	1	-1
	武雄	4	79.7	54	0	58	0	4
	鹿島	4	88.7	41	2	43	2	2
	嬉野	4	87.0	27	1	25	1	-2
	大町	3	71.0	28	0	28	0	0
	白石	4	72.2	19	0	18	0	-1
	太良	4	54.2	12	0	11	0	-1
	小計		75.1	220	4	221	4	1
第4グループ	唐津	4	94.0	51	0	52	0	1
	伊万里	4	96.5	42	0	42	0	0
	唐津東	3	96.3	54	0	55	0	1
	唐津西	4	89.3	41	0	40	0	-1
	伊万里西	3	80.8	48	0	48	0	0
	唐津中央	4	90.3	42	4	43	4	1
	小計		91.2	278	4	280	4	2
第5グループ	佐世保	4	94.2	85	0	86	0	1
	平戸	3	77.0	43	0	42	0	-1
	佐世保西	3	95.0	38	1	37	1	-1
	北松浦	3	83.3	33	0	32	0	-1
	松浦	4	83.6	38	2	37	2	-1
	生月	4	80.2	22	2	22	2	0
	小計		85.5	259	5	256	5	-3
グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第6グループ	佐世保南	4	98.6	85	0	85	0	0
	佐世保東	3	82.8	35	0	33	0	-2
	佐世保北	4	95.0	51	0	52	0	1
	佐世保中央	3	100.0	50	0	49	0	-1
	佐世保東南	4	71.7	19	0	23	0	4
	HTB佐世保	3	83.8	28	4	29	3	1
	小計		88.6	268	4	271	3	3
第7グループ	大村	3	97.7	50	2	50	2	0
	島原	3	85.8	40	3	39	3	-1
	雲仙	4	78.7	33	0	33	0	0
	大村北	4	100.0	33	0	34	0	1
	島原南	4	81.0	22	1	21	1	-1
	大村東	4	69.2	43	0	43	0	0
	小計		85.4	221	6	220	6	-1
第8グループ	諫早	4	90.0	69	0	66	0	-3
	諫早北	3	89.6	64	0	63	0	-1
	諫早西	4	91.5	48	0	48	0	0
	諫早多良見	3	80.9	44	0	41	0	-3
	諫早南	3	73.1	33	3	30	3	-3
	小計		85.0	258	3	248	3	-10
	第9グループ	長崎	3	83.1	92	0	98	0
福江		4	93.4	44	0	41	0	-3
長崎北東		4	88.9	64	5	64	5	0
福江中央		3	86.7	42	0	41	0	-1
長崎西		3	79.2	71	0	70	0	-1
長崎琴海		3	80.0	20	2	20	2	0
小計			85.2	333	7	334	7	1
第10グループ	長崎北	3	80.0	79	0	81	0	2
	長崎南	4	78.3	90	0	89	0	-1
	長崎東	4	98.8	77	0	78	0	1
	東長崎	3	86.5	39	0	39	0	0
	長崎中央	4	90.6	59	0	54	0	-5
	長崎出島	4	81.2	58	16	60	16	2
	小計		85.9	402	16	401	16	-1
合計			85.1	2,630	61	2,624	60	-6



文庫通信 (208号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

☆IMの記念講演・シンポジウムから☆

- ◎「超私の奉仕－ネパール支援の現状と展望」 島田輝男 2002 24 p
(D.2540秋田北区IM記念講演)
- ◎「ネパール支援の現状と展望－みんなで生きる為に」 小林 茂 (コーディネーター)
2002 15 p (D.2540秋田北区IMシンポジウム)
- ◎「経営と家族」 安田昭夫 2004 11 p (D.2830南分区IM基調講演)
- ◎「私とロータリー」 小堀憲助 2004 13 p
(D.2670高知1,2分区IM記念講演)
- ◎「ロータリー100年に向かって」 千 玄室 2004 5 p
(D.2650第3組IM基調講演)
- ◎「ポリオ撲滅運動に参加して：西太平洋地域ではポリオ撲滅はできたのか」
高橋権也 2004 3 p (D.2650第3組IM特別講演)
- ◎「生命の話をしましょう」 清水 哲 2004 2 p (D.2650第3組IM特別講演)
- ◎「ロータリーに何ができるか」 宮崎茂和 (リーダー) 2003 9 p
(D.2650第5組IMパネルディスカッション)
- ◎「これからのロータリーは如何にあるべきか」 伊与暁洋 (コーディネーター)
2003 10 p (D.2650第5組IMパネルディスカッション)

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

諫早北RCでは、かつて西オーストラリアのピンジャラRCと子供達の絵画交換をしたことがあります。明るい彼等の絵をどうぞお楽しみ下さい。



古い写真をお持ちの方へ

ロータリー創立一九〇五年（明治三十八年）から数えて、来年は輝かしい一〇〇年となります。この一〇〇年に因んで、明治三十八年当時の地元の様子を古い写真で紹介してみようと企画致しました。二七四〇地区のロータリアンの皆様の手元に、その当時の古い写真がありましたら是非お貸し下さい。幸いです。よろしくお願い申し上げます。

※ご連絡はガバナー事務所まで



中川橋を通るバス（鹿島市・昭和30年頃）市民の足として欠かせない乗合バス。昭和30年代にはバス運行の黄金期を迎えた。前号掲載の気動車の走る風景と比べてみれば、時代の進展を感じることができる。祐徳バスの赤と黄色のボディーカラーは、町の景色によく映えた。

（提供：最所 新氏）



「雪の雲仙 仁田峠」

写真提供

山口 勝 治 様
長崎県北高来郡高来町在住

感動の一瞬をとらえた貴方の写真で、裏表紙を飾ろうではありませんか。奮ってご応募下さい。

※ご応募はガバナー事務所へ

編集後記

凄まじい映像が世界中を駆け巡って行った。スマトラ沖地震による大津波の脅威。インド洋周辺の国々を襲った津波は、人も車も呑み込み家屋を倒壊し、陸地をも削り取って押し流してゆく、まるで土石流や大洪水のようではないか。多くの犠牲者が続出し、その数は留まるところを知らない。これに対して、世界各国から温かい人道的支援の手が差し伸べられている。この災害は悲劇には違いないが、人間同士が争いを捨て、平和のために心を結び良い切っ掛けになればと祈るばかり。



国際ロータリー第2740地区

2004～2005年度ガバナー

栗 林 英 雄

■事務所

〒854-0016 長崎県諫早市高城町5-10-302
TEL.0957-35-4890 FAX.0957-22-2808
E-mail:ri2740@ninus.ocn.ne.jp



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

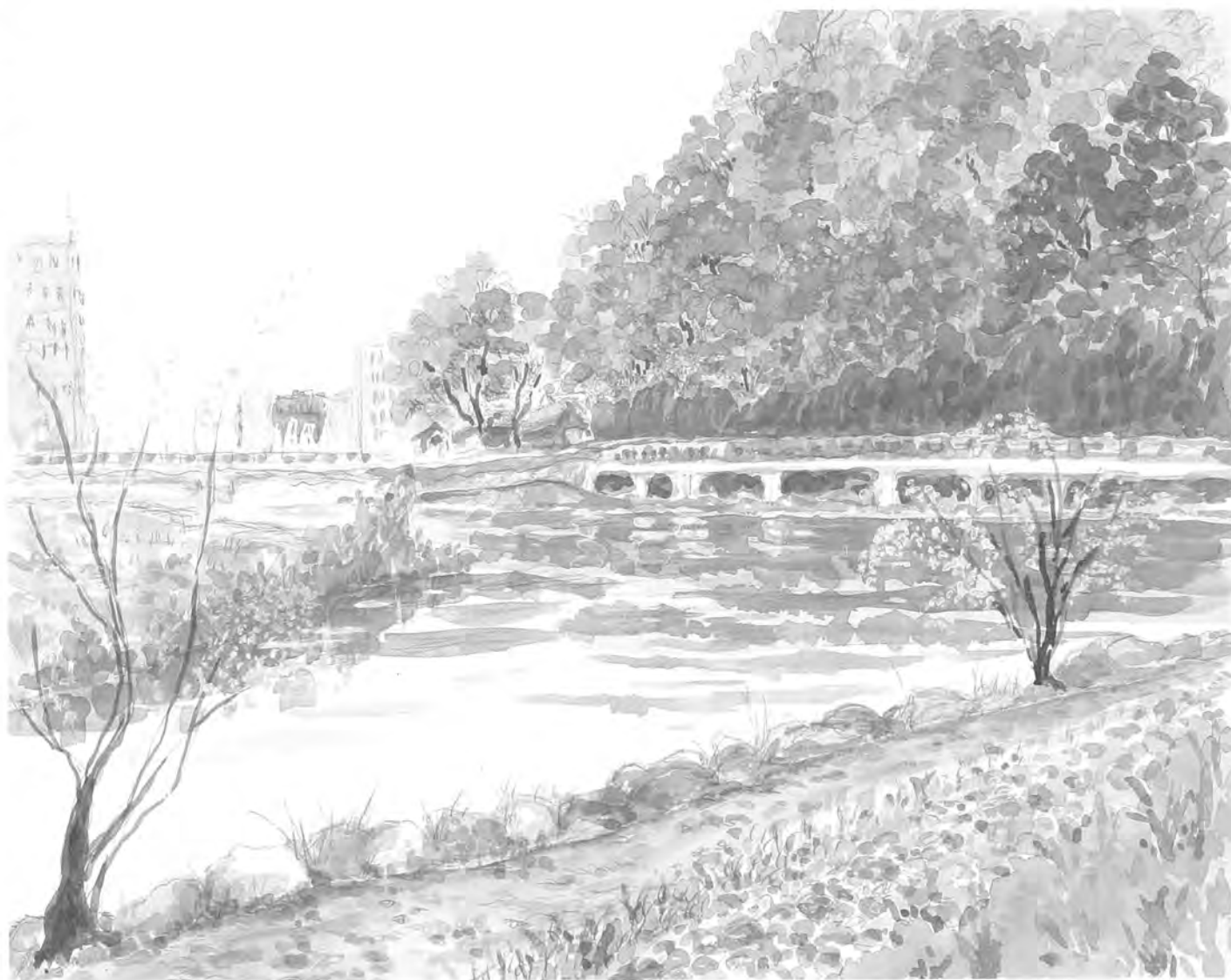
2005. 3
vol. 9

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2740地区 ガバナー月信

2004～05年度 ガバナー 栗林 英雄





ロータリーを 祝おう

100年の歩み

2004～2005年度
国際ロータリーのテーマ

表紙の絵

「本明川、水ぬるむ頃」

春雨の恵みを受け、水量が増した本明川が勢いよく流れている。汀に立ち枯れた葦の根元には早くも春の芽吹きが見られる。

ここ山下淵には取水のため大きな堰が造られ、深い淀みがあるので流れもゆるやかだ。

川岸まで迫った諫早公園の四季の彩りを水面に宿して、諫早平野を潤しながら流れ下る。

絵の提供 諫早北RC 緒方 聖会員

Contents

● ガバナー所感	1
● いのち 生命と死に関する道德教育	3
● 2002-03年度 RI 会長 ビチャイ・ラタクル氏 講演 (No.6)	5
● シリーズ① ロータリーの起源	6
● 青少年交換来日学生 『半年の活動を振り返って』	8
● 「津波」後の青少年交換留学生 Jacob Dobbs 君大活躍	9
● IM・インターシティーミーティング	10
● ロータリーインターナショナルマスターカード ご入会のお願い	11
● 国際ロータリー シカゴ国際大会のご案内	11
● 新入会員紹介	12
● ガバナー事務所だより	12
● 次年度米山奨学生選考会報告	12
● 寄付者紹介	13
● 1 月会員数・出席報告	14
● 文庫通信	15



ガバナーからのメッセージ



情報源としての映像の役割

第2740地区ガバナー 栗 林 英 雄

マスメディアを通じて様々な映像が送られてくる。それらは受信者（観者）の意志や関心の程度によって、ある物は全く見向きもされなかったり、又ある物は一時的に視線を止める効果があったとしても、脳裡に痕跡も留めぬ程に忘れ去られてしまう事が余りにも多い。それは丁度、車窓を流れてゆくありふれた風景を無意識の中に眺めていることと同じだ。

メディアを操作する人達は視聴率を上げる事だけに血眼になり、市場調査をもとに、一般視聴者の好みに迎合するようなTV番組ばかりを無責任に流している。例えば、有名人の不道德行為を付け回る密着取材、飽食時代の産物とも思える名物料理の紹介（有名人が試食するマナーの悪さも含めて）、怪物の如き大男達による流血の死闘、巨額の金品によって参加者を募るクイズ番組、世の中は殺人だらけと言いたげな犯人を追跡する刑事もの等々、数え上げれば限りがない程の映像が昼夜を問わず放映され、氾濫している現状である。

放送という事業に娯楽性の一面があることを否定するものではない。しかし、放送は公共性が強く本来良質の情報を提供し、それは視聴者にとって有益なもの、何か新しい知識を学ぶ契機となるもの、感動的な大自然のドラマ、競技者が肉体の極限に挑むスポーツシーン、日常生活に直結するデータ（社会的に重要なニュース、天気予報、地震連絡など）等を伝える責任ある立場にあるはずで、一億総白痴化を促すような番組でなく、その内容を少し厳選することが必要ではあるまいか。

昨年、日本各地は風水害や地震等の自然災害が続出し、被災地の被害の状況を報じる映像に接することが多く、被害者の生の声を聴くと、同情すると共に援助のために少しでも

義援金を送ろうという気持ちにさせられた。

その最中、今度はジャカルタから大きなニュースが飛び込んできた。インドネシアのスマトラ島沖でM8.9の巨大地震が発生し、それに伴う大津波によってインド洋沿岸の国々に起った被災状況を伝える生々しい映像であった。未曾有の天変地異と言っても過言ではあるまい。穏やかな南の海の水平線が白波を立てながら隆起したかと思うと、幾重にも繰り返し打ち寄せては、浜辺で遊ぶ人々や小舟を呑み込んでゆくではないか。津波は観光地の海浜近くに立ち並ぶホテルや民家を情け容赦もなく破壊し、濁流となって内陸に向けて押し寄せてゆく。重いはずの車はまるで軽い木箱のように浮かび、押し倒された樹木や家屋の廃材、家具等と共に激流に翻弄されていた。

津波を経験したことのない現地の人々にとって、それは単なる大波としか見えなかったのだろうか。のんびりと避難する人々に向って、歯をむき出した獣のように襲いかかり、逃げ遅れた人達を一呑みしてしまった。その後相次いで報じられるインド洋沿岸各地の被害は予測を上まわる悲惨なもので、地形が変化する程に削り取られた半島、連日のように瓦礫の中から発見される遺体、夥しい数の行方不明者。リゾート地という地域の特殊性から、多くの外国人も含まれ、肉親を探し求める家族が悲しみを抱きながらも、懸命に廃墟の中を歩き回っている。

この災害に対して各国から大規模な支援活動が展開され、水、食糧や生活必需品等は元より、物資運搬のための兵士、被災者の治療に当たる医療関係者、各種ボランティアの人々など人的支援も行われている。特に民間人の支援は活発で、大企業、スポーツマン、映画や音楽関係者、一般市民まで、実に底辺の広



い募金活動が続けられ、一部では過剰になり過ぎたという声が聴かれる程である。

この度の地震、それに続発した大津波による被害の惨状を伝える映像が人々にその事を訴える力が極めて大であったと言うべきであろう。それらの映像は報道関係者の手によるものだけに留まらず、一般民間人が危機迫る現場で必死に撮ったもの等、心に響くものが繰り返し放映されたからでもあった。各地の被害状況が続々と報じられることによって、

余りにも広大な範囲に波及しているこの惨事に、改めて人力では如何とも仕難い大自然の巨大なエネルギーに畏怖の念を抱いたことと思うのである。大自然はいつも穏やかな表情ばかりでなく、かくも非情な一面を持ち合わせていることを改めて教えられた出来事であった。

「百聞は一見に如かず」、臨場感あふれる映像ほど鮮烈な印象を与える情報は他にない。



2005-06年度

RI 会長

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

2005-06年度 国際ロータリーのテーマ



超我の奉仕



いのち 生命と死に関する道德教育

—新世代奉仕活動の一環として—

第2740地区ガバナー 栗林英雄

自然死はその生命体にとって、命の限界に達した定理の現象として納得できる出来事である。しかし、昨今、連日のように報じられる地球上の人間社会で多発する死、例えば、スマトラ沖大地震の津波による犠牲、わが国でも昨年各地で起った自然災害による死亡、世界各地の紛争地域で頻発する戦死、集団自殺、他人の金品を狙う強盗殺人、交通事故死、変質者による通り魔的な殺人事件等々、数え上げれば際限のないこれらの死は、その当事者（遺族を含めて）にとってみれば不条理な、何ともやりきれない悲愴な死である。このように絶えず起っている人間の死について、若い年令層（小、中学生）は一体何を感じているのだろうか。

わが長崎県ではつい先年、身近な所で、中学生による幼児殺害や小学生同士の惨殺事例があったばかりであり、教育界や家庭、地域社会に及ぼした衝撃は余りにも大きいものであった。人間の生死に関する道德観念がまだ未熟な小、中学生に対して、県内で起ったこれらの死がどのような影響を与えているのか極めて気懸りなことである。様々な死についての意識調査が行われているが、その結果に基づき早急な対策が施されねばならない。命の問題については確かにその要因が複合しているため、一つの事だけを修正したからと言って、すぐに解決するような単純な事ではないように思われる。

昨今の社会風潮として、いとも簡単に人を殺害してしまうように思われてならない。われわれの社会生活が文明の発達と共に大きく変化してしまった事にも責任がありそうである。かつて物がなかった時代には、物を欲する気持ちの裏に物に対する有難さや大事に使うといういたわりの気持ち、愛着というものが自然に備わっていたような気がする。ところが

大量消費時代に突入したため身辺に物が溢れ、次から次へと移り気になって物を消費し、使い捨てる習慣が身に付くようになって、物に対する感謝の気持ちが稀薄になってしまった。この事が自分の周囲の人間関係にも類似の反応を起し、他人の存在を疎外したり無視することに連鎖してゆくのではないか。

パソコンやゲーム機が氾濫し、その中での仮想現実の世界ではいとも簡単に人を殺傷したり、蘇生させたりすることを遊戯として操作している。これを日常的に繰り返している中に、仮想の世界と現実とを混同してしまい、現実では不可逆的な結果を招く行為ならば自己抑制が作用するけれど、その歯止めが効かず過ちを犯してしまう。最近の生死に関するアンケート調査の中で、1/3位の子ども達に人は死んでも蘇生するという結果にもその事が表われている。

又、現代の先進社会では死を学習する機会が奪われている。人の死はしかるべき医療施設で看取られる。病因が重複して多臓器不全をかかえている時、大きな施設でなければ対応できないという事情もあり、一般人の目から隔離されたいわば密室で、人の最期の一瞬が確認されるのである。従って、特別の事がない限り、子ども達は肉親の死にさえ立ち合うこともなく、臨終の場で演じられる死者との惜別に慟哭する近親者の姿など記憶することもない。幸か不幸か、いわゆる自然災害に遭遇し、被災現場で肉親や友人を失った極く限られた子ども達だけは、命の喪失一死という重大な教訓を悲しみの代償として学び取ることが出来る。

では一般の子ども達に対して、どのような方法で生と死について教育すればよいのだろうか。

「いのちの尊さ（大切さ）」という言葉が度々



口にされ、教育の現場でも反復して口言されているにも拘らず、中々実効が上らないのはその言葉だけが上滑りして、空念仏を唱えていることに等しいのではないかと推測される。

何故に人間の生命は尊い存在なのか。その意を十分に咀嚼した上で教える必要がある。

人の生命は掛け替えのないもの。世界中で唯一のものであり、それぞれに輝くような個性と人格を有し、この共同社会の中で何かに貢献する役割を果たしており、不可欠の存在といえる。それ故、人の命は皆尊いのだ。具体例として名画をひとつ思い出してみるのも良い。ある巨匠が描いた絵画、世界中でそれ一品しかない作品、極めて貴重なもので、これを鑑賞する人々に感動と無限の幸福感を与えてくれる。美術業界ではそれなりの価格が付けられるのは、それだけ大事なものであるということが出来る。人の命と絵の価格とは同一にはできないけれど。

言葉の説明や映像によって理解を深めることもできるけれど、生き物を実際に扱ってみ

る実体験、自分以外のものに愛情をもって尽すという行為が必要であろう。動物の飼育でも、草花を育てるという易しい作業で充分である。その対象物に対して、自分の愛情を捧げる行動の中で、新しい発見に歓喜する瞬間があったり、風雨が心配で眠れぬ夜があったり、うまく事が運ばず落胆して胸が苦しめられる時もある。この様な感情の起伏が繰り返される内に、やがて敗者の失意に同情する優しい心が芽生え、他人の気持、相手の立場に立つ姿勢が生まれてくる。他者を思いやる気持が育ってくるためには、人生のどこかで挫折を味わうことが重要であろう。

ロータリーでは青少年奉仕に力を注ぎ、これまで素晴らしい実績を上げてきた。しかし、現代社会における犯罪の低年齢化という現実直面した時、新世代委員会活動の一つの目標としてこの問題は大きな意義があると考え。インターアクトより更に低年齢層の小学生を対象にして、新たな活動領域を開拓してゆくのは急務と思う次第である。



ロータリーの100周年を祝おう

奉仕の一世紀、実りの新世紀



過去に基づき、未来に焦点を (No. 6)

2002-03年度 RI会長 ビチャイ・ラタクル

私がタイの大学に基金を寄付し、もしかすると爵位を受け、ロータリー・クラブに所属していたとしても、それだけではロータリアンとは言えません。

ロータリー財団に10万ドル寄付して大口寄付者になっても、100回ポール・ハリス・フェローになっても、それだけではロータリアンではありません。

ロータリアンになるには、家庭で、企業で、職業で、いつも正直・公正・適切を実践するだけでなく、高い道徳的水準をさらに高めなければなりません。

朋友ロータリアンの皆さま、このような協議会は、職業奉仕という高い理念を口先だけで称えておしまいにしやすいのですが、これらの理念を行動に移す意志が私たちになれば、全く無駄です。私たちが四つのテストを信じると言いながら、同時に自分の中身よりも持ち物により大きな関心を向けることは全くの偽善行為です。

先頃、グレン・エステス会長エレクトは、ロータリーのシニア・リーダーからロータリーの倫理と誠意についてどう思うかという質問を受けました。

彼はこう答えました。「貧欲とエゴがリーダーを、常軌を逸する行動にけしかけました。」「いつ赦すべきでしょう」という質問に対し、彼はこう答えました。「赦すことはできますが、おそらく同様に重要な質問は、『いつ忘れられるか?』というものでしょう」

大金を失ったエンロンの株主は長い間忘れないでしょう。同様に一人のロータリアンが羽目を外したと認識されれば、ロータリアンがそのことを忘れるまでに長い時間がかかります。これは悲劇的ですが、現実なのです。

憶えておいてください。自制心を失う者は、誰もが忘れないことをしてしまいます。地区でたった一人の国際ロータリー役員として、皆さまは決して自制心を失わないでください。

朋友ロータリアンの皆さま、皆さまはこの協議会で多くを学ばれます。クラブを導き、良い地区をさらに良くするために、多くの楽しい思い出と豊かな体験を携えてお帰りになると確信しています。

あなたの任務遂行にあたり、ロータリーには過去にも将来にも、親睦と職業奉仕という2つの礎石があることを再度強調させてください。これを忘れてしまうなら、ロータリーはかならず衰退し、影響力を失ってしまいます。

私たちが着けている小さなロータリーの襟章は、何かを象徴しないのであれば無意味です。職業奉仕は私たちの試験場です。これは個人的であり、私的です。ロータリーとロータリアンの良心です。

ラジャ・サバー・パストRI会長の、昨年ブリスベン協議会での言葉を引用します。「ロータリーは過去において倫理的価値のために立ち上がりました。ロータリーは今、時代と社会状況の求めに応じて再び立ち上がらざるをえません。時代は変わっても、誠意の定義は変わりません。」

友人の皆さま、皆さまが職業奉仕を真剣にとらえ、これが私たちに多くを要求することを受け入れれば、友好的で、信頼に足り、奉仕志向の男女から成る私たちの運動の影響は増大し続けます。

この1年は私たちが心を注ぐだけ、報いの大きいものとなります。私はそれを心から望んでいます。そして皆さまがそう望んでおられるのを知っています。そして、ロータリーの奉仕の河はロータリアンが自らを与え続ける限り流れ続けると私たちは確信しています。それは決して乾くことのない河です。

ですから、100周年の意気込みを、四大奉仕部門に沿ってロータリーをさらに充実させる機会として捉えて、この協議会を去りましょう。ロータリーを祝い、この100周年を回顧のためだけでなくもっと大切な前途探索のための画期的出来事として、好機として考えましょう。

胸を張って、ロータリアンであることに誇りを持って、国際ロータリーの役員として奉仕する機会と特権を感謝しつつ、間違いを正して、謙遜の心で、私たちに大切な目的のために最善を尽くすことを固く決意して、このホールから歩き出しましょう。世々にわたりこれこそ最良の時だったと言われるように。(了)



シリーズ①

ロータリーの起源

The First Rotarianより転載

気象記録によると、1905年2月23日木曜日の夜は、身を切るように寒かった。空は晴れていたが地面は鉄のように堅く、川や湖には厚い氷が張っていた。20世紀はまだ5年すぎたばかりで、世界を苦しめた病魔はアメリカにも、そしてシカゴにも蔓延していた。景気は悪く、汚職と犯罪がはびこり、人々の心は沈滞しきっていた。

シカゴから良い事は何一つ生まれないと言われてきたが、この言は不当である。フランセス・ウィラードが1879年にはじめて女性クリスチャン禁酒同盟を起こしたのはシカゴであり、ジェイン・アダムスが1889年にハル・ハウスを設立したのもこのシカゴであった。ほかにもよいことがシカゴで生まれた例はたくさんある。奉仕クラブ活動を創設するには、ひょっとしてこれほど良い場所はなかったかもしれないし、20世紀初頭ほど適切な時期もなかったかもしれない。まさに変革の時期であった。

その2月23日木曜日の夜、今や定評ある弁護士となっていたハリスは、顧客でもある友人と夕食を共にすることにした。客の名はシルベスター・シール (Sylvester Schiele) といい、石炭の商売をしていた。2人がマダム・ガリ (Madame Galli) のレストランで好んで食事をしたことはよく知られており、マダム・ガリの店はハリスの大好きなレストランの一つであった。当時の有名人が数多くこのレストランに出入りしたが、将来有望の若きイタリアのテノール歌手、エンリコ・カルーソー (Enrico Caruso) もそのひとりであった。しかし今日では、シカゴを訪れる人はもう誰もこの有名なレストランを訪れることはできない。何年も前に取り壊され、レストランのあったイリノイ街18番地には、今は窓のない巨大なビルが建っている。

ゆっくりと食事をしながら、ハリスはシー

ルに実業家や知的職業人のための新しいクラブの構想について、あらましを説明した。そうした人々は社会的な目的のために団結するだけではなく、お互いに実質的に助け合うのだ、と。ハリスは以前にもシールにこの構想について話したことがあるが、今度は彼の考えを詳細に説明したのである。

会員一人ひとりがそれぞれ自己の特定の仕事、職業をひとりで代表することにユニークな利点があるのだとハリスは述べた。こうしたクラブでは、法律関係の仕事があると会員は皆ハリスの弁護士事務所にもち込まざるを得なくなるし、石炭が必要になればシルベスター・シールに注文することになろうし、また印刷の仕事が必要な時はその会員に頼む、といった具合である。こうして、相互扶助を前提にすれば、各々の会員がお互いの顧客から利益を享受できるというわけである。さらにハリスが強調したことは、入会した会員は自然と友達になり、仕事上の知合いにもなり、その結果、互いに公正な取引をして互いの信頼感を深められるという点である。実際、会員としてとどまりたければ公正でなければならなかったし、商業道徳に欠ける者はすぐに正体がばれ、もはや相互取引のメリットを得られなくなるのであった。ハリスはこうした主義をウォリングフォードにいた時代から肝に銘じており、大都市で同じような商売上のグループを形成すれば、そこから生ずる利点がいかに大きいかということを見抜いていた。

シールはすばやくハリスの構想を理解し、熱意を示すようになった。シールはハリスとともに2人の他の実業家に会うことに同意した。この2人にはハリスが前に話したことがあり、近くの事務所でハリスとシールを待っていた。2人の実業家はハリスの顧客でもあったが、彼らは既にハリスの構想の何たるかをうすうす感じとっていた。2人は鉾山技師の



ガスターバス・ローア (Gustavus Loehr) と彼の友人でシカゴの環状線地区に店をもつハイラム・E・ショーレー (Hiram. E. Shorey) という洋服商であった。

4人ともみな村か、小さな町の出身であったことはなかなか意味深長である。ハリスはウォリングフォード、シールはインディアナ州クレイ市、ローアはイリノイ州カーリンビル、ショーレーはメイン州リッチフィールドの出身であった。4人ともみな一様に都市生活の孤独に辟易して、彼らが後にしてきた村の連帯感あふれる生活に郷愁をおぼえていることを認め合っていた。

こうして舞台はできあがった。ハリスとシールはマダム・ガリのレストランを出て川を渡り、少し歩いてユニティー・ビルディングに向かった。ユニティー・ビルディングの7階でエレベーターを降り、711号室のドアをノックした。ローアとショーレーが2人を待っていた。

小さな事務所で、机と椅子がある程度でがらんとしていたが、このつつまじやかな部屋から偉大な社会運動が芽生えようとしていたのである。

ユニティー・ビルディングは今でも誰にも参観できる。今は、ただ、ノース・ディアボン街127番地として知られる程度である。立派な16階建のビルはハリスの大冒険の年、1893年に前州知事ジョン・P・アルトゲルド (Jhon Peter Altgeld) が建てたもので、この人物がシカゴにおける人種的融和を夢みてユニティーと名づけた。今日ではその出窓からピカソの有名な5階建ての彫刻「鉄の女」を見下ろすことができる。さらに7階の明るいカーペットを敷きつめた廊下には樅の木でできた、つや消しガラス戸があり、そのドアには、この部屋で世界最初のロータリー・クラブの会合が1905年2月23日に、ポール・ハリスと3人の仲間によって開かれたと表示されている。

— 中略 —

初期には、ロータリーは利己的な運動であるとのレッテルを貼られたが、その批判はあ

る程度までいわれのないことではない。はじめの数年間、シカゴ・ロータリー・クラブのパンフレットには、会員になることによって事業上のメリットが得られることが強調された。それどころか、事実、会員になる見込みのある人には、事実上の利益を材料に勧誘することもよくあったからである。親睦と友愛とをモットーにした平穩無事な初期の時代に、ロータリーが事実上のメリットに結び付けて、ロータリー会員の相互取引による内部的な利点に目を向けたのは事実である。シカゴに現存する記録は、会員間のすべての取引—最初はシカゴ・ロータリー・クラブ会員間の取引、次には、他のクラブの会員との取引—について、それぞれ入念に記録されたことを示している。

とはいいいながら、明敏なハリスは、早くも将来に目を向けていた。最初のクラブが成功裡に発足したからには、やがて第二、第三のクラブが続いて組織されることであろう。だが、振りかえって見れば、何よりもまず仲間の会員に対して、彼の構想は実現性のあること、またロータリーは単に会員の利益にとどまらず、万人に利益をもたらす、強力で影響力ある運動になりうることを説得する必要があった。いまや、目をそとに向ける時期が来たのである。会員は自らを助けるばかりでなく、仲間の市民を助けることの尊さを理解しなければならなかった。ハリスにとってこれは、長い、骨の折れる旅への首途であった。それは彼の潜在的余力を最大限に傾倒させることになるであろう。



青少年交換来日学生

『半年の活動を振り返って』

時が経つのは本当に早いもので、8月に来日した留学生も1月末で滞在期間が半年になります。日本語はまだ挨拶程度しかしゃべれなかったいこいの村長崎でのオリエンテーション。満足に「いただきます」も言えませんでした。10人の留学生が全員仲良くいつも行動は一緒。名水百選に選ばれた轟の滝まで小ハイキング。派遣候補生、帰国学生も一緒にぎやか。日本人は恥ずかしがっていたのに来日学生はさっさと水着に着替え、あっという間に滝の下まで泳いで渡ってしまいました。アメリカ・ニューヨークから来たエンゼルとブラジルのジオバナが下の川に飛び込みみんなを驚かせました。帰り茶屋でみんなで飲んだラムネがおいしかったこと。

11月に行った九州旅行。特攻平和会館では平和の尊さを考え、水俣情報センターでは地球環境を守ることの大切さを学びました。霧島の韓国岳に助け合いながら全員が登頂を果たしました。

12月の北海道2510地区の訪問。飛行機が新千歳空港に着陸した時には、留学生全員が歓声を上げ喜びました。初めて雪を見たメキシコ、西オーストラリア、ブラジルから来た生徒たち。私たちの歓迎会とオーストラリアの生徒の送別会とクリスマス会が同時に行われました。参加者が多く盛大な会を開いていただきました。余市と札幌でホームステイもさせていただきました。生徒たちは2740地区とはまた違って「よかった」を連発。また、ニセコでスキー・スノーボードを体験。初心者が多かったが2日目には全員が滑れるようになりました。

旅行を中心に書いてきましたが、各オリエンテーションの時には日本語の勉強等しっかり学ぶときには学んでいます。ただ半年以上経って本来の親善大使としての役目を忘れてきている生徒がいることも事実です。残り5カ月。委員会としましても来日学生たちに今一度意義をわかってもらい、一生の思い出に残る有意義な留学になるよう導いていきたいと思います。引き続き御理解、御協力よろしくお願い申し上げます。



RI 2740地区 国際青少年交換委員会
委員長 久保 元治





Rotary Youth Exchange E-Newsletter 2月号

「津波」後の青少年交換留学生 Jacob Dobbs君大活躍

ロータリーの青少年交換留学生は“なみ”の子どもではありません。彼らは意欲的で、強く、ユニークで、適応性にすぐれとりわけ、冒険好きといえるのでしょうか。チャレンジ魂旺盛で、向上心にとんでいます。これらの資質はロータリーの青少年交換留学生に期待されるものです。

文化や言葉の異なる国に住むことになる彼らにとって、こういった術や能力は必要不可欠のものです。しかしながら、優秀な生徒たちでさえ、チャレンジの場面に遭遇した時、「もう沢山！今すぐ国にかえりたい」と言い出すこともないとはいえません。

そのようなチャレンジの場面の例が最近南アジアで起こった地震と津波です。命からがら生き延びた旅行者たちは、安全な自国へ飛行機にのって帰ることもできたのです。

タイのプーケットに留学していたジェイコブ・ドブス君は、アメリカのフロリダへ逃げ帰ることをせず、現地にとどまりました。

ジェイコブ君は、英語、スペイン語、タイ語を駆使し、旅行者の救援活動を手伝い、被災者への救援物資の配給等を手伝いました。

珍しい食べ物や経験したことのない習慣に出会う冒険とチャレンジの一年間は、一生忘れられない経験をつむ一年になる・・・といわれて派遣されてきた彼にとってこのたびの経験は思いもかけないものでした。

「プーナとカオラックへ救援物資を届けにいくと、近所の寺々に何百ものお棺にたちすくみました。寺と病院の近くを通ると、異臭がのどを焼くような思いをしました。マスクも役にたちません。救援物資の米の袋を被災者にわたすと、何人もの気の毒な被災者たちは熱狂的に抱きついてきましたが僕も心があつくなりました。その熱い思い・・・いったいどう反応したらいいのかわからない思い、僕が実際にこの人々の生活になにか役に立っているといううれしい気持ちだけでただ続けてきました。」

これは交換留学生用のどんな手引きにも記載されているようなことではありませんでした。この献身的なジェイコブの勇氣と意欲は交換留学生が果たすべき義務をはるかに超えたすごい例です。タイに、プーケットにとどまって、彼は彼の新しい家、新しい文化、および新しい家族への献身を示しました。タイでの彼の経験は一生忘れえぬものになるでしょうし、そこでの彼の存在は多くの人々にとってもなにかをのこしたことでしょう。





ロータリー100周年記念事業
国際ロータリー第2740地区第3グループ
IM・インターシティーミーティング

ホスト・有田ロータリークラブ/コ ホスト・武雄・大町ロータリークラブ

総理官邸勤務8年7カ月
激動の時代の国政の舵取りをしてきた
郷土佐賀出身の**前内閣官房副長官 古川貞二郎氏**が
これからの日本の課題を熱く語ります。



ふるかわ・ていじろう

厚生事務次官を経て1995年、内閣副官房長官。2003年の退任までに仕えた首相は村山富市・橋本龍太郎・小渕恵三・森喜朗・小泉純一郎首相を含め5人。在任期間は歴代最長。中央省庁再編などで中心的な役割を果たした。1934年、佐賀県大和町生まれ。



日 時

平成17年 3月26日(土)

ロータリアン PM 14:00 登録開始
PM 15:00 点 鐘

一般聴講 PM 15:30
PM 17:00迄

場 所

焱の博記念堂 文化ホール



ロータリーインターナショナルマスターカード ご入会のお願い

財団活動を支援する目的でRotary International Master Cardを発行しております。このカードは皆様がカードをご利用になることで、自動的に財団に寄付される仕組みとなっております。カードには「Gold Master Card」「Standard Master Card」の2種類があり、すでに他のカードにご入会されている方もご入会が可能です。

これらのカードの入会会員数が1万人を越えると、カードショッピングご利用金額の0.3%が財団に還元されますが、現状では目標を大きく下回っている状況であり、ロータリークラブ会員一人ひとりのご理解とご協力が重要となっております。

皆様におかれましては、お一人でも多くのカード会員にご入会をお願いするとともに、ロータリークラブのロゴが入ったこのカードを、メインカードとしてご利用いただきたく存じます。なお、カードのお申し込みは、直接オリコカードセンターへお申し込みいただきますようお願い申し上げます。※第4ゾーンコーディネーターより会員数の2割を6月までに獲得要請が来ております。

	券面	利用可能金額	カード年会費	財団への還元	付帯サービス
Gold Master Card	金色	200万円～ 500万円	10,500円 (税込)	①ショッピングご利用金額の0.3% (1万人を越えた場合) ②カード年会費のうち毎年3,000円	ゴールドカード会員専用空港ラウンジ使用、マイレージクラブなどGold会員限定サービスなど
Standard Master Card	銀色	30万円～ 50万円	永年無料	ショッピングご利用金額の0.3% (1万人を越えた場合)	紛失盗難保証など

国際ロータリー
シカゴ国際大会

100周年をシカゴで祝いましょう!!

日 時：2005年6月18日(土)～22日(水)

場 所：米国イリノイ州シカゴ

登 録 料	締切日 2005年3月31日	当 日
ロータリアン／地区の職員、あるいは19歳以上のゲスト	US \$ 275	US \$ 300
ロータリアンと配偶者およびロータリアンのカップル	US \$ 450	US \$ 500
ローターアクター、ロータリアン以外の財団学友、財団奨学生	US \$ 80	US \$ 100
インターアクター、青少年交換学生、18歳以下のゲスト	US \$ 30	US \$ 40

シカゴ大会で
タイムカプセルに
入れませんか?

クラブ会長と会長エレクトは、ロータリーのタイムカプセルに入れるための、クラブの業績や将来の抱負をまとめた手紙を用意するよう奨励されています。カプセルに入れられるのは、国際大会に持参された手紙のみとなります。



新・入・会・員・紹・介

ロータリーの新しい仲間になられました方々をご紹介します。



佐賀RC
原 崎 澄 貴 君



長崎RC
川 原 強 君



長崎西RC
木 下 泰 之 君



長崎東RC
瀬 崎 陽 三 君



長崎南RC
岩 永 寛 毅 君

◆ 訃報

謹んでお別れいたします。

2005年1月24日逝去
(享年83才)

故 福 田 泰 作 君
(有田RC)



ガバナー事務所だより

* 米山奨学生終了式及び歓送会

日時：2005年3月6日(日) 11:00～
場所：ホテルニュー長崎

* 第7・8グループIM

日時：2005年3月5日(土) 14:00～
場所：雲仙 九州ホテル

* 第1・2グループIM

日時：2005年3月12日(土) 13:00～
場所：佐賀 マリトピア

* 第3グループIM

日時：2005年3月26日(土) 15:00～
場所：焔の博記念堂

次年度米山奨学生選考会報告

米山記念奨学委員会
委員長 前田 博 憲

去る2月6日、佐賀市「ワシントンホテル」において2005学年度、地区米山奨学生選考会が行われました。

当日は隅田米山奨学理事、栗林ガバナー、杉原地区幹事、北島次年度地区幹事、地区米山委員からなる選考委員12名により地区内大学から推薦された27名の留学生全員に面接が行われ、次年度の採用枠(10名)の学生が選出されました。

今年度からの継続学生(5名)と合わせて15名が、来る5月に開催予定のオリエンテーションを経て正式な次年度地区米山奨学生となり、地区ロータリアンの皆様方のお世話になる予定です、どうぞよろしくお願いいたします。



寄 付 者 紹 介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します

種 類	氏 名	クラブ名
P・H・F	木 原 伸 一	牛津 R C
	平 野 良 興	唐津西 R C
	富 田 隆 明	唐津西 R C
	川 邊 禮 子	生月 R C
マルチプル・P・H・F	越 智 和 博	佐世保北 R C
	都 甲 泰 臣	佐世保北 R C
	岡 井 正 明	佐世保北 R C
	溝 上 純一郎	佐世保中央 R C
	山 川 満 伸	佐世保中央 R C
	崎 元 英 伸	佐世保中央 R C
	平 岩 義 明	佐世保中央 R C
	岩 政 孝	佐世保中央 R C
	川 崎 伸 一	H T B 佐世保 R C
	南 野 健	大村北 R C
	三 浦 達 美	長崎東 R C
	堤 和 之	佐賀大和 R C
ベネファクター	永 田 武 義	佐世保北 R C
	指 山 康 二	佐世保中央 R C
	福 田 金 治	佐世保 R C
大口寄付	福 田 俊 郎	佐世保北 R C
	森 宏 明	松浦 R C
メモリアルコントリビューター	亡母 森チト様を偲んで	
	(株)ふよう長崎	
	長崎南 R C 会員	故 工藤英一様を偲んで
	山 本 タツエ	
	長崎東 R C 会員	故 山本正人様を偲んで
米山功労者	住 江 潤 子	鹿島 R C
	川 崎 伸 一	H T B 佐世保 R C
	緒 方 聖	諫早北 R C
	町 田 熹 明	長崎北東 R C
	計 倉 幸 二	長崎北東 R C
米山功労者 (マルチプル)	草 場 立太郎	佐賀西 R C
	貴 田 邦 裕	長崎北東 R C
	丸 木 覚 誠	長崎北東 R C
	浜 中 洋	長崎北東 R C
	亀 田 純 輔	長崎北東 R C
米山功労者 (メジャードナー)	安 永 俊 夫	諫早西 R C
	田 中 紀 男	長崎北東 R C



2005年1月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第1グループ	佐賀	4	85.2	75	0	78	0	3
	小城	3	92.4	36	1	35	1	-1
	牛津	4	83.6	32	1	32	1	0
	多久	4	87.7	41	4	41	4	0
	佐賀大和	3	78.7	26	3	26	3	0
	小計		85.5	210	9	212	9	2
第2グループ	佐賀西	4	81.0	54	0	54	0	0
	佐賀北	3	85.4	42	3	41	3	-1
	佐賀南	3	79.7	40	0	42	0	2
	神埼	3	74.4	29	0	27	0	-2
	佐賀空港	3	70.2	16	0	18	0	2
	小計		78.1	181	3	182	3	1
第3グループ	有田	3	76.5	39	1	37	1	-2
	武雄	3	81.0	54	0	57	0	3
	鹿島	3	85.7	41	2	43	2	2
	嬉野	4	90.0	27	1	25	1	-2
	大町	4	70.0	28	0	27	0	-1
	白石	3	72.2	19	0	18	0	-1
	太良	4	68.2	12	0	11	0	-1
	小計		77.7	220	4	218	4	-2
第4グループ	唐津	3	94.2	51	0	52	0	1
	伊万里	4	98.2	42	0	42	0	0
	唐津東	4	87.5	54	0	55	0	1
	唐津西	4	88.6	41	0	40	0	-1
	伊万里西	4	78.0	48	0	49	0	1
	唐津中央	4	91.3	42	4	43	4	1
	小計		89.6	278	4	281	4	3
第5グループ	佐世保	3	95.2	85	0	86	0	1
	平戸	3	88.1	43	0	42	0	-1
	佐世保西	3	95.8	38	1	37	1	-1
	北松浦	3	88.6	33	0	31	0	-2
	松浦	4	88.2	38	2	37	2	-1
	生月	3	71.2	22	2	22	2	0
	小計		87.8	259	5	255	5	-4
第6グループ	佐世保南	4	100.0	85	0	85	0	0
	佐世保東	3	86.9	35	0	33	0	-2
	佐世保北	3	97.2	51	0	52	0	1
	佐世保中央	4	100.0	50	0	49	0	-1
	佐世保東南	3	68.1	19	0	23	0	4
	HTB佐世保	3	80.3	28	4	29	3	1
第7グループ	小計		88.7	268	4	271	3	3
	大村	3	95.6	50	2	49	2	-1
	島原	4	76.3	40	3	39	3	-1
	雲仙	4	89.8	33	0	33	0	0
	大村北	4	100.0	33	0	34	0	1
	島原南	4	80.0	22	1	21	1	-1
第8グループ	大村東	3	72.1	43	0	43	0	0
	小計		85.6	221	6	219	6	-2
	諫早	4	89.5	69	0	66	0	-3
	諫早北	4	84.3	64	0	61	0	-3
	諫早西	3	90.1	48	0	48	0	0
	諫早多良見	3	85.4	44	0	41	0	-3
第9グループ	諫早南	3	72.2	33	3	30	3	-3
	小計		84.3	258	3	246	3	-12
	長崎	4	80.9	92	0	99	0	7
	福江	4	88.8	44	0	40	0	-4
	長崎北東	3	84.4	64	5	64	5	0
	福江中央	3	95.9	42	0	41	0	-1
第10グループ	長崎西	3	76.1	71	0	69	0	-2
	長崎琴海	3	71.7	20	2	20	2	0
	小計		83.0	333	7	333	7	0
	長崎北	4	71.3	79	0	81	0	2
	長崎南	3	80.0	90	0	89	0	-1
	長崎東	4	98.7	77	0	78	0	1
合計	東長崎	3	82.6	39	0	38	0	-1
	長崎中央	3	95.7	59	0	54	0	-5
	長崎出島	4	73.3	58	16	60	16	2
	小計		83.6	402	16	400	16	-2
	合計		84.4	2,630	61	2,617	60	-13



文庫通信 (209号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

☆地区大会記念講演から☆

- ◎「宇宙から見た人類の未来」 畚野信義 2004 10p (D.2650)
- ◎「5坪のラーメン屋から上場企業への物語」 神田 正 2004 4p (D.2570)
- ◎「エネルギーの窓から」 近藤耕二 2004 12p (D.2670)
- ◎「切に生きる」 瀬戸内寂聴 2004 11p (D.2670)
- ◎「心の健康とロータリー」 佐藤忠宏 2004 11p (D.2540)
- ◎「変わる日本」 唐津 一 2004 11p (D.2720)
- ◎「最近思うこと」 山東昭子 2004 5p (D.2830)
- ◎「日本文化とグローバリゼーション」 河合隼雄 2004 20p (D.2680)
- ◎「神奈川からスポーツルネサンスを」 春口 廣 2004 5p (D.2590)
- ◎「歴史の使い方～日本の明日を歴史に見る～」 堺屋太一 2004 14p
(D.2590) [上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

諫早北RCでは、かつて西オーストラリアのピンジャラRCと子供達の絵画交換をしたことがあります。明るい彼等の絵をどうぞお楽しみ下さい。



第2740地区 バナー



佐賀RC



小城RC



牛津RC



多久RC



佐賀大和RC



佐賀西RC



佐賀北RC



佐賀南RC



神埼RC



佐賀空港RC



有田RC



武雄RC



鹿島RC



嬉野RC



大町RC

編集後記

ロータリー 100周年の輝かしい記念日を世界中のロータリアンが挙って祝ったことであろう。そして新たな 101年に向けて一歩を踏み出した。100年前のシカゴの街の暗黒さながら、世の中には相変わらず不正な商取引が後を絶たない。ケイタイ、インターネットという情報手段を悪用して、新たな犯罪が世界中を脅かしている。人類は時代と共に、進化とは逆の方向に転落しつつあるのではないか。ロータリアンだけは、不正とは無縁の人種になろう。



国際ロータリー第2740地区

2004～2005年度ガバナー

栗 林 英 雄

■事務所

〒854-0016 長崎県諫早市高城町5-10-302
TEL.0957-35-4890 FAX.0957-22-2808
E-mail:ri2740@ninus.ocn.ne.jp



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2005.4
vol. 10

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2740地区 ガバナー月信

2004～05年度 ガバナー 栗林 英雄





Contents

●ガバナー所感	1
●ロータリー雑誌月間に寄せて	3
●ロータリー100周年記念切手	4
●ガバナー事務所だより	4
●シリーズ② まわり始めた歯車	5
●IM開催報告	7
●長崎西RC20周年記念行事を終えて	10
●佐世保西RC35周年記念行事を終えて	10
●佐賀南RC20周年記念行事を終えて	11
●太良RC10周年記念行事を終えて	11
●長崎国際大学RAC創立	12
●アナハイム報告	13
●地区チーム研修セミナー 報告書	14
●クラブ100周年記念事業	15
●新入会員紹介	16
●寄付者紹介	17
●2月会員数・出席報告	18
●文庫通信	19

表紙の絵

「水面にゆらぐ樹々」

御書院の庭園の中で中央に位置する池には、小島が浮かび、石橋が架かって弧状の影を落とし、その背景には築山が見える。池の周囲に林立する苔むした樹々は静かな水面にゆれて、汀に立たずむ者に心の平安を与えてくれる。

絵の提供 諫早北RC 緒方 聖会員



ガバナーからのメッセージ



環境保全とロータリー

第2740地区ガバナー 栗 林 英 雄

京都議定書が2005年2月16日に発効した。申すまでもなく、地球温暖化を防止するために先進諸国に温室効果ガスの排出削減を義務付けた国際条約であり、1997年12月の採択から7年、ようやくその効力を発揮することになったのである。そのため新聞の社会面でも現実のテーマとして慌ただしく取り上げられるようになってきたが、問題が地球規模の漠としたものだけに一般市民には中々理解し難い点が多い。それ故、皆さんの意識改革のためにも国はそれなりの施策を講じなければならなくなった。さもなくば、議長国としての面子も立つまい。

人類がこの地球上に出現して以来、生活環境の中に生活（消費）の結果排出される様々なものを捨て続けてきたと言える。それでも、自然界のリサイクル・システムが処理できる範囲の質と量である間は特に問題は生じなかった。ところが人類が科学を発達させ、大量に物を生産し、更に大量消費という経済の循環がもたらした膨大な量の廃棄物には、如何に寛大な自然のメカニズムと言えども限界に達したのである。それらのある物は大気中に放出され、ある物は川や海に垂れ流しとなり、ある物は土壌深く浸透して地球環境を破壊する結果となってしまった。

1980年に発表された「西暦2000年の地球」という著書は米国大統領ジミー・カーターが大統領職に就任して間もない1977年、環境問題諮問委員会、国防省及びその他の政府機関に対して、20世紀末までに世界の人口、自然現象及び環境に関して起りうると思われる危機的変化について研究を命じたのである。そして、その結果をまとめた報告書がこの本であり、この資料に基づき直ちに行動に移さなければ地球の危機がそこまで迫っているとい

う警告であった。この切迫した報告書の内容にどれだけの国が関心を寄せ、地球保全のために対策を立てて来たのだろうか。そもそもこの報告書を作成した米国でさえ、京都議定書に記されたCO₂排出規制は産業をはじめ経済活動を抑制するものとしてその批准さえ拒んでいる。SF小説並に、2010年には地球と小惑星が衝突して大爆発を起すという位の緊迫感があれば、地球上の全人類は危機意識が高まって環境保全への行動を起すかも知れないが。

さて、ロータリーでは社会奉仕の中に環境保全に関する奉仕活動が提言されており、各RCにおける精力的な活動の報告がなされている。「友」に報告された環境保全に関した奉仕の実例は、例えば、大気汚染対策としての緑化運動（植樹）、大規模な植林（水源確保のロータリーの森）、低公害車の開発とその積極的な使用、環境美化としての公園や河川の清掃、鯉の放流、木炭濾過作用による水質改善の試み、児童のポスター展による環境保全の広報活動等々涙ぐましい努力が続けられている。私が所属する諫早北RCでは新聞、雑誌等から新しい環境保全に関する情報を収集し、会員に提供してこの問題への意識昂揚に努めた。特に長崎新聞社編の「地球、長崎、環境問題を考える」という本は会員に無料で配布され、地元においては環境問題について何が問われ、その対策として何が施されているかという実例を挙げての内容だったので、この問題に無関心な会員への啓蒙の意味で大いに役立った。

こうした各RCの懸命の奉仕活動であるが、地球の環境破壊を阻止しようとする壮大な計画から見れば微々たるもので隔靴搔痒の感が否定できない。それでは他に効果的な手段が



あるのかと問われても、即座に妙案は浮んでこない。先の議定書の発効を機に中央環境審議会から第一次答申案が出されたが、それによれば、目標達成計画として産業、運輸、業務、家庭の四部門に区分けして、それぞれの部門により効率のよい省エネルギーの努力目標を課してはいるが、産業界からは早くもエネルギーの統制に連動するとの反発も出ているようである。

ロータリーの観点からこの事を考えてみるならば、異業種間で環境破壊に加担する領域が自ずと異なっているので、自分の業種で可能な改善項目を設定し、それに向けて精一杯努力をする。各業種が異なった努力目標に向けて一斉に走り出すことになれば、自然環境への負荷がバランスよく改善してゆくことが期待できる。又企業内で始まる省エネルギー政

策の方針が従業員にも伝達され、それら社員教育の成果が各個人として家庭に伝播され、そこで新たな省エネルギーの取り組みとしての波及効果が期待できるのではないか。

運輸関係であれば車輛のアイドリング禁止とか、タクシーの客待ち時間のエンジンストップ、事務用紙のリサイクル、休憩時間の室内灯の一斉消灯等々身近な事から始めてはどうであろうか。

何はともあれ、元々人間の快適な生活を追求した結果がこの様な問題を惹き起したのだから、少し位の犠牲を払うという心構えがなければこの奉仕は成功しない。破局へ向う地球救済のため、もう待ち時間は余り残されていないと考えるべきで、地域社会でリーダー的役割を果たす我々はこの問題に真剣に取り組む姿勢を見せなければならない。



地球の環境保全



世界を変えるロータリアン

国際ロータリー：世界の162カ国に29,700のクラブがあり、120万人の会員を擁する
One Rotary Center, 1560 Sherman Avenue, Evanston, IL 60201, USA 847-866-3000 www.rotary.org
あなたの地域でボランティアを希望する場合、ならびに詳細は地元のロータリー・クラブにお問い合わせください。

©2005年 国際ロータリー



ロータリー雑誌月間に寄せて

— あなたは「ロータリーの友」を読んでいますか —

第2740地区ガバナー 栗 林 英 雄

ロータリーには各月に強調月間が決められています。4月はロータリー雑誌月間と定められており、会員の義務の一つとなっているRIの機関誌又は地域的なロータリー雑誌の講読に努めねばならないとされています。毎月私達が手にしている「ロータリーの友」について、雑誌委員会の人達がその内容の読後感想を述べ、中々読まれれないと言われる「友」の有用性を説いていますが、果たしてその実効は上がっているのでしょうか。元々会員諸氏が率先して「友」に親しんで下さればこの委員会の存在は不用になると思っていたのですが、現実には中々そうはゆかないようです。

会長さんは毎週巡ってくる会長の時間の話題を探索するために必ず目を通しておられるだろうし、ロータリー情報委員の皆さんにとっても何よりの情報源となるのだから、恐らく無くてはならないものだろう。それに新入会員の方々、先輩ロータリアンからの耳学問も含蓄があってよいけれど、正確なロータリーに関する知識を身に付けようとするれば「友」が最適といえます。

月並みであります「友」の読み方（私の流儀）をご紹介しますことにします。それ位は先刻承知のことと笑われるかも知れませんが。

先ず手に取ったら表紙の絵、写真（横組み、縦組みの二枚）をじっくりと眺めてみる。編集者は読者が手に取って先ず目にする表紙をどの様なデザインにするか、その製作には相当の神経を遣っているはずで、今年度の表紙で鮮烈に記憶に残っているものがあります。2005年1月号横組み表紙を飾っていた写真「湖面の妖像」である。万人が気にも止めない所でこの様に摩訶不思議な自然現象が起っていようとは。厳寒の零下20℃の氷上に踊る雪の妖精たち。束の間のラインダンス！この

カメラマンに敬意を表したい。表紙のデザインはそれ程に魅惑に充ちたものがあることを訴えたかったのです。

表紙を開くと簡単なロータリーの歴史とロータリー綱領、四つのテストがお決まりの位置に顔を揃えている。次いでロータリーアットワークが写真入りで紹介、7頁にとぶと横組み記事の目次がここを見てよと太文字で内容をアピールしている。横組みの頁にはロータリー情報が満載されており、順序通りに読むに越したことはないが、自分が必要とする部分から拾い読みすればよいのではないかと。特に今年度は創立100周年を意識しての特集が組まれ、「奉仕の一世紀、実りの新世紀」は必読の所です。この部分は後で切り離し、一冊にまとめればロータリーの歴史書になるでしょう。

ガバナー座談会はその時々話題に沿って、全国各地のガバナー数名によるフリートーク、本音を語られる場合が多くここの面白い頁ではないでしょうか。

基本の樹の所では新入会員のためのロータリー情報が月ごとにテーマを換えながら載っているの、入会後間もない会員にとっては読み過ぎたら損をするような部分です。

縦組み部分に移ってみると、先ず一頁に目次が設定されているため、内容の把握が容易い。

横組み頁が主としてロータリー情報で占められた少し硬い領域であるのに対して、縦組み頁は講演（地区大会の基調講演など）や全国ロータリアンの私見が掲載されているので、純粋親睦の香気が感じられるところです。

ロータリークラブの所在地の実景を取り入れながら、さながらクラブ訪問をしたような気分になる「わがまち、わが地区」、ロータリアンの随筆で飾られた「友愛の広場」、直



接卓話を聴いたように専門職種の立場で書かれた内容に触れると少し勉強したような気分になる「卓話の泉」、ロータリー・リポートは親睦やクラブ運営にまつわる楽しい報告の数々。刺身のツマの如く、文学的彩りを添える俳壇、歌壇、柳壇。人間味あふれる多彩なロータリアンに出会えるコーナーといえます。

毎号、よくぞここまで神経のゆき届いた作業と編集をされる二神典子編集長のご苦勞に心から感謝したい気持ちです。

ロータリーの友の隅々まで目を通した訳ではないので、一方に偏したという誹をまねが

れませんが、ロータリアンが異業種の集団に属しながら、地域社会への善意の放流と世界の恒久平和を希求するという芯棒に支えられ、更に「友」の中に記された言葉に触れて、その深まりを実感できるよい機会を与えてくれるものです。自分の机で静かに頁を開くのも結構ですが、多忙な御方はバッグの片隅に忍ばせて車の中で、待合室での時間つぶしに、又トイレの独房？の中で、どこでもOK。気軽に持ち歩き有効に活用いたしましょう。

ロータリー100周年記念切手

地区ガバナーの皆様

特定非営利活動法人ロータリー日本財団
理事長 岩井 敏

ロータリー100周年を記念して80円切手が、4月28日、郵便局より全国一斉に発売されます。国際ロータリーの「ロータリー100周年記念運営委員会」よりの要請に基き、法人格を有する特定非営利活動法人ロータリー日本財団が申請者となり、外務省の推薦を得て発行が決定されました。発行日はエステスRI会長主催のロータリー創立100周年祝賀会議が東京で開催される時期に合わせたものです。

販売枚数は1,300万枚の予定ですから、一名100枚(8,000円)単位で会員及び会社・事業所等で格別のご協力をいただき、切手の活用を通じてロータリーの奉仕活動を広く世界に知って貰えるようご尽力をいただきたいと思います。

日本郵政公社では全国の郵便局長が各地元ロータリークラブと連携をとって販売に尽力することにしておりますので、各クラブ例会でご紹介くださいますようお願い申し上げます。また地区大会その他の会合でも出張販売の便宜をはかっていますようお願い申し上げます。



各ロータリークラブの会合において、地域の郵便局長にお声がけいただければ、喜んで本切手のご購入のご案内に参上させていただきます。
日本郵政公社

ガバナー事務所だより

* R財団奨学生 第3回研修会・壮行会

日時：2005年4月10日(日) 15:00～
場所：ホテルグランドパレス諫早

* 青少年交換学生 第4回オリエンテーション

日時：2005年4月16日(土) 14:30～
場所：佐賀 ほほえみ館



シリーズ②

まわり始めた歯車

The First Rotarianより転載

勢いによってシカゴ・ロータリークラブは伸びていった。独自の理念に基づいたこのクラブは、実業や専門職に携わっている男達の心をとらえた。かなり以前にヨーロッパで、同様の目的をもったクラブができてはいたが、各自ばらばらでまとまった運動にはならず、ロータリーが範とするような先例はなかった。この中には事実「ロータリー」と名づけられたクラブもあったが、ハリスはこの時点では全くそのことを知らなかったと語っている。ヨーロッパのクラブは奉仕クラブでもなければ実業家のためのものでもなく、文学上の集まりや討論グループといった性格が強く、規則のたぐいや慣例で、がんじがらめになっている場合が多かった。

ハリスが新しく作ったクラブを構成しているのは、自らの事業で既にある程度の成功をおさめた人が殆どであった。サラリーマンや非営利的専門職業人が入会を許されたのはもっとあとになってからであった。初期の会員の大半は小さな町や村からシカゴに出てきた男達で、クラブ組織はすぐに彼らの心をとらえた。

何よりも、つまらない規則にしばられないというのが、魅力だった。男達は、融通のきかない規則や、慣例のないクラブに惹き付けられた。ロータリーは入って愉快的なクラブであり、社会的地位に関係なく、会員同士が互いに名前を呼びすてにできるという伝統は今日に至るまで続いている。

ロータリーは、会員同士の親睦を深め、事業上での新しい関係と同時に、広く知合いの輪を拡げるすばらしい機会を提供した。もう一つの魅力は、簡単には入会できないことで

あった。そのおかげで、会員であることが一つのステータスシンボルとなるのに時間はかからなかった。幸運にも会員になれた人にとって、クラブは大都会の孤独の中で、砂漠のオアシスにも似た存在であった。クラブのおかげで心の渇きがいやされ、生活が大きく変わった会員もいた。

ハリスは意気さかんであった。自分の目が黒いうちに、シカゴで始めた運動が全米に、さらにはもっと遠くへ広がっていくだろうという確信を、いまや彼はもつようになった。本職の法律業務もあったが、余った時間はすべてロータリーを大きくするための運動に向けられた。本業の時間をさいては役に立ちそうな人と接触し、また学校時代の旧友達、旅で知り合った人、さらに彼の運動に興味をもちそうだと思われる人にどんどん手紙を送った。

彼は精力的に働き、人にも同様のことを要求した。賛同者がしだいにふえ、アドルフ・ジャン (Adolph Jahn)、サンシャイン (日光) というあだ名のB・O・ジョーンズ (B.O. 'Sunshine' Jones)、マックス・ステイーンズ (Max Stienz)、ウィル・ネッフ (Will Neff)、熱心な社会奉仕家のフレッド・ツイード (Fred Tweed) らが運動に加わった。1906年には、いまや伝統行事となった夫人の夕べが始まり、主人がどんなクラブに入っているのか、夫人達にわかってくるにつれ、会員はさらに急速にふえていった。

ロータリーの創始者として内外に認められているハリスが、クラブ結成以来3年の間、いかなる役職にも選ばれなかったのは何故だろうと、ロータリー会員も会員でない人も一



様に、よく不思議に思った。実はハリス自身が3年にわたる形成期の間、いかなる役職につくことも拒否したのである。彼は建設者よりむしろ設計者であり、日々の運営は他の人に任せていた。しかし、クラブの活動の方向を決めていたのはやはりハリスであり、役員もふつうはハリスが任命していた。

会員が着実に増え続けた最初の2年間、ハリスはクラブの活動を懇親を中心としたものに限った。こうして、形式ばらず、気楽にくつろげる雰囲気の中で、皆が楽しみ、親睦をはかる精神を広めたのだった。この方式は大成功だった。

この時点までハリスは表にたたず、言葉巧みに説得し、時には相手を丸めこんだりしながらクラブの拡大を図ってきたが、会員が80名を超えた現在、後押しするよりも手綱をひくことの方が必要になった。1907年2月にアルバート・ホワイトが会長を辞任したのに代わって、ハリスが会長に就任した。

直ちに活動目的にはっきりとした変化があらわれた。ハリスはジャクソンビル (Jacksonville) にいる旧友ジョージ・クラークに手紙を出し、フロリダにクラブを新設するよう促した。彼はまたニューヨークに行き、クラブを創設しようと努めたが、まだ時期尚早で、彼の願望は頓挫した。ハリスは、全米のすべての重要な都市にロータリー・クラブを設立するという彼の夢を仲間達に話し、運動を広げるためにできる限りのことをするよう彼らに奨めた。

ハリスが会長になるまでは、会員の取引上及び社会的な便宜に重点がおかれていた。取引上かなり利益を享受した会員もいるかわりに、そうでない会員もいたが、仲間同士の親交からうまれる力とその有難味は全員がよく認識していた。ハリスが次にやったのは、その力を難渋している人へ向けることだった。ハリスの見事な指導のもとに、私利を得ることよりも他人のことを案じる方へ、会員の関心は傾いていった。このような動きに反対する会員もいたが、ハリスは動じることなく、

目的の達成に向かって根気強い努力を続けた。

ハリスは活動を3つに分ける短期計画を立てた。まず第1にシカゴ・クラブの拡大を図り、第2にニューヨーク、サンフランシスコ、ニューオリンズといった都市へこのクラブの理念を広めるよう努め、第3に運動の目標の中に社会奉仕の理念を導入するよう努めるという計画だった。

第1の抱負については余り問題になるところはなかった。実際、この新しいクラブの人気は大変なもので、入会申込みが殺到していた。第2の目的の達成は1番目よりむずかしかったが、解決不可能な性質のものではなく、反対者の問題は時が解決してくれるだろうと、ハリスはみていた。最も厄介なのは第3番目の目標であった。

社会への奉仕という概念は、クラブの創設理念からは大きくかけ離れていた。会員達は全くの酔狂としか思えないこの概念に対して、慎重な態度をとるばかりでなく、すでに手に入れたよいものを失う危険にさらそうとはしなかった。従って最初のうちは、ハリスの熱心なすすめも余り顧みられなかった。

ハリスはそれでも、いささかもくじけず社会奉仕を導入する一番現実的なやり方は、何かやり甲斐のある仕事をみつけ、会員を勧誘してその仕事につけることだと考えた。ハリスの強い支持者で、市民としての奉仕活動を高らかに主張してきたドナルド・M・カーター (Donald M. Carter) 会員の助けを借りて、結局はこの考えが実行された。



第4・5・6グループ IM 開催報告

実行委員長
近藤 正人



去る2月13日、ウェルサンピア佐世保に於いて、第4・5・6グループのインターシティミーティングを開催いたしました。3グループ会員総数約800名の内330名の参加を得て、『教育問題』をテーマに約4時間の会議となりました。

IMの本来のあり方からすれば、今回のテーマは議論のあるところでしょうが、社会問題化している事案に時機を逃さず取り組むこともロータリーの姿ではないかとの判断でありました。

長崎の事件に始まり、昨年の佐世保での児童が関わった出来事を発端に、ロータリーとして何らかの情報発信を試みた事業であります。

ロータリーの奉仕プログラムの対象にはない義務教育課程にある子ども達の現状把握のために、教育の現場におられる教職員の皆様方や行政の立場からの意見も聞きながら実施した第一部のパネルディスカッション。

また、東京都教育委員会の公職にあられる米長邦雄氏の記念講演では、ロータリアンとしてこれらの問題への関わり方等を示唆していただきました。

奇しくも、開催翌日には寝屋川での高校生による刑事事件も発生。地域におけるロータリー、或いはロータリアンの青少年への関わりは急務であると感じた出来事でした。

ロータリー100周年の記念すべき年に開催した今回のIMが、それぞれのクラブでの青少年活動に多少なりとも資することができ、またロータリアンへの啓蒙の機会づくりとなれば『奉仕の理念』への一助たり得るものと確信します。





国際ロータリー第2740地区

第7・8グループ

I・M 開催報告

I・M実行委員長
本田 友良
(雲仙RC)

2004-2005年度 第7・8グループ合同インターシティ・ミーティング（I・M）が去る3月5日（土）、日本最初の国立公園で歴史、伝統ある九州ホテルに於いて開催されました。大会当日温泉山野は銀世界の雪景色での歓迎となりました。大会は雲仙クラブ、島原クラブ、島原南クラブ合同で、会員の絶大なるご協力を頂き、第7・8グループ、11クラブ462名全員の登録を頂き、実参加者234名の会場満席で開催されました。

大会テーマは「ロータリーを祝おう」をメインテーマに「国際交流におけるロータリーの現況と今後の役割」をテーマに掲げられました。

会場は栗林ガバナーをカウンセラーとしてお迎えして、活気溢れるなか、第一部の基調講演「学校経営から見る国際交流」について長崎ウエスレヤン大学森泰一郎学長にご講演を頂きました。学校教育の国際交流は古く諸外国との教育交流時代の重要性についてご講演を頂き、ロータリーの交換留学生、米山記念奨学制度の評価と賛評を頂きました。

第二部は、「米山奨学生と語る」をテーマにパネリスト3名（北京、上海、スリランカ）とコーディネーター木下リーダーによる討論会が行われました。第7・8グループには馴染みの少ない米山記念奨学事業について、前田博憲地区米山委員長（佐賀西RC）より説明を頂き、引き続きパネリストには「米山奨学制度」「日本での生活環境」「日本人に対する印象」「自国と日本の文化の差異」「パネリストの将来の夢」等を語って頂きました。

当地雲仙において国際交流のミーティングが開かれたことは、大変有意義なI・Mであったと思います。

栗林ガバナーのご挨拶の中にロータリーの大切さ、I・Mの重要性、特に青少年育成を掲げられ、米山記念奨学会、交換留学生制度による教育国際交流についてのご指導を頂きました。

場所を移動しての第三部は早田副リーダーご指導の下、欧風百年ダイニングでの懇親会は、2月全国大会で銀賞に輝いた小浜中学校ブラスバンドの吹奏で、元気、勇気、感動を頂いて開催されました。国際的調和の設備と料理を頂いて、近隣クラブが親しく親睦の和を広げる機会を頂いて、友愛の精神、思いやりの精神、助け合いの精神を学ぶことができたI・Mであったと思います。

最後に、ミーティングリーダー、副リーダー、実行委員会の各役割を務めていただきました、ロータリー諸先輩方に心より感謝とお礼を申し上げます。





国際ロータリー第2740地区 第9・10グループ

国際ロータリー100周年記念 IM開催報告

実行委員長
田嶋 英夫
(長崎北東RC)



国際ロータリー創立100周年記念IM開催について長崎北東RC（ホストクラブ）と長崎琴海RC（コホストクラブ）が、はからずもお手伝いをさせて頂いた。第1部では、後述のように「ロータリーの基本」と、著しい変革を遂げつつある「現在のロータリーと未来の展望」について著名な2名の講師のご講演を拝聴した。示唆に富む、すばらしいお話の総てを記録誌に残すことにしている。終了後フロアの質疑にご回答頂いた。引き続き行った第2部「友情と懇親の夕べ」では会員のハミングバズ男声合唱のすばらしい演奏を楽しみ、親睦の輪を広めることが出来た。栗林英雄第2740地区ガバナー始め、来賓の方々と400弱会員のご臨席の下、盛会裡に終了しました事をご報告致します。

講演1「ロータリーの基本」(60分)、第2740地区パストガバナー佐古亮様（大村北RC）より：ロータリーの出発点は、職業人が互いにフランクに話し合える友達との親睦を目的としてポール・ハリスが作った1業種1会員制の「社交団体」である。異業種職業人の集まりによる異なる発想の交換により、互いに高い倫理的思想を習得してゆくことを理想とした自己研鑽の場となり、この純粹親睦が、世の為人の為の原動力となるエネルギーを生み、多くの人々の幸せの為に放流される過程をロータリーは「サービス」と呼んだ。社会万般の不幸を黙って見過ごすことなく、立ち直りに手を貸してやりたいという惻隱の情の発露がロータリーの奉仕の本質である。親睦と奉仕理念の研鑽の場を定期的に保証するのが毎週1回の定例会である。

講演2「現在のロータリーと将来の展望」(60分)：第2860地区パストガバナー田中毅様（尼崎西RC）

平成17年2月11日、ウェルシティ長崎厚生年金会館





長崎西RC20周年記念行事を終えて

長崎西RC会長 四元 永生

長崎という地域に根づかせて頂いた感謝の気持ちで、会員一同20周年を迎えました。その志をもって、事業としては、青少年健全育成支援として、県、市図書館へ児童向けの図書の寄贈、長崎大学医学部小児科病棟へ「テレビ一式、ブックトラック、ニューエレガント絵本棚」を寄贈いたしました。併せて、ロータリー100周年記念事業も難聴問題に悩むインドネシアへ視聴覚医療器機を持参、寄贈致しました。

これらのことが出来たのも、過去20年間、会員相互の「融和と親睦」を図ってこられた礎があったからこそであります。

これからまた、地域に我々は何ができるか、会員仲間と共に、さらなる努力を重ね、飛躍を図りたいと思います。



佐世保西RC35周年記念行事を終えて

佐世保西RC実行委員長 副島 研爾

2004年10月13日、私共のクラブは創立35周年を迎えました。

一連の記念行事を行うに当たり、最近の会員減少に伴う資金不足、マンパワー不足が当初心配されましたが、このような危機感が却ってクラブの結束力を高め、予想以上の成果を収めることが出来ました。

☆記念事業

1. 佐世保西ロータリー杯 少年少女ミニバスケットボール大会
2. 記念講演～大人達へのメッセージ～「子ども達の心の叫び」講師：精神科医 宮田雄吾先生
3. 例会場の整備、事務用パソコン購入

☆記念式典・祝賀会

当クラブのコーラスグループが「冬のソナタ」のテーマ曲を韓国語で歌い、姉妹クラブの韓国成歓RCをはじめご来賓の皆様から大喝采を頂き、これまでにない盛り上がりを見せて終了することが出来た。





佐賀南RC20周年記念行事を終えて

佐賀南RC会長 北島 恭一

「ロータリーを祝おう」と呼びかけられた100周年の輝かしい年に、多くのご来賓の皆様方と共に祝うことが出来ましたことに、クラブ会員一同大きな喜びと深い感銘を受けております。

クラブ創立20周年記念事業のテーマを「教育」として児童虐待防止プログラムに参画、行政と一体となって活動しました。子ども自身が持っている「自分を守る力」を引き出し、子どもが暴力や権利侵害から自分を守る方法を身につけさせるとともに、地域ぐるみで子どもたちを守っていくことを目指しました。保護者や学校職員、そして誰よりも子どもたちが喜んでいと御礼の言葉をいただきました。

朝ロータリークラブ創立20周年記念式典



太良RC10周年記念行事を終えて

太良RC会長 秀島 寛

この度、スポンサークラブの鹿島RC、第3グループのロータリアンの皆様、栗林ガバナー、高原ガバナー補佐をはじめ会員の皆様のご理解、ご協力、友情により小規模ながら10周年記念式典、記念行事を無事終えることが出来ました事に深く感謝の意を申し上げます。10周年記念事業に携わる中に改めて地域との交流を深め、奉仕事業が出来たと実感しております。10周年の事業に対し様々な取り組みの際、会員同士の結束力と団結力そしてまた一段とロータリアンとしてロータリアンシップが向上した事は間違いありません。現在会員11名ですが会員相互間を大切にして、一步一步着実に地域に根ざした奉仕活動を実践していき20周年を目指して頑張っていきたいと思っております。

《 継続は力なり 》





ロータリー100周年記念事業

長崎国際大学 R A C 創立

第2740地区佐世保ロータリークラブ

ロータリー100周年記念事業

担当理事 福田 金 治

佐世保ロータリークラブはロータリー100周年記念事業として、大学生を基盤とする新しいローターアクトクラブを設立することを決定致しました。社会人を基盤とするローターアクトクラブは既に提唱しております。

設立する大学として佐世保市ハウステンボス町にある長崎国際大学を選びました。

同大学は2学部3学科、大学院を併設し学生数1,720名で、理事長は当クラブの会員でもあるパストガバナーの安部直樹会員です。

平成17年3月13日「ローターアクトの日」に安部パストガバナー、山口地区ローターアクト委員長、スポンサークラブの安福会長をはじめ近隣のローターアクトクラブ会員の出席の下、発会式が行われクラブ定款、新役員を承認し、財津万理会長以下17名の会員で新しいクラブがスタート致しました。

学生の皆さんは希望に燃え、エネルギーが彷彿として伝わってきました。既存の社会人のローターアクトと協力して地域への奉仕を通じ自己確立をめざし大学生としてのローターアクトの形成を期待するものであります。

佐世保ロータリークラブ、長崎国際大学関係者のご支援、ご協力を頂きながら、よりよいローターアクトクラブへ育てていきたいと思っております。

尚、例会は第2、第4水曜日、午後3時より大学構内で行われ、認証状伝達式は5月29日に予定しております。





「アナハイム報告」

第2740地区ガバナーエレクト 本 城 好 春

全国34名のエレクトは2月17日(木) 成田と関空に分かれてアナハイムに出発しました。晴天のはずのロサンゼルスは何故か着いた日から帰る日まで雨続きで、異常気象は日本だけではない事を知りました。

往10時間、復13時間のフライトで、時差17時間はかなりこたえました。アナハイムヒルトンホテルに到着したら田中・南園R I理事を始め研修リーダーと御夫人達の歓迎拍手を受けました。

会長主催歓迎レセプションがあり、翌日から7:00朝食、9:00から本会議が始まり、基調講演は歴代R Iパスト会長達が格調高い講演をされました。

英語、スペイン、フランス、ポルトガル、韓国、日本語の六カ国語に同時通訳され、中でも元R I会長ピチャイ・ラタクル氏の「ロータリー100周年：四大奉仕部門」の講演は、ロータリーをよく知らない御夫人達も涙を流して感動しておられました。

次期R I会長のカール・ヴィルヘルム氏(スウェーデン)は本年度のテーマを「SERVICE ABOVE SELF」(超我の奉仕)と提唱され、1911年採択された古い言葉だけに、バナーにスポットが当てられた時は、大会場からワットと驚きの声が上がりました。1905年ロータリーが発祥して僅か6年の基盤の固まらない弱い組織の中で採択され、以来95年間、この標語がロータリー理念の根底になりました。ロータリー発祥101年目を迎えて再び原点に戻り、新たな気持で再出発しようと言う主旨とされます。永い間、この五文字のテーマはいろいろ解説、解釈されて来ましたが、一週間の研修では余り難しく解釈せず「人への思いやり」と思ってお下されと教えられました。

又、ヴィルヘルム氏は人類の基本的ニーズとして第一に識字率の向上と教育を、第二に水保全の問題を挙げられました。これ等の問題はグローバルな規模で、一クラブ、一会員の力では到底出来るものではありません。全世界の皆が協力してロータリー財団の力で行わなければなりません。地域のクラブ及び会員は地元地域社会のニーズを探し掘り起こして草の根奉仕をして頂きたいと述べられました。

午後からは言語別のグループに分かれ、14セッションのグループ討論を行いました。

日本語圏は2グループに分かれて熱心な討論を行いました。これ等は終了後、直ちにインターネットに公開してありますので、皆さんが容易に御覧になれます。

R Iは1905年僅か4人から100年間に全世界166カ国、120万人の会員に増大しました。増員、増強の時代は終り、如何にして減少、退会を防ぐかが問題になって居ります。

2005年101周年は、その岐路にあると思われます。R Iはその危機感もあり「原点回帰」の反省に入ったと思われます。

国際協議会には全世界166カ国から550名のガバナーエレクト(内女性66名)が人種、宗教、言語を超えて集まりました。唯一の共通点は「SERVICE ABOVE SELF」(超我の奉仕)の理念です。巨大化した組織をまとめるには最大公約の単純な五文字の標語しかないのかもしれません。

そんな気持でアナハイムから帰国しました。皆さんも難しい議論は横に置いて、純粋な「人への思いやり」の気持で出来る範囲の人助けの行動を起こして下さい。

そして輝かしいロータリー101周年新しい誕生の年にして下さい。



GSE相手地区6290地区の
ガバナーエレクトと隣同士で握手



グループ討論会



全体会議



国際ロータリー第2740地区

2005～2006年度

地区チーム研修セミナー 報告書

ガバナーエレクト事務所

次期地区幹事 北 島 俊 郎

3月12日、国際ロータリー第2740地区2005～2006年度地区チーム研修セミナーが、唐津ロイヤルホテルにて開催されました。当日は、栗林ガバナー、本城インカミングガバナー、他研修リーダーを含む指導チーム、又、次期ガバナー補佐、次年度地区委員会委員長等、総数40名強のロータリアンの出席のもと、午後1時より始まりました。

「点鐘」「開会の辞」「ロータリーソング斉唱」「出席者紹介」の後、栗林ガバナーの挨拶がありました。挨拶の中で、クラブとガバナーとのパイプ役としてのガバナー補佐の任務の重要性等の話をされていたのが印象的でした。その後、本城インカミングガバナーよりスライドを使って、今年度RI会長のテーマやアナハイムでの研修風景等、説明があり、午後2時15分より研修セミナーに入りました。

まず最初に、研修リーダー（代理）の隅田パストガバナーのテーマが「ガバナー補佐・地区委員長の役目と心得」で話されました。その中で、ロータリーでは「たのまれてNOと言うなよロータリー」と言われているが、これは、何事も経験すれば必ず将来自分のために役立つ事になり、ロータリアンであれば誰でも出来る事であるから、積極的に引き受け、経験した方が良いと言われた点が記憶に残りました。その後は、2人のパストガバナー補佐の方々から、ガバナー補佐時代に経験された事例や留意点等、実体験に基づいたお話をされました。

又、「地区委員長体験談」のテーマでは、地区委員長の方より経験談をお話して頂きました。

最後にパスト地区幹事の方より「地区幹事からみた地区運営」というテーマでお話があり「国際ロータリーとロータリークラブの関係について」「手続要覧について」「IMの由来について」「2004年規定審議会で採択された主な制定案」等について、解説して頂きました。そして、午後4時40分頃セミナーは終了致しました。約2時間30分の研修時間でしたが、出席者全員熱心に聴講されておられ、非常に実りあるセミナーではなかったかと感じました。セミナー終了後、会場を変えて懇親会に入り、参加者一同、和気あいあいの内に親睦を深め、午後6時30分散会し、大変充実した1日を過ごしました。





クラブ 100周年 記念事業

佐 賀	第1グループ、第2グループ合同で善意銀行へ寄付金を預託・合同IMで記念講演 南釜山ロータリークラブと合同で10周年に建てた観光案内板（鯨の門前）を佐賀城周辺の公園区域整備に伴い現状に合わせた案内板に改修移設し、観光の一助に努めた
小 城 ・ 牛 津 多 久 ・ 佐 賀 大 和 佐 賀 西 ・ 佐 賀 北 佐 賀 南 ・ 神 埼 佐 賀 空 港	第1グループ、第2グループ合同で善意銀行へ寄付金を預託・合同IMで記念講演
有 田	古川貞次郎氏講演会
鹿 島	2005/5/22 第2740地区及び地区外交換留学生・米山奨学生・ローターアクト他とのガタリンピック交流会
嬉 野	ロータリー100周年記念コンサート
唐 津 ・ 唐 津 東 唐 津 西 ・ 唐 津 中 央	唐津4クラブ共同事業として記念植樹
伊 万 里	2/23 100周年記念例会。3月上旬伊万里市内の小・中学校で希望の学校に行き記念植樹を行う。 1/22 「日本の安心と安全を考えるーイラク人道支援活動の実情」
伊 万 里 西	1/22 「日本の安心と安全を考えるーイラク人道支援活動の実情」
佐 世 保 ・ 平 戸	7/12-13 「命の尊さを考えるコンサート」近隣小学校5・6年生児童招待 2005/6月迄に予定ー環境省の絶滅危惧種「鹿の子ゆり」を小学生の力を借り普及運動
佐 世 保 西	7/12-13 「命の尊さを考えるコンサート」近隣小学校5・6年生児童招待 2005/6月迄に予定ー環境省の絶滅危惧種「鹿の子ゆり」を小学生の力を借り普及運動 2002年度より、当クラブ独自の国際交流基金へ@10,000円積み立て中
北 松 浦	佐々町学童農園に100周年の記念植樹
生 月	桜植樹、「私の宝物」写真展
佐世保南・佐世保東 佐世保北・佐世保中央 佐世保東南・HTB佐世保	7/12-13 「命の尊さを考えるコンサート」近隣小学校5・6年生児童招待 2005/12月迄に予定ー環境省の絶滅危惧種「鹿の子ゆり」を小学生の力を借り普及運動
大 村	2/23 旧円融寺庭園案内陶板・やすらぎの石座ー寄贈除幕式 大村 日野原重明文庫 寄贈除幕式ー大村市立図書館 2/26 日野原重明講演会「輝いて生きるーこれから」世代を継ぐ心のコンサート 大村少年合唱団
島 原	ロータリー100周年記念コンサート
雲 仙	国際青少年交換留学生の受入と派遣
大 村 北	長崎街道大村周辺文化財をCD-ROM作成と普及 「ロータリーの森を歩く」の出版
島 原 南	玉名女子高校吹奏楽部演奏会
大 村 東	公共施設の案内板設置
諫 早 ・ 諫 早 北 諫 早 西 ・ 諫 早 多 良 見 諫 早 南	長崎県下最大の桜づつみ植樹ー半造川堤防敷き
長 崎	2004/11/23 記念植樹（ヒマラヤ桜、紫陽花）JR長崎駅ープリンスホテルに至る沿線に実施 2005/2/24 記念例会オペラ鑑賞'94-95財団奨学生大山卯月さんを招いて 2005/3/13 2005/6/4 ローターアクトクラブと共同で記念チャリティバザーー収益金はポリオプラス、県立美術館へ車椅子寄贈予定
長 崎 北 東	2005年3月ギニアビザウへの学用品購入として30万円寄付
長 崎 西	インドネシア バリ島へ訪問し、難聴対策の医療器具贈呈（100万円）
長 崎 琴 海	2004/7/12-13 長崎県立盲学校水泳授業支援 2004/10/22-26 カンボジア孤児支援事業として、ソーラー初段装置設置、及びメンテナンス、支援物資配布
長 崎 北	9/12 ロータリー100周年記念年長者市民俳句大会 1/29 ロータリー100周年記念少年剣道寒稽古
長 崎 南	8/1 南クラブ設立30周年を記念して建立した「マクドナルド顕彰碑」のメンテナンスとして、石材の一部変更。植栽、添え石の追加等を実施した。
長 崎 東	35周年記念式典とあわせて、100周年事業を行い、ウランバートル（モンゴル）RCと協力してウランバートル病院の要請による医療器具を提供する。
東 長 崎	11/3 25周年・ロータリー100周年記念 井形慶子 特別講演
長 崎 中 央	12/21-2/23 創立10周年の時に植樹した出島ヒマラヤ杉（高さ約11m）にイルミネーションを行った。
長 崎 出 島	創立5周年記念事業とロータリー100周年記念事業を兼ね、国指定史跡「出島和蘭商館跡」に出島の歴史や長崎市が進める同史跡の復元整備事業の概要などを日本語、英語、韓国語、中国語の4カ国語で紹介した案内板（ステンレス製、縦80cm、横120cm、地上高163cm）を寄贈



新・入・会・員・紹・介

ロータリーの新しい仲間になられました方々をご紹介します。



佐賀RC
まつ お とし み
松尾 敏三 君



牛津RC
あ べ とし ろう
阿部 敏郎 君



佐賀空港RC
ば ば し げ ぶ
馬場 茂雄 君



佐賀空港RC
ふる かわ ゆき せい
古川 幸義 君



神崎RC
がわ き せい ぶん
川崎 俊明 君



伊万里西RC
ふじ たら かなめ
藤村 要 君



佐世保中央RC
にし じら ひろ き
西村 浩輝 君



雲仙RC
ほり かわ つぶ お
堀川 二雄 君



長崎RC
かわ せい のぶ や
川添 暢也 君



長崎東RC
なか しま けん じ
中島 健二 君



東長崎RC
やつ き こう じ
八木 浩二 君



長崎中央RC
まつ もと けん じ
松本 憲司 君



長崎中央RC
た な か たつ や
田中 達也 君



佐賀北RC
つづ い とよ き
筒井 豊樹 君



佐世保東南RC
とく なが しん かく
徳永 晋作 君

◆ 訃報

謹んでお別れいたします。

2005年2月7日逝去
(享年79才)

故 村島二郎 君
(大村北RC)





寄 付 者 紹 介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します

種 類	氏 名	クラブ名
P・H・F	福 地 義 孝	神埼 R C
	前 田 博 明	諫早 R C
	酒 井 明 仁	諫早 R C
マルチプル・P・H・F	山 崎 唯 之	神埼 R C
	大 宅 弘 海	伊万里西 R C
	藤 谷 成 微	伊万里西 R C
	鈴 木 泰 彦	佐世保南 R C
	國 崎 忠 臣	佐世保南 R C
	宮 崎 清 彰	諫早北 R C
ベネファクター	川 口 嘉 教	多久 R C
大口寄付	金 子 卓 也	佐世保南 R C
米山功労者	下 平 孝 晴	大町 R C
	井 手 研 二	伊万里西 R C
	池 永 晃 一	伊万里西 R C
	一ノ瀬 政 則	大村北 R C
	鈴 木 正 春	諫早 R C
	柴 田 克 博	諫早多良見 R C
	本 多 進	島原南 R C
米山功労者（マルチプル）	栗 原 俊 充	牛津 R C
	安 東 善 重	佐世保西 R C
	内 田 信 康	長崎東 R C
米山功労者（メジャードナー）	宮 崎 清 彰	諫早北 R C



2005年2月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第1グループ	佐賀	4	85.6	75	0	78	0	3
	小城	4	93.6	36	1	35	1	-1
	牛津	3	85.4	32	1	32	0	0
	多久	4	87.7	41	4	41	4	0
	佐賀大和	4	79.0	26	3	26	3	0
	小計		86.3	210	9	212	8	2
第2グループ	佐賀西	4	84.0	54	0	53	0	-1
	佐賀北	4	82.9	42	3	40	3	-2
	佐賀南	3	79.8	40	0	42	0	2
	神埼	4	70.4	29	0	28	0	-1
	佐賀空港	4	66.6	16	0	19	0	3
小計		76.7	181	3	182	3	1	
第3グループ	有田	4	84.7	39	1	37	1	-2
	武雄	4	83.3	54	0	57	0	3
	鹿島	4	87.5	41	2	43	2	2
	嬉野	3	88.0	27	1	24	1	-3
	大町	4	69.2	28	0	26	0	-2
	白石	4	73.6	19	0	18	0	-1
	太良	4	68.2	12	0	11	0	-1
	小計		79.2	220	4	216	4	-4
第4グループ	唐津	4	90.8	51	0	52	0	1
	伊万里	4	98.2	42	0	42	0	0
	唐津東	3	89.1	54	0	54	0	0
	唐津西	4	85.7	41	0	40	0	-1
	伊万里西	4	83.1	48	0	49	0	1
	唐津中央	3	89.9	42	4	43	4	1
	小計		89.5	278	4	280	4	2
第5グループ	佐世保	3	94.5	85	0	86	0	1
	平戸	4	81.5	43	0	42	0	-1
	佐世保西	4	98.4	38	1	37	1	-1
	北松浦	3	88.5	33	0	31	0	-2
	松浦	3	83.3	38	2	37	2	-1
	生月	4	75.1	22	2	23	2	1
	小計		86.9	259	5	256	5	-3
グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第6グループ	佐世保南	3	100.0	85	0	85	0	0
	佐世保東	3	87.5	35	0	33	0	-2
	佐世保北	4	95.3	51	0	51	0	0
	佐世保中央	4	100.0	50	0	50	0	0
	佐世保東南	4	65.2	19	0	23	0	4
	HTB佐世保	4	83.4	28	4	29	3	1
	小計		88.5	268	4	271	3	3
第7グループ	大村	4	86.6	50	2	49	2	-1
	島原	4	73.1	40	3	39	3	-1
	雲仙	4	90.9	33	0	34	0	1
	大村北	4	100.0	33	0	33	0	0
	島原南	3	77.0	22	1	21	1	-1
	大村東	4	69.8	43	0	42	0	-1
	小計		82.9	221	6	218	6	-3
第8グループ	諫早	3	91.6	69	0	66	0	-3
	諫早北	4	85.6	64	0	61	0	-3
	諫早西	4	93.5	48	0	48	0	0
	諫早多良見	4	82.9	44	0	41	0	-3
	諫早南	4	77.5	33	3	30	3	-3
	小計		86.2	258	3	246	3	-12
	第9グループ	長崎	4	87.9	92	0	100	0
福江		3	92.8	44	0	40	0	-4
長崎北東		4	91.5	64	5	63	5	-1
福江中央		4	92.1	42	0	41	0	-1
長崎西		4	86.2	71	0	69	0	-2
長崎琴海		4	82.5	20	2	20	2	0
小計			88.8	333	7	333	7	0
第10グループ	長崎北	4	84.1	79	0	80	0	1
	長崎南	4	85.4	90	0	89	0	-1
	長崎東	3	98.7	77	0	79	0	2
	東長崎	4	79.4	39	0	39	0	0
	長崎中央	4	92.7	59	0	56	0	-3
	長崎出島	3	90.9	58	16	60	16	2
	小計		88.5	402	16	403	16	1
合計			85.4	2,630	61	2,617	59	-13



文庫通信 (210号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

☆ロータリーを考える☆

- ◎「吾が内なる道德律」 佐藤千壽 D.2580 2004 77p
— 2004年国際協議会講話：佐藤千壽訳 講話原文付 —
 - 『来し方顧み・行く先見つめて』 ビチャイ・ラタクル
 - 『統率の道 — 行く先見つめて』 ラジェンドラ・サプー[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

- ◎「ロータリー歴史探訪」 田中 毅 2004 131p
[申込先：田中 毅 FAX (0797)32-6888]

- ◎「ロータリー歴史探訪 (日本編)」 田中 毅 2004 55p
[申込先：田中 毅 FAX (0797)32-6888]

- ◎「私の考えるこれからのロータリー」 上野 孝 2005 10p
(D.2800地区大会講演) [申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

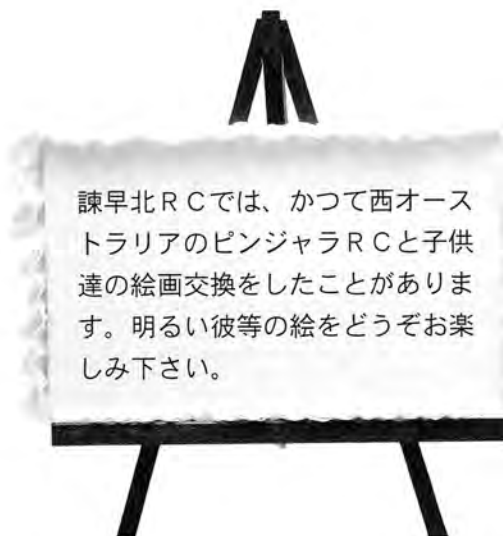
- ◎「ロータリーが、今、直面している問題 — 日本におけるロータリーを中心に」
川尻政輝 2005 9p (D.2730月信) [申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

- ◎「ポール・ハリスの来日及びハリスと米山の胸像」 井口賢明 2004 2p
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



第2740地区 バナー



白石RC



太良RC



唐津RC



伊万里RC



唐津東RC



唐津西RC



伊万里西RC



唐津中央RC



佐世保RC



平戸RC



佐世保西RC



北松浦RC



松浦RC



生月RC



佐世保南RC

編集後記

いよいよ季節は春。
生きとし、生けるもの全てが精気に満ち、慈母のように優しい
この時を一斉に謳歌している。
わがロータリーも、来たるべき新しい年度にふさわしいR1テーマが発表された。「超我の奉仕」である。
長い間、多くのロータリアンの意識の中から消えかかっていた
標語ではありませんか。
精神的支柱を取り戻し、再び力強い歩みを！



国際ロータリー第2740地区

2004～2005年度ガバナー

栗林 英雄

■事務所

〒854-0016 長崎県諫早市高城町5-10-302
TEL.0957-35-4890 FAX.0957-22-2808
E-mail:ri2740@ninus.ocn.ne.jp



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2005. 5
vol. 11

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2740地区 ガバナー月信

2004～05年度 ガバナー 栗林 英雄





Contents

●ガバナー所感	1
●第11回全日本ロータリークラブ 親睦合唱祭のご案内	2
●シリーズ③ 輪を広げるロータリー	3
●P E T S 報告	5
●I M開催報告	6
●唐津東 R C 40周年記念行事を終えて	8
●諫早西 R C 20周年記念行事を終えて	8
●大村 R C 45周年記念行事を終えて	9
●長崎街道大村路 CD-ROM作成しました	9
●長崎国際大学ローターアクトクラブ設立例会	10
●「2004年度 米山奨学生終了式・歓送会」報告	11
●G S E レポート	12
●G S Eに参加して	14
●新入会員紹介	16
●ガバナー事務所だより	16
●寄付者紹介	17
●3月会員数・出席報告	18
●文庫通信	19

表紙の絵

「水鳥むれる川」

本明川の流域には緑が多く、そこに巣をかまえる水鳥たちが川に降り立って、小魚を漁っている。アオサギ、シラサギ、ゴイサギ、カイツブリ等いつも見かける鳥たちである。この川は彼らの生命も育んでいる。

絵の提供 諫早北 R C 緒方 聖会員



ガバナーからのメッセージ



「奉仕の原点へ回帰するR I テーマ」

第2740地区ガバナー 栗林 英雄

毎年R I から発表される次年度R I 会長のテーマが、今年も世界中120万人のロータリアンが注目する只中で提示された。すでに半世紀前から、長い伝統として引き継がれ、その年その年を象徴する言葉がロータリー史上を飾ってきた。かつてはターゲットと呼ばれ、次いでメッセージと呼び名を変え、現在テーマという語句に定着したこの言葉の持つ意義は一体何であったのだろうか。

このテーマは第二次世界大戦も終結し、日本がR I に復帰した年に当たる1949年から始められているが、平和の到来によって急速に増強と拡大を続ける全世界のRCとそのロータリアンに対して、R I は中央集権的な命令によって統一もしくは結束をはかるという意図があったのではなかろうか。この考察が誤りでなかったとしても、毎年新たに更新されるテーマによって拘束される期間は精々一年間だけに限られるので、その影響力は少ないとも考えられる。しかし、現実はどうであろうか。

ロータリー100年の歴史の中で、57名中当初の2名を除く55名のR I 会長が堂々とテーマを主張しておられるのである。ロータリー人生の上で最高の名誉であるR I 会長に就任し、何としても感動的なテーマを打ち出そうという意欲に駆られ、その結果R I 会長自身の人生観に裏打ちされた言葉となって姿を現わしたことだろう。又ある時は奉仕の実績を上げようという思いで奉仕活動に喝を入れる文言となり、ロータリー精神を高揚する意味がこめられ、更に世界の恒久平和を願う祈りの内容であったりしたことと思われる。それ

故、R I 会長の個性が表現されることになって、年度を追ってこのテーマを通覧すると実に多彩であることに気付く。その裏をかえせば一貫性がないとも言えるのだが、多くのロータリアンはそうして発表されるテーマに新たな感動を覚えながら、新しい年度の活動指針としてこれを歓迎してきたのだった。

そして2004～2005年の創立100周年の記念すべき年には「ロータリーを祝おう」という、過去のテーマとはいささか趣を異にする言葉であった。これはロータリー100年の奉仕活動において、先人が人類に捧げた献身的な業績を賛美するものであった。100周年という大切な節目の時でもありこれも納得できるテーマであったが、一般ロータリアンの中には必ずしも心底からこの事を喜べないと思う方々もおられたのではないかと危惧していた。それは一世紀に亘る奉仕の輝かしい実績とは裏腹に、ロータリーの成長に好ましからざる現象が出没していることを知っているからである。厳しい自省の上で固唾を飲んで次年度のテーマを待っていたのは私ひとりではあるまい。

そして、終に次年度R I 会長カール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏によってR I テーマが開示された。「超我の奉仕」(Service above self)である。スウェーデン、イエーテボリRCに所属する彼によって提唱されたこのテーマに対して、多くのロータリアンの中には驚きと感嘆の声を上げた方々もおられたことであろう。彼の言葉を借りてこのテーマが出現した経緯を説明するならば、「何年にも亘り、R I の年次テーマの必要性について討議され、



私は不必要との見解を取ってきた。完璧なテーマ「超我の奉仕」があるからだ。従って、奉仕の新世紀へのスタートはこれに決定することに躊躇はなかった。私は継続性を好む。このテーマは私達の原点への回帰である」と。

ロータリー100年の歴史の中で、すでに多くの識者が看破している如く、余りにも肥大化し、資金力に物を言わせて巨大プロジェクトの推進に突き進んで来た軌道に修正を加える事の必要性を唱えておられるのではないか。

私自身、ガバナーを拝命した直後の所信表明の中で、ロータリアンは専門職業人として

自己の職業を通じて地域社会を利用する職業奉仕に今一度回帰しなければならないことを訴えたばかりであって、同じ思想、信条に基づき、新世紀の舵取りをされるR I 会長の熱意に大きな期待を抱いているところである。

さて、新年度のR Iテーマは「超我の奉仕」と決まった。ステンハマーR I会長の奉仕活動に対する厳しい態度を我々ロータリアンは真摯に受け止め、ロータリー100年の余韻に浸ることなく、ロータリーの新しい世紀に向かって共に歩調を合わせましょう。

第11回全日本ロータリークラブ 親睦合唱祭のご案内

大会会長 栗 林 英 雄

標記の合唱祭が5月28日長崎ブリックホールに於いて開催される運びとなりました。親睦合唱祭は、ロータリアン及びその家族で構成されたコーラスグループが全国より集まり、日頃の練習の成果を披露し、さらにお互いの親睦を深めるために全国各地で開かれています。

今回は当地区で下記のように開催いたしますので、ご案内申し上げます。

長崎市内9ロータリークラブで作られた男声合唱団「ハミングバーズ」は、結成8年目になり、本大会のために熱心に準備してこられました。

ロータリー100周年にあたり、全国よりロータリアンが一堂に会して熱唱され交流されることで親睦と友情の深まりは強まるものと思います。

2740地区の皆さんの多数のご参加を期待いたします。

期日：2005年5月28日(土)

場所：長崎ブリックホール

12:30～ 開 会

13:00～17:00 合唱祭

ハミングバーズ出番は第1番目です。



シリーズ③

輪を広げるロータリー

The First Rotarianより転載

1910年に常設の事務局が開設されたことによって、ハリスが5年間一人で背負ってきた仕事の大半は他の会員によって担当されることになった。それは長く、骨の折れる、時には身をすり減らすほど心労の多い仕事で、ハリスですら頭痛ばかりでなく、心痛とも戦わねばならなかった。しかし、全体としてみればロータリーは着実な進展をしてきた。振り子はハズミが付きはじめていた。

ハリス自身、どうしようもなく疲れ果ててしまった時期が一度ならずあったと認めている。ロータリーを創立し、発展させていく仕事のかたわら、彼はどんどんふえる法律事務所の仕事の処理にも追われ、また、いまや彼には妻があり家庭づくりに気を配る責任があった。ペリーのような信頼できる会員に、管理責任を譲る時期が近いことをハリスは悟っていたが、同時に自分にしか達成できない重要な目標があることもわかっていた。

例えば、彼にはまだ彼自身のクラブの中に残っている「うるさ型」を味方にひき入れる仕事があった。ロータリーとその将来に対するハリスの考え方は、これらの会員よりずっと進んでいたし、サンフランシスコ、ニューヨーク、ロサンゼルス、その他の地域でクラブが新設されたにもかかわらず、彼らは依然拡大策に反対していた。いずれロータリーは外国にも創設されるだろうとハリスは予言したが、「うるさ型」達はまだ信用していなかった。なるほどロータリーは1910年、カナダにロータリー・クラブが誕生したことによって国際的な運動になったものの、これはむしろ偶然の結果で、とにかく運動は相変わらず、北米大陸に限られていた。

いまやハリスは、さらに根本的な前進策を提案しようとしていた。それは海外にロータリー・クラブを設立することであった。彼は強烈な反対に遭うことは覚悟していた。

1910年から1911年までの2年間、彼はペリーと、ロータリーを海外へ拡大するための計画を練った。ハリスにとって第一の目標は当然イギリスであり、その首都ロンドンが目標に選ばれたのは自然の成行きであった。今度もまた、例の歴史を書きかえる運命のきまぐれが起こった。「スーパー・セールスマン」の異名をもつ、シカゴ・ロータリー・クラブの会員アーサー・シェルドンが、ロンドンにいる代理人に会いにイギリスへ渡ることになっていた。やはりロータリー会員であるボストンのハーベイ・C・ウィーラー (Harvey C. Wheeler) もイギリスに取引先をもっていたので、援助を約束してくれた。

シェルドンは1911年の始めにロンドンに到着した。彼の代理人のE・セイア・スミス (E. Sayer Smith) を説得して、当時やはりロンドンにいたハーベイ・ウィーラーと協力してクラブを創設させるのに何の造作もなかった。第1回の会合は1911年の8月3日に開かれ、ウィーラーが初代会長に選ばれた。しかしその年の終わりには彼はアメリカに戻らねばならず、1912年の元旦、カナダ人のアーサー・ビゲロー (Arthur Bigelow) が2代目の会長に就任した。当然のことながら、ハリスとペリーの意気は上がっていた。2人は直ちにシェルドンとスミスをマンチェスターへ送って、ロンドンの成功を再現させようとした。しかし2人がハリスの指令を実行するひまもないうちに、ハリスは新しいクラブがアイルラン



ドのダブリンにできたという知らせに驚かされたのである。

1885年に、ダブリンからの1人の移民がカリフォルニアにやってきて、1908年にサンフランシスコ・クラブの会員になったことを、ハリスとペリーは知らなかった。その男はスチュアート・モロー (Stuart Morrow) といって、1910年にダブリンに戻った時、彼はロータリーの理念はもちろんのこと、加えて大いに儲けるチャンスを身につけて帰ったのである。

1911年の2月22日、ダブリン・ロータリー・クラブが正式決議によって創立され、モロー自身が初代幹事 (Organizing Secretary) になった。1カ月後、会長、幹事、会計の役員選挙が行われた時も、モローはこの役柄を続けた。

1911年の7月には、モローはベルファストに移動し、そこでウィリアム・ウォレス (William Wallace) を会長として、ベルファスト・ロータリー・クラブの発会式にこぎつけた。この発会式は7月24日、ロンドンのロータリー・クラブが成立する、ちょうど10日前であった。たとえハリスが、海外で最初のロータリー・クラブの設立がロンドンでなくてがっかりしたとしても、それは表には表れなかった。それどころか、彼とペリーは直ちにモローの業績を認め、彼と連絡をとって、活動を続けることを承認した。1912年の春には、モローはグラスゴーに現われ、またたく間にクラブを組織した。数カ月後、今度はハリス夫人の故郷のエジンバラに現われ、9月にはR・W・ペントランド (R. W. Pentland) を初代会長として、エジンバラ・ロータリー・クラブを設立し、続いて1913年にはリバプールとバーミンガムにクラブを設立したのである。

このようにしてイギリスにできた最初の8つのロータリー・クラブの中で、モローの手になるものが6クラブ、スミスとシェルドンが中心になって設立したのがロンドンとマンチェスターの2クラブであった。

ロータリーの初期の運動史上、モローがず

ばぬけた異材の1人であったことは疑いない。彼の動機が何であったかは疑問の余地があるにしても、彼はロータリーをイギリスに導入するにあたって、大いなる貢献をしたのである。要するに彼は雇われの組織者だった。彼の仕事というのは、新しいクラブを始動させ、そして入会金か会費の一部を貰うか、自分の作ったクラブに新会員を入れるかだった。1914年には彼はロンドンに現われて、雇われの組織者として旗揚げし、ロンドン・ロータリー・クラブに彼が勧誘した新会員1人あたり1ポンドを受け取ったのである。これ以後、彼はいささかからかい気味に、「頭一つ1ポンド野郎」 ('Old Pound a Nob') として知られるようになった。

しかしそのあとすぐに、彼はロンドン・ロータリー・クラブの理事会と衝突し、彼の新会員獲得活動は停止した。この頃にはすでに第一次世界大戦が勃発していたが、モローは何とか策を講じてアメリカ行きの船に乗船したのである。そして10年後、再び彼がロンドンに現われた時は、今度はロータリー会員ではなく、なんとアメリカのソロプティミスト・クラブ (Soroptimist Club) の創始者の肩書をつけていたのである。



P E T S 報告

国際ロータリー第2740地区

実行委員長 富田 菊夫 (唐津西RC)

2005～2006年度クラブ会長エレクト研修セミナーが3月27日(日)、唐津シーサイドホテルで開催された。

本城好春ガバナーエレクトはアメリカ・アナハイムの国際協議会GETSの様子を、プロジェクターを使って報告を行った。

ロータリーは僅か4名からスタートし、100年間で全世界166カ国、32,000のクラブ、120万人の会員を擁するまでに急速な発展を遂げた。

肥大した組織の歪みも出始め、101年のこの年に原点に戻り、ロータリーを見直そうというのが、2005～2006年度RI会長エレクト カール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏(スウェーデン)の理念です。

国際協議会の大会場に新しいテーマ「SERVICE Above Self(超我の奉仕)」のバナーが上がったときは、会場全体からワーンという驚きの声が上がった。

1911年採択されたこのテーマは、1905年から僅か6年目であり、以来95年間、ロータリー運動の根底になってきた。

ロータリーは何ですかと問われたとき、最も簡潔な答えはこの5文字の標語です。

その心はと問われたときは、難しい解釈をせず、「人への思いやり」と答えてくださいというのが、1週間のアナハイムの答えです。

全世界の会員から選出された550名のガバナーエレクトには、女性が66名いた。

奥さんがガバナーエレクト、ご主人がその配偶者として同席しているという、極めて珍しい出来事も目にしました。

また今回初めて、ガバナーエレクト全員がカジュアルウェアに着替え、直接奉仕活動を行うプログラムも開催された。

ロータリーにとっても貴方にとっても、素晴らしい1年になるように祈ります。





第1・2グループ IM開催報告

実行委員長
栗原 俊 充
(牛津RC)



R I 第2740地区、第1・2グループ、インターシティミーティングは3月12日マリトピアにて開催いたしました。

第1・2グループガバナー補佐の方針に従いましてIMとロータリー100周年記念事業に着手いたしました所、ホストクラブを含みます10RCの皆様にご賛同を頂き、厚く御礼申し上げます。

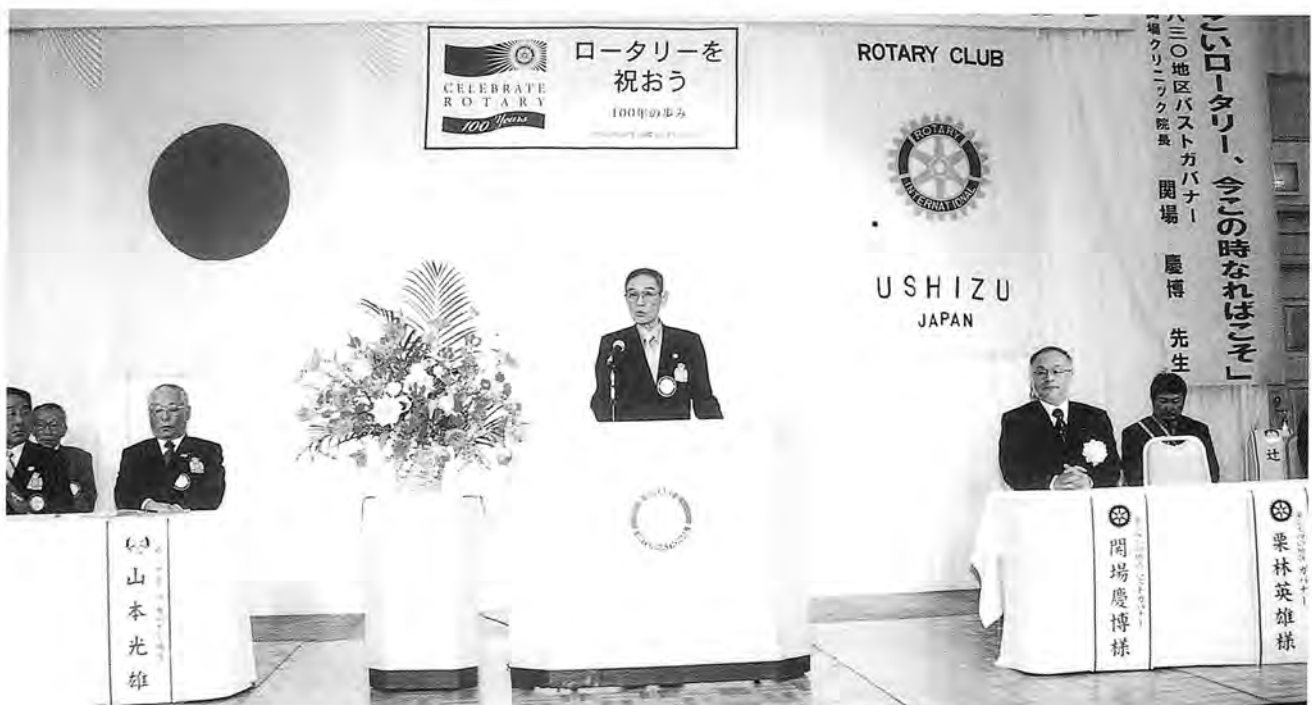
IMのテーマは「原点に戻ろう そして未来へ」と掲げました。組織から選ばれた各企業のリーダーとして道徳的水準を高め友情を更に深めるロータリー活動、今日のIMがロータリアンにとって有意義な一日であった事と存じます。

IM基調講演は「どっこいロータリー、今この時なればこそ」のテーマで、第2830地区弘前ロータリークラブの関場慶博パストガバナーの講演でした。

「100周年を祝おう」では中原三枝様に「輝く自分の演出法」のテーマで講演して頂きました。

記念すべき100周年の年に、改めて会員同士の交流、親睦を深め、ロータリー100周年の歴史の重みと原点に学ぶ感動を充分に感じてもらった事と思います。

最後に牛津RCを除く9RCの出席登録をお願いいたしましたところ、沢山の登録を頂きホストクラブと致しましては身に余る光栄と心より感謝申し上げます、又、コ・ホストクラブの佐賀南RCの皆様に多大の御協力を頂き、深く感謝申し上げます。





国際ロータリー第2740地区

第3グループ

I M 開催報告

実行委員長

岡 部 景 光

(有田RC)



3月26日(土) 西有田町の炎の博記念堂にて第3グループのIMを、高原ガバナー補佐を中心に、有田クラブがホストして行いました。

今回のIMは国際ロータリー100周年事業として、佐賀県大和町出身、前内閣官房副長官・古川貞二郎氏をお招きして、演題「これからの日本の課題」の講演会でした。地区大会にも匹敵する人物の講演とあって、一人でも多くの人達に聞いてもらう為一般公開し有田、西有田、山内の各町の広報や佐賀新聞で案内し、ガバナー月信にも載せてもらいました。

栗林ガバナー、杉原地区幹事、牟田パストガバナー、草場パストガバナーを初めグループ外のロータリアン出席を含めてロータリーの出席160人。初めの30分で会員のみの開会式典を行い、その後第3グループ域内の市長、町長、一般の方々が入場し、会員と合わせて300人以上となりました。

総理官邸勤務8年7カ月、5人の首相に仕えての最長不倒期間勤務を成し遂げられてのキャリアですから、どんな話が聞けるのかみんな胸わくわくでした。

「自分の人生の原点は故郷・家族にある」と言われ、政策決定では原点を念頭に置いてだった。貧しい農家に生まれ毎朝市場にリヤカーで野菜を運んでから、高校に登校していた。ある日市場で自転車を盗まれ、ボロ自転車だったが通学の手段だったのでひどくがっかりしていたら、母に「盗まれただけで、怪我しなくてよかったね」と言われ、勇気が出た。故郷、家族、家庭は温かく育んでくれました。

「他人のために自分は何をしてやれるか」とも語られ、ロータリーの「超我の精神」と同じで深く感銘を受けました。

講演の最後の方で「権限と責任」について、最近は権限と責任が解離していて、その結果言葉が軽くなっていると、嘆かれておりました。

行政に携わっている人以外は、古川貞二郎氏をほとんど知らなかったのですが、今回会ってみてすごく親しみを感じる、温かくて懐深い人でした。

1時間半の講演は短くて惜しみ、懇親会では各クラブ毎に古川氏を囲んで記念写真を撮りました。また今回のIMに合わせて佐賀新聞社が出版を早められた氏の「霞が関・半生記」の本を第3グループ会員全員に配布しました。

最後にIMが大成功に終わりましたことを、皆様に感謝申し上げます。

※講演内容をご希望の方には差し上げます。有田クラブにご連絡下さい。





唐津東RC40周年記念行事を終えて

唐津東RC会長 丸山 茂夫

2月12日(土) ご多忙の中、国際ロータリー第2740地区栗林ガバナーをはじめ、沢山の地区の皆様方の参加を頂きました。1965年1月26日、唐津RCをスポンサーとして創立され、40周年の間、延べ194名の会員、親睦と融和をモットーに今日に至っています。記念事業として、唐津駅の広場に時計を寄贈いたしました。40年をひとつの通過点として、唐津東RCを築き上げてこられた、諸先輩に深甚なる敬意を表すとともに、この意思を受け継ぎ、今後とも邁進する所存でございます。



諫早西RC20周年記念行事を終えて

諫早西RC会長 平 武

私共、諫早西ロータリークラブは、2005年3月5日で創立20周年を迎えました。

RI 100周年のこの年に20周年を迎えることが出来た事に、会員一同大きな喜びを感じながら去る4月10日、栗林ガバナー、瀬頭事務局長、第8グループ会長、幹事、そして姉妹クラブ「本渡中央RC」にご出席を頂き、創立20周年式典を行いました。

今回は20周年を「全員で祝おう」というコンセプトを基に、式典、祝宴の企画を致しましたので、特に会員夫人の出席をお願いし会員夫人45名中35名の出席があり楽しい式典、祝宴をすることが出来ました。

記念事業は

1. 諫早市「緑の基本計画」に賛同し、久留米つつじ60本寄贈
2. 識字率向上の為に、ネパールの山奥に作った「シパ・シャクティ」小学校の運営基金として、US \$ 1000を寄贈

記念講演は

ととろの里で有名な、宇目町「観光大使」天野 大和さんに「棚からぼた餅的発想」という演題で、楽しいお話を聞かせて頂きました。





大村RC45周年記念行事を終えて

大村RC会長 石坂和彦

国際ロータリー100周年にあたる本年、私ども大村ロータリークラブは、創立45周年の記念行事を執り行いました。

「生きる—これから」を周年のみならず、人生のテーマとして捉え、各記念行事を企画し、開催致しました。

記念行事として、94歳の今も医師として現役で活躍される日野原重明先生の記念講演、並びに、同先生と大村少年合唱団とのコラボレーションによるコンサート、大村市立図書館への日野原重明文庫の寄贈、また、国指定名勝旧円融寺庭園への案内図陶板、並びに、御影石作りのベンチ2基の寄贈を致しました。

「生きる—これから」をテーマにした日野原先生の講演は、沢山の市民の方々から大きな反響があり、会員のみなさん、多くの市民の方々にとりましても、これからの生き方を考える大きな契機になったのではないかと、手ごたえを感じております。

会員が一体となって、明るく、和気藹々と力を出し合い、また、沢山のすばらしい方々との出会いや、ご指導、お力添えを受け、大きな節目の年を無事越えることが出来ました。

これらのことを通して、私ども大村ロータリークラブにさらなるエネルギーが生じたと確信致しております。

各クラブ会員の皆様方、本当にお世話になりました。ありがとうございました。



100周年記念事業

長崎街道大村路 CD-ROM作成しました

大村北ロータリークラブ
会長 福谷 健吉

大村北ロータリークラブ地域発展委員会では、社会奉仕の文化保存活動として今まで様々な活動を行ってまいりました。平成15年の楠本正隆屋敷のひなまつり見学会や、平成16年は長崎街道大村路についての卓話を大村史談会にお願いしました。残念ながら、長崎街道やその周辺の文化財に対する市民の認知度の低さを知り、また長崎県教育委員会のアンケート調査でもそのことが伺えました。よって大村北ロータリークラブでは、街道を現代に生かすためには、市



民の関心を高め、その知識を深めることが先決で、その普及に協力することが地域の発展に繋がると確信し、長崎県文化財調査報告154集「長崎街道大村路」を参考にCD-ROMを作成しましたのでご紹介いたします。



長崎国際大学ローターアクトクラブ設立例会

佐世保ロータリークラブ

ローターアクト委員会

副委員長 新 穂 博 文

ロータリー100周年記念事業として、地区内では初めてとなる大学生を主体とする、長崎国際大学ローターアクトクラブ（財津万理会長、会員17名）の創立例会を世界アクトデーの3月13日(日)に、安部直樹パストガバナー、山口修二ローターアクト地区委員長、ローターアクト地区代表事務局をはじめ近隣ローターアクトクラブメンバー、提唱ロータリークラブ安福鴻之助会長他メンバーの皆さんを迎えて大学内にて行いました。

ご来賓の皆様より、期待を込めたご挨拶を頂いた後定款、細則、クラブ名称の審議を行い、異議なく承認されました。それを受けて財津会長がメンバーの紹介そして決意表明を行い無事に終了致しました。

その後、大学の茶室にて茶道部の皆さんにお茶を点ていただき、美味しくいただきました。

佐世保クラブとしては二つ目のローターアクトクラブの提唱となり、大学生らしく、大学生ならではの発想と行動力で奉仕活動を期待したいと思います。

佐世保ローターアクトクラブのメンバーには、先輩クラブとして勉強会や受付のお手伝いをいただき大変助かりました。

5月29日(日)には認証状伝達式（チャーターナイト）を予定しており、多数のご参加を心よりお待ちしております。





「2004年度 米山奨学生終了式・歓送会」 報告

米山記念奨学委員会

委員長 前田 博 憲

去る3月6日、長崎市のホテルニュー長崎において、2004年度地区米山奨学生の「終了式・歓送会」が開催され、隅田米山奨学会理事を始め、栗林ガバナー、各グループのガバナー補佐、地区役員の方々のご出席を頂き、大変和やかな内に終了致しました。

会の最後の奨学生によるスピーチでは、今後の進路は、母国へ帰って実社会で活躍を期する者、日本の大学に残って研究を続けていく者、日本・母国を限らず将来の自分の夢を実現できる就職先を探す者と様々ですが、これまで地区ロータリアンから受けた種々の支援に対して感謝をし、米山奨学事業の有意性に感動を受けた旨を素直に発言していたことが印象的でした。

次年度は地区で15名（新規10名・継続5名）の学生達が既に決定し、それぞれの世話クラブ・カウンセラーの選出も終わり、5月のオリエンテーションを待つばかりの状況です。

地区ロータリアンの皆様には引き続き米山奨学事業に対し、ご支援ご協力をお願い申し上げます。





**GSE Final Report
District 6290 (USA/Canada)
To
District 2740 (Japan)**

Prepared by: James E. Morse, Team Leader

The District 6290 Team visited Kyushu Japan from October 21st through November 21st, 2004. The team included me, a Superintendent of Schools in East Grand Rapids, Michigan; Amy Arntson, History teacher at the Interlochen Arts Academy in Interlochen, Michigan; Aaron Gill a civil engineer from Grand Rapids, Michigan; Emily Meyerson a City Planner from Petoskey, Michigan; and our Canadian Davey Taylor a manager and personal trainer for a fitness organization from Sault Saint Marie, Ontario.

Our team spent three weekends together learning some language, learning about Japan and preparing our presentations for our hosts. We developed a brochure in Japanese and English, business cards and presentations that would show our personal lives and occupations as well as District 6290 in Michigan and Canada.

I had several communications with Kasey Honda, the Chair of the Japan District 2740 GSE Team. The Japanese team was very well organized, had very specific schedules and was very hospitable. There was always a team of four or five Rotarians to greet us, stay with us through our travels and take us to the next Rotary club. We made 27 presentations at Rotary functions and clubs anywhere from five minutes to thirty minutes. Our team was very flexible, tried all of the food, attended many tea ceremonies, visited temples, had eight home stays and enjoyed the wonderful Japanese food. We were able to meet and talk with Japanese Rotarians as well as educators, business leaders and families.

The highlight for me was in our home stays when I was able to talk with a family and share pictures of my family, my school district and our Rotary club and district. The families were very friendly and were very interested in our American culture.

We visited with Governors, Mayors, and Rotary Presidents and learned much about Japanese culture, education, business, festivals and celebrations. We took many pictures and our team is making presentations individually and in small groups to other Rotary clubs, schools, PTA's and local organizations.

In our 27 Rotary presentations, we were always honored guests; we entered the Rotary club meeting with applause and were honored in every respect. They appreciated our simple tries at the Japanese language and provided interpreters for us at every meeting. We found that pictures said a lot and they enjoyed pictures of our homes, our families, our businesses and schools. They also enjoyed the recreational activities, scenery and other information about Michigan and Canada.

As I visited the educational institutions, I had a sense of great respect for the family and the importance of honoring the family and the institutions. The students were very respectful at the schools and seemed to very serious about their education. The schools are very homogeneous and one very seldom saw other nationalities in the schools. The teachers and administrators were dedicated and the schools were well run with students and staff members helping to clean the schools in the afternoon.

An important highlight of our visit was to the atomic bomb museum in Nagasaki, which was a very moving experience. However, we did not detect any bitterness but strong desire to promote peace throughout the world. In fact, every time we took pictures of students, they would always give us the peace sign.

In summary, we had an excellent team who were well prepared for the visit, were good representatives of Michigan and Canada, Rotary International, our District 6290 and of the United States and Canada. We are looking forward to assisting in receiving the Japanese team coming in September of 2005 and will do our best to be as hospitable to them as they were to us. A special thanks to Rotary International, our District Governor, David Seabrook, our District Chair, Jeff Hickman and our various Rotary clubs for sponsoring us and supporting us throughout our exchange program. I feel more strongly than ever that these exchange programs provided by the Rotary Foundation are an important part of learning about all other cultures, sharing common interests in peace and global understanding. It was an experience of a lifetime.



G S E レポート

団長 ジェイムス・モース

ミシガン州第6290地区より、団長で、ロータリアン、学校長のジェイムス・モース、私立学校の歴史教師のエイミー・アーンツセン、都市工学エンジニアのアーロン・ジル、都市計画プランナーのエミリー・メイヤソン、カナダ、オンタリオ州のフィットネストレーナー、デビィー・ティラー一行5人が2004年10月21日～11月21日九州の第2740地区をお訪ねしました。

チームは来日前3週間ほど、毎週末ごとに集まり、日本のことを学んだり日本語をなったり、自己紹介プレゼンテーションの準備をし、日・英併記のパンフレット作成、名刺の作成をして来日にそなえました。

私は、日本の受け入れ側の第2740地区の本田圭助G S E委員長となんとかメールのやりとりをし、日本側では、綿密で心温まる計画をたてていただきました。各地区グループ毎に絶えず、4～5人のロータリアンの方々がお世話くださり、次のグループへと引き継いでくださいました。27クラブで5分～30分の発表の時間をいただきました。チームのメンバーは果敢にいろいろな食べ物に挑戦し、お茶会に出席し、寺院を訪れ、8回のホームステイを経験しました。各地で、ロータリアンの方々、そのご家族、教育者、各界のリーダーにお目にかかり、お話をする機会を得ました。

殊に、ホームステイでは、家族の写真をおみせしたり、学校やロータリークラブの紹介をし、皆様とても、興味をもってアメリカの文化に接していただけたことはうれしい限りでした。

佐賀・長崎の県知事、各市長、ロータリークラブ会長を訪問し、日本の文化、教育、事業、祭りなどを学びました。沢山の写真をもっていき、メンバーそれぞれがロータリークラブや学校、PTAなど各地で発表の機会をもちました。

27のロータリークラブではどこも、丁重にお迎えいただきました。住まい、家族、仕事場、ミシガン州やカナダの紹介に沢山の写真を用意していきましたが、写真は説得力がありとても喜んでいただきました。

私は教育機関を視察しましたが、家族を敬い、家族や学校に誇りをもつことの重要性を感じました。生徒たちは学校でとても、まじめに教育を受けているように思いました。殆どの学校は、日本人のみで外国人の姿をみかけることはめったにありませんでした。先生方も熱心に教育にあたっておられ、放課後、生徒たちが学校の清掃を手伝っていました。

長崎の原爆資料館をおとずれ、つらい思いをしましたが、悲しみよりも、世界平和を願う気持ちを強く持ちました。実際、私たちが学生たちにカメラをむけると、いつもピースサインをしてくれました。

チームのみんなは充分準備をかさね、ミシガンとカナダの第6290地区代表として立派に任務を果たしてくれました。この秋に日本からのチームを迎える際、お手伝いできるのを楽しみにしています。私共にしていただいたお返しができるようお迎えしたいと思います。国際ロータリー、ディビッド・シーブルックガバナー、ジェフ・シーブルックG S E委員長はじめ、このG S Eプログラムを支えてくださった各ロータリークラブの皆様にお礼を申し上げたいと思います。以前にも増して、ロータリー財団のこの交換プログラムが異文化に出会い、世界規模で平和を共有するために果たす重要性を感じております。



My GSE trip was truly an experience I will never forget. Since my return home, I have spent countless hours telling friends, family, and co-workers sharing stories of my time in District 2740. Trying my best to share as much of the wonderful Japanese culture as I possibly can. As I was never truly able to express my thanks to my Japanese hosts for their warm welcome I will never truly be able to thank Rotary International for allowing me to participate in such an amazing program!

Group Study Exchange 2004 District 6290/2740

When I first learned about the Rotary Group Study Exchange program I knew very little about the Rotary Club. After researching Rotary and the GSE program I recognized that becoming a GSE team member was perfect for me. I have always had a strong interest in learning about other cultures, both personally and professionally. As a result of my research and my cultural interests I had very high expectations of what the GSE experience could be. Having completed my month long GSE I can say the trip was so much more than I ever imagined.

Our Japanese hosts were wonderful in every aspect of the word. Even before we arrived it was obvious that District 2740 spent a substantial amount of time planning our month long stay. The vocational days, Rotary lunches/presentations, and free time were all arranged with much consideration for our interests. As a Civil Engineer I work on a wide variety of projects in my everyday life. I was amazed at the variety of projects that I was shown in Japan. District 2740 exposed me to many different aspects of my profession while there. I was taken to both private and public construction projects. I had a chance to interact with Civil Engineers, City Planners, Construction Managers, and Architects, each having a unique influence on my profession. Each time I made a vocational visit I was warmly received by my professional counterparts who seemed just as interested in how I spent a workday as I was in how they spent theirs.

Our remaining days were filled with visits to a wide variety of locations. Just some of the places we visited include a shipyard, nuclear power plant, museums, shrines, schools, government offices, Castles, incinerator plant, and Sake factories! The wide range of places we toured helped develop our understanding of the Japanese culture. Our daily trips taught us about things such as Buddhism, History, Geography, Rotary International, Cuisine, and of course Sake. Although we rarely got a full night sleep our days were always so interesting we never had time to be tired.

Even though our days were filled with fun and interesting adventures the day's highlight often came each night during "family time". Every host family I stayed with was great. I stayed in a wide variety of homes and with a wide variety of families. The common thread between all of my home stays was the welcome I was shown. Every household I called "home" opened their house, hearts, and minds and asked me to be a member of their family for the brief time I was with them. Each went out of their way and gave large parts of their day to taxi me around, feed me, and be sure I was enjoying my stay. The home stay was such a wonderful way to truly learn about another culture. By far, the toughest part of the trip was saying goodbye as we would move to a new city. Although some home stays were longer than others I never felt like I had enough time with my hosts. My only regret of the experience was not being able to truly thank my hosts for the amazing warmth they showed me. You can say "Domo Arigato Gozimasu" a thousand times but, in part due to the language barrier, you can never really say "thank you".



GSEに参加して

アーロン ギル

私にとってGSEは生涯忘れられない体験となりました。国にもどってからは、第2740地区で経験した様々な事柄を友人、家族、同僚に幾度となく折に触れ吹聴し、すばらしい日本の文化をできるかぎり共有できるよう努めています。お世話になった日本の皆様になんと感謝してよいか、このすばらしいプログラムに参加させていただきました国際ロータリーになんと感謝してよいか言葉がみつかりません。

AARON GILL

ロータリーGSEプログラムのことを知った時、私はロータリークラブのことにに関して殆ど知識はありませんでした。が、ロータリーやGSEを調べていく内に私にとってGSEメンバーになるのはうってつけのプログラムだと思いました。個人的にも職業上でも、異文化に対してずっと興味をもっていたので、このGSEプログラムへの参加の期待が高まりました。

一カ月のプログラムを終えてみていえるのは、この旅は期待以上のものだったということです。私たちの日本のホストの方々はある意味ですばらしかったの一語につきます。

我々が到着するはるか前からびっしりとひと月の行動予定表が練られており、職業研修日、ロータリークラブでの例会、卓話、自由時間は我々それぞれの興味の対象にそって考えてくださっていました。

私は土木環境エンジニアとして日々、様々なプロジェクトに従事していますが、日本で紹介していただいたバラエティに富んだプロジェクトには驚かされました。第2740地区で、公共事業や民間の工事現場を視察し、現場監督、企画担当者、建築士など多くの方にお目にかかることができ、それぞれからユニークな影響をうけました。職業研修日には温かく対応していただき、お互い、どんな日常を送っているのか興味のつきないところでした。

職業研修日以外の日々も実に様々なところを訪問しました。造船所、原子力発電所、博物館、神社、学校、諸官庁、お城、ごみ処理場、お酒の醸造元！日本の文化—仏教・歴史・地理・国際ロータリー・グルメそしてもちろん日本酒・・・を知る上で大いに役立ちました。毎晩、遅くまで忙しかったのですが、興味はつきることなく疲れを感じないほどでした。

日中のアドベンチャーは楽しく、興味深いものでしたが、なんといっても、一日のハイライトは夜の“ファミリータイム”でした。私をお世話してくださったホストファミリーの方々に共通するのは歓待のこころ、家族の一員としてこころからうけいれただき、あちこちと連れて行っただき、ご馳走をしていただき、私がちゃんとエンジョイできるよう心配りをしてくださったことです。

ホームステイは異文化を知る上で本当にすばらしいことだと思います。一番つらいことといたら、次の町に移るのに、お別れをしなければならない時でした。ある家にはかなり長く泊めていただいたのですが、それでも、長居したとは感じることはありませんでした。

私が一番残念に思うことは言葉の壁があって、「Domo Arigato Gozaimasu」と何千回もいっても、こんなにお世話になった方々に本当の謝意“thank you”をあらわすことができなかったことです。



新・入・会・員・紹・介

ロータリーの新しい仲間になられました方々をご紹介します。



唐津RC
隅田 誠男 君



生月RC
南沢 茂 君



大村東RC
石田 賢二 君



大村東RC
石田 一美 君



大村東RC
中牟田 浩治 君



諫早南RC
松竹谷 政司 君



長崎中央RC
岡村 展成 君



長崎中央RC
松永 知彦 君

◆ 訃報

謹んでお別れいたします。

2005年3月16日逝去
(享年75才)

故 坪内 律國 君
(福江中央RC)



ガバナー事務所だより

* 第26回RYLA

日時：2005年5月8日(日) 11:00～受付
場所：九十九島観光ホテル

* 第4回諮問委員会

日時：2005年5月21日(土) 12:00～
場所：ホテルニュー長崎

* 米山奨学生オリエンテーション・ カウンセラー研修会

日時：2005年5月14日(土) 13:00～
場所：ウェルサンピア伊万里

* 5月よりロータリーレート 1ドル=108円

お詫びと訂正

ガバナー月信No10(4月号)15頁

クラブ100周年記念事業欄の

嬉野ロータリークラブは「35周年記念事業と兼ねて、ポリオプラス寄付のバザー」と紹介させていただきます。

お詫びして訂正申し上げます。



寄 付 者 紹 介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します

種 類	氏 名	クラブ名
P・H・F	吉 村 正	佐賀南 R C
	松 本 徳次郎	長崎 R C
	中 村 重 敏	長崎 R C
	安 達 健 蔵	長崎 R C
	入 江 良 明	長崎北 R C
	故 工 藤 英 一	長崎南 R C
マルチプル・P・H・F	山 口 信 義	唐津中央 R C
	大川内 克 俊	佐世保南 R C
	村 上 寅 雄	佐世保北 R C
	福 島 建 一	長崎北 R C
	佐 藤 豊	長崎琴海 R C
ポリオ・プラス	松 尾 栄之進	長崎北 R C
米山功労者	小野原 卓 嗣	長崎北 R C
	福 島 昭 弘	大町 R C
米山功労者（マルチプル）	池 田 保 明	佐世保西 R C
	福 島 建 一	長崎北 R C
	友 岡 純 一	長崎琴海 R C
	押 刈 禮 子	長崎出島 R C

2003—2004年度100%財団の友クラブ
長崎出島 R C





2005年3月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第1グループ	佐賀	4	85.5	75	0	75	0	0
	小城	5	96.0	36	1	34	1	-2
	牛津	4	87.5	32	1	32	0	0
	多久	5	85.3	41	4	41	4	0
	佐賀大和	4	69.0	26	3	25	3	-1
	小計		84.7	210	9	207	8	-3
第2グループ	佐賀西	3	81.3	54	0	52	0	-2
	佐賀北	4	82.4	42	3	40	3	-2
	佐賀南	4	86.6	40	0	39	0	-1
	神埼	4	76.0	29	0	27	0	-2
	佐賀空港	5	55.9	16	0	19	0	3
	小計		76.4	181	3	177	3	-4
第3グループ	有田	4	77.0	39	1	36	1	-3
	武雄	3	92.4	54	0	57	0	3
	鹿島	4	83.3	41	2	42	2	1
	嬉野	4	90.6	27	1	24	1	-3
	大町	4	73.0	28	0	26	0	-2
	白石	5	68.9	19	0	18	0	-1
	太良	5	65.5	12	0	11	0	-1
	小計		78.7	220	4	214	4	-6
第4グループ	唐津	4	90.4	51	0	53	0	2
	伊万里	5	98.1	42	0	42	0	0
	唐津東	4	89.0	54	0	53	0	-1
	唐津西	4	83.6	41	0	40	0	-1
	伊万里西	5	85.9	48	0	49	0	1
	唐津中央	4	85.5	42	4	42	4	0
	小計		88.7	278	4	279	4	1
第5グループ	佐世保	4	94.4	85	0	88	0	3
	平戸	4	76.2	43	0	42	0	-1
	佐世保西	4	95.5	38	1	37	1	-1
	北松浦	5	90.0	33	0	31	0	-2
	松浦	4	88.2	38	2	37	2	-1
	生月	5	70.5	22	2	23	2	1
	小計		85.8	259	5	258	5	-1
グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第6グループ	佐世保南	4	100.0	85	0	83	0	-2
	佐世保東	5	82.5	35	0	33	0	-2
	佐世保北	3	96.5	51	0	51	0	0
	佐世保中央	5	100.0	50	0	50	0	0
	佐世保東南	5	70.4	19	0	23	0	4
	HTB佐世保	5	77.3	28	4	28	3	0
	小計		87.8	268	4	268	3	0
第7グループ	大村	5	87.9	50	2	49	2	-1
	島原	5	81.9	40	3	37	3	-3
	雲仙	3	85.7	33	0	34	0	1
	大村北	5	100.0	33	0	33	0	0
	島原南	5	77.0	22	1	21	1	-1
	大村東	3	63.6	43	0	45	1	2
	小計		82.7	221	6	219	7	-2
第8グループ	諫早	4	88.3	69	0	66	0	-3
	諫早北	5	81.9	64	0	64	0	0
	諫早西	4	96.2	48	0	49	0	1
	諫早多良見	5	76.1	44	0	40	0	-4
	諫早南	3	68.5	33	3	31	3	-2
	小計		82.2	258	3	250	3	-8
	第9グループ	長崎	4	80.9	92	0	96	0
福江		4	95.1	44	0	39	0	-5
長崎北東		4	86.4	64	5	61	5	-3
福江中央		4	87.1	42	0	38	0	-4
長崎西		4	71.4	71	0	68	0	-3
長崎琴海		5	60.0	20	2	20	2	0
小計			80.2	333	7	322	7	-11
第10グループ	長崎北	3	74.1	79	0	76	0	-3
	長崎南	4	76.1	90	0	88	0	-2
	長崎東	3	98.7	77	0	79	0	2
	東長崎	4	83.1	39	0	39	0	0
	長崎中央	3	88.3	59	0	56	0	-3
	長崎出島	4	72.4	58	16	59	15	1
	小計		82.1	402	16	397	15	-5
合計			82.9	2,630	61	2,591	59	-39



文 庫 通 信 (211号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

☆ 新会員のための手引書 ☆

- ◎「新会員へのオリエンテーション」 D.2650 2004 25 p
[申込先： 瀧上勝夫 FAX (0779)87-2560]
- ◎「今さら人に聞けない…ロータリー情報マニュアル」 D.2650 2004 42 p
[申込先： 瀧上勝夫 FAX (0779)87-2560]
- ◎「ロータリーについて（新入会員懇話会教材）」 豊田R.C. 2004 41 p
[申込先： 豊田R.C. FAX (0565)32-5559]
- ◎「ロータリーの綱領とその変遷にみるロータリーの100年（その1～3）」
D.2660 2004 15 p (D.2660月信)
- ◎「英国のロータリー 米国のロータリー 日本のロータリー」 入江直祐
1981 8 p (D.257地区大会特別講演)
- ◎「世界理解を強調する月間に思う」 松宮 剛 2005 3 p (D.2780月信)
- ◎「ロータリーを生成発展させたもの」 中山義之 2005 1 p (D.2590月信)
[上記申込先：ロータリー文庫（コピー）]

ロータリー文庫

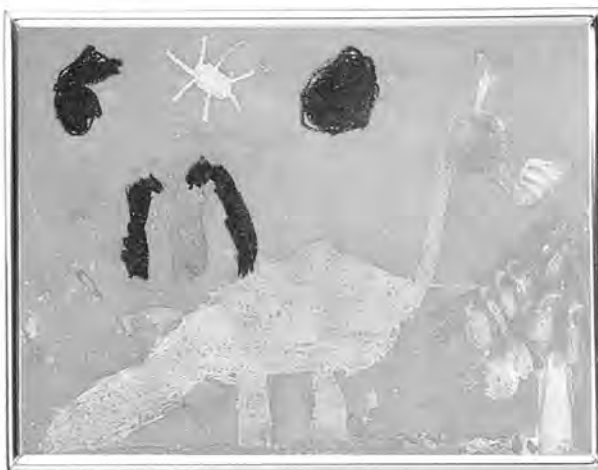
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

地区ホームページ <http://www.d2740.jp/> にて、ガバナー月信のバックナンバーをご覧いただけます。

諫早北RCでは、かつて西オーストラリアのピンジャラRCと子供達の絵画交換をしたことがあります。明るい彼等の絵をどうぞお楽しみ下さい。



第2740地区 バナー



佐世保東RC



佐世保北RC



佐世保中央RC



佐世保東南RC



HTB佐世保RC



大村RC



島原RC



雲仙RC



大村北RC



島原南RC



大村東RC



諫早RC



諫早北RC



諫早西RC

編集後記

鮮やかな新緑に彩られた山野、初夏の自然は生気に満ちています。わがロータリーの世界も年度の終わりに近く、やがて全ての顔ぶれが替ってゆきます。大自然の衣替えのように。多少の不安と大いなる希望をもって、新年度への船出の準備を致しましょう。われわれ月信編集委員の仕事も残り僅かになりました。



国際ロータリー第2740地区

2004～2005年度ガバナー

栗 林 英 雄

■事務所

〒854-0016 長崎県諫早市高城町5-10-302
TEL.0957-35-4890 FAX.0957-22-2808
E-mail:ri2740@ninus.ocn.ne.jp



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2005. 6
vol. 12

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2740地区 ガバナー月信

2004～05年度 ガバナー 栗林 英雄





Contents

●ガバナー所感	1
●国際ロータリー 第2740地区 2006～2007年度 ガバナーノミニ紹介	2
●ガバナー補佐退任挨拶	3
●地区委員長退任挨拶	9
●「会員増強と退会防止」(地区協議会補遺)	16
●第26回 R Y L A 報告	17
●ロータリーの使命あるところならどこへでも	18
●嬉野 R C 35周年記念行事を終えて	22
●「米山奨学生カウンセラー研修会」・ 「奨学生オリエンテーション」開催報告	22
●愛・地球博ロータリー館訪問 記念メーキャップカード紹介	23
●ガバナー事務所だより	23
●新入会員紹介	24
●寄付者紹介	25
●4月会員数・出席報告	26
●文庫通信	27

表紙の絵

「みどりの風そよぎ」

1969年長崎国体が開催された折、諫早陸上競技場はオープンした。その時、隣地に広大な芝生公園が整備され、以来諫早市民にとって良い憩いの場となっている。

休日は子連れの家族で賑わい、広々とした芝生の上を走りまわる子等の姿は、まるで風の精のようだ。

絵の提供 諫早北 R C 緒方 聖会員

**ガバナーからのメッセージ****ガバナー退任の挨拶
ー達成感と自戒の狭間にゆれてー**

第2740地区ガバナー 栗 林 英 雄

ようやく辿り着いたという感じがします。

ロータリー創立100周年に当たるこの記念すべき年度に、第2740地区のガバナーという重責を背負うことになり、「ロータリーを祝おう」というR Iのテーマの下にこの一年間を過ごして来ました。そして今、大方の任務も終わりに近く安堵しているところです。しかし、ここに到る道程において、地区幹事を始めとする地区役員の方々、10グループの10人のガバナー補佐の皆様、地区組織を構成する各委員会の委員長、委員の皆さんには大変お世話様になりました。更に各クラブの会長、幹事さん、その他本当に多くのロータリアン諸氏のご支援によりその責を全うすることが出来まして、心より感謝申し上げます。

ガバナーノミニの時代から数えると2年半に及ぶ実に長い重圧の時間で、その間の様々な出来事が走馬灯の如く脳裏を過ぎります。

先ずガバナーエレクト事務所の開設に始まり、事務所運営に不可欠の人材の登用、事務を円滑に遂行するためのOA機器の調達など、当諫早地区では全てが初体験のことばかりなので、地区幹事経験者のご意見を拝聴しつつ準備を進める日々が続きました。最も頭を痛める地区役員の人選についても、ガバナー補佐の皆様、各委員会の委員長及び委員各位にはご就任への快諾を得ましたことを何よりも有難く思っています。

私の人生で最初で最後の経験といえ、全世界からガバナーエレクトが召集されてアナハイムで開催される国際協議会出席のことでした。あの圧倒されるような雰囲気の中で、強行軍と比喻されるガバナーエレクトとしての研修は、容易に洗脳されぬと豪語していた私をすっかり別人に変えてしまいました。奇しくも、その研修中の様子が「友」の国際協

議会レポート（「友」VOL52、No 4、44頁）に写真入りで掲載されてしまったので、言い逃れもできない証拠となってしまいました。あの席上、感動に胸弾ませながら聴いたピチャイ・ラタクル元R I会長の基調講演（月信に6回シリーズで掲載済み）は終生忘れ難いものとなりました。それから帰国するや休む間もなく、地区チーム研修セミナー、P E T S、地区協議会と極めて重要な会議がつづき、R Iテーマや年間に努力すべき重点項目の伝達に多忙な時を費しました。

いよいよガバナー年度、公式訪問が始まり、暑い中でのスタートでした。当初の計画通り地区内58RCを全て訪問したいという私の願いを聞き入れて頂き、何とか無事に完了することが出来ました。私にとっては何よりの収穫であったし、時間の都合上夜の訪問への変更を余儀なくされたRCもありましたが、皆様からの温かい歓待を受けることになり、公式訪問の良き思い出として私の胸中に刻まれることになりました。いろいろな場面でご無理を申し上げたことを大変心苦しく反省しているところです。

ロータリーで最大の催しは地区大会でありましょう。2004年11月6日、7日の両日に諫早市で開催された本大会には土屋直裕R I会長代理がご来会になり、格調高い講演を拝聴することが出来ました。幸運にも、G S E受け入れの時期と重なり、ミシガン州とカナダにまたがる第6290地区から来日した団長とメンバーを大会の壇上で紹介し、日本における研修の一端を披露して頂くことができ何よりでした。

各地区で開催される本大会では、政治、経済、科学、文化等の分野で著名な方々に講演を依頼するのが一般的であります。私が日



頃、スポーツと青少年教育について関心を抱いているので、これに関連した内容の講演にこだわりました。その結果、佐賀、長崎両県の高校で全国レベルの活躍を果している運動部の監督さんの登場となったのです。私の期待通り、各種スポーツを通しての青少年の教育が技術面の強化に止まらず、若者の人間形成に大いに貢献していることが明らかにされました。大会2日目に行われた山本昌邦氏による「夢を追いかけて」と題する講演は、サッカー競技を通してサッカーに生きるという人生の目標を定め、一途にその夢に向かって努力することの素晴らしさを力説されましたが、会場に居合わせたサッカー少年等にも大きな感動を与えたに相違ありません。2日間共にスポーツ浸けの感じはありましたが、後日多くの方々から好評が寄せられ、主催者として大変嬉しく感じたことでした。

もうこれで全てが終りと思いきや、各RC

に巡ってくる周年行事、RACの年次大会、ゾーン研修会、IMの開催などガバナーの出席を要請される機会が相次ぎ、少しはロータリーの呪縛から解放されるかと期待していた私にとっては、気の抜けない日々が続きました。

しかし、ガバナーとして出席した様々な会合で身に余る歓待を受けたり、そこで新たな出会いもありました。もしこの役を辞退していたならば、恐らく体験しなかったであろう生涯忘れ得ぬ情景に接し、その折々に皆様より寄せられましたご芳情に対しまして心から感謝申し上げます。

さて、ガバナーの任期が終えた後は一人の平のロータリアンとして余生を送る積りでしたが、その後はパスト・ガバナーという肩書きが付いて回るらしく、私の望み通りには行かないようであります。それだけがどうしても悔やまれてなりません。

国際ロータリー 第2740地区 2006～2007年度 ガバナーノミニ紹介



田口 厚

生年月日 1932年9月22日生

住 所 〒850-0851 長崎市古川町7-9 ながさき循環器病院

学 歴

1963年 長崎大学医学部大学院修了
医学博士

職 歴

1963年 長崎大学講師
1968年 長崎労災病院整形外科部長
1973年 日本赤十字社長崎原爆病院部長・
副院長・院長(1998年)
2003年 社団法人 是真会病院理事長
2005年 同常任顧問

団体歴

長崎県医師会常任理事
厚生省原子爆弾被爆者医療審議会委員
日本整形外科学会功労会員
日本リウマチ学会 名誉会員

主なロータリー歴

1985年 長崎ロータリークラブ入会
1998～99年 第2740地区社会奉仕委員長
2003～04年 長崎ロータリークラブ会長
ポール・ハリス・フェロー(1回)
ベネファクター(1回)
米山功労者(7回)



ガバナー補佐退任挨拶



第1グループ ガバナー補佐

山 本 光 雄

(牛津RC)

ガバナー補佐の大任をお引き受けして、早くも1年の任期を終わろうとしております。ガバナー補佐研修会及び数回の補佐会談でガバナー補佐の任務の重大性を認識いたしました。私がガバナー補佐として各クラブを訪問させていただき緊張する私を温かい友情で迎えて頂きましたクラブ協議会では各クラブの会長・幹事ならびに会員の皆様のご協力を頂き役目をなんとか果すことが出来たことを思い出されます。

ガバナー公式訪問においては、栗林ガバナーは各クラブを精力的に訪問されクラブ会員と友情を深めていただき緊張感を感じつつ感激し全会員が一体となったと思います、栗林ガバナーに敬意を表します。栗林ガバナーの国際ロータリー100周年記念事業の一環としてGSE受け入れプログラムでは第1・第2グループで11月15日より佐賀県知事、佐賀市長表敬訪問で始まり各地を見学し職業研修とクラブ例会に出席、私も5日間一緒に同行させて頂きロータリーの皆様の温かい歓迎を頂きロータリーの素晴らしさを感じました。

ガバナー補佐として貴重な体験をさせて頂きました。また、多久ロータリークラブ20周年と佐賀南ロータリークラブ20周年記念式典が盛大に行われ両クラブのエネルギーを感じた素晴らしい式典でした。大変お世話になりました。

栗林ガバナーは「原点回帰」職業奉仕は地域にこそ奉仕の本質があると申されております。そこで、第1・第2グループ合同IMのテーマ「原点にもどろう・そして未来へ」栗林ガバナー、草場パストガバナー、杉原地区幹事のご臨席を得て基調講演のテーマ「どっこいロータリー今この時なればこそ」講師は関場慶博先生より格調高いお話を頂き素晴らしいIMが出来たと確信致しております。また、100周年ロータリーを祝おう第1・第2合同事業として企画と立案まで各クラブが役割を持ちご協力を頂き素晴らしい記念式典が出来、ロータリアンの皆様の友情と親睦をより一層深めていただけたと思っています。

振り返ってこの1年栗林ガバナーをはじめ、ガバナー補佐の皆様、地区幹事、多くのロータリアンとの素晴らしい出会いがあり多くの事を学ぶ事が出来ました。また、ロータリー100周年の年度にガバナー補佐を務めさせていただいた事は私にとって身に余る光栄であったと思います。私をこの1年ご支援いただいた各クラブの会長・幹事・会員各位の皆様の温かいご理解とご協力を頂き心より感謝とお礼を申し上げ退任の挨拶と致します。



第2グループ ガバナー補佐

吉 田 一 夫

(佐賀南RC)

’04～’05年度ガバナー補佐としての責務という緊張感から解放される時がやって参りました。

振り返ってみますと、就任当時の不安感から、今は貴重な体験学習を終えたという実感が湧いてきております。

各クラブ協議会への参加、栗林ガバナーの各クラブ公式訪問、GSE受入小委員会活動、100周年記念事業プログラム～IMの同時開催etc…ガバナー補佐としては、盛り沢山の年間プログ

ラムでしたが各クラブの会長・幹事の皆様、そして各企画委員の方々のプログラムに対する情熱と行動には深く感謝申し上げますところで御座います。

ただ、私自身、最後のプログラムのIM~100周年記念事業（3月12日）は緊急入院加療の為、参加できなくて、第1・第2グループのロータリークラブの皆様には、大変なご迷惑をお掛け致しましたことを深くお詫び申し上げます。

この1年間は本当に私にとっては、色々と貴重な体験学習をさせて戴きました。中でも沢山のロータリアンの人々との出会いがあり、沢山の人々とのふれ合いによって、人と人との和の大切さ、美しさを知りました。そしてロータリアンとしての基本理念でありますところの、思いやり、気配りの必要性を身を以て痛感いたしました。これ等すべて、ガバナー補佐としての貴重な体験となりました。

最後に、栗林英雄ガバナー・杉原幹事・ガバナー事務局の方々、各ロータリークラブの皆様の
ご理解とご協力により大過なくガバナー補佐の役割を終えることができますことを心から感謝申
上げまして、退任の挨拶とさせていただきます。



第3グループ ガバナー補佐

高原武彦

(有田 R C)



第3グループガバナー補佐のお役目を頂戴し戸惑いを感じながら研修会に出席してから約1年、各クラブのご協力と有田クラブの支援のもとになんとか自分なりに一生懸命走り廻った様な気がしております。7RCのクラブ協議会、ガバナー訪問及び7RCの会長・幹事と懇談会を通して、各地域に密着したロータリー活動の大切さを感じました。今年度はロータリー100周年に因んだ目標や行事が行われて参りました。第3グループでは太良クラブ創立10周年記念、嬉野クラブ35周年記念、鹿島クラブ国際交換留学生及び青少年との鹿島ガタリンピック交流会、IM等が100周年事業の一環として行われました。5月22日ガタリンピックでは「海と山」の自然に1日親しんで「今、地球が求めている事」を考えさせる会でした。久しぶりにロータリーの若い風に吹かれて、すがすがしい気持ちになりました。1年間補佐を務め素晴らしい出会いと多くのことを学ぶ事が出来ました。有難うございました。

ガバナーをはじめ地区委員の皆様並びにガバナー事務所の方々大変お疲れ様でした。

ロータリアンの今後のご活躍を心からお祈りいたします。



第4グループ ガバナー補佐

田代孝男

(唐津西 R.C.)



国際ロータリー創立100周年の記念年度にガバナー補佐の役はかえがたい体験でもあり、意義深い年度であるべきと心掛けつつ任期を終えます。顧みますと、ガバナー公式訪問前のクラブ協議会での会合では大変緊張しましたが、各クラブさん夫々に特長ある活動に内容があり意見を申し上げる余裕も無い程でした。第4グループのガバナー公式訪問を終えた時はもう半期を経過したような感覚でしたが、現実にかえれば又、地区にとっても大事な記念行事でもあったG S Eの行事が控えており、グループの実行委員長として大変気を揉みつつも、小委員会の委員を中心に各クラブの方々の協力で成功裡に終了することが出来た時は安堵と喜びを感じたものです。地区での行事では、栗林ガバナーが提唱されていた青少年問題をテーマとし



たプログラムが地区年次大会や佐世保南ロータリークラブのホストで行われました第4・5・6グループのIM中に強調され大変意義深い行事と感じました。

年度の下期は、次年度が第4グループから本城ガバナーエレクトの年度となる関係から、その行事への参加協力をお願いしながらの期間でしたが唐津東ロータリークラブの創立40周年の記念行事やIMそれに3月6日の米山奨学生終了式、歓送会等、出席する度にロータリー活動の奥の深さとその重みを感じると共に、それを実行されている地区役員の方々や関係ロータリアンの方々に頭の下がる思いが致しました。

兎も角もガバナー補佐としての役割は果たせなかったと自戒していますが、自分にとりましては、素晴らしい体験をさせて頂いた事に大変感謝しております。時代の変化と共にロータリー活動の難しさを感じつつもロータリーの発展を祈らずにはられません。

栗林ガバナーをはじめとして地区役員や当該クラブの会長幹事様、会員皆様に心からのお礼を申し上げ退任のご挨拶と致します。



第5グループ ガバナー補佐

佐藤 一男

(北松浦RC)

今年は、ロータリー創立100周年と、100年前日露戦争が戦われ日本海海戦で日本の勝利が決定的となった年です。そして戦後60年の記念すべき年でもあります。こういう時にガバナー補佐の任務を終えやれやれという気持ちと、忸怩たる思いが交錯して、今ほっとしています。

昨年7月佐世保西クラブを皮切りに9月まで、栗林ガバナーと第5グループを表敬訪問して、友好と親睦を深めました。

11月、諫早市で開かれた地区大会に3日間参加して前期の区切りをつけました。

後期は3つ程の活動をしました。第一に2月13日、佐世保南RCがホストとなりIMを佐世保市で実施しました。先ず栗林ガバナーが100周年を迎える挨拶、相良ガバナー補佐が第4・5・6グループ合同のIMを執り行いますと述べ、佐世保市教育委員長の近藤正人氏の名司会で幕を明けました。

佐世保市教育長はじめ、5名の市内の高校・中学校の先生方が、「教育現場からの報告」ということでパネルディスカッションが行われました。佐世保市内で発生した小中学校生徒の殺人事件を中心とした討論会が熱心に行われ、「子どもは親の背を見て育つ」という言葉で有意義な会となりました。

第2の会は、5月8日北松浦RCがホストとなり、第26回のRYLAを佐世保市内のホテルで執り行いました。25回までは1泊2日の行事でしたが、今回は1日で取り仕切ったので、危惧していましたが成功裡におさめることが出来ました。会場には第2740地区の会員とローターアクト、インターアクト280名が一堂に集まり、吉田俊道氏の「いのちいただきます」という「生ゴミ」の話に、集まった青少年100名も感動したのか、「生きる」という題で5班に分かれて最後まで熱心に討論していました。千玄室元RI理事の「礼」と「敬」が秩序をつくるという言葉で贈って会をしめました。

第3の会は、5月14日平戸市で行われた平戸RC、松浦RC、生月RC、北松浦RCの4RC合同例会でした。初めての試みでしたが盛会裡に夫々の特徴を活かした1時間30分の例会を持つことが出来ました。108名の集まりは年々会員の減少が厳しい折から良い催しであったと思っております。

こうして1年曲がりなりにも第5グループのガバナー補佐の任を終えることが出来ました。こ



れも偏に栗林ガバナーの指導力と杉原地区幹事、事務局の皆様の温かいご協力のおかげと感謝致しています。そして9名のガバナー補佐の皆さんの友情と、佐賀大和RC堤和之氏の28通に亘る「葉稔一日一言」のお便りが励みになりました。最後になりましたが、各クラブの会長、幹事、そして第2740地区の会員の皆様の温かいご協力に厚くお礼を申し上げ退任のあいさつと致します。



第6グループ ガバナー補佐

相 良 紘一郎

(佐世保南RC)

一昨年末にガバナー補佐の大役をお引き受けすることになり不安いっぱいの中、年が明け研修セミナー・PETS・地区協議会と準備のための勉強の半年、そして栗林ガバナーのご指導のもとガバナー補佐の方々との協力を得ながら、7月、1年間の新年度の始まりを迎えました。

7月早々に佐世保市内8ロータリークラブ合同でロータリー100周年記念委員会を立ち上げ、市内全小学校の5・6年生を対象にミュージックセラピストの池田千鶴子氏トーク&ハープ演奏による『命の尊さを考えるコンサート』を開催、これは時宜に合った良い企画であったと思います。8・9月は、第6グループ内のガバナー公式訪問・クラブ協議会訪問は緊張しながらも楽しいものでありました。すべてのクラブの会長幹事をはじめ会員の皆様からあたたかい歓迎を頂き、6クラブすべて無事に訪問することが出来ましたことを心から感謝申し上げます。

10月末から1週間、GSEプログラム（米国とカナダにまたがるRI6290地区）を当5・6グループでお世話して頂きました。地区委員の東島さん、小委員長で頑張って頂きました北クラブの小西さん、そしてGSE受け入れ小委員会に参画頂きました各クラブの会員の方々のご苦勞に對しまして感謝申し上げます。RI第2740地区地区大会にて、GSEの皆様を7・8グループに引き継ぐことができ、安堵した気持ちで2日間に及ぶ地区大会に参加できました。すばらしい大会でありましたし、なお一層の友情を深めることが出来ました。

第4・5・6グループ合同で、2月13日(日)インターシティ・ミーティング(IM)を開催致しました。今回は第6グループの担当年度でありましたし、私の在籍クラブであります佐世保南ロータリークラブにIM開催の協力をお願いしました。4カ月と短い期間ではあったのですが、近藤委員長・圓田事務局長等々がすばらしい企画力で実施概要も早々に作り上げ実行委員会全体会議を開催、第4・5グループの田代孝男・佐藤一男両ガバナー補佐にも協力頂きました。

テーマは『ロータリーは今、青少年に何が出来るか。』ホストクラブは、佐世保南ロータリークラブであります。今までとはひと味もふた味も違ったIMでした。皆様はいかがお感じになりましたでしょうか。多くの会員の方々に参加頂きましたこと、佐世保南ロータリークラブのIM実行委員会のスタッフの方々のご努力ご協力に心より感謝申し上げます。お蔭をもちましてガバナー補佐としての責務を果たせたことに安堵し、ただただ御礼申し上げるばかりでございます。

ロータリーにとって記念する年に、ガバナー補佐として人生の大きく重い1ページを記すことが出来ました。ご協力頂きました各クラブの会長・幹事そして会員の皆様に衷心より深く感謝申し上げます。ありがとうございました。





第7グループ ガバナー補佐

木 下 一 功

(大村RC)

ロータリー100周年という記念すべき年に、ガバナー補佐という大変貴重な経験をさせていただきましたことを、心より感謝申し上げます。

この1年間 第7グループの各ロータリークラブを訪問し、各々のクラブが独自性のある計画を練り、実行に移され、活気あるクラブ運営をされていることに敬意を表するものであります。そして身にあまる歓迎をしていただきましたことが大変嬉しく、心より御礼申し上げます。

栗林ガバナーは、事ある毎に、挨拶の中で「実質的なガバナーは、ガバナー補佐が務めています」とよく言われました。恐縮しながらも、いつも私を支えていただき、励まされている思いで、真剣に取り組むことができたと感じております。

GSEは100周年記念の目玉として取り上げられましたが、大村地区合同の研修と熱烈な歓迎は、間違いなく思い出に残る、満足のいくものであったと確信しております。私の家では、ドクター ジム・モースの2日間の滞在でしたが、言葉の壁にはばまれ、私が英和辞典、家内が和英辞典と連携を組み、意思の疎通に一生懸命でした。

3月5日雲仙で開催された、第7・8グループ 11クラブ合同のIMはしんと降り雪の中で始まり、100周年に華を添えてくれたようで、忘れられない思い出になりました。ホストクラブの雲仙RC本田会長、相原 前ガバナー補佐、前田 米山奨学会地区委員長、3人の奨学生、そしてご参加の全てのロータリアンの皆様に感謝申し上げます。

ホームクラブ大村RC45周年は、時の人 日野原重明先生をお迎えして、成功裡に終わりました事も、喜びであり、我がクラブの誇りでもありました。

各クラブの会長、幹事そして会員の皆様の温かいご理解と、ご協力に感謝申し上げますと共に、ガバナー事務所のスタッフの皆様に心より御礼申し上げ退任の挨拶とします。この1年間本当にありがとうございました。



第8グループ ガバナー補佐

早 田 和 彦

(諫早西RC)

2740地区のロータリアンの皆様この1年間、大変お世話になりました。皆様のご協力のもとで、なんとか第8グループガバナー補佐の職務を全うすることができたのではないかと、深く感謝しております。

あっという間の一年間でした。諫早より、初めてのガバナー誕生!! そして、ガバナー補佐を命ぜられた時には、身のひきしまる思いでした。でも、ガバナー事務所は近いし、ガバナーにも、ロータリー入会以来、親しくしていただいてもおりましたので、ラッキー!! と思ったのも事実でした。でも、それは全く逆のことでした。ガバナーが属するグループでは、たくさんの地区行事が開催されます。でも、今これらの行事、PETS、各セミナー、クラブ協議会、IM等々プレッシャーのなか、私にとっては良い勉強となりました。ロータリーに対する認識も向上したと思っています。

各グループのガバナー補佐の方々にも、親しくお付き合いする機会を得ることができこれも又、本当によい勉強になりました。私のロータリー人生の中での、良い思い出として残るこの1年間であったと思います。

退任にあたりまして、特にガバナー、ガバナー事務所スタッフの皆さん、第8グループのロータリアンの皆様に、心より感謝とお礼を申し上げます。



今後も、ロータリーを楽しみながら、過ごしていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。



第9グループ ガバナー補佐

砂 田 義 博

(長崎琴海RC)

ガバナー補佐という大役も“あれ”と思えるほど早く終わったような感じが致します。

当初、ガバナー補佐の責務は、ガバナーを支援すること、各クラブを支援することであると自覚していましたが、振り返ってみると、また“あれ”と声が出て、顔が赤くなってくのを覚えます。私の勉強不足と健康管理不足から、ガバナー始め各クラブの皆さんのご期待に、お応えすることが出来なかったことに対し大変申し訳ないと思っています。

しかし、ロータリーは楽しいところですね、多くの人との出会い、始めてなのに知人に出会ったように話しかけている自分、特に、栗林ガバナーに出会ったときは、大きくて、恐そうで、近寄りがたいなあとと思っていたのに、毅然とした反面、人が善くて優しい人なのに驚かされました。ガバナー補佐の1年間を振り返ってみて、多くの人との出会いが何よりも私にとっては一番の収穫であったように思います。

クラブ協議会、ガバナー公式訪問、クラブ例会と、各クラブ訪問では、皆さんが温かくお迎え下さいましたし、各クラブともロータリー創立100周年を記念する独自性のある活動計画を基本に、ロータリー・クラブは「人間性を高める生き方を学ぶ場である」という学び舎のクラブ運営をされていることに対し、心より敬意を表したいと思います。

さらに、第9・第10グループ合同のIM、GSE受入れに対して、ご協力を賜りました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。最後に、全てのロータリアンの皆さんに心より感謝と御礼を申し上げます。



第10グループ ガバナー補佐

佐々木 達 也

(長崎出島RC)

1年前の、栗林年度第1号のガバナー月信「ガバナー補佐就任挨拶」を読み返すと、「ガバナー補佐の役割は、栗林ガバナーとクラブの架け橋」とご挨拶した。今、この1年を振り返ると、とても「架け橋」とはなりえなかったと、後悔と反省ばかりである。元来、ロータリー歴も浅く、ロータリーに対する知識も無い私のような若輩が、お引き受けすべき役割ではなかったと、思い返している。しかしながら、私個人にとっては、人生で有意義かつ思い出深い1年となった。それは、これからのロータリーライフ、これからの人生にとって、かけがえの無い多くの素晴らしい方々との、出会いが有ったからである。今まで以上に、大先輩方から「ロータリアン」というだけで、あたかも学友であるかのごとく、親しくお声を掛けていただき、ロータリーについて、人生についても、多くのことをお教えいただいた。また、私のような若輩AGであるにもかかわらず、どのクラブを訪問しても、温かくお迎えいただき、優しい眼差しで、「若造AG」のたわいも無い話をお聞きいただいた。人生観が変わるような1年であった、と申し上げても大袈裟ではない。それにしても、忙しい1年であった。この1年を支えてくださった、栗林ガバナーをはじめとするガバナー事務所の皆様、ご縁が出来たすべてのロータリアン、色々にご迷惑をかけた、長崎出島ロータリークラブの皆さん、そして、留守をすることが多かった当社の社員の皆さんに心より感謝申し上げます。



地区委員長退任挨拶



クラブ奉仕委員長
ロータリー情報・広報委員長
宮崎 清彰
(諫早北RC)

振り返ると前年のクラブ奉仕委員長福田さんのもと昨年5月有田に集合し委員会の引き継ぎが行われ元気な姿で私達の前で大きい声と80才代とは思えない姿でお話をされてた事を昨日の様に思われます。今年残念ながら遠い旅立ちとなり、ご冥福をお祈りします。4月29日に諫早において委員会を開催いたしました。ロータリー100年という事でいろいろ考えていましたが同じ諫早北ロータリーの緒方聖先生がクラブの卓話の時に「ロータリー100年その軌跡を辿りて」という題でお話をされ非常に感銘を受けましたので、ぜひという事で先生にお願いをして委員会でお話をいただきました。ロータリーの友情に感謝です。「RIの年次テーマはロータリーの羅針盤」という題で始まり1949～1950年度からRIが発表、ターゲット、メッセージ、テーマという風に呼び方も変化していき、その時の会長の人間性、人生観というものがテーマとして表現されている感が強く今でこそ簡潔にまとめられたテーマが試行錯誤の産物としてロータリーの歴史そのものと言えるかもしれません。今回のお話の中でロータリーの歴史、見方、考え方いろんな角度からロータリーそのものを考える時間があった事は大変有意義な委員会でした。ロータリーも変化し私達も日々変化しなければならないと思いました。



拡大・会員増強委員長
野村 安伸
(長崎北東RC)

はからずも2004-05年の会員拡大増強委員長をおおせつかりながら、何もできない1年間でした。突然の委員長就任で、右も左もわからないまま、1年をすごした様で申し訳なく思っております。前任の有田ロータリークラブの故福田氏の功績の大きさをまざまざと感じた次第です。とはいえ、この厳しい環境において各クラブとも会員増強の意義を充分に認識され、新規会員の補強や退会防止に尽力されたことに対し敬意を表するとともに感謝いたします。

今後とも、クラブの活力とも言える会員増強に力を注いでいただくことを祈念し退任の挨拶とさせていただきます。1年間、大変お世話になりました。

ありがとうございました。



ロータリー女性委員長
平原 妃沙子
(佐世保西RC)

女性委員会の活動に対し、栗林ガバナーはじめ地区委員会の皆様方よりご指導、ご鞭撻を賜りましたこと心より感謝申し上げます。

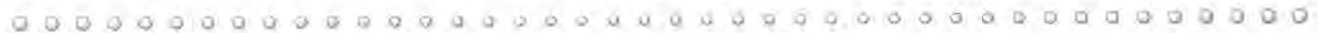
年1回女性委員会フォーラムを開催することを、委員会活動の軸とすることは決定されました。



が、女性会員へのアンケートの結果、様々なご意見が提案され、フォーラムでの今後の課題として残されました。

全国的に女性会員が増えている現在、又少子化社会の中で、女性会員に関わる問題に取り組むことは、女性会員のみなならず、男性会員にとっても重要な意味があると思われます。入会の動機・きっかけは男性も女性も差がないように思われますが、ロータリーの基盤であります職業分類、職業奉仕の理念を大切に、又、101年目21世紀のロータリーへ向けて、新たな視点で活動がなされますことを期待しています。

金ヶ江亮子次期女性委員会委員長のご活躍をご祈念申し上げます。



出席委員長

藤 田 智 久

(長崎RC)

“みなさん、出席してますか？” こんな呼びかけを2年に亘り実行してきました。出席率の向上を第一目標としています。('03~'04年度2740地区平均出席率は85.7%)

昨年は26年ぶりの大阪での国際大会、また今年度は「ロータリー100周年を祝おう」を合言葉に、各会合への出席を推進してまいりました。地区では出席委員会単独の会合はなく、クラブ奉仕委員会として他の委員会との合同での委員会活動でした。

特に前クラブ奉仕委員長だった福田泰作さん(有田RC)は高齢にも拘らず大変お元気でゴルフ大好き、さらに乾布摩擦など毎日の健康には随分注意されていました。

しかし、クラブ奉仕委員会合同セミナーの開催当日、突然入院。委員一同戸惑ったことが懐かしく思い出されます。

「ヤレでヤルより、ヤルでヤル」の心構えで楽しい委員会活動に尽力されました。

2年目も福田委員長のもとで、頑張っていこうと楽しみにしていましたが、体調が悪く急遽委員長を辞退されました。

年が変わり、去る1月24日、83歳での訃報に接しました。たくさんの思い出ありがとうございました。心からご冥福をお祈りいたします。



社会奉仕・環境保全委員長

酒 井 明 仁

(諫早RC)

あっという間に1年が経ってしまいました。最初の挨拶で書いたことは、結局何も出来ずに終わってしまいました。残念！

環境問題、特に地球温暖化は深刻さを増し、毎年のように異常気象と騒いでおります。今年の夏も去年より暑いでしょう。台風もたくさん来るかもしれません。また大地震に見舞われるかもしれませんね。いつ、どこで、何が起こっても、おかしくありません。私たちは、「沈み行くタイタニック号で酒盛りをしている」ようなもの、いやいや「戦争の真っ最中」ですね。

ロータリアンは地域のリーダーが多く、それなりの方ばかりですが、こと環境問題と言うとグッとトーンダウンしてしまいます。ロータリアンの殆どが企業人であり、男性が多いというのも、環境問題に熱心にならない原因があるのかもしれません。

お金儲けには3つの法則があるそうです。

1. 人をだます。





2. 自然を壊す。
3. 人を幸せにする。

胸に手をあてて考えてみましょう。

私は3番でありたいと願っています。ロータリアンが、人を幸せにするサービスを交換できたとしたら、きっと沈み行くタイタニック号は、何とか沈まないで港にたどり着けるかもしれません。そう願って、何も出来なかった自分を慰めましょう。

1年おつきあい頂いた委員の皆さん、ガバナー事務所の皆さん、『ありがとうございました』



地区職業奉仕委員長

駒井英基

(佐賀南RC)

栗林ガバナーの下で、この1年間地区職業奉仕委員長を拝命いたして、早くも1年経過し、無事任期を全うすることができましたことは、地区内の会員の皆様のご理解のおかげだと感謝いたしております。この1年間は、ロータリーの100周年を迎える記念すべき1年であり、当委員会の運営目標を「ロータリーの原点を見直そう」といたしまして活動してまいりました。

昨年、9月に行いました地区職業奉仕セミナーにおいても、この点に集中して焦点を当て、田中毅2670地区パストガバナーを講師としてお招きし、今後のロータリーのあり方を参加いただいた各ロータリークラブの職業奉仕委員長様とともに、考えさせていただいた貴重な体験となったと思います。

職業奉仕理念は、他の奉仕団体には無いロータリークラブに特徴のあるものです。こうした理念を忘れずに大切にしながら、日々の地道な活動を行っていくことが、今後のロータリー活動に良いインパクトとなって実りあるものになれば、幸いだと思ひます。

ありがとうございました。



国際奉仕委員長

GSE委員長

本田圭助

(長崎南RC)

2004/2005年度は国際ロータリー創設100周年に当り、記念事業の一つとして、アメリカ・ミシガン州及びカナダ・オンタリオ州の一部で構成されるRI 6290地区と当地区の間で職業人交換研修(GSE)プログラムを実施しました。本年度は、6290地区のGSEチームが当地を訪れ、次年度に当地区GSEチームがアメリカ・カナダを訪問します。

栗林ガバナー主導のもと全グループのガバナー補佐、GSE委員会及び各RCの会長・ロータリアン・ホームステイホスト並びにガバナー事務所が一致協力し、周到な準備のもとRI 6290地区GSEメンバーを迎えました。約1カ月間の研修期間中、行く先々での職業研修、一般見学、歓送会等、全てがリーダーDr. Morseを始めとしてチーム全員の賛嘆の的でした。このようにプログラムの前半が成功裡に終了したことに就きまして2740地区全ロータリアンの皆様に心から感謝致します。



国際青少年交換委員長

久保 元 治

(諫早RC)

大変でしたが非常にやりがいのある委員長職でした。任期半年前の12月の委員会からオブザーバーとして出席させていただき、実質1年半の委員会活動になります。昨年の今頃は派遣候補生の募集に駆けずり回り、7月からの活動は頻繁に前委員長に電話で聞きました。相手地区との交換、アプリケーションフォームの書き方等全く初めてのことでばかりで苦労しました。職場に行き、メールを開けたら毎日のように英文メールが届いていて時間を取られました。

自分自身ホストファミリーを1回経験しただけで委員会も初めてでした。わからないことは先輩委員の方に教えていただきどうにか乗り切りました。後半はガバナー事務所の方に大いにお世話になりました。

'05年4月に行われました全国青少年交換研究会「東京会議」で分科会のリーダーを務めさせていただきました。また、次年度開催「佐賀・長崎会議」のPRもさせていただき一生の思い出となりました。新委員長様はじめ次年度委員会の方々は全国大会の主催ということで大変でしょうがぜひ頑張って下さい。

派遣候補生もいよいよ8月には異国の地に向けて出発します。まだ語学や自己アピールの点で不安が残る生徒もありますが、どうか8人全員が国際親善大使の役目を立派に果たして帰国してくれることを祈っております。

最後にこの1年半お世話になりました委員の皆様はじめ関係者の方々に厚く御礼申し上げます。未熟な委員長を支えていただきありがとうございました。また、次年度に関して本城ガバナーエレクト様はじめ役員の方々に御迷惑をおかけいたしました。この場を借りて深くおわび申し上げます。



地区R財団委員長

松 尾 英 機

(佐世保中央RC)

平成15年12月頃、当時の安部ガバナーより地区R財団委員長就任の話がありました。地区補助金制度が正式に動き始めた年であり、且つR財団の持っていた権限の一部が、地区にそしてクラブに委譲されてゆく形を作る非常に大切な時期でもありました。これらの形の確立と、3年前の年次寄付と3年前までの恒久寄付の一定%（地区設計）が、RIより地区活動資金として振込まれ、ガバナーの下でこれらを管理する重要な役目をR財団委員長が負う訳です。一度はお断りをしたのですが、結局は受ける羽目になりました。しかしながら委員長としてのこの1年は、R財団と地区補助金の勉強にあけくれました。次年度も委員長を拝命することになりましたので、次年度は少しでも、各クラブのお役にたてる様頑張りたいと思っています。この1年間皆様のお役に立てなかったお詫びとそれでもご協力いただきましたことに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



財団奨学・学友委員長

横尾 和正

(佐賀南RC)

誠心誠意の西岡榮一委員長の後を受け、ガバナー事務所・地区委員・顧問ロータリーアンと共に財団奉仕活動実践の奨学学友委員会活動をして参りました。

有意・優秀な長崎・佐賀地区の若人の学究活動と国際親善を実現する地区財団プログラム実践をサポートするのが我が委員会の活動です。お蔭様で今年度は以下の様な多数の方々の、派遣準備を無事終了する事が出来ました。

※ アカデミックイヤー

林 裕 子【佐賀RC】	学校教育	佐賀大学	イギリス
川 島 源次郎【佐賀西RC】	美術教育	佐賀大学院	フィンランド

※ マルチイヤー

深 堀 由布子【長崎北RC】	通訳翻訳	長崎外国語大学院生	イギリス
平 湯 理【HTB佐世保RC】	ピアノ	桐朋大学大学院	イタリア
小 西 友 子【長崎南RC】	環境学	長崎大学院	オランダ

※ 文化研修のための奨学生

前 川 友紀子【佐世保RC】	語学研修	関西外国語大学	イギリス
----------------	------	---------	------

※ 大学教員のための補助金

香 月 武【佐賀RC】	口腔外科	佐賀医科大学名誉教授	チュニジア
-------------	------	------------	-------

地区内クラブの推薦された奨学生並びに大学教員は人格・教養的にも素晴らしく、諸氏との出会いは委員会メンバーにとっても最高の喜びでした。学友がその研修会に3～4名は必ずアドバイザーとして参加してくれました。確実に友情の輪が広がっている事を実感出来ることでした。この事は更なる発展が期待されます。今期は香月教授を地区よりチュニジア国スース大学に派遣予定する事が出来、チュニジア国並びに近隣国、口腔外科発展の為に国際奉仕をして頂ける事になりました。RIにとっても数少ない事例として特筆されています。この様な委員会奉仕活動が円滑に実施出来たのは栗林ガバナーを始めG事務所、また特に田中克憲・久保志郎・志村宏二・橋口浩敏地区委員の多大なる支援があつての事と深く感謝しております。

次年度からは田中克憲委員長を中心に更なる奉仕活動を期待しています。



地区米山記念奨学委員長

前田 博憲

(佐賀西RC)

地区米山委員会の委員長を仰せつかって早や1年が過ぎようとしておりますが隅田達男米山奨学会理事や栗林英雄ガバナーを始めとした様々な方々のご厚情に支えて頂き、何とか年度末を迎えることが出来ました。

その間、委員長の役目として地区内各クラブの皆様方には米山寄付金に関しまして大変ご無理なお願いを申し上げてまいりましたが、残念ながらガバナーのご提案額3,500万円を達成することは出来ませんでした。

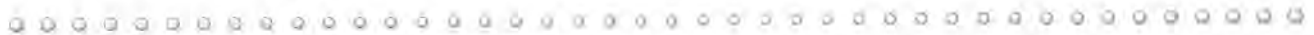
私の不徳のいたすところと、ひたすら反省をいたしております。



とは申せ、この様な厳しい経済環境の中にもかかわらず、快くご協力を頂きました沢山のロータリアンの皆様に対して、紙面をお借りして厚く御礼を申し上げます。

この期間中の様々な米山奨学事業の中で特筆すべきは米山奨学生による地区内クラブへの卓話派遣幹旋に際し、奨学生諸君は元より、各カウンセラーの皆様の温かいご協力を頂いたことと第7・第8グループの合同IMのテーマとして「米山奨学事業」をお取り上げ頂いたことであります。

次年度においても、15名の奨学生がお世話になりますので、さらなる皆様方のご協力とご支援をお願い申し上げます。



新世代委員長

岩 永 信 昭

(長崎北東RC)

原語がNew Generationであったため“新世代”と訳されたこの奉仕部門ですが、一般的には次世代と表現される事が多く、以前までの青少年の方がわかり易いという御意見もよく頂戴します。又従来の委員会構成見直しの動きもRIの中では起こっているとの事です。この様な背景を受け独自の活動は行わず、それぞれに専門性の高い関連3委員会(IA、RA、RYLA)活動のお手伝いという方針で臨んだ1年間でした。

委員として御尽力頂いた草野幸子IA委員長、山口修二RA委員長、佐藤真一RYLA委員長、そして馬渡誠、西田猛両氏の御協力に心より深謝申し上げます。又何くれとなく御世話を頂いた中村克三地区副幹事、本当にありがとうございました。

地区大会では新世代の集いを開催できました。若者の健全育成に心血を注がれている栗林英雄ガバナーのお計らいに敬意と感謝の気持ちを込め退任の挨拶と代えさせていただきます。



ライラ委員長

佐 藤 真 一

(諫早南RC)

今年度のRYLAで第26回となりました。平成17年5月8日(日)に無事に開催できました、ホストクラブ、コ・ホストクラブの皆様には、大変お世話になりました。又、参加して頂きました、たくさんのロータリアンの方々には、まことに感謝申し上げます。

今回のライラは、1日間ということで昨年までは、1泊2日で開催されたものを変更することに少し違和感がありました。

時代の流れでしょうか、限られた時間の中でホストクラブとしてライラを引き受けることの大変さ、又、ライラへの出席率の低下などいろいろな問題が問いかけられた中、1日間で大会を開催してはどうかと提案が出され、宿泊をしないライラ開催ということに決定しました。

今年度は、佐世保の第5グループがライラのホストクラブ担当になっており、ホストクラブの引受先を佐藤ガバナー補佐をお願い致しておりましたところ、北松浦ロータリークラブがこころよくお引き受け頂きました。又、クラブ内より赤木地区委員を選出してもらい、ライラ実行委員会が組織されました。

それから2月と4月にはライラ実行委員会を開催され、委員会の方々には、日夜真剣にライラのプログラム決定に取り組んで頂きました。その結果が当日の大会で発揮できたものと確信しております。誠に有難うございました。

私は、地区の委員を3年間しまして、1年目は新世代の若年障害者担当として、2年目はRY





LAホストクラブの地区委員として、そして最後の3年目はライラ地区委員長として活動をさせて頂きました。その間多くの会員の方々と交流ができ、いろいろな勉強をさせて頂き、又、経験させて頂きました。今後も一ロータリアンとして新世代の活動にはげんでいきたいと思ひます。

今後のライラが、益々充実したものになりますように祈念いたしまして退任の挨拶にさせていただきます。ありがとうございました。



インターアクト委員長

草野 幸子

(長崎出島RC)

アッという間の1年間でしたが地区委員長を受けて私なりに何が出来ただろうかと今ふりかえって考えてみますと、まず7月に前期指導者研修会を佐賀地区と長崎地区と分かれて話し合いを持ちました。8月の年次大会は第2740地区のインターアクト校が一堂に集まり大村の向陽高校をホストクラブに“命の尊さ”について意義ある大会でした。後期指導者研修会は第1～第10グループに分かれ、それぞれのスタイルでできた事は生徒達にとって一人ひとりの意見を言うチャンスにも恵まれ、又全体会で楽しさも感じとれ、とても有意義な事だったと思ひます。それから私にとって思い出深い事は五島でのインターアクト20周年を祝って基調講演が出来た事です。五島中央ロータリークラブ30周年記念の前にインターアクト20周年を祝い五島高校の生徒たちとボランティアについていろいろ聞く事が出来てとても感激して帰ってきました。今思うとインターアクトにかかわってよかったなあとつくづく思ひています。若い力を吸収し経験をつんだロータリアンと一緒にボランティア活動が出来るすばらしさを今つくづく誇りに思ひています。1年間地区委員の方々、新世代委員の方々に大変御世話になりありがとうございました。



ローターアクト委員長

山口 修二

(鹿島RC)

昨年に引き続き地区ローターアクト委員長を仰せつかりましたが、思うように計画も進まず悔いの残る年でした。

しかしながら、3月13日の「世界ローターアクトの日」に、当地区で初めて大学を基盤としてのクラブ「長崎国際大学ローターアクトクラブ（佐世保ロータリークラブ提唱）」が新設された記念すべき年になりました。長崎国際大学ローターアクトクラブを含め、現在地区内では12クラブ130名強の会員が活躍しています。

ローターアクトは1968年3月13日に米国ノースキャロライナ州シャーロットの地に誕生して37年が経過し、今日まで全世界に広がり発展してきました。ローターアクトは青少年のプログラムではなく、社会奉仕を志し、高い道德基準を備え、同様に奉仕を目指す人々との交流を求めているが、まだロータリークラブへ入会資格がない18歳から30歳までの成人が集まる組織で、ロータリアンの予備軍となりうる存在です。まだまだ指導すべき点多々有りますが彼らの熱い情熱には私たちロータリアンも学ばされる事が有ります。退任致しますが、これからもローターアクトと積極的に関わりを持ち続けていきたいと思ひます。

最後に、栗林英雄ガバナー他ガバナー事務所の皆様、地区委員会の皆様、提唱クラブの皆様へ1年間支えていただきました事に感謝致します。有難うございました。



「会員増強と退会防止」（地区協議会補遺）

佐世保 R C

武 井 洋 一

4月24日唐津で行われた地区協議会にて上記の卓話を命じられました。そこで話の内容を色々考えました。

出席者はクラブの大委員長さん達で経験豊富な方々で、ありきたりの「会員増強・退会防止」の話は何度も聞いて聞き飽きておられるのではないかと推測しました。従って今回は違った角度からこの問題を考えてみようと思いました。

たまたま昨年11月27・28日に広島市で第33回ロータリーゾーン研究会が行われました。その席上「ロータリアンの意識とロータリーの将来の展望」という演題で山口大学人文学部の小谷典子教授の特別講演がありました。現在の日本のロータリアンの実情をアンケート調査で浮かび上がらせた内容です。私は大変興味を持ちました。その中には新会員を勧誘するための材料が、又クラブのどういう状況が退会者を作り出す要素となっているかの回答もアンケートにより明確に出ています。

私はこれを材料に原稿を作り、アンケートの調査結果をパワーポイントに準備しました。

しかし私の話は不評でした。私のホームクラブの出席者が「何の話か解らなかった」と申します。会場のスクリーンが見えにくい場所でした。私の準備不足です。

そこで償いのため地区の緒方聖・月信担当副幹事をお願いしてガバナーズレターの6月号にこの文章を載せて頂く事にしました。ただスペースの問題で簡単にしか記載できない事をお許し下さい。

◎新会員を探し出す際の考慮事項

- 職業分類調査を毎年行っていますか。
- 貴クラブとその業績は、地元地域の人々に知られていますか。
- 貴クラブの会員は、新会員をいつでも推薦する心構えができていますか。
- 入会見込者に配付する資料は惹きつける効果がありますか。

R I 会員増強関連出版物

- 新会員の推薦はいかにするか（254-J A）
- 会員増強推進用手引き（417-J A）
- 会員増強（916-J A）

◎退会防止に関する考慮事項

- 貴クラブ例会プログラムは、どの程度有益で活発ですか。
- 貴クラブの会員は、クラブとどの程度つながりを持っていますか。会員同士のつながりはどうですか。
- 貴クラブの会員の退会理由について知っていますか。
- 貴クラブの会員は、新会員が全ての活動に参加できる様に努力していますか。
- 貴クラブには、新会員のためのオリエンテーションや継続的教育プログラムがありますか。



第26回 R Y L A 報告

国際ロータリー2740地区
ライラ委員長 佐藤 真一

去る5月8日(日)に、第5グループの北松浦RCにホストクラブとして、又、佐世保RC、佐世保西RC、平戸RC、松浦RC、生月RCの5クラブにコ・ホストクラブを、お引き受け頂き、国際ロータリー第2740地区のライラを佐世保の九十九島観光ホテルで開催いたしました。

登録者数は、ロータリアン179名、青少年108名（インターアクト20名、ローターアクト40名、学生一般48名）合計287名で、当日は天候にも恵まれ出席者数も多かった。午前11時30分より登録受付が行われ、そのあとは昼食が出され長崎県立清峰高等学校の吹奏楽部による演奏の中で、なごやかにロータリアンと、青少年の方々が食事をされました。

午後12時30分よりホストクラブ西田耕也会長の点鐘により開講式が開かれました。栗林英雄ガバナーより今年度のテーマ“いのち”についてふれられ、今日出席の若い皆さんを激励し希望を込められた挨拶を頂きました。それから新世代委員会の岩永信昭委員長よりライラ開催の趣旨などを含む内容の挨拶で、青少年を激励されました。ご来賓として佐世保市長、光武顕様代理の野口日朗様に来賓代表の挨拶を頂き、最後にホストクラブ西田会長よりロータリアン、青少年のたくさんの参加に対し歓迎の挨拶がなされ開講式を終えました。

この後に、吉田俊道先生による講演“いのちいただきます”が1時間30分にわたり行われ、生ごみを利用した野菜づくりの話をスライドを用いて話され、いのちの原点をついた内容であり、先生の熱心な語りにロータリアンも青少年も夢中で聞き入っていました。吉田俊道先生は、1959年、長崎県に生まれ、九州大学農学部を卒業後、長崎県の農業普及員として就職。有機農業に取り組むため9年前に退職。現在は、有機農業運動を具体化するために“元気野菜の会”を結成され活動中です。この活動が皆様に認められ毎日のように講演の依頼があるという忙しさ、長崎のブリックホールで2,000人の人を集めての講演も近々、行われるということです。

この後のグループディスカッションでは、研修テーマ“生命（いきる）”サブテーマとして“いきいきした若者が育つには”という内容で108人の青少年が5グループに分かれ意見交換を活発に行いました。1時間の時間では、少し短いような感じでしたが、興味深い意見も出されてほんの少しですが、青少年の考え方などを聞ける意義のある場でもあったと思います。

午後4時15分より閉講式が行われ、受講者代表、緒方哲哉さんよりグループディスカッションの内容を発表され、時間的には各グループの意見をまとめるのは無理があるが、いい意見を抜粋して報告された。それぞれ5グループのリーダーの意見がまとめられ、いきいきした若者になるには、“頼りになる人になろう”ということで一致した。この後、第5グループの佐藤一男ガバナー補佐による講評が行われ、ライラ実行委員会の法師山真人委員長代理によるお礼の挨拶がなされた。最後に次期ライラの吉村正則委員長が閉講の言葉の挨拶をされ第26回ライラの幕は下ろされました。来年は、長崎の方で第27回ライラが開催されるとのことです。

今回の国際ロータリー2740地区のライラ事業は“いのち”というテーマで、ロータリアン、青少年の皆様が共に活動して感動を共有できたことと確信しております。





ロータリーの使命あるところならどこへでも

マーガレット・スー、世界平和奨学金第一期生学友、マレーシア出身、
津波の被害を受けたインドネシア、アチェ地方に関する報告

12月26日、インド洋で発生した津波によって、バンダアチェが世界に知られるようになった。以来数週間、海外からの救援チームがアチェ地方北部のこの町に押し寄せ、外部からスマトラへの第一の交通要所であるメダン空港はごった返して悪夢のような状況になった。クアラランブールから飛行機で1時間のこの場所では、たくさんの団体や人々が数多くの救援募金活動を大々的に繰り広げ、近隣諸国の津波被災者を助けるためにできることなら何でも行っていた。マレーシアおよび海外の救援や医療関係者は、現在までに、バンダアチェ、スリランカ、タイ、インド、モルジブにまで救助の手を差し伸べている。人々が救済の手を求めている時にその助けとなることができるのは、真に素晴らしいことである。

マレーシアにある私のロータリー地区、第3300地区が現地視察のためにアチェに赴くことを決定した時、私はすぐさま参加を申し出た。ダト・ベルマル地区ガバナーの好意的な計らいで、私は、ダト・ジミー・リム地区ガバナー・ノミニーのチームに配属された。「行くぞ！(GO!)」という掛け声と共に、クリスマスの翌日、私たちはメダンに向けて出発した。男女8名から成る私のチームには、イスラム教徒、ヒンズー教徒、中国系人、シーク教徒が含まれていた。150キログラムの医療援助物資やその他の備品を機内に持ち込み、マレーシア航空が無料で提供してくれた便に乗った。当日は、イスラム教徒が神との契約を更新する「犠牲祭」(訳注：羊や牛を犠牲にして捧げる)だったため、イスラム教徒たちが行う年に一度のこの儀式に私たちも参加できるよう、到着時に10頭の牛が届くよう注文しておいた。親善を大切にすることの行いは、「犠牲祭」の週にアチェに赴く私たちの基礎を築くものとなった。

メダン空港への到着は非常にスムーズだった。第3400地区のデリ・メダン・ロータリー・クラブのロータリアンが、私たちのために入管手続をすべて行い、数分のうちに40箱分の物資と私たち個人の荷物を運び出してくれた。1分の遅れもなく、1日のうちに、私たちはメダン郊外にある3カ所の避難所と病院を訪れることができた。

津波被災者によって語られた話は、私たちがそれまでに新聞で読んでいた内容と全く同じであった。疲れ切って抱いていた子どもを手放してしまったことを自責する母親、襲いかかる高波から奇跡的に生き残ったものの、愛する家族を失い、避難所で絶望に暮れる幼児やお年寄りや男女。どの話からも、自然の猛威と闘う確固たる信念、勇気、意志が感じられた。クリスマスの翌日にソファでテレビを見ていた時に巨大な波にさらわれたサリパ・ノルマラさんという主婦の話为例に取り上げてみれば、泥が混ざり黒ずんだ海水にもまれ、ありとあらゆる種類の硬い漂流物で体を傷つけられ、地獄のような状況の中、必死に椰子の木にしがみついていたという。高さ30メートルの波に愛する家族を一瞬にして奪われ、勇敢に、しかし絶望的に椰子の木につかまって生き残った彼女に、この45分間に何が起こったのかを、世界に向けてどのように説明できるというのか。自然の恐ろしい猛威の真只中で彼女は何を考えただろうか。ほんの数秒前には2人の娘、妹、母と居間でテレビを見ており、愛する夫は音楽を聞きながら玄関先で車を磨いていたというのに。愛し合い、固い絆で結ばれた家族を、神はなぜ彼女から奪い去ったのか。水が引き、椰子の木から降りて泥の混ざった水溜



まりの上を彷徨い歩く彼女が目にしたのは、あちこちに散らばった馴染みある顔の遺体だった。皆、強い衝撃によって命を落としていた。その翌日、サリパさんは、被災地中心部に最初に到着した医療救助チーム、マーシー・マレーシアの医師によって治療を受けた。その時、彼女は同じ町内に住んでいた5千人の住人のうち、混雑した病院で治療を受けて生き残ったのはわずか6人であることを知った。数日後、メダンに住む親戚が南部の都市に移動するためのフェリーを手配し、メダンから12キロのこの場所にある、倉庫を開放した避難所に、現在彼女は身を寄せている。サリパさんの話は勇気の物語である。

信念の物語は、メダンから13.5キロ離れたピンジャイ・ピンタン・テランにある中国系人の家の中にもあった。78歳の双子の姉妹は、津波が襲来した時、カトリック教会の礼拝に出席していた。神意に従う心の準備をし、ただ神への信仰心に満たされながら、この老齢の姉妹は互いにしっかりとつかまり合っていた。今日、このコー姉妹は、一つの傷も負うことなく、メダンの中国系ホームで心安らかに暮らしている。怖かったか、と私が尋ねると、姉妹の一人がいたずらっぽくウィンクして、中国系の方言で次のように答えた。「いいえ、全然。私は第二次世界大戦も生き残りました。神の御心に従っていれば、決して恐怖を感じるなどありません」と。アチェ地方の人々は、大変強い信仰心を持っている。部屋にあった古い木製の棚につかまって生き残った若いイスラム系の未亡人、ケミさんのことを考えてほしい。猛威を振るう高波にさらわれた彼女が、アチェ川の対岸まで流され、モスク（礼拝堂）の安全な一角に辿り着いたことが何を意味するのかは、この津波被害の復興が一段落着いた後で、私たちがよく考えなくてはならないことである。

アチェの人々は大変な苦しみを経験したが、信仰心と不屈の精神と希望を忘れることはない。

日暮れまでに、私たちは、ロータリアンが費用を援助している20人の患者を見舞った。この患者たちは、ロータリアンによって迅速な医療措置の取れない公立病院から私立病院に転院し、デリ・メダン・ロータリー・クラブと病院の医師に治療費を負担してもらいながら、順調に回復している。ロータリーや医師による善行を通じて、私は、絶望の最中にも、人道的精神と希望を垣間見ることができた。出身地や話す言語が何であるかにかかわらず、ロータリアンによって示された慈愛、気遣い、慈善精神に、私は心を打たれた。

ロータリーやその他の機関が迅速に援助の手を差し伸べたおかげで、メダンの避難所に食糧や衣服、水を緊急に送る必要はない。避難所で必要とされているのは、カウンセリング、一人ひとりのための十分な空間、引き続きの医療救護、そして自信を取り戻し、生活や家を建て直すための資金である。

翌日私たちは、犠牲祭の祝賀で牛が犠牲になる光景を目の当たりにした。イスラム国出身の私でさえも、犠牲祭の儀式に参加したのは初めての経験だった。宗教的指導者もしくはイマーム（イスラム教の導師）が祈祷を捧げ、牛が屠殺された後、その肉や臓物、骨が慎重に切り取られて浄化され、貧しい人々や孤独な人々に与えられた。マレーシアとインドネシア出身のイスラム教徒のロータリアンが、この儀式の意味について私に辛抱強く説明してくれた。この独特な宗教的儀式を経験したことで、私は人間的に成長した。世界平和奨学生として日本へ留学していた時、私が注目したのは異文化間コミュニケーションであり、私の最大の関心は文化的な格差（ギャップ）の橋渡しをすることによって、対立の解決に取り組むことであった。私はこのような体験から学びたいとずっと望んでいた。私は、自国にいる時には注意を払っていなかった多くの事を知りたいと思い、その場に残って、気さくで謙虚な屠殺人たち一人ひとりと話をした。私たちの地区が寄贈した10頭分の牛は、津波の被害に遭った900人から1,200人の家族たちに振る舞われた。

北のバンダチェに行く航空券が確保できなかったので、私たちは進路を変更して、アチェ



の西にあるムーラボを訪れた。ムーラボはメダンから300キロメートルに位置し、チャーター機で1時間、または車で7～12時間のところにある。この町は最西端に位置し、震源地に最も近かったため、もっとも被害が大きい地域であった。3日目、私たちは午前7時出発の小型チャーター機に乗って、ムーラボへ向かった。機上から見えたのはおびただしい破壊の痕跡だった。豊かな緑の地は黄色と茶色の地と化していた。ところどころに見えるモスク（礼拝堂）が私の目を引いた。アーチ型の入り口という独特の構造のため、モスクは津波の猛威から逃れることができたのだ。なんと、ムーラボ周辺のモスクのほとんどが、この災害をよそにそのまま残っていた。廃墟の中で、神の怒りの証しを背負うかのように毅然として立ちそびえているのだった。

チュ・ニャ・ディン空港へは難なく着陸し、入国もTNI軍が親切に取り計らってくれたおかげで一切問題はなかった。おまけに、私たちがマレーシアから来たことをありがたがっていた。田舎道を車で走っていくと、インドネシアの国旗が秩序もなく地面に立てられているのがいくつも見えた。それは、発見され埋葬された遺体の一つひとつを告げるものだった。ムーラボの波ときたら、椰子の木の2倍の高さで3回連続で押し寄せてきたのだと言う。もう少し先に進んでいくと、ネズミの死骸の放つ悪臭に襲われた。そして、乗っていた四輪駆動のドアを開けるたび、蠅の大群が車の中に飛び込んできた。そして、私たちが嗅いでいるのは、目の前に広がる瓦礫の下に埋まっている死体の臭いなのだと悟ると、なんとも悲しくやりきれない気持ちだった。歩きながら、私は本能的に名もなき祈りの言葉を繰り返した。「健やかに眠れんことを、健やかに眠れんことを」と。しばらくするとだれもしゃべらなくなり、車は無言のまま走り続けた。みんな、目撃した光景に心を引き裂かれてしまったのだろう。

しかし、最大のショックを受けたのは、ムーラボの中心部に着いたときだった。町全体が、再三爆撃を受けたかのごとく、どこもかしこも瓦礫、残がい、廃物で埋め尽くされていた。家の上に船が覆い被さっていたり、船の上に家が載っかっていたりという、正に現実を超えた信じがたい光景というほかなかった。この無残な廃墟と死を一体子どもたちに何と説明すればよいのか、見当もつかないものだった。黒いプラスチックの遺体袋に包まれた2体の遺体の前を私たちは通り過ぎた。発見されたばかりで、道路の片隅に置かれていたようだった。2時間後に引き返したときには、遺体は4体に増えていた。私たちが歩いている間にも、地域の作業班によってさらにいくつかの遺体が発見されていた。私は、マレーシアのロータリアンがアチェの災害救済活動の一環として、ペナンの工場に1000枚以上の遺体袋の完成を急がせていたのを思い出し、「遺体袋があつてよかった」と思った。「遺体袋がなかったら、腐った遺体をどうやって拾わなければならなかっただろう」、そんなことが私の頭をかすめた。私は目撃した事実を冷めた心で受け止めている自分自身の反応に嫌気がさしていた。死は尊厳を伴っていなければならないと堅く信じてきた自分が目の当たりにしたのは、動物の死骸と変わらない人間の遺体だった。激しく揺さぶられる感情に私は蓋をしようとした。交錯する思いを締め出そうとしていると、煙が見えた。瓦礫の山から山へと移り始めた火がくすぶっていた。火を消すだけの水がないのだ。そのまま灰と化すまで放っておいたほうがよいのだろうか。ムーラボはまるで夕日に染まる戦地だった。廃墟や破壊された橋や火事の光景と臭いだけではない。道端に残された死体といい、空を覆う真っ黒な煙といい、漁り歩く人々…。何もかもが戦地そのものだった。なぜ、なぜ、なぜ、という問いが執拗に頭の中を駆け巡っていた。川沿いにたたずみ、ゴーストタウンと化してしまった町を見渡していると、広島焼け野原のことが思い起こされた。「水、水、水…」と叫びながら川に飛び込んだという人々のことを。しかし、今回はその水が救い主ではなく、命取りとなってしまったのだ。

訪問したボスコスでは、インスタントラーメンにしかありつけず、小さなおなかを膨らま



せ、下痢に苦しむ子どもたちがいた。大人はご飯にラーメンを混ぜたものに塩をまぶして食べていた。食糧の供給は量からいえば十分なのだが、栄養素がまったく配慮されていなかった。ブブルと呼ばれる甘めのおかゆの原料として、PMI（インドネシアの赤十字）のメンバーがグリーンピースと砂糖を求めている。このほうが食べやすく、蛋白質も豊富だということだった。母親たちは、離乳食や粉ミルクも必要としていた。また、女性たちは生理用ナプキンがなくて困っていた。私たちが持参していった量ではとても足りなかった。数人のスイスの救急医療補助員のほか、名古屋から来ていた日本赤十字チームや台湾を本拠地とした人道救済チーム（独立した医療クリニックを運営）の人々とも情報交換を行った。世界保健機関およびユニセフが毎日午後5時に医療調整の会合を行っていたが、私たちが訪問した日曜日には、会合はなかった。村の至るところにUNHCRの白いテントが建てられていて、津波被災者がなだれ込んでくるのを待ち受けていた。

一日も終わりに近づき、宿を探すときがやってきた。私たちは地元のガイドが経営する金物屋の2階にある居間に身を寄せることになった。1階の店は津波で見る影もなく破壊されていた。この心優しいガイドは、3人の子どもたちをメダンに送り、妻と二人、なんとしても早急に生活を立て直そうと、数人の近所の人々とともにムーラボに残った。夕食時になると、隣の人々も数人やってきた。私たちは順番に風呂に入り、夕飯の支度も手伝い、みんなで野菜と卵とメダンから持って来たニシンの缶詰を食べた。たったこれだけの質素な食事がなんと美味しく感じられたことだろう。そして、1階は混乱状態のままにあるというのに、2階で私たちが受けたもてなしのなんと温かかったことか。食事の後、身の安全のため、私たちは大勢で身を寄せ合って眠りについた。その夜、マレーシアのロータリーからやって来た私たちは、ムーラボの赤の他人の家の難民となったのだった。忘れようにも決して忘れることのできない夜だった。

翌朝チュ・ニャ・ディン空港を後にして、インドネシアのロータリアンと早急な活動計画について話し合うためメダンへ向かった。第3400地区のメダン・ロータリー・クラブの協力を得て、第3300地区は、アチェ地方の津波被災者のためにロータリー・リハビリ・プロジェクトを計画している。このほかにも、地区内のほかのクラブがさまざまな募金活動を計画している。私自身も自分にできることがあればなんでもやりたいと思っている。

事実確認を目的としたアチェへの旅は、さまざまなことを教えてくれた実り多いものだった。地元のガイドやホストの方々に別れを告げながら、メダンとムーラボにいつか戻ってくるだろうという気がした。見知らぬ旅人としてではなく、家族の一員として。バハサ・インドネシア、英語、客家、フーチェン、北京語と簡単な日本語が話せたおかげで、この旅はより意義深いものとなった。中国人は私を家族のように扱ってくれ、イスラム教徒は同胞のように抱きしめてくれた。旅の途中で知り合った和歌山県出身の日本人ジャーナリストまでが、朝の7時にムーラボ空港まで見送りに来てくれた。ロータリー国際親善奨学生として、また、世界平和奨学生としての体験と研究が、異文化間の障壁を乗り越える術を私に教えてくれたのだ。ロータリーが提供してくれた数々の研修や機会がどれほど私を鍛えてくれたか計り知れない。日本での研究を終え、世界平和奨学生を卒業する時期が来たと思っていた矢先、スマトラ半島にロータリー地区の事実確認チームの一員として旅する機会を与えられ、新しい友情を築き、また一つ新しい世界が開けた。ひょっとするとロータリーの世界平和の担い手としての私の使命は、始まったばかりなのかもしれない。

マーガレット・スー - Margaret Soo

クアラルンプール - Kuala Lumpur

2005年1月30日



嬉野RC35周年記念行事を終えて

嬉野RC会長 谷 嶋 要三郎

当クラブは4月15日創立35周年記念式典を行いました。

式典には当地区の栗林英雄ガバナーをはじめ、杉原地区幹事・高原武彦ガバナー補佐・それにスポンサークラブ鹿島ロータリークラブ会長・幹事・地元の町長にご出席いただき、記念事業として、

- 一、ポリオ撲滅チャリティーバザー
- 二、塩田町立塩田中学校へ備品一式贈呈
- 三、嬉野町立嬉野保育所へ用具一式贈呈

を実行致しました。記念事業委員会が中心となり、各委員がそれぞれの部署で立案実行し、ロータリアンの一人ひとりの意識と喚起を促しました。今後40周年に向けて、尚一層、親睦と職業奉仕を基礎として、力強く活動して行く事を誓い合いました。



「米山奨学生カウンセラー研修会」・ 「奨学生オリエンテーション」開催報告

2005年5月14日(土)
於：ウェルサンピア伊万里

【カウンセラー研修会】

米山記念奨学委員長
前 田 博 憲 (佐賀西RC)

次年度に米山奨学生のカウンセラーをお引き受け頂く15名のロータリアンと隅田米山奨学理事、本城ガバナーエレクト、各グループの次年度ガバナー補佐、地区役員の皆様方にご出席を頂き、米山奨学事業についての知識やカウンセラーとしての立場・役割について熱心な研修が行われました。

【米山奨学生オリエンテーション】

カウンセラー研修会に引き続き、次年度奨学生（15名）の為のオリエンテーションが行われました。

先ず、継続奨学生の周玲さん（牛津RC）に先輩としてのスピーチを頂いた後、米山奨学事業についてのレクチャーや奨学生としての役割と心構え、地域ロータリアンとの交流の必要性などを理解して頂いた後に全員「確約書」にサインをし、無事に次年度米山奨学生となりました。

今回米山奨学生として選ばれた15名の諸君はロータリーの理想とする「国際理解と相互理解に努め、世界平和の創造と維持に貢献する」との言葉を胸に留学生活を送ってくれるものと確信しておりますので、地区内ロータリアンの皆様方の温かいご指導ご協力をお願い申し上げます。



愛・地球博ロータリー館訪問 記念メーキャップカード紹介

ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2760

DATE / M / D / Y

会場の名称
Name of Meeting

氏 名
Name

ロータリーの役職
Position of Rotary

所属クラブ
Name of Club

ロータリー館館長 豊島徳三
Director of Rotary Pavilion TOKIYOSHI TOKYOSHIMA

地区 幹事

2005年 月 日のメーキャップです

ロータリー館（友愛の家）ホームページ

<http://www.ni.bekkoame.ne.jp/all155/expo/expo.html>

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

氏名
Name

ロータリーの役職
Position of Rotary

クラブ名
Name of Club

国際ロータリー100周年奉賛
愛・地球博
ロータリー館（友愛の家）
A CENTURY OF SERVICE
100 Years
愛・地球博
EXPO 2005 Aichi Japan

ご来館日
2005年 月 日

ガバナー事務所だより

* 第23回ローターアクト年次大会

日時：2005年6月4日(土)・5日(日)
場所：稲佐山観光ホテル

* 女性委員会フォーラム

日時：2005年6月4日(土) 11:00～
場所：ホテル日航

* 第4回ガバナー補佐会議

日時：2005年6月11日(土) 17:00～
場所：唐津シーサイドホテル

* R財団国際親善奨学生候補選考会

日時：2005年6月12日(日) 10:00～
場所：佐賀観光ホテル 山水荘

* 国際ロータリー年次大会

日時：2005年6月19日(日) 13:00開会式
場所：シカゴ

* 国際青少年交換学生オリエンテーション・歓送会

日時：2005年6月26日(日) 11:30～
場所：富士国際ホテル

事務所移転の お知らせ

多久ロータリークラブ

〒846-0002 佐賀県多久市北多久町小侍687-19 多久市商工会2階
TEL: 0952-75-2122 FAX: 0952-75-2122

お詫びと訂正

ガバナー月信No11（5月号）17頁

寄付者紹介欄の

米山功労者（誤）福島昭弘（大町RC）

（正）副島昭弘（大町RC）

と、お詫びして訂正申し上げます。



新・入・会・員・紹・介

ロータリーの新しい仲間になられました方々をご紹介します。



佐賀RC
吉島伸一君



佐賀RC
村田勝重君



佐賀RC
畑中史明君



神埼RC
川頭康則君



大町RC
樋口義孝君



唐津西RC
古賀文大君



伊万里西RC
吉岡知宏君



松浦RC
石橋芳幸君



佐世保南RC
飯塚佳彦君



佐世保南RC
吉田慎一君



佐世保南RC
乙成敏文君



佐世保RC
黒木政純君



佐世保RC
長富正博君



生月RC
北川隆幸君



諫早RC
池田誠君



諫早RC
石原純君



諫早北RC
野中洋一君



諫早北RC
佐々木博行君



諫早北RC
三浦純浩君



諫早西RC
山口大司君



諫早西RC
大門政幸君



諫早多良見RC
瀧田昌弘君



長崎RC
久木元孝行君



長崎RC
澤田昭彦君

◆ 訃報

謹んでお別れいたします。

2005年4月19日逝去
(享年74才)

故 諸熊 修君
(長崎西RC)





寄 付 者 紹 介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します

種 類	氏 名	クラブ名
P・H・F	立 石 泰 英	佐賀北RC
	吉 田 裕一郎	佐賀北RC
	横 尾 和 正	佐賀南RC
	田 中 洋 介	佐賀南RC
	秀 島 宣 雄	佐賀南RC
	辻 幸 徳	唐津RC
	深 谷 誓 志	唐津中央RC
	比 良 孝 蔵	大村北RC
	松 尾 高 一	諫早RC
	若 杉 能 将	諫早多良見RC
	江 口 泰 介	長崎RC
	吉 田 正 和	長崎RC
マルチプル・P・H・F	古 賀 駿	佐賀RC
	桐 山 欣 三	佐賀RC
	牧 野 邦司郎	佐賀RC
	古 賀 釀 治	佐賀RC
	永 池 公 一	佐賀RC
	池 田 秀 夫	佐賀RC
	原 田 一 洋	佐賀西RC
	福 岡 英 信	佐賀北RC
	渡 辺 ツユミ	唐津中央RC
	中 山 虎 雄	唐津中央RC
	烏 山 昇	北松浦RC
	村 山 史 男	佐世保南RC
	久 富 保 孝	大村東RC
	亀 田 純 輔	長崎北東RC
	大 原 玉 瑞	長崎北東RC
	武 藤 嘉 光	東長崎RC
	佐々木 達 也	長崎出島RC
ベネファクター	角 康 隆	佐世保南RC
大口寄付	相 良 紘一郎	佐世保南RC
メモリアルコントリビューター	勝 山 善 文	松浦RC
	御尊父 故 勝山捷祐様を偲んで	
米山功労者	原 田 一 洋	佐賀西RC
	井 手 雅 康	諫早RC
	佐々木 達 也	長崎出島RC
米山功労者 (マルチプル)	吉 田 一 夫	佐賀南RC



2005年4月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第1グループ	佐賀	3	84.5	75	0	78	0	3
	小城	4	93.4	36	1	34	1	-2
	牛津	4	84.4	32	1	32	0	0
	多久	4	87.7	41	4	41	4	0
	佐賀大和	4	80.0	26	3	25	3	-1
	小計		86.0	210	9	210	8	0
第2グループ	佐賀西	4	83.3	54	0	52	0	-2
	佐賀北	4	77.8	42	3	40	3	-2
	佐賀南	4	79.7	40	0	41	0	1
	神埼	4	80.6	29	0	28	0	-1
	佐賀空港	4	52.6	16	0	19	0	3
	小計		74.8	181	3	180	3	-1
第3グループ	有田	4	84.0	39	1	36	1	-3
	武雄	4	85.5	54	0	57	0	3
	鹿島	4	87.4	41	2	43	2	2
	嬉野	4	95.9	27	1	24	1	-3
	大町	4	76.0	28	0	25	0	-3
	白石	4	66.7	19	0	18	0	-1
	太良	4	68.2	12	0	10	0	-2
	小計		80.5	220	4	213	4	-7
第4グループ	唐津	4	91.3	51	0	53	0	2
	伊万里	4	97.0	42	0	42	0	0
	唐津東	4	94.0	54	0	52	0	-2
	唐津西	4	93.1	41	0	40	0	-1
	伊万里西	3	80.5	48	0	49	0	1
	唐津中央	4	89.3	42	4	42	4	0
	小計		90.9	278	4	278	4	0
第5グループ	佐世保	4	94.7	85	0	88	0	3
	平戸	4	94.0	43	0	42	0	-1
	佐世保西	4	96.9	38	1	37	1	-1
	北松浦	4	93.0	33	0	31	0	-2
	松浦	4	87.2	38	2	38	2	0
	生月	4	73.0	22	2	24	2	2
	小計		89.8	259	5	260	5	1
グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第6グループ	佐世保南	4	100.0	85	0	86	0	1
	佐世保東	4	82.8	35	0	33	0	-2
	佐世保北	4	97.3	51	0	50	0	-1
	佐世保中央	3	100.0	50	0	50	0	0
	佐世保東南	4	68.5	19	0	23	0	4
	HTB佐世保	4	73.1	28	4	28	3	0
	小計		87.0	268	4	270	3	2
第7グループ	大村	4	80.8	50	2	49	2	-1
	島原	4	83.1	40	3	37	3	-3
	雲仙	5	92.1	33	0	34	0	1
	大村北	4	100.0	33	0	33	0	0
	島原南	4	78.8	22	1	21	1	-1
	大村東	4	71.7	43	0	44	1	1
	小計		84.4	221	6	218	7	-3
第8グループ	諫早	4	89.5	69	0	66	0	-3
	諫早北	3	81.7	64	0	64	0	0
	諫早西	4	89.0	48	0	47	0	-1
	諫早多良見	4	74.4	44	0	41	0	-3
	諫早南	4	80.7	33	3	31	3	-2
	小計		83.1	258	3	249	3	-9
第9グループ	長崎	4	84.8	92	0	98	0	6
	福江	4	93.1	44	0	40	0	-4
	長崎北東	4	87.1	64	5	60	5	-4
	福江中央	4	92.1	42	0	37	0	-5
	長崎西	4	79.0	71	0	66	0	-5
	長崎琴海	3	71.7	20	2	20	2	0
	小計		84.6	333	7	321	7	-12
第10グループ	長崎北	4	69.0	79	0	77	0	-2
	長崎南	4	77.8	90	0	88	0	-2
	長崎東	4	98.7	77	0	79	0	2
	東長崎	4	81.1	39	0	38	0	-1
	長崎中央	4	92.4	59	0	56	0	-3
	長崎出島	4	82.0	58	16	59	15	1
	小計		83.5	402	16	397	15	-5
合計			84.5	2,630	61	2,596	59	-34



文 庫 通 信 (212号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

☆ 第33回ロータリーゾーン研究会報告書より ☆

- ◎「R I 近況報告」 田中作次 2005 3 p
- ◎「ロータリー財団近況報告 2006-07年度R I 会長指名委員会報告」
玉村文夫 2005 3 p
- ◎「ポリオ撲滅の現況と募金キャンペーンについて」 千 玄室 2005 2 p
- ◎「国際問題研究のためのロータリー・センター報告」 高橋一生 2005 3 p
- ◎「ロータリアンの意識とロータリーの将来の展望」 小谷典子 2005 14 p
- ◎「新世紀の夢を語る」 上野 孝 2005 7 p
- ◎「会員増強と退会防止（現状と将来への取り組み）」 小沢一彦 2005 3 p
- ◎「現代社会と職業倫理（社会の変化と職業倫理の在り方）」 天野 肇 2005 3 p
- ◎「魅力あるクラブ（個性的で、未来を作るクラブ）」 黒田正宏 2005 6 p
- ◎「水と保健・環境（水と感染症、疾病と環境）」 宮崎茂和 2005 3 p

[上記申込先：ロータリー文庫（コピー）]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

地区ホームページ <http://www.d2740.jp/> にて、ガバナー月信のバックナンバーをご覧いただけます。

諫早北RCでは、かつて西オーストラリアのピンジャラRCと子供達の絵画交換をしたことがあります。明るい彼等の絵をどうぞお楽しみ下さい。



第2740地区 バナー



諫早多良見RC



諫早南RC



長崎RC



福岡RC



長崎北東RC



福岡中央RC



長崎西RC



長崎琴海RC



長崎北RC



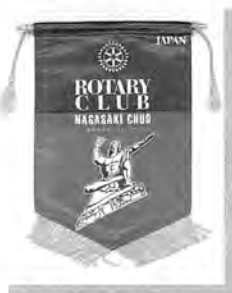
長崎南RC



長崎東RC



東長崎RC



長崎中央RC



長崎出島RC

編集後記

月信も12号(6月号)となり、総集編を残すのみとなりました。一年間に亘り、編集のために様々な角度からご支援、ご協力くださいました方々に、心より感謝申し上げます。

R.I 創立100周年という記念すべき年度に当たり、身近かなロータリー情報を満載しようと意気込んで臨みましたが、頁を埋めるのに四苦八苦の連続でした。

果して、会員の皆様に読んでいただけたかどうか、それだけが心配であります。



国際ロータリー第2740地区

2004~2005年度ガバナー

栗林 英雄

■事務所

〒854-0016 長崎県諫早市高城町5-10-302

TEL.0957-35-4890 FAX.0957-22-2808

E-mail:ri2740@ninus.ocn.ne.jp



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2005.8
vol.13

総集編

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー第2740地区 ガバナー月信

2004～05年度 ガバナー 栗林 英雄





Contents

ガバナーからのメッセージ	1
第23回 ローターアクト年次大会開催報告	2
5月・6月 新入会員紹介	4
5月・6月 寄付者紹介	6
5月・6月 会員数・出席報告	8
地区資料	10
主な活動実績	11
国際ロータリー第2740地区 2004～2005年度地区組織図	12
2004～2005年度 会員異動	14
2004～2005年度 出席率推移	15
ロータリー財団クラブ別寄付額	16
米山記念奨学会寄付金納入明細表	17
ロータリー財団寄付者	18
米山記念奨学会寄付者	21
G S Eメンバー	23
2005～06年度 ロータリー財団国際親善奨学生	24
2006～07年度 ロータリー財団国際親善奨学生候補者	24
2005年度 米山記念奨学生	25
国際青少年交換学生	26
インターアクト ローターアクトクラブ一覧	27
年間行事報告	28
2004～05年度 物故会員	32
地区会計報告	33



ガバナーからのメッセージ



「新世紀への大いなる飛躍を」

第2740地区ガバナー 栗林 英雄

2005～2006年の新しいロータリー年度となり、地区内58RCの会員の皆様も例年とは異なる新鮮な思いを抱いておられることであろう。改めて私がその事を強く意識するのは、前年度にロータリー創立100周年を迎え、一つの時代を画したという感慨が深いからである。本城ガバナーの下、年次テーマ「超我の奉仕」という理想の奉仕を実践するために、全ロータリアンが新たな気持ちでその第一歩を踏み出したところである。

20世紀初頭、シカゴの町で僅かに4人で始められたロータリー運動の中で、職業人の集合体が奉仕への意思を鮮明に打ち出した証として、「利己と利他との調和をはかる」という奉仕概念を確立し、それ以来この画期的な思想をロータリーの精神的支柱として存続してきたのである。しかし、それは純度の高い理念と団体行動として適用し難いところもあって、いつの間にか奉仕手法の主流より遠ざけられ、残念なことにロータリアンの意識の中でその存在は薄れかけていた。ところが今年度RI会長のステンハマー氏は年次テーマとしてこれを復活させたため、長いロータリー活動の変遷の末に奉仕の原点に回帰したという印象が深いのである。

今ロータリーではかつての互惠主義やステータスシンボルとしての社会的優越感は薄れ、様々な問題を抱えながらも自浄能力でその不都合を改善し、社会改良のためにロータリーの英知を惜しみなく投入しているところである。一方、世界的にクラブ数は増加するけれど会員の増強には余り寄与していないという、ロータリーの憂うべき矛盾に直面し、RIを挙げて会員の退会防止に取り組んでいる。多くの友人が歓迎を受けて入会しても、いつの間にかクラブから去って行くという現実を直視し、単に退会者だけを悪者あつかいにするのではなく、ロータリーの魅力の欠如は何故

か、今のロータリーに何が必要なのか、そのあるべき姿を今こそ見定めねばならない。

ロータリアンは基本的には善意の人である。専門職業人としての技能と識見を有し、必要な労働力の提供や経済的援助には積極的に協力する人種である。そして、求めに応じて拠出し集積された有形無形のエネルギーは地域社会を潤し、国境を越えて貧困、飢餓に苦しむ人々にもゆき渡り、人類の幸福に貢献している。しかし、こうした物質的供給という慈善事業は他のボランティア団体でも実際に行われていることであって、それでは一体何がロータリー的なのかと問われた時、何と答えるのだろうか。

今年の国際協議会リポートを見ると、ステンハマーRI会長エレクトが講演の中で強調されているように、奉仕のベクトルは常に一定方向に定められ、かつ持続してゆかねば奉仕の成果は望めないのである。組織の行動を決定する風の向きが右往左往してはならないと指摘しておられる。この事は年次テーマの果たす役割の重要性についても暗に言及しておられ、私自身は奉仕という大海の中で行く手を示す羅針盤であると考えており、RI会長エレクトは輝く星と表現しておられる。すでに月信5月号でも触れたように、昨年度の年次テーマと本年度のそれとは明らかに次元の異なる観点から決定されている。

全世界120万人のロータリアンを奉仕に駆り立てる言葉「超我の奉仕」は他の奉仕とは明らかに相違があることを教えている。それは心の有り方であり、他者への慈しみの心を実践する高潔な精神に充たされていること。

新しい風が吹き始めた。純粋な親睦と超我の奉仕という二枚の翼を持つこのロータリーが、その風に乗り新世紀に向けて大きく羽ばたく事を心より祈っている。



第23回 ローターアクト年次大会開催報告

地区ローターアクト委員会

委員長 山口 修 二

2005年6月4日・5日の両日にわたり、ホスト長崎ローターアクトクラブ、コ・ホスト長崎北ローターアクトクラブ、長崎東ローターアクトクラブで2004年～2005年度国際ロータリー第2740地区ローターアクト第23回年次大会が、長崎市稲佐山観光ホテルで開催されました。

来賓に長崎県知事代理高原剛総務部長、長崎市長代理松本紘明助役、栗林英雄R I 第2740ガバナーにご臨席頂き、また常日頃からご理解ご支援頂いておりますロータリアンの皆様や、地区内外のローターアクトOB、ローターアクトに参加頂き、盛会裡に終了することが出来ました。

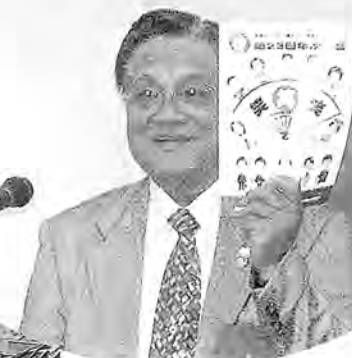
年間活動報告では各クラブの1年間の報告がなされ、今年度新たに設けられたガバナー賞（最優秀賞）は、長崎ローターアクトクラブが獲得しました。

ローターアクトには5つの委員会が設けられていますが、今年度は、その中の4つの委員会の趣旨を大会内容に折り込み、クラブ奉仕部門では親睦の和を広げる懇親会、国際奉仕部門では長崎文化と深い関わりを持つ龍踊り、社会奉仕部門ではロータリー100周年にちなんで参加者全員に100円募金を募り全額をポリオ基金へ寄付、専門知識開発では三菱造船所香焼工場の見学を実施、毎年、大会内容はより良いものになってきているようです。

2日目の卒業式、各表彰などの後、閉会式まで事故もなく終了しました。

しかし、大会を最後まで見守るロータリアンの少なさは残念です。やはり全日程を見て内容を掌握してほしいものです。

また、大会全体を見てみますと、毎年、懇親会・宿泊に大会費用の大半を費やしている現状は今一度見直し、今後公立の施設等を利用し、その費用を社会に貢献出来る奉仕事業に活用してもらいたいと願っています。





大会実行委員長 戸村大助

地区内12クラブの活動報告と、次年度役員への引継ぎや年齢退会者の卒業など、1年間を締めくくる年次大会を長崎の地で開催いたしました。今期はロータリー生誕100周年と、地区内に学生を基盤とする新たなクラブ「長崎国際大学RAC」ができるということで、ローターアクトとはなにか、原点に戻ろうと思い、4つの奉仕委員会をやってみよう企画しました。クラブ奉仕は懇親会や二次会で各クラブによる出し物の披露、社会奉仕では100円ポリオ撲滅募金と100枚限定Tシャツ販売、専門知識では長崎が世界に誇る三菱造船所の見学をおこない、そして国際奉仕では長崎の文化を代表する「長崎くんち」の龍踊りを披露しました。準備をするにあたり一番大変だったこと、それはスケジュール調整です。私たちの世代は仕事の融通が利かない場合が多く、人数が揃わないと出来ない龍踊りの練習は困難を極めました。中途半端な気持ちで練習して中途半端に披露しても魅せることはできない。チームワークと実演の大変さを痛感しましたが、やり遂げたあとの気分とメンバーの表情は最高に輝いていたと思います。

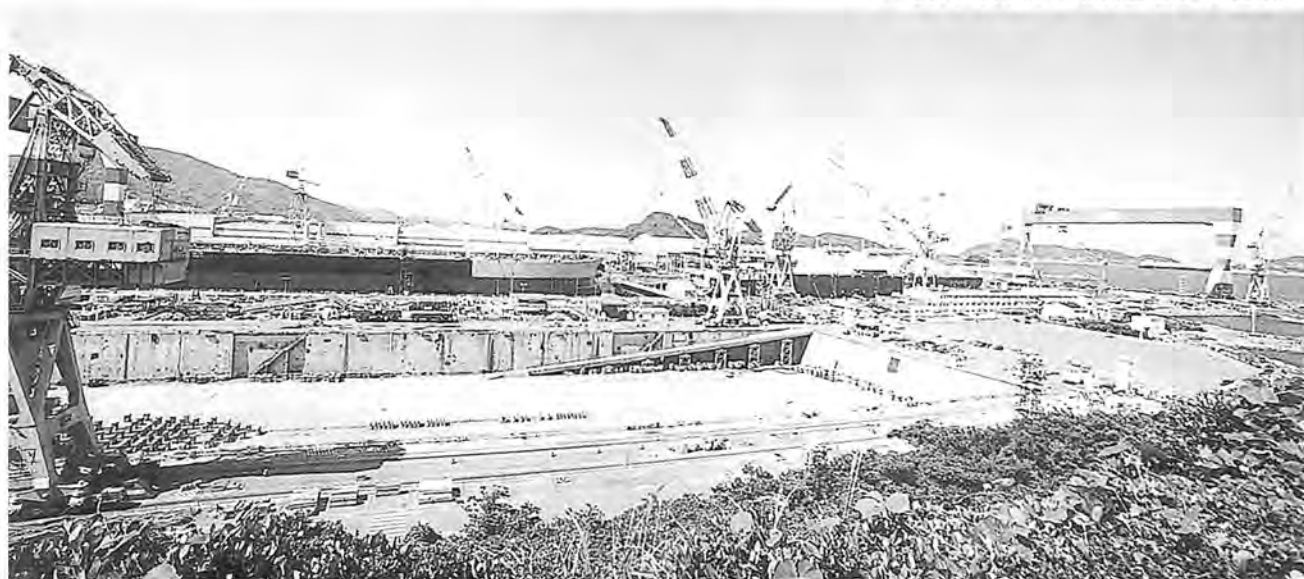
今大会において地区内はもとより、他地区からの参加者からも今後の活動を考えさせられた、これからの活動に活かしたいという言葉いただきました。大会テーマである「笑・笑・笑」(わっはっは)のごとく、笑いと感動が会場いっぱいに広がり、今期で卒業する身の私にとって、ローターアクトで一番大事な「引継ぎ」を果たせたと確信しています。

次年度はさらに飛躍し、ロータリー及びローターアクトが益々発展することを祈っています。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

「ワァー！
造船所って広いな」



三菱長崎香焼工場展望台より全景





新・入・会・員・紹・介

ロータリーの新しい仲間になられました方々をご紹介します。

(5月)



佐賀西RC
東 弘人 君



佐賀西RC
丸山 明 君



多久RC
岸川 情次 君



鹿島RC
小川 雅与 君



福江RC
一瀬 勝範 君



福江中央RC
熊川 良範 君



福江中央RC
早水 裕之 君



福江中央RC
小牧 憲明 君



長崎北RC
西側 正英 君



佐賀北RC
坂本 徹哉 君



佐賀北RC
池田 敬介 君



諫早南RC
野崎 耕司 君



長崎中央RC
川邊 将史 君



長崎中央RC
山崎 好博 君



長崎中央RC
丸尾 隆 君



長崎RC
溝田 勉 君



長崎RC
藤岡 良規 君



長崎北東RC
寺島 典夫 君



長崎北東RC
草野 一夫 君



長崎北RC
船越 哲 君



長崎北RC
木下 健一 君

(6月)



佐賀RC
木塚 登吉 君



佐賀RC
小手川 雅人 君



佐賀RC
仲林 淳 君



佐賀RC
佐久間 雅人 君



佐賀西RC
松本 一 君

新・入・会・員・紹・介

ロータリーの新しい仲間になられました方々をご紹介します。

(6月)



武雄RC
わたなべ ひろと 君
渡邊浩人 君



唐津東RC
うえすぎ よし かず 君
上杉芳久 君



佐世保RC
まつばた ふみ たか 君
松尾文隆 君



佐世保RC
みずき たか ひろ 君
溝口尚則 君



平戸RC
かわき ぼ うめ き 君
川久保梅之 君



平戸RC
さかもと くに ひこ 君
坂本國實 君



平戸RC
こやま けん じ 君
籠手田恵夫 君



佐世保南RC
いの え たか ひろ 君
井ノ上雅弘 君



佐世保東RC
き けん じ 君
城戸康文 君



大村RC
やま ぐ ち と し あ き 君
山手利夫 君



大村RC
おか べ ひろ あ き 君
岡部好宏 君



大村RC
そま し ま たか のり 君
副島正則 君



島原南RC
なか むら けん じ 君
中村研二 君



長崎南RC
かわ ぐ ち し ろ 君
川口 史 君



長崎南RC
かつ やま い く 君
勝山育雄 君



長崎中央RC
わた なべ よし ま さ 君
渡邊芳明 君

◆ 訃報

謹んで
お別れいたします。

2005年5月14日逝去
(享年77才)

故 服部正義君
(白石RC)



2005年6月13日逝去
(享年60才)

故 酒井達夫君
(諫早RC)



2005年6月3日逝去
(享年62才)

故 伊藤正巳君
(北松浦RC)





寄 付 者 紹 介

5 月

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します

種 類	氏 名	クラブ名
P・H・F	吉 岡 恵美子	多久R C
	福 島 徳 子	多久R C
	前 田 憲 秀	多久R C
	新 富 哲 也	唐津R C
	赤 木 行 秀	北松浦R C
	今 里 和 照	大村R C
	川 原 哲 也	長崎中央R C
	田 中 達 也	長崎中央R C
マルチプル・P・H・F	駒 井 英 基	佐賀南R C
ベネファクター	安 東 善 重	佐世保西R C
	渡 部 哲 夫	島原R C
ポリオプラス	栗 林 英 雄	諫早北R C
大口寄付	栗 林 英 雄	諫早北R C
メモリアルコントリビューター	坪 内 晴 美	福江中央R C
	(福江中央R C会員 故 坪内律國様を偲んで)	
米山功労者	古 賀 啓 道	佐賀西R C
	北 島 恭 一	佐賀南R C
	山 口 政 雄	大町R C
	山 本 武	大町R C
	宮 崎 素 彦	唐津R C
	馬 場 政 徳	長崎西R C
	木 下 直 樹	東長崎R C
米山功労者 (マルチプル)	石 橋 近四郎	佐賀西R C
	米 倉 保 治	鹿島R C
	四 元 永 生	長崎西R C
米山功労者 (メジャードナー)	栗 林 英 雄	諫早北R C



寄 付 者 紹 介

6 月

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します

種 類	氏 名	クラブ名
P・H・F	本 吉 伸 好	白石 R C
	澤 村 正 充	諫早 R C
	山 下 正 則	諫早多良見 R C
マルチプル・P・H・F	前 田 博 憲	佐賀西 R C
	円 田 稔	佐賀西 R C
	竹 田 健 介	平戸 R C
	青 崎 伊佐雄	松浦 R C
	内 田 博 幸	諫早北 R C
	才 津 祐 造	福江 R C
	四 元 永 生	長崎西 R C
大口寄付	高 木 聰一郎	長崎 R C
メモリアルコントリビューター	豊 田 康 裕	雲仙 R C
	御尊父 豊田浄人様を偲んで	
	田 中 忠 昭	福江中央 R C
	御尊父 田中仙一様を偲んで	
米山功労者	中 島 敏 行	佐賀 R C
	牧 瀬 勝 将	佐賀大和 R C
	山 口 康 雄	大町 R C
	飯 田 正 一	伊万里 R C
	加志田 恵 久	伊万里 R C
	松 尾 通 忠	伊万里 R C
	塩 澤 恒 雄	平戸 R C
	安 部 重 幸	平戸 R C
	河 野 健 次	松浦 R C
	小 溝 忠 徳	諫早北 R C
	田 平 賀 二	長崎中央 R C
	七 田 秀 徳	佐賀 R C
米山功労者 (マルチプル)	松 岡 武	平戸 R C
	山 口 國 行	佐世保西 R C
	朝 永 春 郎	松浦 R C
	山 本 規 仁	松浦 R C
	北 村 光 男	諫早 R C
	毎 熊 滋	諫早 R C
	川 野 恒 雄	諫早北 R C
米山功労者 (メジャードナー)	隅 田 達 男	伊万里 R C



2005年5月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	当月末 出席率	会員数				
				7月1 日	うち 女性	当月末	うち 女性	増減
第1グループ	佐賀	3	83.5	75	0	77	0	2
	小城	3	89.2	36	1	34	1	-2
	牛津	4	86.3	32	1	32	0	0
	多久	3	92.8	41	4	42	4	1
	佐賀大和	4	74.5	26	3	25	3	-1
	小計		85.2	210	9	210	8	0
第2グループ	佐賀西	4	81.6	54	0	54	0	0
	佐賀北	3	82.3	42	3	42	3	0
	佐賀南	4	78.6	40	0	41	0	1
	神埼	4	81.5	29	0	28	0	-1
	佐賀空港	3	55.0	16	0	20	0	4
	小計		75.8	181	3	185	3	4
第3グループ	有田	4	77.4	39	1	36	1	-3
	武雄	5	82.1	54	0	57	0	3
	鹿島	3	84.9	41	2	42	2	1
	嬉野	4	96.9	27	1	24	1	-3
	大町	3	78.6	28	0	24	0	-4
	白石	3	76.4	19	0	17	0	-2
	太良	3	66.7	12	0	10	0	-2
	小計		80.4	220	4	210	4	-10
第4グループ	唐津	4	90.2	51	0	53	0	2
	伊万里	3	98.4	42	0	42	0	0
	唐津東	3	95.2	54	0	52	0	-2
	唐津西	3	86.9	41	0	40	0	-1
	伊万里西	3	81.3	48	0	49	0	1
	唐津中央	4	91.1	42	4	42	4	0
	小計		90.5	278	4	278	4	0
第5グループ	佐世保	3	94.0	85	0	88	0	3
	平戸	3	92.9	43	0	41	0	-2
	佐世保西	4	94.7	38	1	36	1	-2
	北松浦	4	85.9	33	0	30	0	-3
	松浦	4	81.1	38	2	38	2	0
	生月	3	72.5	22	2	24	2	2
	小計		86.8	259	5	257	5	-2
グループ	クラブ名	例会数	当月末 出席率	会員数				
				7月1 日	うち 女性	当月末	うち 女性	増減
第6グループ	佐世保南	4	97.1	85	0	86	0	1
	佐世保東	3	83.4	35	0	33	0	-2
	佐世保北	4	94.0	51	0	50	0	-1
	佐世保中央	3	100.0	50	0	48	0	-2
	佐世保東南	2	73.9	19	0	23	0	4
	HTB佐世保	4	73.6	28	4	28	3	0
	小計		87.0	268	4	268	3	0
第7グループ	大村	4	97.0	50	2	49	2	-1
	島原	4	82.5	40	3	37	3	-3
	雲仙	3	88.1	33	0	34	0	1
	大村北	3	100.0	33	0	33	0	0
	島原南	3	75.0	22	1	21	1	-1
	大村東	5	75.5	43	0	44	1	1
	小計		86.3	221	6	218	7	-3
第8グループ	諫早	3	90.1	69	0	66	0	-3
	諫早北	3	87.0	64	0	64	0	0
	諫早西	3	93.3	48	0	46	0	-2
	諫早多良見	4	82.5	44	0	41	0	-3
	諫早南	4	85.2	33	3	32	3	-1
	小計		87.6	258	3	249	3	-9
	第9グループ	長崎	3	89.4	92	0	100	0
福江		3	97.3	44	0	40	0	-4
長崎北東		3	84.4	64	5	61	5	-3
福江中央		3	92.4	42	0	39	0	-3
長崎西		4	75.0	71	0	65	0	-6
長崎琴海		3	80.0	20	2	20	2	0
小計			86.4	333	7	325	7	-8
第10グループ	長崎北	4	78.0	79	0	79	0	0
	長崎南	3	83.3	90	0	88	0	-2
	長崎東	3	98.7	77	0	79	0	2
	東長崎	4	84.0	39	0	38	0	-1
	長崎中央	4	93.2	59	0	58	0	-1
	長崎出島	3	76.3	58	16	59	15	1
	小計		85.6	402	16	401	15	-1
合計			85.2	2,630	61	2,601	59	-29



2005年6月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第1グループ	佐賀	5	83.3	75	0	80	0	5
	小城	5	94.1	36	1	34	1	-2
	牛津	4	90.6	32	1	31	0	-1
	多久	5	94.7	41	4	42	4	1
	佐賀大和	4	77.1	26	3	25	3	-1
	小計		88.0	210	9	212	8	2
第2グループ	佐賀西	4	87.5	54	0	56	0	2
	佐賀北	5	84.7	42	3	41	3	-1
	佐賀南	4	82.9	40	0	41	0	1
	神埼	4	70.4	29	0	28	0	-1
	佐賀空港	4	55.0	16	0	20	0	4
	小計		76.1	181	3	186	3	5
第3グループ	有田	4	83.8	39	1	33	1	-6
	武雄	4	81.5	54	0	57	0	3
	鹿島	4	89.6	41	2	41	2	0
	嬉野	4	93.7	27	1	23	1	-4
	大町	5	71.2	28	0	24	0	-4
	白石	5	76.5	19	0	17	0	-2
	太良	5	69.6	12	0	9	0	-3
	小計		80.8	220	4	204	4	-16
第4グループ	唐津	4	95.1	51	0	51	0	0
	伊万里	5	98.6	42	0	40	0	-2
	唐津東	4	90.6	54	0	50	0	-4
	唐津西	4	88.1	41	0	39	0	-2
	伊万里西	5	80.5	48	0	47	0	-1
	唐津中央	4	97.6	42	4	41	4	-1
	小計		91.8	278	4	268	4	-10
第5グループ	佐世保	5	93.1	85	0	84	0	-1
	平戸	5	79.2	43	0	41	0	-2
	佐世保西	4	90.6	38	1	33	0	-5
	北松浦	3	84.1	33	0	25	0	-8
	松浦	4	88.5	38	2	37	1	-1
	生月	5	55.0	22	2	19	2	-3
	小計		81.7	259	5	239	3	-20
グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第6グループ	佐世保南	4	98.6	85	0	81	0	-4
	佐世保東	5	85.6	35	0	31	0	-4
	佐世保北	3	89.1	51	0	48	0	-3
	佐世保中央	5	100.0	50	0	46	0	-4
	佐世保東南	4	80.5	19	0	23	0	4
	HTB佐世保	4	74.1	28	4	28	3	0
	小計		88.0	268	4	257	3	-11
第7グループ	大村	4	97.3	50	2	52	2	2
	島原	4	88.8	40	3	37	3	-3
	雲仙	4	81.3	33	0	34	0	1
	大村北	5	100.0	33	0	33	0	0
	島原南	5	80.0	22	1	21	1	-1
	大村東	4	76.4	43	0	44	1	1
	小計		87.3	221	6	221	7	0
第8グループ	諫早	4	91.8	69	0	65	0	-4
	諫早北	5	85.5	64	0	63	0	-1
	諫早西	5	95.1	48	0	46	0	-2
	諫早多良見	4	86.6	44	0	40	0	-4
	諫早南	3	85.4	33	3	32	3	-1
	小計		88.9	258	3	246	3	-12
第9グループ	長崎	5	80.5	92	0	99	0	7
	福江	4	93.9	44	0	40	0	-4
	長崎北東	5	87.6	64	5	58	5	-6
	福江中央	4	87.7	42	0	37	0	-5
	長崎西	4	75.0	71	0	65	0	-6
	長崎琴海	5	69.0	20	2	20	2	0
	小計		82.3	333	7	319	7	-14
第10グループ	長崎北	4	71.9	79	0	74	0	-5
	長崎南	5	82.2	90	0	84	0	-6
	長崎東	4	98.7	77	0	72	0	-5
	東長崎	4	79.9	39	0	36	0	-3
	長崎中央	4	93.2	59	0	59	0	0
	長崎出島	4	69.0	58	16	55	15	-3
	小計		82.5	402	16	380	15	-22
合計			84.7	2,630	61	2,532	57	-98



2004～2005年度 地区資料

主な活動実績	11
国際ロータリー第2740地区 2004～2005年度地区組織図	12
2004～2005年度 会員異動	14
2004～2005年度 出席率推移	15
ロータリー財団クラブ別寄付額	16
米山記念奨学会寄付金納入明細表	17
ロータリー財団寄付者	18
米山記念奨学会寄付者	21
G S E メンバー	23
2005～06年度 ロータリー財団国際親善奨学生	24
2006～07年度 ロータリー財団国際親善奨学生候補者	24
2005年度 米山記念奨学生	25
国際青少年交換学生	26
インターアクト ローターアクトクラブ一覧	27
年間行事報告	28
2004～05年度 物故会員	32
地区資金一般会計収支決算書	33
地区委員会費内訳	34
地区資金「特別会計」収支決算書	34
ガバナー事務所・月信会計収支決算書	34
国際青少年交換資金会計	35
P E T S / 地区協議会収支決算書	35
米山記念奨学会決算報告書	35
地区ローターアクト代表事務局会計報告書	36
第26回 R Y L A 収支決算書	37
インターアクト年次大会決算書	38
地区大会決算報告	39



《2004～2005年度 主な活動実績》

会員増強関係

- ◆ 目標 純増 100名
実績 △98名 新入会員 192名
退会会員 290名
- ◆ 優秀クラブ
会員増強率最高 佐世保東南RC (21%)
新会員最多獲得 長崎RC (6名)
退会防止率最高 佐賀空港RC (0.15%)

寄付関係

- ◆ R財団寄付
 - 1) 年次寄付目標 280千ドル
実績 217千ドル
達成率 77.5%
 - 優秀クラブ(1人当り寄付額)
 - 第1位 松浦RC 175.03ドル
 - 第2位 長崎東RC 154.16ドル
 - 第3位 鹿島RC 139.57ドル
 - 2) ベネファクター目標 58名
実績 18名
- ◆ 米山記念奨学会寄付
 - 目標 3,500万円
 - 実績 3,023万円
 - 達成率 86.4%
 - 優秀クラブ(1人当り寄付額)
 - 第1位 大町RC 30,785円
 - 第2位 伊万里RC 27,809円
 - 第3位 佐賀西RC 22,666円

表彰関係

- ◆ RI会長賞
諫早多良見RC、長崎RC、福江中央RC
長崎中央RC、長崎北東RC、長崎西RC
- ◆ ロータリー100周年記念専門職務奉仕賞
長崎RC推薦
中尾初美様(日本赤十字社長崎原爆病院勤務)
- ◆ 奉仕への貢献に対する表彰
大町RC、有田RC、伊万里西RC
HTB佐世保RC、佐世保南RC、長崎RC

DDF関係

- ◆ 地区補助金
承認された補助金 34,711ドル
申請クラブ 33クラブ
- ◆ R財団国際親善奨学生 7名
- ◆ ポリオプラス寄付 20,000ドル
- ◆ マッチンググラント 3,500ドル

義援金関係

- ◆ 新潟、福井災害義援金
52クラブ 1,399,893円
- ◆ 台風23号、新潟県中越地震義援金
55クラブ 2,529,898円
- ◆ スマトラ沖地震・インド洋津波義援金
54クラブ 3,075,631円
地区大会事務局 470,392円
- ◆ 福岡西方沖地震
第2740地区 100,000円

国際ロータリー第2740地区 2004～2005年度地区組織図



地区資料

Rotary International district 2740

ガバナー指名委員会		諮問委員会		ガバナーエレクト		ガバナー補佐	
PG	逸見 嘉彦 (佐世保南)	PG	逸見 嘉彦	本城	好春 (唐 津)	第1グループ	佐賀・小城・牛津・多久・佐賀大和
PG	宮島傳兵衛 (唐 津 東)	PG	宮島傳兵衛	地区研修リーダー		第2グループ	佐賀西・佐賀北・佐賀南・神埼・佐賀空港
PG	市瀬久米嘉 (佐世保東)	PG	市瀬久米嘉	安部 直樹 (佐 世 保)		第3グループ	有田・武雄・鹿島・嬉野・大町・白石太良
PG	佐古 亮尊 (大 村 北)	PG	佐古 亮尊	地区拡大委員会		第4グループ	唐津・伊万里・唐津東・唐津西・伊万里西唐津中央
PG	牟田 勝輔 (武 雄)	PG	牟田 勝輔	福井 順 (長 崎 南)		第5グループ	佐世保・平戸・佐世保西・北松浦・松浦生月
PG	辻 洋三 (佐世保南)	PG	辻 洋三	隅田 達男 (伊 万 里)		第6グループ	佐世保南・佐世保東・佐世保北・佐世保中央・佐世保東南・H T B 佐世保
PG	野崎 元治 (長 崎)	PG	野崎 元治	安部 直樹 (佐 世 保)		第7グループ	大村・島原・雲仙・大村北・島原南大村東
PG	草場立太郎 (佐 賀 西)	PG	草場立太郎	ロータリーの友		第8グループ	諫早・諫早北・諫早西・諫早多良見諫早南
PG	武井 洋一 (佐 世 保)	PG	武井 洋一	嘉村 末男 (諫 早)		第9グループ	長崎・福江・長崎北東・福江中央・長崎西長崎琴海
PG	福井 順 (長 崎 南)	PG	福井 順			第10グループ	長崎北・長崎南・長崎東・東長崎長崎中央・長崎出島
PG	隅田 達男 (伊 万 里)	PG	隅田 達男				
PG	安部 直樹 (佐 世 保)	PG	安部 直樹				
G	栗林 英雄 (諫 早 北)						

クラブ奉仕委員会	
委員長	宮崎 清彰 (諫 早 北)
委 員	野村 安伸 (長崎北東)
※	平原妃沙子 (佐世保西)
※	藤田 智久 (長 崎)

拡大・会員増強委員会	
委員長	野村 安伸 (長崎北東)
委 員	酒井 三郎 (大 村)
※	福蘭 英智 (佐世保西)

ロータリー情報・広報委員会	
委員長	宮崎 清彰 (諫 早 北)
委 員	小松 重昭 (唐津中央)
※	大串 平二 (諫 早 北)
※	中尾 直弘 (武 雄)

ロータリー女性委員会	
委員長	平原妃沙子 (佐世保西)
委 員	松尾美知子 (H T B 佐世保)
※	助村 房子 (諫 早 南)
※	金ヶ江亮子 (多 久)

出席委員会	
委員長	藤田 智久 (長 崎)
委 員	西村 和郎 (神 埼)
※	緒里勇三郎 (諫 早 西)
※	増本 恒彦 (H T B 佐世保)

社会奉仕・環境保全委員会	
委員長	酒井 明仁 (諫 早)
委 員	服巻 芳史 (小 城)
※	川原 俊也 (長 崎 北)

職業奉仕委員会	
委員長	駒井 英基 (佐 賀 南)
委 員	影平 薫 (長 崎 東)
※	黒岩 洋義 (佐世保東南)
※	中村 良一 (長 崎 北)
※	梅津 哲夫 (佐 賀 西)

国際奉仕委員会	
委員長	本田 圭助 (長 崎 南)
委 員	久保 元治 (諫 早)
※	松尾 英機 (佐世保中央)
※	横尾 和正 (佐 賀 南)
※	前田 博憲 (佐 賀 西)

国際青少年交換委員会	
委員長	久保 元治 (諫 早)
委 員 (グループ1)	古賀 釐治 (佐 賀)
※ (グループ2)	吉岡 励 (神 埼)
※ (グループ3)	菅田 健一 (嬉 野)
※ (グループ4)	堤 浩行 (唐 津 西)
※ (グループ5)	富永 正宏 (佐 世 保)
※ (グループ6)	中島 洋三 (佐世保南)
※ (グループ7)	本多 善彦 (雲 仙)
※ (グループ8)	松藤 久傳 (諫 早 西)
※ (グループ8)	石田 豊 (諫早多良見)
※ (グループ9)	田嶋 英夫 (長崎北東)
※ (グループ10)	瀬戸口智彦 (長 崎 南)

G S E 委員会	
委員長	本田 圭助 (長 崎 南)
委 員 (グループ1)	諸島 貞一 (小 城)
※ (グループ2)	芦原 清彦 (佐 賀 北)
※ (グループ3)	原田 恒俊 (嬉 野)
※ (グループ4)	中島 紘一 (伊万里西)
※ (グループ5)	田中 俊夫 (平 戸)
※ (グループ6)	東島 秀明 (佐世保北)
※ (グループ7)	金澤秀三郎 (雲 仙)
※ (グループ8)	久保 泰正 (諫 早 西)
※ (グループ9)	西 亮 (長崎北東)
※ (グループ10)	山田 晃 (長 崎 南)



地区ガバナー (R1役員)

栗林 英雄

山本 光雄 (牛 津)

吉田 一夫 (佐 賀 南)

高原 武彦 (有 田)

田代 孝男 (唐 津 西)

佐藤 一男 (北 松 浦)

相良紘一郎 (佐世保南)

木下 一功 (大 村)

早田 和彦 (諫 早 西)

砂田 義博 (長崎琴海)

佐々木達也 (長崎出島)

ガバナー事務所

幹 事 (総 括)	杉原 宏一 (諫 早 北)
事務局長 (財 務、 地区チーム研修セミナー)	瀬頭 昭治 (諫 早 北)
副 幹 事 (国際奉仕、国際青少年交換)	鈴木 忠義 (諫 早 北)
◇ (月 信)	緒方 聖 (諫 早 北)
◇ (R財団、奨学・学友、GSE)	八江 正光 (諫 早)
◇ (クラブ奉仕(拡大増強、情報広報、女性、出席)、 地区協議会)	横尾 健三 (諫 早 西)
◇ (環境保全、新世代、ライラ、IAC、RAC、 PETS)	中村 克三 (諫早多良見)
◇ (米山、職業奉仕)	山口 賢也 (諫 早 南)
委 員 (総務)	白倉 一男 (諫 早 北)
◇ (総務)	木村 好孝 (諫 早 北)
◇ (地区大会)	鶴川 浩基 (諫 早 北)
◇ (地区大会)	清水 昭弘 (諫 早 北)
◇ (財務)	芦塚 猛 (諫 早)
会 計 長	池田 光利 (諫 早)

地区チーム研修セミナー実行委員会

委員長	瀬頭 昭治 (諫 早 北)
幹 事	鈴木 忠義 (諫 早 北)

PETS実行委員会

委員長	田中 輝國 (諫早多良見)
副委員長	松本 尚武 (諫早多良見)

地区協議会実行委員会

委員長	奥村 耆 (諫 早 西)
副委員長	今村 文雄 (諫 早 西)
幹 事	永井 栄次 (諫 早 西)

地区委員会

ロータリー財団委員会

委員長	松尾 英機 (佐世保中央)
委 員 (グループ1)	飯盛 康登 (多 久)
◇ (グループ2)	正島 隆夫 (佐 賀 北)
◇ (グループ3)	富永 正嗣 (武 雄)
◇ (グループ4)	鈴木 謙一 (唐 津)
◇ (グループ5)	山縣 義道 (佐 世 保)
◇ (グループ6)	井上 亮 (佐世保中央)
◇ (グループ7)	日向 啓 (島 原 南)
◇ (グループ8)	田中 輝國 (諫早多良見)
◇ (グループ9)	友岡 純一 (長崎琴海)
◇ (グループ10)	高田昌一郎 (長崎中央)

財団奨学・学友委員会

委員長	横尾 和正 (佐 賀 南)
委 員	田中 克憲 (長 崎 西)
◇	久保 志郎 (佐 賀 西)
◇	志村 宏一 (佐世保南)
◇	橋口 浩敏 (佐 賀 南)

米山記念奨学委員会

委員長	前田 博憲 (佐 賀 西)
委 員 (グループ1)	音成日佐男 (佐 賀)
◇ (グループ2)	藤井 義博 (佐 賀 南)
◇ (グループ3)	山本 武 (大 町)
◇ (グループ4)	岩永 龍幸 (伊 万 里)
◇ (グループ5)	百武 裕二 (松 浦)
◇ (グループ6)	牛島 義亮 (佐世保中央)
◇ (グループ7)	吉田 秀隆 (島 原 南)
◇ (グループ8)	高木 正隆 (諫 早 南)
◇ (グループ9)	長谷川 宏 (長崎琴海)
◇ (グループ10)	西川 範子 (長崎出島)

新世代委員会

委員長	岩永 信昭 (長崎北東)
委 員	山口 修二 (鹿 島)
◇	西田 猛 (大 村 北)
◇	佐藤 真一 (諫 早 南)
◇	馬渡 誠 (長 崎 西)
◇	草野 幸子 (長崎出島)

ライラ委員会

委員長	佐藤 真一 (諫 早 南)
委 員	尾崎 隆 (東 長 崎)
◇	吉村 正則 (佐賀大和)
◇	劉 濟昌 (長 崎 西)

インターアクト委員会

委員長	草野 幸子 (長崎出島)
委 員	岡 寛 (佐世保南)
◇	八木 正勝 (諫 早 北)
◇	大塚 良弘 (佐 賀 西)
◇	江口 武 (牛 津)
◇	田中丸治樹 (伊 万 里)
◇	天本 俊太 (長 崎)
◇	西田 猛 (大 村 北)

ローターアクト委員会

委員長	山口 修二 (鹿 島)
委 員	栄田 元信 (諫 早)
◇	都市右太雄 (唐 津 東)
◇	新穂 博文 (佐 世 保)
◇	安達 健蔵 (長 崎)
◇	木下 博行 (佐 賀)
◇	藤村 昌憲 (長 崎 北)
◇	高木 義和 (島 原)
◇	志久 雄三 (佐世保東)
◇	山崎 光英 (伊万里西)
◇	濱崎 芳裕 (長 崎 東)

ロータリー百周年委員会

委員長	佐古 亮尊 (大 村 北)
委 員	福井 順 (長 崎 南)
◇	安部 直樹 (佐 世 保)
◇	栗林 英雄 (諫 早 北)
◇	本城 好春 (唐 津)

財務委員会

委員長	小宮 康彦 (長 崎 南)
委 員	田尻 徳磨 (伊 万 里)
◇	福田 金治 (佐 世 保)

地区大会実行委員会

委員長	松角 雅夫 (諫 早 北)
幹 事	鶴川 浩基 (諫 早 北)
SAA	瀬頭 昭治 (諫 早 北)
事務局長	清水 昭弘 (諫 早 北)



2004-2005年度 会員異動

グループ	クラブ名	前年度末 会員数	うち、 女性会員	本年度初 会員数	うち、 女性会員	本年度中 新規会員	本年度中 退会会員	本年度末 会員数	うち、 女性会員	前年度比 増減数	うち、 女性会員	本年度初 比増減数	うち、 女性会員
第1グループ	佐賀	75	0	75	0	16	11	80	0	5	0	5	0
	小津	37	1	36	1	1	3	34	1	-3	0	-2	0
	牛久	32	1	32	1	2	3	31	0	-1	-1	-1	-1
	多賀	41	4	41	4	1	0	42	4	1	0	1	0
	佐賀大和	26	3	26	3	0	1	25	3	-1	0	-1	0
	小計	211	9	210	9	20	18	212	8	1	-1	2	-1
第2グループ	佐賀	54	0	54	0	4	2	56	0	2	0	2	0
	佐賀	42	3	42	3	3	4	41	3	-1	0	-1	0
	佐賀	40	0	40	0	2	1	41	0	1	0	1	0
	神埼	28	0	29	0	2	3	28	0	0	0	-1	0
	佐賀空	16	0	16	0	4	0	20	0	4	0	4	0
	小計	180	3	181	3	15	10	186	3	6	0	5	0
第3グループ	有田	37	1	39	1	1	7	33	1	-4	0	-6	0
	武雄	54	0	54	0	9	6	57	0	3	0	3	0
	鹿島	41	2	41	2	3	3	41	2	0	0	0	0
	嬉野	27	1	27	1	0	4	23	1	-4	0	-4	0
	大町	28	0	28	0	2	6	24	0	-4	0	-4	0
	太白	19	0	19	0	0	2	17	0	-2	0	-2	0
	小計	12	0	12	0	0	3	9	0	-3	0	-3	0
	小計	218	4	220	4	15	31	204	4	-14	0	-16	0
第4グループ	唐津	51	0	51	0	2	2	51	0	0	0	0	0
	伊萬	42	0	42	0	2	4	40	0	-2	0	-2	0
	唐津	54	0	54	0	2	6	50	0	-4	0	-4	0
	唐津	41	0	41	0	2	4	39	0	-2	0	-2	0
	伊萬里	48	0	48	0	2	3	47	0	-1	0	-1	0
	唐津中	42	4	42	4	3	4	41	4	-1	0	-1	0
	小計	278	4	278	4	13	23	268	4	-10	0	-10	0
第5グループ	佐世保	85	0	85	0	7	8	84	0	-1	0	-1	0
	平戸	42	0	43	0	4	6	41	0	-1	0	-2	0
	佐世保	36	1	38	1	1	6	33	0	-3	-1	-5	-1
	北松	33	0	33	0	1	9	25	0	-8	0	-8	0
	松浦	37	2	38	2	1	2	37	1	0	-1	-1	-1
	生月	21	2	22	2	2	5	19	2	-2	0	-3	0
	小計	254	5	259	5	16	36	239	3	-15	-2	-20	-2
第6グループ	佐世保	85	0	85	0	6	10	81	0	-4	0	-4	0
	佐世保	35	0	35	0	1	5	31	0	-4	0	-4	0
	佐世保	51	0	51	0	2	5	48	0	-3	0	-3	0
	佐世保	50	0	50	0	1	5	46	0	-4	0	-4	0
	佐世保	19	0	19	0	4	0	23	0	4	0	4	0
	HTB佐世保	28	4	28	4	3	3	28	3	0	-1	0	-1
	小計	268	4	268	4	17	28	257	3	-11	-1	-11	-1
第7グループ	大村	50	2	50	2	3	1	52	2	2	0	2	0
	大島	40	3	40	3	2	5	37	3	-3	0	-3	0
	雲仙	34	0	33	0	1	0	34	0	0	0	1	0
	大村	33	0	33	0	1	1	33	0	0	0	0	0
	大島	22	1	22	1	1	2	21	1	-1	0	-1	0
	小計	43	0	43	0	5	4	44	1	1	1	1	1
	小計	222	6	221	6	13	13	221	7	-1	1	0	1
第8グループ	諫早	69	0	69	0	6	10	65	0	-4	0	-4	0
	諫早	64	0	64	0	5	6	63	0	-1	0	-1	0
	諫早	48	0	48	0	3	5	46	0	-2	0	-2	0
	諫早	44	0	44	0	1	5	40	0	-4	0	-4	0
	諫早	33	3	33	3	2	3	32	3	-1	0	-1	0
	小計	258	3	258	3	17	29	246	3	-12	0	-12	0
第9グループ	長崎	92	0	92	0	16	9	99	0	7	0	7	0
	長崎	44	0	44	0	5	9	40	0	-4	0	-4	0
	長崎	65	5	64	5	3	9	58	5	-7	0	-6	0
	長崎	42	0	42	0	4	9	37	0	-5	0	-5	0
	長崎	71	0	71	0	2	8	65	0	-6	0	-6	0
	小計	20	1	20	2	0	0	20	2	0	1	0	0
	小計	334	6	333	7	30	44	319	7	-15	1	-14	0
第10グループ	長崎	79	0	79	0	11	16	74	0	-5	0	-5	0
	長崎	90	0	90	0	4	10	84	0	-6	0	-6	0
	長崎	77	0	77	0	6	11	72	0	-5	0	-5	0
	長崎	39	0	39	0	1	4	36	0	-3	0	-3	0
	長崎	59	0	59	0	10	10	59	0	0	0	0	0
	小計	59	16	58	16	4	7	55	15	-4	-1	-3	-1
	小計	403	16	402	16	36	58	380	15	-23	-1	-22	-1
	合計	2,626	60	2,630	61	192	290	2,532	57	-94	-3	-98	-4



2004-2005年度 出席率推移

グループ	クラブ名	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	平均
第1グループ	佐賀	89.9	86.8	86.9	87.3	87.1	86.4	85.2	85.6	85.5	84.5	83.5	83.3	86.0
	小城	96.5	96.3	96.5	96.2	94.3	96.4	92.4	93.6	96.0	93.4	89.2	94.1	94.6
	牛久	92.5	93.1	92.8	91.4	95.3	90.6	83.6	85.4	87.5	84.4	86.3	90.6	89.5
	多賀	88.2	92.7	93.0	88.9	92.7	88.6	87.7	87.7	85.3	87.7	92.8	94.7	90.0
	佐賀大和	75.9	81.7	85.9	81.0	89.0	88.0	78.7	79.0	69.0	80.0	74.5	77.1	80.0
第2グループ	小計	88.6	90.1	91.0	89.0	91.7	90.0	85.5	86.3	84.7	86.0	85.2	88.0	88.0
	佐賀西	82.3	91.0	87.5	82.0	87.0	80.8	81.0	84.0	81.3	83.3	81.6	87.5	84.1
	佐賀北	89.0	85.5	86.2	87.6	86.5	86.9	85.4	82.9	82.4	77.8	82.3	84.7	84.7
	佐賀南	84.7	80.4	78.1	79.9	77.4	82.1	79.7	79.8	86.6	79.7	78.6	82.9	80.8
	神埼	87.1	78.7	71.3	73.2	77.5	79.5	74.4	70.4	76.0	80.6	81.5	70.4	76.7
第3グループ	佐賀空	64.7	66.2	57.3	58.8	51.0	63.5	70.2	66.6	55.9	52.6	55.0	55.0	59.7
	小計	81.6	80.4	76.1	76.3	75.9	78.6	78.1	76.7	76.4	74.8	75.8	76.1	77.2
	有田	78.4	73.5	72.6	72.7	80.4	73.1	76.5	84.7	77.0	84.0	77.4	83.8	77.8
	武雄	84.5	79.2	79.7	83.3	80.4	79.7	81.0	83.3	92.4	85.5	82.1	81.5	82.7
	鹿島	89.3	88.8	86.9	89.6	90.4	88.7	85.7	87.5	83.3	87.4	84.9	89.6	87.7
第4グループ	嬉野	89.0	86.4	93.3	91.5	95.0	87.0	90.0	88.0	90.6	95.9	96.9	93.7	91.4
	大町	87.4	74.6	75.5	71.3	75.5	71.0	70.0	69.2	73.0	76.0	78.6	71.2	74.4
	白石	68.4	79.0	76.6	77.8	77.8	72.2	72.2	73.6	68.9	66.7	76.4	76.5	73.8
	太良	81.6	75.0	70.8	64.6	70.8	54.2	68.2	68.2	65.5	68.2	66.7	69.6	68.6
	小計	82.7	79.5	79.3	78.7	81.5	75.1	77.7	79.2	78.7	80.5	80.4	80.8	79.5
第5グループ	唐津	92.4	95.5	94.3	95.6	94.1	94.0	94.2	90.8	90.4	91.3	90.2	95.1	93.1
	伊万里	98.8	97.7	97.2	97.7	95.5	96.5	98.2	98.2	98.1	97.0	98.4	98.6	97.7
	唐津東	93.6	93.8	89.7	91.5	94.7	96.3	87.5	89.1	89.0	94.0	95.2	90.6	92.1
	唐津西	91.2	88.5	88.6	93.3	83.3	89.3	88.6	85.7	83.6	93.1	86.9	88.1	88.3
	伊万里西	89.0	92.9	86.9	88.4	86.3	80.8	78.0	83.1	85.9	80.5	81.3	80.5	84.5
第6グループ	唐津中	94.0	96.1	92.6	91.6	93.4	90.3	91.3	89.9	85.5	89.3	91.1	97.6	91.9
	小計	93.2	94.1	91.5	93.0	91.2	91.2	89.6	89.5	88.7	90.9	90.5	91.8	91.3
	佐世保	94.9	93.8	93.7	95.3	95.7	94.2	95.2	94.5	94.4	94.7	94.0	93.1	94.4
	平戸	79.7	86.1	94.6	94.7	95.8	77.0	88.1	81.5	76.2	94.0	92.9	79.2	86.6
	佐世保西	98.5	95.3	92.2	93.3	94.8	95.0	95.8	98.4	95.5	96.9	94.7	90.6	95.1
第7グループ	北松浦	91.3	89.1	92.9	77.7	89.3	83.3	88.6	88.5	90.0	93.0	85.9	84.1	87.8
	松浦	97.8	91.0	96.6	87.8	89.6	83.6	88.2	83.3	88.2	87.2	81.1	88.5	88.6
	生月	70.3	74.4	76.1	74.2	78.3	80.2	71.2	75.1	70.5	73.0	72.5	55.0	72.6
	小計	88.8	88.3	91.0	87.2	90.6	85.5	87.8	86.9	85.8	89.8	86.8	81.7	87.5
	佐世保南	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	98.6	100.0	100.0	100.0	100.0	97.1	98.6	99.5
第8グループ	佐世保東	82.4	82.4	84.6	82.4	84.5	82.8	86.9	87.5	82.5	82.8	83.4	85.6	84.0
	佐世保北	100.0	99.5	97.3	98.0	96.0	95.0	97.2	95.3	96.5	97.3	94.0	89.1	96.3
	佐世保中央	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	佐世保東南	85.2	75.8	74.8	63.6	74.2	71.7	68.1	65.2	70.4	68.5	73.9	80.5	72.7
	H T B 佐世保	86.0	77.4	78.7	80.3	81.8	83.8	80.3	83.4	77.3	73.1	73.6	74.1	79.1
第9グループ	小計	92.3	89.2	89.2	87.4	89.4	88.6	88.7	88.6	87.8	87.0	87.0	88.0	88.6
	大村	97.7	97.7	97.0	97.1	96.6	97.7	95.6	86.6	87.9	80.8	97.0	97.3	94.1
	島原	75.2	73.3	79.5	70.5	70.5	85.5	76.3	73.1	81.9	83.1	82.5	88.8	78.3
	雲仙	85.9	88.9	88.9	86.1	83.3	78.7	89.8	90.9	85.7	92.1	88.1	81.3	86.6
	大村北	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
第10グループ	大村南	81.8	77.4	72.4	80.0	71.4	81.0	80.0	77.0	77.0	78.8	75.0	80.0	77.7
	大村東	65.9	69.4	71.9	64.2	68.8	69.2	72.1	69.8	63.6	71.7	75.5	76.4	69.9
	小計	84.4	84.5	84.9	83.0	81.8	85.4	85.6	82.9	82.7	84.4	86.3	87.3	84.4
	諫早	91.9	93.4	93.8	91.0	90.3	90.0	89.5	91.6	88.3	89.5	90.1	91.8	90.9
	諫早北	82.1	90.7	84.5	91.9	83.3	89.6	84.3	85.6	81.9	81.7	87.0	85.5	85.7
第11グループ	諫早西	96.8	93.8	95.7	92.9	92.2	91.5	90.1	93.5	96.2	89.0	93.3	95.1	93.3
	諫早多良見	80.6	75.8	76.2	85.7	88.1	80.9	85.4	82.9	76.1	74.4	82.5	86.6	81.3
	諫早南	81.8	82.3	71.9	76.1	74.2	73.1	72.2	77.5	68.5	80.7	85.2	85.4	77.4
	小計	86.6	87.2	84.4	87.5	85.6	85.0	84.3	86.2	82.2	83.1	87.6	88.9	85.7
	長崎北	80.5	81.3	86.5	86.9	85.5	83.1	80.9	87.9	80.9	84.8	89.4	80.5	84.0
第12グループ	長崎江	97.9	95.5	91.4	94.6	94.1	93.4	88.8	92.8	95.1	93.1	97.3	93.9	94.0
	長崎北東	87.3	88.7	90.7	89.6	88.5	88.9	84.4	91.5	86.4	87.1	84.4	87.6	87.9
	長崎中央	89.6	89.1	93.5	90.0	93.8	86.7	95.9	92.1	87.1	92.1	92.4	87.7	90.8
	長崎西	76.4	85.4	85.7	89.6	88.5	79.2	76.1	86.2	71.4	79.0	75.0	75.0	80.6
	長崎琴海	80.0	75.0	72.5	71.3	70.0	80.0	71.7	82.5	60.0	71.7	80.0	69.0	73.6
第13グループ	小計	85.3	85.8	86.7	87.0	86.7	85.2	83.0	88.8	80.2	84.6	86.4	82.3	85.2
	長崎北	80.4	75.3	78.4	84.4	88.6	80.0	71.3	84.1	74.1	69.0	78.0	71.9	78.0
	長崎南	85.8	81.5	77.0	74.9	74.2	78.3	80.0	85.4	76.1	77.8	83.3	82.2	79.7
	長崎東	98.7	98.7	98.8	98.8	98.8	98.7	98.7	98.7	98.7	98.7	98.7	98.7	98.7
	長崎長崎	83.1	86.5	87.4	87.2	90.5	86.5	82.6	79.4	83.1	81.1	84.0	79.9	84.3
第14グループ	長崎中央	92.1	90.9	83.1	88.7	89.3	90.6	95.7	92.7	88.3	92.4	93.2	93.2	90.8
	長崎出島	88.3	88.0	81.2	81.7	87.1	81.2	73.3	90.9	72.4	82.0	76.3	69.0	81.0
	小計	88.1	86.8	84.3	85.9	88.1	85.9	83.6	88.5	82.1	83.5	85.6	82.5	85.4
	合計	87.1	86.6	85.9	85.5	86.2	85.1	84.4	85.4	82.9	84.5	85.2	84.7	85.3



ロータリー財団クラブ別寄付額 (2004年7月1日～2005年6月30日)

(単位:ドル)

クラブ名	会員数	目標額	達成率	一人当たり	年次寄付	使途指定寄付	恒久基金寄付	合 計
佐 賀	75	7,500.00	106%	106.04	7,952.90	1,509.80	0	9,462.70
小 城	36	3,700.00	19%	19.72	710	350.00	1,000.00	2,060.00
牛 津	32	3,200.00	101%	101.24	3,239.65	313.73	1,000.00	4,553.38
多 久	39	3,900.00	77%	76.92	3,000.00	401.96	1,000.00	4,401.96
佐 賀 大 和	26	2,600.00	10%	10.37	269.61	153.53	1,000.00	1,423.14
佐 賀 西	51	5,300.00	105%	108.63	5,540.00	980.00	0	6,520.00
佐 賀 北	42	4,200.00	59%	59.12	2,482.96	401.96	0	2,884.92
佐 賀 南	40	3,900.00	128%	125	5,000.00	420.00	0	5,420.00
神 埼	29	2,900.00	97%	96.55	2,800.00	274.51	0	3,074.51
佐 賀 空 港	16	1,600.00	11%	10.63	170	0.00	0	170
有 田	39	3,800.00	0%	0	0	5,270.00	0	5,270.00
武 雄	54	5,500.00	115%	116.87	6,311.04	568.63	0	6,879.67
鹿 島	41	4,300.00	133%	139.57	5,722.17	421.57	1,000.00	7,143.74
嬉 野	27	2,700.00	5%	5	135	1,034.69	0	1,169.69
大 町	28	2,900.00	0%	0	0	205.88	0	205.88
白 石	19	1,900.00	87%	86.74	1,648.00	90.00	0	1,738.00
太 良	12	1,400.00	71%	83.33	1,000.00	0.00	0	1,000.00
唐 津	51	5,100.00	41%	41.27	2,104.89	550.81	0	2,655.70
伊 万 里	42	5,000.00	108%	128.9	5,413.67	696.08	0	6,109.75
唐 津 東	54	6,000.00	18%	20.48	1,106.00	539.22	0	1,645.22
唐 津 西	41	5,082.00	86%	106.5	4,366.54	303.92	0	4,670.46
伊 万 里 西	48	4,900.00	41%	41.67	2,000.00	480.39	0	2,480.39
唐 津 中 央	42	4,500.00	107%	114.88	4,825.00	490.20	0	5,315.20
佐 世 保	85	8,800.00	83%	86.31	7,336.00	980.39	0	8,316.39
平 戸	42	4,100.00	24%	23.81	1,000.00	0.00	0	1,000.00
佐 世 保 西	38	3,900.00	103%	105.26	4,000.00	284.31	1,000.00	5,284.31
北 松 浦	33	3,300.00	61%	60.61	2,000.00	151.96	0	2,151.96
松 浦	38	3,800.00	175%	175.03	6,650.96	1,122.75	0	7,773.71
生 月	22	2,300.00	63%	66.36	1,460.00	0.00	0	1,460.00
佐 世 保 南	85	8,600.00	93%	94.12	8,000.00	980.40	1,000.00	9,980.40
佐 世 保 東	35	3,800.00	117%	126.6	4,431.00	343.14	1,000.00	5,774.14
佐 世 保 北	51	5,200.00	73%	73.96	3,772.00	6,383.14	2,000.00	12,155.14
佐 世 保 中 央	50	7,000.00	75%	104.9	5,245.00	3,440.00	1,000.00	9,685.00
佐 世 保 東 南	19	1,900.00	36%	36.32	690	225.49	0	915.49
H T B 佐 世 保	28	2,900.00	34%	35.71	1,000.00	250.00	0	1,250.00
大 村	50	4,900.00	87%	85.26	4,263.00	1,475.00	0	5,738.00
島 原	40	4,000.00	0%	0	0	382.35	1,000.00	1,382.35
雲 仙	33	4,000.00	88%	107.18	3,537.00	323.53	0	3,860.53
大 村 北	33	3,400.00	76%	78.79	2,600.00	343.14	0	2,943.14
島 原 南	22	2,200.00	88%	87.54	1,925.93	210.00	0	2,135.93
大 村 東	43	4,100.00	49%	46.51	2,000.00	430.00	0	2,430.00
諫 早	69	6,800.00	98%	96.81	6,680.00	647.06	0	7,327.06
諫 早 北	64	7,000.00	80%	87.89	5,625.00	4,307.85	0	9,932.85
諫 早 西	48	4,700.00	75%	73	3,504.00	294.12	1,000.00	4,798.12
諫 早 多 良 見	44	4,840.00	62%	68.18	3,000.00	401.96	0	3,401.96
諫 早 南	33	3,700.00	20%	22.59	745.36	500.00	0	1,245.36
長 崎	92	9,700.00	115%	120.98	11,130.59	4,051.77	1,000.00	16,182.36
福 江	44	4,400.00	62%	61.65	2,712.81	333.33	0	3,046.14
長 崎 北 東	64	7,035.00	92%	101.1	6,470.59	1,807.45	0	8,278.04
福 江 中 央	42	4,300.00	102%	104.17	4,375.00	1,230.06	1,000.00	6,605.06
長 崎 西	71	7,300.00	35%	36.2	2,570.00	2,036.08	0	4,606.08
長 崎 琴 海	20	1,900.00	105%	100	2,000.00	120.00	0	2,120.00
長 崎 北	78	8,000.00	89%	91.15	7,110.00	1,980.39	0	9,090.39
長 崎 南	90	9,570.00	118%	125.34	11,281.00	5,981.00	1,000.00	18,262.00
長 崎 東	77	7,800.00	152%	154.16	11,870.59	2,558.82	0	14,429.41
東 長 崎	38	4,100.00	36%	38.95	1,480.00	1,073.73	0	2,553.73
長 崎 中 央	59	6,200.00	69%	72.99	4,306.69	1,884.90	1,000.00	7,191.59
長 崎 出 島	58	6,600.00	102%	115.52	6,700.00	1,274.00	1,000.00	8,974.00
合 計	2622	274,027.00	79.29%	82.86	217,269.95	63,265.00	18,000.00	298,534.95



米山記念奨学会寄付金納入明細表 (2004年7月1日～2005年6月30日)

(単位: 円)

クラブ名	普通寄付金 単価(年額)	2004/7月-2005/6月			会員数 (1月1日)	一人当たり 平均寄付額	過去累計額		
		普通寄付金	特別寄付金	合 計			普通寄付金	特別寄付金	合 計
佐 賀	6,000	456,000	400,000	856,000	77	11,116	8,721,000	14,010,000	22,731,000
小 城	3,500	124,500	191,500	316,000	35	9,028	2,733,250	2,770,500	5,503,750
牛 津	3,000	96,000	300,000	396,000	32	12,375	2,250,250	7,000,000	9,250,250
多 久	3,000	123,000	0	123,000	41	3,000	1,698,000	3,800,000	5,498,000
佐 賀 大 和	2,500	65,000	400,000	465,000	26	17,884	768,500	4,000,000	4,768,500
佐 賀 西	6,000	324,000	900,000	1,224,000	54	22,666	6,276,650	10,050,000	16,326,650
佐 賀 北	3,000	124,500	150,000	274,500	41	6,695	4,492,250	5,500,000	9,992,250
佐 賀 南	3,000	123,000	423,000	546,000	42	13,000	1,606,500	3,123,000	4,729,500
神 埼	3,000	84,000	100,000	184,000	27	6,814	1,425,000	2,300,000	3,725,000
佐 賀 空 港	3,000	51,000	0	51,000	18	2,833	211,500	0	211,500
有 田	3,000	117,000	100,000	217,000	38	5,710	3,552,000	1,590,000	5,142,000
武 雄	4,000	224,000	134,000	358,000	58	6,172	5,702,650	4,473,950	10,176,600
鹿 島	3,000	126,000	260,000	386,000	43	8,976	4,328,450	4,270,000	8,598,450
嬉 野	2,000	51,000	100,000	151,000	25	6,040	2,267,500	1,380,000	3,647,500
大 町	4,000	112,000	750,000	862,000	28	30,785	3,006,500	2,700,000	5,706,500
白 石	2,000	36,000	0	36,000	18	2,000	2,116,000	1,260,000	3,376,000
太 良	2,000	23,000	0	23,000	11	2,090	422,000	2,000,000	2,422,000
唐 津	2,500	128,750	400,000	528,750	52	10,168	5,150,070	7,100,000	12,250,070
伊 万 里	4,000	168,000	1,000,000	1,168,000	42	27,809	4,808,700	6,000,000	10,808,700
唐 津 東	2,000	109,000	100,000	209,000	55	3,800	3,972,750	6,135,000	10,107,750
唐 津 西	4,000	162,000	400,000	562,000	40	14,050	3,674,500	6,200,000	9,874,500
伊 万 里 西	4,500	216,000	200,000	416,000	48	8,666	4,285,000	5,450,000	9,735,000
唐 津 中 央	2,000	85,000	370,000	455,000	43	10,581	1,161,000	3,260,000	4,421,000
佐 世 保	3,000	256,500	1,000,000	1,256,500	86	14,610	7,190,800	68,125,000	75,315,800
平 戸	2,000	84,000	300,000	384,000	42	9,142	3,536,450	9,852,435	13,388,885
佐 世 保 西	2,000	75,000	440,000	515,000	37	13,918	4,207,450	16,100,000	20,307,450
北 松 浦	4,000	132,000	200,000	332,000	32	10,375	3,691,500	9,466,370	13,157,870
松 浦	3,000	112,500	220,000	332,500	37	8,986	2,495,200	4,336,221	6,831,421
生 月	4,000	92,000	0	92,000	22	4,181	2,187,000	883,000	3,070,000
佐 世 保 南	2,000	170,000	800,000	970,000	85	11,411	6,758,300	30,248,846	37,007,146
佐 世 保 東	2,000	68,000	455,000	523,000	33	15,848	5,397,500	14,602,679	20,000,179
佐 世 保 北	2,000	103,000	800,000	903,000	52	17,365	2,237,250	22,600,000	24,837,250
佐 世 保 中 央	2,000	99,000	300,000	399,000	49	8,142	2,054,000	4,100,000	6,154,000
佐 世 保 東 南	2,000	42,000	0	42,000	23	1,826	507,500	1,200,000	1,707,500
ハウステンボス佐世保	4,000	114,000	50,000	164,000	29	5,655	1,060,000	2,750,000	3,810,000
大 村	3,000	150,000	100,000	250,000	50	5,000	4,029,850	3,650,000	7,679,850
島 原	3,000	120,000	30,000	150,000	39	3,846	3,575,550	1,540,000	5,115,550
雲 仙	5,000	165,000	100,000	265,000	33	8,030	3,301,250	4,109,500	7,410,750
大 村 北	3,000	100,500	100,000	200,500	34	5,897	2,548,000	4,990,000	7,538,000
島 原 南	3,000	64,500	100,000	164,500	21	7,833	1,250,000	700,000	1,950,000
大 村 東	3,000	129,000	100,000	229,000	43	5,325	1,245,000	2,080,000	3,325,000
諫 早	1,500	101,250	500,000	601,250	66	9,109	5,170,250	9,250,000	14,420,250
諫 早 北	4,000	250,000	1,000,000	1,250,000	63	19,841	5,085,000	14,860,000	19,945,000
諫 早 南	5,000	157,500	100,000	257,500	30	8,583	831,500	900,000	1,731,500
諫 早 西	2,500	120,000	600,000	720,000	48	15,000	1,961,000	3,700,000	5,661,000
諫 早 多 良 見	3,000	123,000	183,752	306,752	41	7,481	1,380,500	2,312,920	3,693,420
長 崎	5,000	478,000	905,000	1,383,000	98	14,112	11,827,850	24,908,658	36,736,508
福 江	3,000	126,000	400,000	526,000	41	12,829	4,478,250	11,663,949	16,142,199
長 崎 北 東	5,000	320,000	1,030,000	1,350,000	64	21,093	5,032,000	20,577,500	25,609,500
福 江 中 央	2,000	83,000	421,000	504,000	41	12,292	3,941,500	13,087,647	17,029,147
長 崎 西	3,000	216,000	750,000	966,000	70	13,800	3,630,000	11,124,000	14,754,000
長 崎 琴 海	2,000	40,000	100,000	140,000	20	7,000	805,500	3,925,000	4,730,500
長 崎 北	3,000	237,000	900,000	1,137,000	81	14,037	8,134,500	19,150,000	27,284,500
長 崎 南	4,000	358,000	1,058,000	1,416,000	89	15,910	9,217,050	20,623,000	29,840,050
長 崎 東	5,000	387,500	670,000	1,057,500	78	13,557	8,328,600	17,855,000	26,183,600
東 長 崎	3,000	117,000	200,000	317,000	39	8,128	2,576,750	6,930,000	9,506,750
長 崎 中 央	3,000	169,500	400,000	569,500	54	10,546	2,325,500	6,994,000	9,319,500
長 崎 出 島	2,000	118,000	636,000	754,000	60	12,566	720,000	3,743,000	4,463,000
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	4,277,500	4,277,500
合 計		8,607,500	21,627,252	30,234,752	2,624	11,522	207,348,370	501,588,675	708,937,045



ロータリー財団寄付者

◆ポールハリスフェロー (52名)

氏 名	クラブ名
木 原 伸 一	牛 津 R C
吉 岡 恵美子	多 久 R C
福 島 徳 子	多 久 R C
前 田 憲 秀	多 久 R C
立 石 泰 英	佐 賀 北 R C
吉 田 裕一郎	佐 賀 北 R C
吉 村 正	佐 賀 南 R C
横 尾 和 正	佐 賀 南 R C
田 中 洋 介	佐 賀 南 R C
秀 島 宣 雄	佐 賀 南 R C
福 地 義 孝	神 埼 R C
山 口 健 一	鹿 島 R C
本 吉 伸 好	白 石 R C
辻 幸 徳	唐 津 R C
新 富 哲 也	唐 津 R C
犬 塚 勝 政	伊 万 里 R C
樋 口 勝 彦	唐 津 西 R C
平 野 良 興	唐 津 西 R C
富 田 隆 明	唐 津 西 R C
松 下 隆 義	唐 津 中 央 R C
深 谷 誓 志	唐 津 中 央 R C
川 富 昌 弘	佐 世 保 R C
赤 木 行 秀	北 松 浦 R C
川 邊 禮 子	生 月 R C
今 里 和 照	大 村 R C
長 津 弘	大 村 北 R C

氏 名	クラブ名
比 良 孝 蔵	大 村 北 R C
根 来 博 文	諫 早 R C
松 原 究	諫 早 R C
前 田 博 明	諫 早 R C
酒 井 明 仁	諫 早 R C
松 尾 高 一	諫 早 R C
澤 村 正 充	諫 早 R C
植 杉 茂	諫 早 西 R C
佐 藤 幸 雄	諫 早 西 R C
池 田 久 幸	諫 早 西 R C
若 杉 能 将	諫 早 多 良 見 R C
山 下 正 則	諫 早 多 良 見 R C
松 本 徳次郎	長 崎 R C
中 村 重 敏	長 崎 R C
安 達 健 蔵	長 崎 R C
江 口 泰 介	長 崎 R C
吉 田 正 和	長 崎 R C
豆 谷 耕 蔵	福 江 中 央 R C
眞 子 裕 史	長 崎 北 R C
松 尾 正 洋	長 崎 北 R C
戸 北 悦 生	長 崎 北 R C
入 江 良 明	長 崎 北 R C
工 藤 英 一	長 崎 南 R C
川 原 哲 也	長 崎 中 央 R C
田 中 達 也	長 崎 中 央 R C
安 達 健太郎	長 崎 出 島 R C

◆マルチプルポールハリス (79名)

Stone	氏 名	クラブ名
1	古 賀 駿	佐 賀 R C
1	桐 山 欣 三	佐 賀 R C
3	牧 野 邦 司郎	佐 賀 R C
2	古 賀 釺 治	佐 賀 R C
1	永 池 公 一	佐 賀 R C
2	池 田 秀 夫	佐 賀 R C
1	島 内 定 義	牛 津 R C
2	草 場 立 太郎	佐 賀 西 R C
1	原 田 一 洋	佐 賀 西 R C

Stone	氏 名	クラブ名
1	越 智 和 博	佐 世 保 北 R C
1	都 甲 泰 臣	佐 世 保 北 R C
1	岡 井 正 明	佐 世 保 北 R C
7	村 上 寅 雄	佐 世 保 北 R C
1	溝 上 純一郎	佐 世 保 中 央 R C
1	山 川 満 伸	佐 世 保 中 央 R C
1	崎 元 英 伸	佐 世 保 中 央 R C
1	平 岩 義 明	佐 世 保 中 央 R C
1	岩 政 孝	佐 世 保 中 央 R C



Stone	氏 名	クラブ名
1	前 田 博 憲	佐 賀 西 R C
1	円 田 稔	佐 賀 西 R C
1	田 中 進	佐 賀 西 R C
1	福 岡 英 信	佐 賀 北 R C
1	駒 井 英 基	佐 賀 南 R C
1	山 崎 唯 之	神 埼 R C
2	白 川 十 郎	伊 万 里 R C
4	隅 田 達 男	伊 万 里 R C
1	丸 山 茂 夫	唐 津 東 R C
1	大 宅 弘 海	伊 万 里 西 R C
2	藤 谷 成 徹	伊 万 里 西 R C
7	山 口 信 義	唐 津 中 央 R C
2	渡 辺 ツユミ	唐 津 中 央 R C
1	中 山 虎 雄	唐 津 中 央 R C
3	安 福 鴻之助	佐 世 保 R C
6	池 田 豊	佐 世 保 R C
3	三 宅 清兵衛	佐 世 保 R C
3	曾 我 勝 宣	佐 世 保 R C
2	坂 田 邦 壽	佐 世 保 R C
3	竹 田 健 介	平 戸 R C
4	烏 山 昇	北 松 浦 R C
1	青 崎 伊佐雄	松 浦 R C
6	前 田 一 彦	佐 世 保 南 R C
3	中 村 文 昭	佐 世 保 南 R C
4	鈴 木 泰 彦	佐 世 保 南 R C
4	國 崎 忠 臣	佐 世 保 南 R C
1	大川内 克 俊	佐 世 保 南 R C
1	村 山 史 男	佐 世 保 南 R C
1	長 野 公 道	佐 世 保 東 R C
2	浦 本 忠 男	佐 世 保 東 R C
8	田 中 純智男	佐 世 保 東 R C

Stone	氏 名	クラブ名
2	川 崎 伸 一	HTB佐世保RC
1	貞 松 豊二郎	大 村 R C
1	本 田 友 良	雲 仙 R C
5	南 野 健	大 村 北 R C
5	菊 地 廣 行	大 村 東 R C
1	久 富 保 孝	大 村 東 R C
1	島 田 勝 利	諫 早 北 R C
3	宮 崎 清 彰	諫 早 北 R C
1	内 田 博 幸	諫 早 北 R C
1	菖 蒲 公 治	諫 早 多 良 見 R C
1	江 崎 淑 夫	長 崎 R C
1	瀬戸口 孝 次	長 崎 R C
3	才 津 祐 造	福 江 R C
2	岩 永 信 昭	長 崎 北 東 R C
1	亀 田 純 輔	長 崎 北 東 R C
2	大 原 玉 瑞	長 崎 北 東 R C
2	利 井 信 男	福 江 中 央 R C
2	今 村 音 松	福 江 中 央 R C
2	四 元 永 生	長 崎 西 R C
2	砂 田 義 博	長 崎 琴 海 R C
1	佐 藤 豊	長 崎 琴 海 R C
3	福 島 建 一	長 崎 北 R C
4	馬 場 政 廣	長 崎 東 R C
2	柿 川 純 正	長 崎 東 R C
3	三 浦 達 美	長 崎 東 R C
1	武 藤 嘉 光	東 長 崎 R C
2	高 村 慎 一	長 崎 中 央 R C
1	岡 田 康 信	長 崎 中 央 R C
6	塚 崎 寛	長 崎 中 央 R C
1	佐々木 達 也	長 崎 出 島 R C

◆大口寄付者（8名）

氏 名	クラブ名
福 田 金 治	佐 世 保 R C
金 子 卓 也	佐 世 保 南 R C
相 良 紘一郎	佐 世 保 南 R C
福 田 俊 郎	佐 世 保 北 R C

氏 名	クラブ名
栗 林 英 雄	諫 早 北 R C
西 村 金 造	長 崎 R C
西 村 金 造	長 崎 R C
高 木 聰一郎	長 崎 R C



◆ベネファクター (18名)

氏 名	クラブ名
川原田 元 八	小 城 R C
山 本 光 雄	牛 津 R C
川 口 嘉 教	多 久 R C
堤 和 之	佐賀大和 R C
花 島 光 喜	鹿 島 R C
安 東 善 重	佐世保西 R C
角 康 隆	佐世保南 R C
長 野 公 道	佐世保東 R C
永 田 武 義	佐世保北 R C

氏 名	クラブ名
指 山 康 二	佐世保中央 R C
渡 部 哲 夫	島 原 R C
辻 本 善 樹	諫 早 西 R C
森 義 則	長 崎 R C
野 田 直 幸	福江中央 R C
井 上 司	長 崎 西 R C
金 子 淑 司	長 崎 南 R C
高 村 慎 一	長崎中央 R C
小 山 虎之助	長崎出島 R C

◆ポリオプラス (4名)

氏 名	クラブ名
橋 口 光 彰	有 田 R C
村 里 愛 子	大 村 R C

氏 名	クラブ名
栗 林 英 雄	諫 早 北 R C
松 尾 栄之進	長 崎 北 R C

◆ポリオプラス (6クラブ)

嬉 野 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ
佐 世 保 北 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ
諫 早 北 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ

長 崎 南 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ
長 崎 東 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ
長 崎 出 島 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ

◆メモリアルコントリビューター (10名)

氏 名	クラブ名	
白 川 十 郎	伊 万 里 R C	御母堂 故 白川ハル様を偲んで
中 江 章	唐 津 西 R C	御尊父 故 中江登様を偲んで
勝 山 善 文	松 浦 R C	御尊父 故 勝山捷祐様を偲んで
森 宏 明	松 浦 R C	亡母 森チト様を偲んで
豊 田 康 裕	雲 仙 R C	御尊父 豊田浄人様を偲んで
村 田 勉	島 原 南 R C	ご令室 故 村田チヨ様を偲んで
田 中 忠 昭	福江中央 R C	御尊父 田中仙一様を偲んで
坪 内 晴 美		福江中央 R C 会員 故 坪内律國様を偲んで
山 本 タツエ		長崎東 R C 会員 故 山本正人様を偲んで
(株)ふよう長崎		長崎南 R C 会員 故 工藤英一様を偲んで

◆2003-04年度 100%財団の友クラブ

長崎出島ロータリークラブ



米山記念奨学会寄付者

◆米山功労者 (71名)

氏 名	クラブ名
中 島 敏 行	佐 賀 R C
牧 瀬 勝 将	佐賀大和 R C
原 田 一 洋	佐賀西 R C
古 賀 啓 道	佐賀西 R C
北 島 恭 一	佐賀南 R C
高 原 武 彦	有 田 R C
住 江 潤 子	鹿 島 R C
前 山 正 博	大 町 R C
下 平 孝 晴	大 町 R C
副 島 昭 弘	大 町 R C
山 口 政 雄	大 町 R C
山 本 武	大 町 R C
山 口 康 雄	大 町 R C
宮 崎 素 彦	唐 津 R C
犬 塚 勝 政	伊 万 里 R C
岩 永 龍 幸	伊 万 里 R C
飯 田 正 一	伊 万 里 R C
加志田 恵 久	伊 万 里 R C
松 尾 通 忠	伊 万 里 R C
丸 山 茂 夫	唐 津 東 R C
中 嶋 泰 生	唐 津 西 R C
井 手 研 二	伊 万 里 西 R C
池 永 晃 一	伊 万 里 西 R C
小 松 重 昭	唐 津 中央 R C
高 田 俊 夫	佐 世 保 R C
塩 澤 恒 雄	平 戸 R C
安 部 重 幸	平 戸 R C
河 野 健 次	松 浦 R C
川 尻 治	佐 世 保 南 R C
中 村 文 昭	佐 世 保 南 R C
長 野 公 道	佐 世 保 東 R C
中 島 閏 二	佐 世 保 北 R C
橋 口 佳 周	佐 世 保 中央 R C
黒 川 敏 行	佐 世 保 中央 R C
竹 本 慶 三	佐 世 保 中央 R C
川 崎 伸 一	HTB 佐 世 保 R C

氏 名	クラブ名
一ノ瀬 政 則	大 村 北 R C
本 多 進	島 原 南 R C
前 田 啓 介	大 村 東 R C
八 江 正 光	諫 早 R C
池 田 光 利	諫 早 R C
鈴 木 正 春	諫 早 R C
井 手 雅 康	諫 早 R C
緒 方 聖	諫 早 北 R C
小 溝 忠 徳	諫 早 北 R C
柴 田 克 博	諫 早 多 良 見 R C
森 義 則	長 崎 R C
福 井 功	長 崎 R C
江 崎 淑 夫	長 崎 R C
荒 木 健 治	長 崎 R C
田 口 功	福 江 R C
宮 脇 秀 展	福 江 中央 R C
町 田 憲 明	長 崎 北 東 R C
計 倉 幸 二	長 崎 北 東 R C
江 頭 紀 一	福 江 中央 R C
豆 谷 耕 蔵	福 江 中央 R C
宮 原 増 幸	長 崎 西 R C
馬 場 政 徳	長 崎 西 R C
梅 木 誠 一	長 崎 北 R C
小野原 卓 嗣	長 崎 北 R C
川 崎 孝	長 崎 南 R C
城 尾 忠 明	長 崎 東 R C
迫 龍 二	長 崎 東 R C
大 田 義 弘	長 崎 東 R C
伊 東 弘 行	東 長 崎 R C
木 下 直 樹	東 長 崎 R C
岡 田 康 信	長 崎 中央 R C
小 林 英 樹	長 崎 中央 R C
田 平 賀 二	長 崎 中央 R C
牛 丸 敬 祥	長 崎 出 島 R C
佐々木 達 也	長 崎 出 島 R C

◆米山功労法人

氏 名	クラブ名
(有)深谷プロパン店 深 谷 誓 志	唐 津 中央 R C

◆米山功労クラブ (5クラブ)

伊 万 里 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ
唐 津 東 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ
武 雄 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ
佐 世 保 東 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ
佐 世 保 西 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ



◆米山功労者（マルチプル）(65名)

回数	氏 名	クラブ名
3	七 田 秀 徳	佐 賀 R C
3	栗 原 俊 充	牛 津 R C
6	田 中 進	佐 賀 西 R C
4	草 場 立太郎	佐 賀 西 R C
3	石 橋 近四郎	佐 賀 西 R C
2	宮 原 利 弘	佐 賀 南 R C
4	吉 田 一 夫	佐 賀 南 R C
3	島 富士男	神 埼 R C
5	古 賀 行 雄	武 雄 R C
5	米 倉 保 治	鹿 島 R C
2	井 上 定 雄	嬉 野 R C
6	松 尾 雄次郎	唐 津 R C
7	白 川 十 郎	伊 万 里 R C
3	前 田 米 蔵	唐 津 西 R C
2	安 福 鴻之助	佐 世 保 R C
3	池 田 敏 昭	佐 世 保 R C
2	古 原 進	佐 世 保 R C
5	佐々木 秀 也	佐 世 保 R C
7	東 陽三郎	佐 世 保 R C
4	田 中 豊 秋	佐 世 保 R C
3	大 神 邦 明	佐 世 保 R C
4	松 岡 武	平 戸 R C
4	安 東 善 重	佐 世 保 西 R C
4	池 田 保 明	佐 世 保 西 R C
4	山 口 國 行	佐 世 保 西 R C
5	朝 永 春 郎	松 浦 R C
2	山 本 規 仁	松 浦 R C
7	雪 竹 弘 男	佐 世 保 南 R C
6	岡 崎 敏 幸	佐 世 保 南 R C
4	増 本 智	佐 世 保 南 R C
7	前 田 一 彦	佐 世 保 南 R C
2	浦 本 忠 男	佐 世 保 東 R C
3	長 野 公 道	佐 世 保 東 R C

回数	氏 名	クラブ名
5	小 山 和 彦	佐 世 保 東 R C
4	淵 健 治	佐 世 保 北 R C
4	藤 井 良 介	佐 世 保 北 R C
5	小 西 宗 十	佐 世 保 北 R C
4	古 賀 新 二	佐 世 保 北 R C
4	都 甲 泰 臣	佐 世 保 北 R C
4	緒 方 信 行	佐 世 保 北 R C
4	村 里 愛 子	大 村 R C
2	北 村 光 男	諫 早 R C
2	毎 熊 滋	諫 早 R C
4	川 野 恒 雄	諫 早 北 R C
2	岩 永 則 昭	諫 早 南 R C
2	大久保 隆 生	長 崎 R C
4	鳥 巢 維 文	長 崎 R C
3	益 田 耕 作	長 崎 R C
3	貴 田 邦 裕	長 崎 北 東 R C
2	丸 木 覚 誠	長 崎 北 東 R C
4	浜 中 洋	長 崎 北 東 R C
3	亀 田 純 輔	長 崎 北 東 R C
2	野 田 直 幸	福 江 中 央 R C
4	草 野 志 郎	長 崎 西 R C
2	四 元 永 生	長 崎 西 R C
2	友 岡 純 一	長 崎 琴 海 R C
3	上 田 恵 三	長 崎 北 R C
8	福 島 建 一	長 崎 北 R C
4	小 林 敏 教	長 崎 南 R C
5	馬 場 政 廣	長 崎 東 R C
7	柿 川 純 正	長 崎 東 R C
4	内 田 信 康	長 崎 東 R C
4	高 村 慎 一	長 崎 中 央 R C
2	樋 口 美 枝 子	長 崎 出 島 R C
2	押 淵 禮 子	長 崎 出 島 R C

◆米山功労者（メジャーダー）(13名)

回数	氏 名	クラブ名
18	堤 和 之	佐 賀 大 和 R C
21	江 頭 泰 幸	佐 賀 北 R C
10	隅 田 達 男	伊 万 里 R C
13	福 田 金 治	佐 世 保 R C
10	岩 崎 邦 臣	佐 世 保 西 R C
11	福 田 俊 郎	佐 世 保 北 R C
10	宮 崎 清 彰	諫 早 北 R C

回数	氏 名	クラブ名
28	栗 林 英 雄	諫 早 北 R C
16	安 永 俊 夫	諫 早 西 R C
12	嵩 則 雄	福 江 R C
36	田 中 紀 男	長 崎 北 東 R C
10	山 本 良 勝	福 江 中 央 R C
33	築 城 士 郎	長 崎 北 R C



2004/05年度 第6290地区 G S E チームメンバー



Davey Taylor

35歳 男性 既婚 子供4人
フィットネストレーナー 経験10年
カナダ オンタリオ州 Sault Ste Marie市

Amy Arntsen

39歳 女性 独身
高校教師 経験14年
ミシガン州 Grand Rapids市

チームリーダー

Dr Jim Morse

54歳 教育長 ミシガン州
Grand Rapids RC

Emily Meyerson

36歳 女性 既婚 娘1人
都市計画プランナー 経験9年
ミシガン州 Petoskey市

Aaron Gill

25歳 男性 独身
土木環境エンジニア 経験2年
ミシガン州 Grand Rapids市

2005/06年度 G S E 派遣メンバー

氏 名	年 齢	勤 務 先	職 業	所属/推薦RC
リーダー				
高江洲 一 雄	56	西日本菱重興産(株)	常務取締役	長崎南RC
メンバー				
山 口 直 人	26	不動技研工業(株)	設 計	長崎南RC
樋 渡 光 憲	31	佐賀新聞社報道局	記 者	佐賀西RC
末 松 信 子	32	長崎国際大学	講 師	佐世保RC
篠 崎 禎 久	33	九州ガス(株)	営 業	大 村RC



高江洲一雄



山口 直人



樋渡 光憲



末松 信子



篠崎 禎久



《2005～06年度 ロータリー財団国際親善奨学生》

◆ 一学年度国際親善奨学生（アカデミック・イヤー）

氏 名	留学国	留学先	研究分野	スポンサークラブ
林 裕 子	イギリス	エセックス大学	学校教育	佐 賀 R C
川 島 源次郎	フィンランド	ヘルシンキ芸術デザイン大学 セラミックガラス科	芸術（美術）	佐 賀 西 R C

◆ 二学年度国際親善奨学生（マルチ・イヤー）

氏 名	留学国	留学先	研究分野	スポンサークラブ
深 堀 由布子	イギリス	バース大学	英語イギリス文化	長 崎 北 R C
平 湯 理	イタリア	ヴェルディ音楽院	音楽（ピアノ）	H T B 佐世保 R C
小 西 友 子	オランダ	ライデン大学大学院	環境科学	長 崎 南 R C

◆ 文化研修のための奨学生（3 カ月）

氏 名	留学国	留学先	研究分野	スポンサークラブ
前 川 友紀子	イギリス	S.S.プリムス・ラングエッジ	語学研修	佐 世 保 R C

◆ 大学教員のための補助金

氏 名	留学国	留学先	研究分野	スポンサークラブ
香 月 武	チュニジア国	スース大学	口腔外科	佐 賀 R C

《2006～07年度 ロータリー財団国際親善奨学生候補者》

◆ 一学年度（アカデミック・イヤー）

氏 名	希望留学先	研究分野	推薦 R C
谷 川 晋 一	アメリカ	言語学	長崎琴海 R C
山 崎 風 美	アメリカ	知的障害教育	佐賀大和 R C
新ヶ江 章 友	アメリカ	人文社会科学	佐 賀 南 R C

◆ 二学年度（マルチ・イヤー）

氏 名	希望留学先	研究分野	推薦 R C
柿 本 貴 子	イタリア	音楽	長崎出島 R C
吉 川 友 里	イタリア	音楽	長 崎 R C



《2005年度 米山記念奨学生》

氏 名	性別	国 籍	大 学 名	専 攻	課 程	奨学金 種 類	世 話 ク ラ ブ
張 允 磨	女	韓 国	佐 賀 大 学	教 科 教 育	修士2	Y M	佐 賀
康 荻	女	中 国	佐 賀 大 学	生活環境技術	修士2	Y M	佐 賀 西
サマラトンガ、 セトシリ・スニル	男	スリランカ	佐 賀 大 学	エ ネ ル ギ ー 物 質 科 学	博士3	Y D	佐 賀 南
周 玲	女	中 国	佐 賀 大 学	金 融 ・ 経 済 政 策	修士2	Y M	牛 津
劉 彦 加	男	中 国	佐 賀 大 学	企 業 経 営	修士2	Y M	有 田
ヌ グ ラ ハ 、 トーマス・アグン	男	インドネ シ ア	佐 賀 大 学	電気電子工学	学部4	Y U	大 町
章 潔	男	中 国	長崎国際大学	観 光 学	修士2	Y M	佐 世 保 中 央
李 秀 枝	女	台 湾	長崎ウエスレ ヤ ン 大 学	福 祉 コ ミ ュ ニ テ ィ	学部4	Y U	諫 早 北
アロヨ・モラ、 デイシー・クリスティナ	女	コスタリカ	長 崎 大 学	海洋生産科学	博士2	Y D	諫 早 南
金 碩 煥	男	韓 国	長 崎 大 学	システム科学	博士3	Y D	長 崎 西
駱 揚	女	中 国	長 崎 大 学	経済経営政策	修士2	Y M	長崎琴海
チュオン・トウイ・ タ イ ン	女	ベトナム	長崎総合科学 大 学	環 境 文 化 学	学部3	Y U	長 崎 東
ガネゴダゲ、ダルシャナ・ プ ラ デ ィ ー プ	男	スリランカ	長崎総合科学 大 学	機 械 工 学	学部4	Y U	東 長 崎
于 广 壮	男	中 国	長 崎 大 学	教 科 教 育	修士2	Y M	長崎中央
ウガルテ、カボ・ フ ァ ン ル イ ス	男	ボリビア	長 崎 大 学	医 療 科 学	医博4	Y D	長崎出島



《国際青少年交換学生》

◆2004～2005年度 来日学生

	氏 名	ニックネーム	出 身 国	ホストクラブ
1	Frank Ian Brislawn	Ian・イアン	オ レ ゴ ン	佐 賀
2	Sophie Renard	Sophie・ソフィー	フ ラ ン ス	神 埼
3	Geovana Gomes	Gê・ジェオバナ	ブ ラ ジ ル	鹿 島
4	Megan Mitton	Megan・メガン	カ ナ ダ	伊 万 里
5	Angelina R.Stilions	Angel・エンゼル	ニューヨーク	伊 万 里 西
6	Richard Banfield	Richard・リヒャルト	ド イ ツ	佐 世 保
7	Johann Kroeber	Johann・ヨハン	ド イ ツ	佐 世 保 南
8	Vera van Duran	Vera・ベラ	オ ラ ン ダ	H T B 佐世保
9	Takesi Osuga Chapa	Takesi・タケシ	メ キ シ コ	雲 仙
10	Jamaica Grantis	Jamaica・ジャマイカ	オーストラリア	諫 早 多 良 見

◆2004～2005年度 派遣学生

	氏 名	在 籍 校	派 遣 国	ホストクラブ
1	篠 原 遥	佐賀北高校2年	アメリカ・オレゴン	佐 賀
2	北 島 郁 美	三養基高校2年	フ ラ ン ス	神 埼
3	永 石 隆	鹿 島 高 校 1 年	ブ ラ ジ ル	鹿 島
4	一ノ瀬 浩 文	伊万里高校3年	カ ナ ダ	伊 万 里
5	竹 田 智 史	伊万里高校2年	アメリカ・ニューヨーク	伊 万 里 西
6	中 村 天	佐世保西高校3年	ド イ ツ	佐 世 保
7	宮 岡 佳 美	佐世保高専3年	ド イ ツ	佐 世 保 南
8	迎 春 香	聖和女子学院2年	オ ラ ン ダ	H T B 佐世保
9	本 多 正 篤	鎮 西 高 校 1 年	メ キ シ コ	雲 仙
10	若 杉 友香里	日 大 中 3 年	オーストラリア	諫 早 多 良 見
11	猶 崎 藍 子	長崎南高校2年	アメリカ・ミネソタ	長 崎

◆2005～2006年度 派遣学生

	氏 名	在 籍 校	派 遣 国	スポンサークラブ
1	百 武 紘 司	佐賀大附中3年	ド イ ツ	佐 賀
2	古 賀 陽 平	神 埼 高 校 1 年	ブ ラ ジ ル	佐 賀 北
3	北 川 あゆみ	武 雄 高 校 3 年	フ ラ ン ス	武 雄
4	田 代 かおる	佐世保北高校1年	オーストラリア	佐 世 保 中 央
5	竹 下 理 子	長崎西高校1年	カ ナ ダ	諫 早
6	有 田 奈 央	長崎北高校1年	ア メ リ カ	長 崎 中 央
7	平 子 咲	聖和女子学院1年	メ キ シ コ	佐 世 保
8	平田稔人(としき)	佐世保商業高校1年	ア メ リ カ	佐 世 保 北



インターアクトクラブ一覧

IAC名	提唱RC	創立	会員数	例会日	例会時間	事務所住所
大村工業高校	大村北	1963.11.30	20	火・金	3:45	〒856-0815 大村市森園町1079-3
有田工業高校	有田	1965.2.24	6	火or木	3:50	〒844-0018 佐賀県西松浦郡有田町中部丙954-9 大有田焼会館3F 有田RC
佐賀工業高校	佐賀西	1965.6.10	18	水	3:50	〒840-0841 佐賀市緑小路1-1
武雄高校	武雄	1967.12.13	14	第1・3火	4:30	〒843-0024 武雄市武雄町大字富岡7719 武雄商工会議所内 武雄RC
唐津西高校	唐津	1969.11.10	5	第1木他	5:00	〒847-0012 唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5F 唐津RC
敬徳高校	伊万里	1970.4.25	10	不定	4:00	〒848-0027 伊万里市立花町86
向陽高校	大村	1971.6.22	7	第2・4木	12:25	〒856-0825 大村市西三城町16
佐賀清和高校	佐賀	1972.7.27	5	月	4:00	〒840-0047 佐賀市与賀町78
塩田工業高校	嬉野	1976.1.8	5	火・金	4:00	〒849-1411 佐賀県藤津郡塩田町大字馬場下甲1418
聖和女子学院	佐世保南	1976.1.27	28	水	1:10	〒857-0015 佐世保市松山町495
長崎女子商業高校	長崎南	1976.2.24	53	火	4:10	〒850-0875 長崎市栄町2-10
島原中央高校	島原	1978.5.20	11	不定	不定	〒855-8550 島原市高島2-7217 島原商工会議所内 島原RC
佐賀女子高校	佐賀北	1978.9.19	15	第3土	1:00	〒840-0047 佐賀市与賀町153
長崎女子高校	長崎	1979.1.16	31	木	4:40	〒850-0033 長崎市万才町6-38 明治生命長崎ビル4F 長崎
諫早農業高校瑞穂寮	諫早	1979.2.21	40	第3水	20:00	〒854-0043 諫早市立石町1003
西海学園高校	佐世保	1980.10.20	3	第2・4水	3:40	〒857-0011 佐世保市春日町29-22
牛津高校	牛津	1982.7.18	6	月	4:00	〒849-0303 佐賀県小城市牛津町牛津274
長崎北陽台高校	長崎北東	1984.5.12	1	水	3:50	〒851-2127 長崎県西彼杵郡長与町高田郷3672
五島高校	福江中央	1985.3.24	21	月	4:00	〒853-0018 五島市池田町1-1
鎮西学院高校	諫早北	1985.5.21	14	第3水	4:00	〒854-0081 諫早市栄田町1057
E.J.キングスクール	佐世保南	1989.5.1	15	隔週1回	3:00	〒857-0056 佐世保市平瀬町 米海軍佐世保基地内
海星学園	長崎西	1997.1.18	8	第1・3土	1:30	〒850-8586 長崎市東山手町5-3
長崎県立大村城南高校	大村東	2001.4.23	15	水	1:10	〒856-0835 大村市久原1-416
活水中学高等学校	長崎出島	2001.9.12	93	第2火	12:30	〒852-8016 長崎市宝栄町15-11

ローターアクトクラブ一覧

RAC名	提唱RC	創立	会員数	例会日	例会時間	事務所住所
佐賀	佐賀・西・北	1968.12.12	18	水	7:30	〒840-0831 佐賀市松原1-2-35 佐賀商工会館3階 ロータリー合同事務所
佐世保	佐世保	1969.12.17	9	第1・3水	7:30	〒857-0806 佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 佐世保RC
長崎北	長崎北	1970.5.20	15	第1・3木	7:15	〒850-0033 長崎市万才町6-38 明治安田生命長崎ビル 長崎北RC
諫早	諫早	1970.5.29	9	第2・4木	7:30	〒854-0016 諫早市高城町5-10 諫早商工会議所内 諫早RC
長崎	長崎	1971.2.4	11	第1・3火	7:30	〒850-0033 長崎市万才町6-38 明治安田生命長崎ビル4階 長崎RC
唐津東	唐津東	1973.10.18	8	第2・4火	7:30	〒847-0012 唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5階 唐津東RC
佐世保東	佐世保東	1974.4.9	7	第1・3火	7:30	〒859-3215 佐世保市早岐2-16-10 佐世保東RC
島原	島原	1981.4.10	8	第1・3水	7:30	〒855-8550 島原市高島2-7217 島原商工会議所内 島原RC
鹿島	鹿島	1981.5.20	11	第2・4水	8:00	〒849-1311 鹿島市大字高津原4296-41 鹿島商工会館2階 鹿島RC
長崎東	長崎東	1983.3.11	12	第2・4水	7:15	〒850-0033 長崎市万才町3-13 千代田生命長崎ビル8階 長崎東RC
伊万里西	伊万里西	1987.3.15	5	第1・3月	7:30	〒848-0041 伊万里市新天町663 伊万里商工会館3階 伊万里西RC
長崎国際大学	佐世保	2005.3.13	16	第2・4水	3:00	〒857-0806 佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 佐世保RC



■ 年間行事報告

7 月	1 日(木)	ガバナー事務所開設	
	3 日(土)	R 財団地区補助金小委員会	佐世保
	5 日(月)	全国ガバナー会	東 京
	8 日(木)	新世代委員会	諫 早
	10 日(土)	G S E 委員会	長 崎
	11 日(日)	全国青少年交換委員長会議	東 京
		米山記念奨学会セミナー	武 雄
		インターアクト前期指導者講習会	長 崎
	17 日(土)	第 1 回ガバナー補佐会議	諫 早
	18 日(日)	国際青少年交換派遣学生選考会	諫 早
	20 日(火)	島原 R C 公式訪問	島 原
		島原南 R C 公式訪問	島 原
	21 日(水)	伊万里 R C 公式訪問	伊万里
	22 日(木)	唐津東 R C 公式訪問	唐 津
	23 日(金)	福江 R C 公式訪問	五 島
		福江中央 R C 公式訪問	五 島
	24 日(土)	第 1 回諮問委員会	諫 早
	25 日(日)	R 財団国際親善奨学生研修会	佐 賀
	26 日(月)	佐賀西 R C 公式訪問	佐 賀
		武雄 R C 公式訪問	佐 賀
	28 日(水)	佐賀北 R C 公式訪問	佐 賀
		佐賀空港 R C 公式訪問	佐 賀
	29 日(木)	長崎 R C 公式訪問	長 崎
	30 日(金)	牛津 R C 公式訪問	牛 津
		嬉野 R C 公式訪問	嬉 野
	31 日(土)	職業奉仕委員会	武 雄
8 月	3 日(火)	神埼 R C 公式訪問	神 埼
		佐世保西 R C 公式訪問	佐世保
	4 日(水)	長崎南 R C 公式訪問	長 崎
	5 日(木)	多久 R C 公式訪問	多 久
		太良 R C 公式訪問	鹿 島
	7 日(土)	雲仙 R C 公式訪問	小 浜
		G S E 小委員長会議	武 雄
	8 日(日)	ロータリー財団地域セミナー	東 京
	9 日(月)	諫早南 R C 公式訪問	諫 早
		青少年交換学生オリエンテーション 12 日迄	諫 早
		佐世保北 R C 公式訪問	佐世保
	10 日(火)	長崎西 R C 公式訪問	長 崎



8 月	12日(木)	大町 R C 公式訪問	大 町
	17日(火)	有田 R C 公式訪問	有 田
	18日(水)	諫早西 R C 公式訪問	諫 早
	19日(木)	長崎琴海 R C 公式訪問	琴 海
	20日(金)	佐世保南 R C 公式訪問	佐世保
	21日(土)	インターアクト年次大会 22日迄	大 村
	23日(月)	長崎北 R C 公式訪問	長 崎
	24日(火)	佐賀大和 R C 公式訪問	佐 賀
		北松浦 R C 公式訪問	北松浦
	25日(水)	白石 R C 公式訪問	白 石
		唐津西 R C 公式訪問	唐 津
	26日(木)	伊万里西 R C 公式訪問	伊万里
	27日(金)	諫早 R C 公式訪問	諫 早
	28日(土)	国際奉仕関係合同セミナー	諫 早
	30日(月)	大村東 R C 公式訪問	大 村
		長崎中央 R C 公式訪問	長 崎
	31日(火)	大村 R C 公式訪問	大 村
		諫早多良見 R C 公式訪問	諫 早
9 月	1 日(水)	佐世保 R C 公式訪問	佐世保
	2 日(木)	平戸 R C 公式訪問	平 戸
		生月 R C 公式訪問	生 月
	3 日(金)	長崎出島 R C 公式訪問	長 崎
	4 日(土)	職業奉仕セミナー	武 雄
	8 日(水)	佐世保東南 R C 公式訪問	佐世保
		大村北 R C 公式訪問	大 村
	9 日(木)	佐賀 R C 公式訪問	佐 賀
	12日(日)	第1回GETS・地区研修リーダー研修会	東 京
		米山記念奨学生の集い	諫 早
		GSE派遣メンバー研修会	諫 早
	14日(火)	HTB佐世保 R C 公式訪問	佐世保
	15日(水)	小城 R C 公式訪問	小 城
	16日(木)	佐世保東 R C 公式訪問	佐世保
	17日(金)	唐津中央 R C 公式訪問	唐 津
		松浦 R C 公式訪問	松 浦
	20日(月)	R J W会議	東 京
	21日(火)	佐賀南 R C 公式訪問	佐 賀
		唐津 R C 公式訪問	唐 津
	22日(水)	長崎北東 R C 公式訪問	長 崎



9 月	28日(火)	鹿島 R C 公式訪問	鹿 島
	29日(水)	長崎南 R C 40周年記念式典	長 崎
	30日(木)	佐世保中央 R C 公式訪問	佐世保
		諫早北 R C 公式訪問	諫 早
10 月	3 日(日)	長崎西 R C 20周年記念式典	長 崎
	5 日(火)	全国青少年育成委員会議	東 京
	6 日(水)	長崎東 R C 公式訪問	長 崎
	9 日(土)	第 2 回ガバナー補佐会議	佐世保
	15日(金)	ロータリーの友座談会	大 阪
	16日(土)	佐世保西 R C 35周年記念式典	佐世保
	23日(土)	第 2 回諮問委員会	佐世保
		青少年交換学生オリエンテーション	諫 早
	25日(月)	G S E 長崎県知事・市長訪問	長 崎
	28日(木)	G S E 歓迎会	長 崎
	31日(日)	地区大会記念事業（濱口選手とミニバスケット教室）	長 崎
11 月	5 日(金)	地区大会 7 日迄	諫 早
	14日(日)	佐世保ローターアクト35周年記念式典	佐世保
	15日(月)	G S E 佐賀県知事・市長訪問	佐 賀
	19日(金)	G S E 送別会	佐 賀
	20日(土)	多久 R C 20周年記念式典	多 久
	21日(日)	長崎北ローターアクト35周年記念式典	長 崎
	25日(木)	ロータリー財団地域セミナー	広 島
	26日(金)	ロータリー・ゾーン研究会 28日迄	広 島
12 月	5 日(日)	全国青少年交換委員長会議	東 京
	11日(土)	米山フォーラム	東 京
	12日(日)	第 2 回 R 財団国際親善奨学生研修会	佐 賀
	19日(日)	青少年交換学生オリエンテーション	諫 早
1 月	21日(金)	諫早 R C 45周年記念式典	諫 早
		長崎東 R C 35周年記念式典	長 崎
	22日(土)	第 3 回ガバナー補佐会議	諫 早
		太良 R C 10周年記念式典	太 良
	29日(土)	第 3 回諮問委員会	佐世保
2 月	6 日(日)	米山記念奨学生選考会	佐 賀
		青少年交換学生オリエンテーション	諫 早
	11日(金)	第 9・10グループ I M	長 崎
	12日(土)	唐津東 R C 40周年記念式典	唐 津
	13日(日)	第 4・5・6 グループ I M	佐世保
	18日(金)	国際協議会 25日迄	米 国



2 月	19日(土)	ローターアクト研修会 20日迄	佐 賀
	26日(土)	佐賀南 R C 20周年記念式典	佐 賀
		大村 R C 45周年記念式典	大 村
3 月	5 日(土)	第 7・8 グループ I M	雲仙
		全国ローターアクト研修会 6 日迄	広 島
	6 日(日)	米山記念奨学生終了式・歓送会	長 崎
	10日(木)	ライラ実行委員会	北松浦
	12日(土)	第 1・2 グループ I M	佐 賀
		2005-2006年度地区チーム研修セミナー	唐 津
	13日(日)	インターアクト後期指導者講習会	佐世保
	21日(月)	ロータリー百周年委員会	大 村
	26日(土)	第 3 グループ I M	有 田
	27日(日)	2005-2006年度 P E T S	唐 津
4 月	10日(日)	R 財団国際親善奨学生研修会・壮行会	諫 早
		諫早西 R C 20周年記念式典	諫 早
	15日(金)	嬉野 R C 35周年記念式典	嬉 野
	22日(金)	ロータリー青少年交換研究会 23日迄	東 京
	24日(日)	2005-2006年度地区協議会	唐 津
	29日(金)	R I 会長主催祝賀会議 30日迄	東 京
5 月	7 日(土)	新世代サミット 8 日迄	神 戸
	8 日(日)	第26回ライラ	佐世保
	9 日(月)	全国ガバナー会	東 京
	14日(土)	福江中央 R C 30周年記念式典	五 島
		米山研修会・オリエンテーション	伊万里
	21日(土)	第 4 回諮問委員会	長 崎
	22日(日)	ガタリンピック 23日まで	鹿 島
	28日(土)	全日本ロータリークラブ親睦合唱祭	長 崎
	29日(日)	長崎国際大学 R A C 認証状伝達式	佐世保
6 月	4 日(土)	ローターアクト年次大会 5 日迄	長 崎
		女性委員会フォーラム	佐世保
	6 日(月)	長崎中央 R C 15周年記念式典	長 崎
	10日(金)	全国青少年育成委員会会議	東 京
	11日(土)	第 4 回ガバナー補佐会議	唐 津
	12日(日)	R 財団国際親善奨学生候補者選考会	佐 賀
	19日(日)	国際大会	米 国
	26日(日)	青少年交換学生オリエンテーション	佐世保



2004-05年度 物故会員

敬称略

辻	保 孝	諫早南 R C	2004. 7. 26	逝去	(享年71才)
井 手	正 喜	諫 早 R C	2004. 8. 17	逝去	(享年90才)
水 田	宝 久	長崎北 R C	2004. 8. 3	逝去	(享年73才)
園 田	敏 雄	武 雄 R C	2004.10. 26	逝去	(享年81才)
廣 瀬	卓 雄	佐世保南 R C	2004.11. 5	逝去	(享年63才)
中 村	房 一	諫 早 R C	2004.11. 6	逝去	(享年83才)
中 村	和 正	福 江 R C	2004.11.20	逝去	(享年75才)
小 川	琢 也	武 雄 R C	2004.11.24	逝去	(享年66才)
前 田	利 昭	伊万里 R C	2004.11.25	逝去	(享年72才)
大 木	亮 達	佐世保東 R C	2004.12.23	逝去	(享年80才)
工 藤	英 一	長崎南 R C	2004.12.24	逝去	(享年67才)
福 田	泰 作	有 田 R C	2005. 1. 24	逝去	(享年83才)
村 島	二 郎	大村北 R C	2005. 2. 7	逝去	(享年79才)
坪 内	律 國	福江中央 R C	2005. 3. 16	逝去	(享年75才)
諸 熊	修	長崎西 R C	2005. 4. 19	逝去	(享年74才)
服 部	正 義	白 石 R C	2005. 5. 14	逝去	(享年77才)
伊 藤	正 巳	北松浦 R C	2005. 6. 3	逝去	(享年62才)
酒 井	達 夫	諫 早 R C	2005. 6. 13	逝去	(享年60才)

※対象期間 2004. 7. 1～2005. 6. 30で各クラブからの報告に基づき作成しました。



2004-05年度 会計報告

地区資金一般会計収支決算書

(単位:円)

収入の部			予 算	決 算	予算対比
	(1) 地区資金		17,360,000	16,284,300	－1,075,700
	(2) 地区大会分担金		16,800,000	15,912,000	－888,000
	(3) 日本 S C 分担金	ロータリー文庫協力金	840,000	787,950	－52,050
		全国ガバナー会運営費	560,000	525,300	－34,700
	(4) 特別会計繰入金	G S E 分担金	1,400,000	1,313,250	－86,750
		世界社会奉仕資金	1,008,000	945,540	－62,460
	(5) そ の 他	地区大会剰余金他	0	0	0
	収入合計（A）		37,968,000	35,768,340	－2,199,660

支出の部

		予 算	決 算	予算対比
(1) ガバナー関係費		6,450,000	7,507,241	1,057,241
	G N国際協議会	1,200,000	1,200,525	525
	全国G、P G会議費	2,500,000	3,383,851	883,851
	地区G、P G会議費	1,300,000	1,298,371	－1,629
	各種委員会会議費	900,000	804,899	－95,101
	ガバナー記念品代	100,000	100,000	0
	渉外費・広報費	450,000	719,595	269,595
(2) 地区活動費 補助金		20,100,000	18,671,061	－1,428,939
	地区大会	16,800,000	15,912,000	－888,000
	地区協議会	700,000	224,545	－475,455
	P E T S	300,000	275,444	－24,556
	地区チーム研修セミナー	300,000	357,497	57,497
	I M	0	0	0
	インターアクト助成金	700,000	700,525	525
	ローターアクト助成金	800,000	800,525	525
	R Y L A助成金	400,000	400,525	525
	R財団学友会	100,000	0	－100,000
(3) ガバナー補佐費		1,500,000	1,507,455	7,455
(4) 地区委員会費		5,450,000	4,347,947	－1,102,053
	クラブ奉仕関係委員会	750,000	165,882	－584,118
	職業奉仕関係委員会	350,000	353,303	3,303
	社会奉仕関係委員会	150,000	73,648	－76,352
	新世代関係委員会	1,300,000	946,922	－353,078
	国際奉仕関係委員会	2,800,000	2,661,192	－138,808
	ロータリー100周年委員会	100,000	147,000	47,000
(5) 日本サービスセンター分担金		1,400,000	1,313,250	－86,750
	ロータリー文庫協力金	840,000	787,950	－52,050
	全国ガバナー会運営費	560,000	525,300	－34,700
(6) 特別会計繰入金支出		2,608,000	2,458,790	－149,210
	G S E分担金	1,400,000	1,313,250	－86,750
	世界社会奉仕資金	1,008,000	945,540	－62,460
	規程審議会積立金	200,000	200,000	0
(7) ガバナー事務所・月信会計繰入金支出		0	557,657	557,657
(8) 予備費		460,000	0	－460,000
支出合計 (B)		37,968,000	36,363,401	－1,604,599

収支差額 (A - B)	0	-595,061	
前 期 繰 越 金	13,501,619	13,501,619	0
次 期 繰 越 金	13,501,619	12,906,558	-595,061



地区委員会費内訳

(単位：円)

地区委員会	予 算	決 算	地区委員会	予 算	決 算
クラブ奉仕委員会	100,000	41,366	インターアクト委員会	500,000	500,000
出席委員会	100,000	0	ライラ委員会	100,000	0
拡大・会員増強委員会	200,000	48,445	国際奉仕委員会	100,000	85,000
ロータリー情報・広報委員会	200,000	0	ロータリー財団委員会	500,000	712,311
ロータリー女性委員会	150,000	76,071	米山記念奨学委員会	400,000	119,915
職業奉仕委員会	350,000	353,303	財団奨学・学友委員会	400,000	536,088
社会奉仕・環境保全委員会	150,000	73,648	国際青少年交換委員会	1,300,000	1,116,149
新世代委員会	100,000	13,514	G S E 委員会	100,000	91,729
ローターアクト委員会	600,000	433,408	ロータリー100周年委員会	100,000	147,000
小 計	1,950,000	1,039,755	小 計	3,500,000	3,308,192
合 計					5,450,000 4,347,947

地区資金「特別会計」収支決算書

(単位：円)

① G S E 資金会計				
	予 算	決 算	予算対比	
収入の部	G S E 活動資金 (特別会計より繰入)	7,598,843	7,018,435	-580,408
	G S E 活動資金 (2004-05年度)	1,350,000	1,313,250	-36,750
	その他	0	71	71
	収入合計 (A)	8,948,843	8,331,756	-617,087
支出の部	受入費	3,091,000	2,901,236	-189,764
	派遣費	1,857,000	302,007	-1,554,993
	受入・派遣報告費	550,000	0	-550,000
	予備費	3,450,843	0	-3,450,843
	支出合計 (B)	8,948,843	3,203,243	-5,745,600
収支差額 (A-B)			5,128,513	
次期繰越金			5,128,513	

② 世界社会奉仕資金			
年 度	繰 入	支 出	残 高
00-01年度	1,089,540	0	3,989,750
01-02年度	1,065,060	0	5,054,810
02-03年度	1,022,220	0	6,077,030
03-04年度	974,700	0	7,051,730
04-05年度	945,540	0	7,997,270

③ 規定審議会積立金			
年 度	繰 入	支 出	残 高
00-01年度	200,000	600,000	0
01-02年度	200,000	0	200,000
02-03年度	200,000	0	400,000
03-04年度	200,000	600,000	0
04-05年度	200,000	0	200,000

ガバナー事務所・月信会計収支決算書

(単位：円)

	予 算	決 算	予算対比
収入の部	G事務所分担金@3200×人数	8,960,000	8,404,800
	月信費@1900×人数	5,320,000	4,773,750
	R I 補助金	1,500,000	1,972,093
	雑収入	0	20,421
	一般会計繰入金収入	0	557,657
	収入合計 (A)	15,780,000	15,728,721
支出の部	公式訪問旅費	500,000	721,649
	人件費	2,900,000	2,712,000
	月信費	5,200,000	5,264,305
	通信費	900,000	805,210
	消耗品費	1,300,000	1,320,256
	室料および会議費	1,200,000	1,067,687
	旅費交通費	500,000	566,564
	ガバナーノミニー費	3,000,000	3,000,525
	直前ガバナー費	100,000	100,000
	予備費	180,000	170,525
	支出合計 (B)	15,780,000	15,728,721
収支差額 (A-B)		0	0
前期繰越金		0	0
次期繰越金		0	0



国際青少年交換資金会計

(単位：円)

	予 算	決 算	予算対比
収入の部			
国際青少年交換資金 @2,000	5,600,000	5,253,000	-347,000
地区資金より補助	1,300,000	1,116,149	-183,851
その他	0	13	13
クラブ負担金収入	0	960,000	960,000
来日学生負担分	0	873,713	873,713
収入合計	6,900,000	8,202,875	1,302,875
支出の部			
学生滞在費補助	3,000,000	3,025,050	25,050
学生合同旅行	1,100,000	2,645,447	1,545,447
オリエンテーション費用	1,500,000	1,386,951	-113,049
学生歓送迎会費他	80,000	46,775	-33,225
委員会費・全国委員会費	600,000	656,089	56,089
印刷費他	200,000	263,099	63,099
通信費	300,000	179,464	-120,536
予備費	120,000	0	-120,000
支出合計	6,900,000	8,202,875	1,302,875

以上の通りご報告申し上げます。

2005年8月20日

ガバナー

地区会計長

監査(税理士)

栗林 英雄

池田 光利

井手 雅康

P E T S / 地区協議会収支決算書

(単位：円)

	科 目	P E T S	地区協議会
収入の部			
	登録料	684,000	4,824,000
	地区補助金	275,444	224,545
	合 計	959,444	5,048,545
支出の部			
	資料/記録誌作成費	136,500	918,750
	会場 懇親会費	670,020	3,727,758
	雑費	152,924	402,037
	合 計	959,444	5,048,545

以上の通りご報告申し上げます。

2004年7月1日

PETS実行委員長

地区協議会実行委員長

田中 輝国

奥村 耆

米山記念奨学会決算報告書

(単位：円)

項 目	前年度繰越金	期中総収入	期中総支出	次期繰越金
奨学生活動費	0	1,200,000	1,284,654	0
研修会補助費	0	84,000	184,478	0
選考試験補助費	0	229,500	44,382	0
雑収入	0	14	0	0
合 計	0	1,513,514	1,513,514	0

以上の通りご報告申し上げます。

2005年8月20日

地区米山記念奨学会委員長 前田 博憲



地区ローターアクト代表事務局会計報告書

【収入の部】

(単位：円)

科	目	予算金額	決算金額	備 考
1. 特別収入	年次大会助成金	800,000	800,000	ガバナー事務所より
	代表事務局活動費	1,375,000	1,375,000	前期 80,000×11クラブ 後期 40,000×11クラブ
	地区情報誌製作費	220,000	199,000	@1,000×199部
	名簿製作費	176,000	159,200	@800×199部
	地区行事負担金	220,000	220,000	@5,000×4地区行事×11クラブ
	年次大会広報支援金	120,000	100,000	ホストクラブ(長崎RAC)より
	小 計	2,911,000	2,853,200	
2. 雑収入	雑 収 入		929,449	他地区年次大会・交通費
	小 計		929,449	登録料・預金利息等(別紙参照)
3. 前年度繰越金			106,890	
合 計		2,911,000	3,889,539	

【支出の部】

科	目	予算金額	決算金額	備 考
1. 負担金	地区行事負担金	220,000	220,000	@55,000×4地区行事
	全国RA研修会負担金	50,000	50,000	地区分担金
	小 計	270,000	270,000	
2. 登録料	周年登録料	105,000	85,000	佐世保×6名、長崎北×6名、諫早×5名
	全国RA研修会	48,000	333,000	代表事務局4名、他14名
	7地区会	48,000	90,000	代表事務局3名、他3名
	7地区スポーツ大会	112,000	171,000	代表事務局3名、他10名
	他地区年次大会	288,000	583,500	別紙参照
	年次大会広報費	120,000	101,090	他地区行事 交通費
	小 計	721,000	1,363,590	
3. 事業費	友好地区交流費	40,000	11,000	2690地区との交流会登録料
	地区情報誌製作費	220,000	149,616	印刷費・記録費・会議費等含む
	小 計	260,000	160,616	
4. 諸経費	事務用品費	5,000	7,157	ファイル他
	会議費	20,000	47,364	会場費、飲食費等
	通信費	51,000	41,310	郵便切手代、幹事手当@3,000×12カ月
	印刷費	206,000	213,200	コピー代、名簿印刷代等
	交通費	463,000	516,934	地区内外有料道路・移動費・駐車場代等
	記録費	5,000	1,750	フィルム代、現像代等
	慶弔費	10,000	11,360	祝電等
	保険料	4,800	—	
	雑 費	80,000	130,598	振込み手数料、年大記念品他
	小 計	844,800	969,673	
5. 積立金			225,660	
6. 予備費		15,200		
7. 特別支出	年次大会助成金	800,000	800,000	ホストクラブ(長崎RAC)へ
8. 次年度繰越金			100,000	
合 計		2,911,000	3,889,539	

以上の通りご報告申し上げます。

2005年8月20日

地区ローターアクト委員長 山口 修二



第26回 R Y L A収支決算書

【収入の部】

(単位：円)

費 目	予 算	決 算	備 考
前 期 繰 越 金	200,000	210,258	
地 区 補 助 金	400,000	400,000	
ク ラ ブ 負 担 金	1,740,000	1,680,000	56クラブ×30,000円
登録料 (青 少 年)	200,000	214,000	2,000円×108名
登録料 (R C会員)	600,000	724,000	4,000円×182名
雑 収 入		30,000	
利 息		5	銀行利息
収入合計	3,140,000	3,258,263	

【支出の部】

(単位：円)

費 目	予 算	決 算	備 考
食 事 代	500,000	783,500	昼食代 300名分
会 場 設 営 費	300,000	283,000	ホテル会場費
受 付 関 係 費	150,000	44,906	吊り下げ名札代
講 演 関 係 費	200,000	170,000	講師謝礼、その他
意 見 交 換 会 費	100,000	0	
記 念 誌 代	800,000	370,000	記録誌、記録写真CD
会 議 費	400,000	384,562	準備会議、編集会議合計13回
通 信 費	60,000	17,142	切手、封筒、送金手数料、他
事 務 用 品 費	60,000	4,637	
印 刷 代	120,000	155,704	パンフレット、プログラム印刷
写 真 代	50,000	50,000	
雑 費	200,000	22,680	当日駐車場整理警備員2名
繰 越 金	200,000	972,132	次期繰越金
支出合計	3,140,000	3,258,263	

以上の通りご報告申し上げます。

2005年 8 月20日

地区ライラ委員長 佐藤 真一



インターアクト年次大会決算書

【収入の部】

項 目	金 額	備 考
登 録 料	3,676,200円	(363名)
ロータリー会員	1,035,000円	15,000×69名
顧問教師	264,000円	8,000×33名
L A	1,984,000円	8,000×248名
その他、地区役員及寸志等	363,200円	
クラブ協力金	1,610,000円	70,000×23 R C
ホスト R C 援助金	150,000円	
コ・ホストクラブ援助金	200,000円	100,000×2 R C
地区助成金	700,000円	
コンベンション協会助成金	300,000円	
合 計	6,636,200円	

【支出の部】

項 目	金 額	備 考
会 場 費	354,950円	シーハットおおむら、市コミュニティセンター
交 流 会 費	1,428,496円	パークベルズ
会 場 設 営 費	628,284円	看板及各分科会等備品
特 別 講 演 費	320,355円	戸川由起子先生講演依頼
印 刷 費	844,659円	プログラム、記念誌
会 議 費	265,230円	
宿 泊 費	1,707,000円	303名（朝食含）
参 加 記 念 品	340,704円	283名 桑原崇寿著「2本足の犬次郎」
記 念 品 ・ 賞 状	236,285円	
事 務 費	417,198円	
予 備 費	93,039円	
合 計	6,636,200円	

以上の通りご報告申し上げます。

2005年 8 月20日

地区インターアクト委員長 草野 幸子



国際ロータリー第2740地区 2004～2005年度
地区大会決算報告

収 入 の 部			
項 目	決 算	備 考	
大会登録料	15,690,000		
		会 員	10,000円×1,522人 15,220,000
		青少年	5,000円× 94人 470,000
歓迎晩餐会登録料	2,249,000		
		会 員	13,000円× 127人 1,651,000
		家 族	13,000円× 46人 598,000
記念懇親会登録料	3,270,000		
		会 員	5,000円× 643人 3,215,000
		家 族	5,000円× 11人 55,000
ゴルフ登録料	600,000	5,000円× 120人	600,000
大会人頭分担金	15,912,000	6,000円×2,652人	15,912,000
雑収入	960,001	御祝儀 利息	
収入の部合計	38,681,001		

支出・剰余金の部	
項 目	決 算
大会事務局	8,502,455
大会 S A A	3,624,205
会場設営委員会	1,853,000
総務委員会	8,829,693
登録・受付委員会	740,954
広報・記録委員会	4,051,888
交通対策委員会	687,500
救護委員会	20,000
懇親委員会	8,000,915
接待委員会	1,181,364
記念ゴルフ委員会	718,635
支出の部合計	38,210,609
剰余金	470,392
支出・剰余金の部合計	38,681,001

剰余金 470,392円

剰余金470,392円はロータリー財団（インド洋津波救援金）に
寄付致しました。

以上の通りご報告申し上げます。

2004年12月21日

国際ロータリー第2740地区

ガバナー 栗林 英雄
大会実行委員長 松角 雅夫
大会会計 白倉 一男

月信の表紙を飾った風景画

絵の提供
諫早北RC 緒方 聖会員

7月号



8月号



9月号



10月号



11月号



12月号



1月号



2月号



3月号



4月号



5月号



6月号



編集後記

いよいよ月信編集も最終を迎えました。殊にこの号は1年間の総まとめであり、次年度への橋渡しの役を果たしているので大事なものです。

この1年間、投稿依頼に快く応じていただきましたガバナー補佐、地区委員長さん、自主的に寄稿下さった熱心な会員の皆さんに心より御礼を申し上げます。又常時編集に携っていただいた編集委員の皆様、ガバナー事務所の宮田、相内のお二人に大変お世話になったことを附記し、感謝の意を表したいと思います。



国際ロータリー第2740地区

2004～2005年度ガバナー

栗林 英雄

■事務所

〒854-0016 長崎県諫早市高城町5-10-302

TEL.0957-35-4890 FAX.0957-22-2808

E-mail:ri2740@ninus.ocn.ne.jp